

(公印・契印省略)

総 政 企 第 307 号
令 和 6 年 1 月 15 日

統計委員会委員長
椿 広 計 殿

総務大臣
松 本 剛 明

諮問第183号
農業経営統計調査の変更について（諮問）

標記について、令和5年12月22日付け5統計第789号により農林水産大臣から別添「基幹統計調査の変更について（申請）」のとおり申請があったところ、その承認の適否を判断するに当たり、統計法（平成19年法律第53号）第11条第2項において準用する同法第9条第4項の規定に基づき、統計委員会の意見を求める。

(参考：別添申請関連書類の目次)

1. 申請書	1
2. 申請事項記載書（注：調査計画本文の記載に関する新旧対照表）	2
〔調査票の新旧対照表〕	
別添1－1 営農類型別経営統計調査票（個人経営体用）	18
別添1－2 営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）	50
3. 変更後の調査計画（注：申請内容を反映した調査計画）	75
別添1 農業経営体の定義	86
別添2 報告者の選定方法	87
別添3－1 営農類型別経営統計調査票（個人経営体用）	90
別添3－2 営農類型別経営統計調査票（法人経営体用）	107
別添3－3 米生産費統計調査票（個別経営体用）	126
（今回は、営農類型別経営調査（別添3－1、3－2）の変更のみが予定されている。そのため、生産費調査の調査票（別添3－3～17）については、別添3－3のみを目次に掲載している。）	
別添4 農業経営統計調査の集計事項一覧	346
別添5 農業経営統計調査の公表時期	366
4. 農業経営統計調査の必要性等について	367

<公印・契印省略>

5 統計第 7 8 9 号
令和 5 年 12 月 22 日

総務大臣 殿

農林水産大臣 坂本 哲志

基幹統計調査の変更について（申請）

下記調査の変更について、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 11 条第 1 項に基づく承認を受けたいので、別紙申請事項記載書に関係書類を添えて、申請します。

記

農業経営統計調査

主管部課	大臣官房統計部経営・構造統計課		
事務担当者	課長補佐 (農業組織経営統計班) 小田 豊	電話 e-mail	03 (6744) 2243 yutaka_oda950@maff. go. jp
	課長補佐 (営農類型別経営統計班) 小林 智晴	電話 e-mail	03 (6744) 2043 tomoharu_kobayash770@maff. go. jp

申請事項記載書

別紙

- 1 調査の名称 農業経営統計調査
2 変更の内容

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>1・2 (略)</p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲 (中略) ア (略) イ 生産費調査 (ア) (略) (イ) 組織法人経営体 個別経営体以外で<u>法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体</u></p> <p>4 報告を求める個人又は法人その他の団体 (1) 報告者数 ア 経営統計調査 4,526 経営体 (母集団の大きさ: 969,279 経営体)</p> <p>(略)</p> <p>イ 生産費調査 3,832 経営体 (母集団の大きさ: 848,839 経営体)</p> <p>(内訳) ○個別経営体 3,385 (母集団 833,033)</p>	<p>1・2 (略)</p> <p>3 調査対象の範囲 (1) (略) (2) 属性的範囲 (中略) ア (略) イ 生産費調査 (ア) (略) (イ) 組織法人経営体 個別経営体以外で農事組合法人及び会社組織による経営体</p> <p>4 報告を求める個人又は法人その他の団体 (1) 報告者数 ア 経営統計調査については、4,526 経営体 (母集団の大きさ: 969,279 経営体) <u>個人経営体及び水田作(集落営農)以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。</u> <u>法人経営体の水田作(集落営農)については、令和2年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とする。</u> (略)</p> <p>イ 生産費調査については、3,832 経営体 (母集団の大きさ: 848,839 経営体) <u>2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とする。</u> (内訳) ○個別経営体 3,385 (母集団 833,033)</p>	<p>調査対象を明確化するため</p> <p>報告者数のみ記載とするため なお、母集団情報の説明は(2)へ記載</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>《農産物生産費統計》 (略) 《畜産物生産費統計》 (略) ○組織法人経営体 447 (母集団 15,806) 《農産物生産費統計》 (略)</p> <p>(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (□全数階層あり) □有意抽出) ア 経営統計調査 個人経営体及び水田作(集落営農)以外の法人経営体については、<u>2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作(集落営農)については、令和2年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類(個人経営体及び法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。</u> <u>詳細については、別添2のとおり。</u> イ 生産費調査 <u>2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類(個別経営体及び組織法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。</u> <u>詳細については、別添2のとおり。</u> ウ 共通事項 <u>次の母集団情報更新までは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。</u></p> <p>(3) 報告義務者 ア 経営統計調査 <u>(ア) 農業経営体を代表する者</u></p>	<p>農産物生産費統計 (略) 畜産物生産費統計 (略) ○組織法人経営体 447 (母集団 15,806) 農産物生産費統計 (略)</p> <p>(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (□全数階層あり) □有意抽出) <u>経営統計調査については、営農類型別及び農業経営体の種類(個人経営体及び法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。</u> <u>生産費調査については、品目別及び農業経営体の種類(個別経営体及び組織法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。</u> <u>詳細については、別添2のとおり。</u></p> <p>(3) 報告義務者 ア <u>農業経営体を代表する者は、5に掲げる事項について、配布された調査票又は電子化した調査票に記入又は入力して地方農政局等^(注3)の長にその定める期日までに提出し、地方農政局等の職員若しくは統計調査員に決算書類等の書類を開示若しくは経営データを提供し、又は職員若しくは統計調査員の</u></p>	<p>母集団情報の説明を追加し、経営統計調査及び生産費調査に区分して記載するため</p> <p>報告義務者の属性のみの記載とし、経営統計調査及び生産費調査に区分して記載するため</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>(イ) 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、<u>地方農政局等(注3)の職員又は調査に係る事務を委託した民間事業者(以下「民間事業者」という。)</u>が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</p> <p>(注3)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。</p> <p><u>イ 生産費調査</u></p> <p><u>(ア) 農業経営体を代表する者</u></p> <p><u>(イ) 農業経営体を代表する者が報告できない場合には、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者</u></p> <p>5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求める事項(詳細は、調査票(別添3-1から3-18まで)を参照。)</p> <p>ア 経営統計調査</p> <p>《基本項目》</p> <p>(ア) 経営体の現況に関する事項</p> <p>(イ) 損益計算書に関する事項</p> <p>(ウ) 事業収支の概要</p> <p>(エ) 保有する土地面積の状況</p> <p>(オ) 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項</p> <p>(カ) 制度受取金・積立金等に関する事項</p> <p>(キ) 労働に関する事項</p> <p>《詳細項目》</p> <p>(ク) 貸借対照表に関する事項</p> <p>(ケ) 投資と資金調達の状況</p> <p>[削除]</p> <p>(コ) 役員、雇用者への給与に関する事項(法人経営体のみ)</p> <p>[削除]</p>	<p><u>質問に対し口頭で回答しなければならない。</u></p> <p>(注3)「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。</p> <p><u>イ 農業経営体を代表する者がアに掲げる記入、入力、提出、開示、提供又は回答することができないときは、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者が5に掲げる事項について記入、入力、提出、開示、提供又は回答をしなければならない。</u></p> <p>5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</p> <p>(1) 報告を求める事項(詳細は、調査票(別添3-1から3-19まで)を参照。)</p> <p>ア 経営統計調査</p> <p>《基本項目》</p> <p>(ア) 経営体の現況に関する事項</p> <p>(イ) 損益計算書に関する事項</p> <p>(ウ) 事業収支の概要</p> <p>(エ) 保有する土地面積の状況</p> <p>(オ) 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項</p> <p>(カ) 制度受取金・積立金等に関する事項</p> <p>(キ) 労働に関する事項</p> <p>《詳細項目》</p> <p>(ア) 貸借対照表に関する事項</p> <p>(イ) 投資と資金調達の状況</p> <p><u>(ウ) 主要農業固定資産の保有状況</u></p> <p>(エ) 役員、雇用者への給与に関する事項(法人経営体のみ)</p> <p><u>(オ) 農業生産関連事業に関する事項</u></p>	<p>調査項目の整理等に伴い、従前設けていた詳細調査票(基本項目と詳細項目の報告を求める調査票)と基本調査票(基本項目のみの報告を求める調査票)の2種類の調査票を1つに統合することによる修正</p> <p>また、詳細項目のうち引き続き報告を求める項目については、引き続き報告者を限定する記載を修正</p> <p>(詳細は、別添の新旧対照表のとおり)</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>なお、<u>(ク) 及び (ケ) については、個人経営体のうち主業経営体^(注4)、準主業経営体^(注5) 及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体^(注6)（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。</u></p> <p>(注4)～(注6) (略)</p> <p>[集計しない事項の有無] <input type="checkbox"/>無 <input checked="" type="checkbox"/>有</p> <p><u>(イ)～(コ)のうち記入にあたって該当の有無を確認する項目、関係資料の提供を確認する項目については集計を行わない。</u></p> <p>イ (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>6 報告を求めるために用いる方法</p> <p>(1) 調査系統</p> <p>ア 経営統計調査</p> <p><u>(ア) 経営統計調査のみの報告者</u></p> <p><u>農林水産省－民間事業者－報告者</u> └ 調査員┘</p> <p><u>(イ) 生産費調査の報告者を兼ねる者</u></p> <p>a <u>地方農政局の管轄区域</u></p> <p><u>農林水産省－地方農政局－報告者</u> └ 調査員┘</p> <p>b <u>北海道</u></p> <p><u>農林水産省－北海道農政事務所－報告者</u> └ 調査員┘</p> <p>c <u>沖縄県</u></p> <p><u>農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者</u> └ 調査員┘</p> <p><u>なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者に</u></p>	<p>なお、個人経営体のうち主業経営体^(注4)、準主業経営体^(注5) 及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体^(注6)（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体においては、<u>基本項目及び詳細項目について報告を求め、青色申告の副業的経営体以外の副業的経営体（以下「白色申告の副業的経営体」という。）においては、基本項目について報告を求める。</u></p> <p>(注4)～(注6) (略)</p> <p>[集計しない事項の有無] <input checked="" type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有</p> <p>イ (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>6 報告を求めるために用いる方法</p> <p>(1) 調査系統</p>	<p>(注) 2025 年農林業センサスからは、「主業経営体」「準主業経営体」「副業的経営体」の区分は廃止されるが、本調査については、現在 2020 年農林業センサスに基づく情報を母集団としている。そのため、2025 年農林業センサスの母集団を用いて報告者の選定替えが行われる令和 9 年調査までは、この記載を継続する。</p> <p>経営統計調査について民間委託の導入に伴い、経営統計調査及び生産費調査の調査系統を区分し、前者について、調査系統に民間事業者を追加した記載を設けるため また、調査員について明示</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p><u>については（ア）に記載の調査系統により実施する。</u></p> <p><u>イ 生産費調査</u> <u>（ア）地方農政局の管轄区域</u> 農林水産省－地方農政局－報告者 └ <u>調査員</u>┘</p> <p><u>（イ）北海道</u> 農林水産省－北海道農政事務所－報告者 └ <u>調査員</u>┘</p> <p><u>（ウ）沖縄県</u> 農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者 └ <u>調査員</u>┘</p> <p>（２）調査方法 <input checked="" type="checkbox"/> 郵送調査 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン調査（<input checked="" type="checkbox"/> 政府統計共同利用システム <input checked="" type="checkbox"/> 独自のシステム <input type="checkbox"/> 電子メール）<input checked="" type="checkbox"/> 調査員調査 <input checked="" type="checkbox"/> その他（職員調査） 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により<u>地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に決算書類等（報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。）を開示若しくは提供することにより、又は口頭で回答する方法により行う場合もある。</u></p> <p><u>ア 経営統計調査</u> <u>（ア）調査票の配布</u> a <u>経営統計調査のみの報告者</u> <u>民間事業者が配布する。</u> <u>なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。</u> b <u>生産費調査の報告者を兼ねる者</u> <u>地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。</u></p>	<p><u>ア 地方農政局の管轄区域</u> 農林水産省－地方農政局等－報告者</p> <p><u>イ 北海道</u> 農林水産省－北海道農政事務所－報告者</p> <p><u>ウ 沖縄県</u> 農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者</p> <p>（２）調査方法 <input checked="" type="checkbox"/> 郵送調査 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン調査（<input type="checkbox"/> 政府統計共同利用システム <input checked="" type="checkbox"/> 独自のシステム <input type="checkbox"/> 電子メール）<input checked="" type="checkbox"/> 調査員調査 <input checked="" type="checkbox"/> その他（職員調査） 〔調査方法の概要〕 原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法（自計報告）により行う。ただし、報告者の希望により<u>地方農政局等の職員又は統計調査員が聞き取る場合もある。</u></p>	<p>政府統計共同利用システムの利用を追加するため</p> <p>経営統計調査について民間委託の導入に伴い、経営統計調査及び生産費調査の調査方法を区分して記載するため また、政府統計共同オンラインシステムの利用に伴い、オンラインの説明を変更するため</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、<u>報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。</u></p> <p>(イ) <u>調査票の提出等</u></p> <p>a <u>経営統計調査のみの報告者</u> 次のいずれかの方法により行う。</p> <p>① <u>報告者が郵送により提出する。</u></p> <p>② <u>民間事業者が、報告者を訪問して回収する。</u></p> <p>③ <u>報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。</u></p> <p>④ <u>報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は民間事業者が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</u></p> <p>b <u>生産費調査の報告者を兼ねる者</u> 次のいずれかの方法により行う。</p> <p>① <u>報告者が郵送により提出する。</u></p> <p>② <u>地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。</u></p> <p>③ <u>報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。</u></p> <p>④ <u>報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</u></p> <p>イ <u>生産費調査</u></p> <p>(ア) <u>調査票の配布</u> 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地</p>	<p>ア <u>調査票の配布</u> 地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。 なお、<u>経営統計調査及び生産費調査の報告者のうち、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項</u></p>	

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。</p> <p>また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(平成 15 年法律第 72 号)に基づき農林水産省が保有(データベースの管理は(独)家畜改良センターが実施)している牛個体識別台帳(トレーサビリティデータ)を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。</p> <p><u>(イ) 調査票の提出等</u> 次のいずれかの方法により行う。</p> <p>① 報告者が郵送により提出する。</p> <p>② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。</p> <p>③ 報告者が<u>電子化した調査票を独自のシステム</u>により提出する。</p> <p>④ 報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは<u>独自のシステム</u>により提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。</p> <p>7 報告を求める期間 (1) (略) (2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限</p> <p><u>ア 経営統計調査</u> 調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調</p>	<p>のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。</p> <p>また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(平成 15 年法律第 72 号)に基づき農林水産省が保有(データベースの管理は(独)家畜改良センターが実施)している牛個体識別台帳(トレーサビリティデータ)を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。</p> <p><u>イ 調査票の提出等</u> 次のいずれかの方法により行う。</p> <p><u>(ア) 報告者が郵送又はオンライン</u>により提出する。</p> <p><u>(イ) 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。</u></p> <p><u>(ウ) 報告者からの協力が得られる場合は、電子化した調査票を報告者がオンライン(民間事業者が行うセキュアファイル交換サービス)を利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏洩を防ぐ措置を施す。以下同じ。</u>により提出する。</p> <p><u>(エ) 報告者が作成している決算書類等(報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。)</u>について、<u>協力が得られる場合には、調査票の提出に代えて、当該書類を郵送若しくはオンライン</u>により提供、又は、<u>地方農政局等の職員若しくは統計調査員が、報告者を訪問して、当該書類の提供を受ける。</u></p> <p>7 報告を求める期間 (1) (略) (2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限</p>	<p>経営統計調査及び生産費調査の調査方法を区分して記載するため</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p><u>査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。</u></p> <p>イ 生産費調査 調査票は、5（2）のイに掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。</p> <p>8 集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添4のとおり。）。</p> <p>《経営統計調査》 （1）営農類型別経営統計 ア 個人経営体 （ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営 なお、<u>5（1）アの（ク）及び（ケ）</u>については、<u>個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。</u></p> <p>イ・ウ （略）</p> <p>[削除]</p> <p>（2）（略）</p> <p>《生産費調査》 （3）農産物生産費統計 ア・イ （略）</p> <p>（4）（略）</p>	<p>調査票は、5（2）のア又はイに掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。</p> <p>8 集計事項 次に掲げる集計を行う（詳細は、別添4のとおり。）。</p> <p>（1）営農類型別経営統計 ア 個人経営体 （ア）水田作経営、（イ）畑作経営、（ウ）野菜作経営、（エ）果樹作経営、（オ）花き作経営、（カ）酪農経営、（キ）肉用牛経営、（ク）養豚経営、（ケ）採卵養鶏経営、（コ）ブロイラー養鶏経営 なお、<u>基本項目については、報告がなされた全ての個人経営体を対象に集計を行い、詳細項目については、白色申告の副業的経営体以外の個人経営体を対象に集計を行う。</u></p> <p>イ・ウ （略）</p> <p><u>なお、報告がなされた全ての個人経営体及び法人経営体を対象に、基本項目の集計のみを行う。</u></p> <p>（2）（略）</p> <p>（3）農産物生産費統計 ア・イ （略）</p> <p>（4）（略）</p>	<p>なお、経営統計調査については、労働の概要に係る項目を簡素化したこと等により調査票を調査対象期間前に配布する必要がなくなったことから、調査票の配布時期及び提出期限を変更</p> <p>特定の属性の者に限定して集計を行う記載についての修正</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由																		
<p>9・10 (略)</p> <p>11 調査票情報の保存期間及び保存責任者</p> <table border="1" data-bbox="159 331 898 587"> <thead> <tr> <th>関係書類名</th> <th>保存期間</th> <th>保存責任者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記入済み調査票^(注8)</td> <td>調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長</td> </tr> <tr> <td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td> <td>永年</td> <td>農林水産省大臣官房統計部長</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注8) 記入済み調査票とは、経営統計調査において調査票の記入に代えて提出された関係書類を含む。</p> <p>12 (略)</p>	関係書類名	保存期間	保存責任者	記入済み調査票 ^(注8)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長	調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長	<p>9・10 (略)</p> <p>11 調査票情報の保存期間及び保存責任者</p> <table border="1" data-bbox="927 331 1666 587"> <thead> <tr> <th>関係書類名</th> <th>保存期間</th> <th>保存責任者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記入済み調査票</td> <td>調査年の翌年の1月1日から起算して3年</td> <td>地方農政局等の長</td> </tr> <tr> <td>調査票の内容を記録した電磁的記録</td> <td>永年</td> <td>大臣官房統計部長</td> </tr> </tbody> </table> <p>12 (略)</p>	関係書類名	保存期間	保存責任者	記入済み調査票	調査年の翌年の1月1日から起算して3年	地方農政局等の長	調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	大臣官房統計部長	<p>保存起算日を適正化するため また、調査系統に本省-民間事業者-報告者を追加することに伴い、保存責任者に農林水産省大臣官房統計部長を追加するため</p>
関係書類名	保存期間	保存責任者																		
記入済み調査票 ^(注8)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長																		
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長																		
関係書類名	保存期間	保存責任者																		
記入済み調査票	調査年の翌年の1月1日から起算して3年	地方農政局等の長																		
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	大臣官房統計部長																		

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>別添1 (略)</p> <p>別添2 報告者の選定方法 1～4 (略) <u>5. なお、農業経営体を区分したリストから標本抽出できない場合には、行政記録情報(農事組合法人名簿等)を基に調査対象を選定する。</u></p> <p>別添3 調査票 別添3-1 営農類型別経営統計調査票(個人経営体用) [削除]</p> <p>別添3-2 営農類型別経営統計調査票(法人経営体用) 別添3-3 米生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-4 麦類生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-5 そば生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-6 大豆生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-7 原料用かんしょ生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-8 原料用ばれいしょ生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-9 なたね生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-10 てんさい生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-11 さとうきび生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-12 米生産費統計調査票(組織法人経営体用) 別添3-13 小麦生産費統計調査票(組織法人経営体用) 別添3-14 大豆生産費統計調査票(組織法人経営体用) 別添3-15 牛乳生産費統計調査票 別添3-16 子牛生産費統計調査票 別添3-17 育成牛・肥育牛生産費統計調査票 別添3-18 肥育豚生産費統計調査票</p>	<p>別添1 (略)</p> <p>別添2 報告者の選定方法 1～4 (略) [新設]</p> <p>別添3 調査票 別添3-1 営農類型別経営統計調査票(個人経営体用(詳細調査)) 別添3-2 <u>営農類型別経営統計調査票(個人経営体用(基本調査))</u> 別添3-3 営農類型別経営統計調査票(法人経営体用) 別添3-4 米生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-5 麦類生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-6 そば生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-7 大豆生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-8 原料用かんしょ生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-9 原料用ばれいしょ生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-10 なたね生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-11 てんさい生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-12 さとうきび生産費統計調査票(個別経営体用) 別添3-13 米生産費統計調査票(組織法人経営体用) 別添3-14 小麦生産費統計調査票(組織法人経営体用) 別添3-15 大豆生産費統計調査票(組織法人経営体用) 別添3-16 牛乳生産費統計調査票 別添3-17 子牛生産費統計調査票 別添3-18 育成牛・肥育牛生産費統計調査票 別添3-19 肥育豚生産費統計調査票</p>	<p>母集団が小さい等の理由により、農業経営体を区分したリストから標本抽出できない場合に、標本を確保するため</p> <p>調査項目の整理等に伴い、従前設けていた詳細調査票(基本項目と詳細項目の報告を求める調査票)と基本調査票(基本項目のみの報告を求める調査票)の2種類の調査票を1つに統合することによる修正 なお、調査票様式の具体的な変更点については、別添の新旧対照表のとおり</p>

変 更 案	変 更 前	変 更 理 由
<p>別添4 農業経営統計調査の集計事項一覧</p> <p>目次</p> <p>I 営農類型別経営統計</p> <p>1 個人経営体 (1)～(10) (略)</p> <p>2 個人経営体 <u>(主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体)</u> (1)～(10) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 農業経営体 (1)～(10) (略)</p> <p>II 経営形態別経営統計</p> <p>1 個人経営体 (1)～(6) (略) [削除]</p> <p>2 法人経営体 (1)・(2) (略) [削除] (3) 法人経営体のうち組織法人経営体 (4) 法人経営体のうち個別法人経営体</p> <p>3 農業経営体 (1)・(2) (略) [削除]</p> <p>III・IV (略)</p>	<p>別添4 農業経営統計調査の集計事項一覧</p> <p>目次</p> <p>I 営農類型別経営統計</p> <p>1 個人経営体 <u>(基本項目)</u> (1)～(10) (略)</p> <p>2 個人経営体 <u>(基本項目及び詳細項目(白色申告の副業的経営体を除く。))</u> (1)～(10) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 農業経営体 <u>(基本項目)</u> (1)～(10) (略)</p> <p>II 経営形態別経営統計</p> <p>1 個人経営体 (1)～(6) (略) <u>(7) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u></p> <p>2 法人経営体 (1)・(2) (略) <u>(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u> (4) 法人経営体のうち組織法人経営体 (5) 法人経営体のうち個別法人経営体</p> <p>3 農業経営体 (1)・(2) (略) <u>(3) 農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u></p> <p>III・IV (略)</p>	

変 更 案					変 更 前					変 更 理 由	
区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考	区 分	階層の種類	表章地域の範囲			
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別				全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
I 営農類型別経営統計					調査対象経営体のうち、調査期間（5（2）に掲げる期間をいう。以下同じ。）に脱落等により調査不能となった経営体を除く経営体を集計の対象とする。 （IIにおいても同様）	I 営農類型別経営統計				調査対象経営体のうち、調査期間（5（2）に掲げる期間をいう。以下同じ。）に脱落等により調査不能となった経営体を除く経営体を集計の対象とする。 （IIにおいても同様）	調査事項の変更に伴い集計事項を修正 集計対象に係る記載の明確化 生産概況の花きの調査項目の露地切り花、露地鉢物を露地花きに、施設切り花、施設鉢物を施設花きにそれぞれ統合することによる区分の削除
1 個人経営体					貸借対照表、投資と資金調達の状況は2において集計	1 個人経営体（基本項目）					
(1)～(4) (略)						(1)～(4) (略)					
(5) 花き作経営						(5) 花き作経営					
ア 花き作経営						ア 花き作経営					
(ア) 花き作経営	花き作付延べ面積	◎	×	×		(ア) 花き作経営	花き作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 花き作主業経営		○	×	×		(イ) 花き作主業経営		○	×	×	
イ 露地花き作経営						イ 露地花き作経営					
(ア) 露地花き作経営	露地花き作付延べ面積	◎	×	×		(ア) 露地花き作経営	露地花き作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 露地花き作主業経営		○	×	×		(イ) 露地花き作主業経営		○	×	×	
(ウ) 露地花き作単一経営	露地花き作付延べ面積	◎	×	×		(ウ) 露地花き作単一経営	露地花き作付延べ面積	◎	×	×	
(削除)						(エ) 切り花が主		○	×	×	
ウ 施設花き作経営						ウ 施設花き作経営					
(ア) 施設花き作経営	施設花き作付延べ面積	◎	×	×		(ア) 施設花き作経営	施設花き作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 施設花き作主業経営		○	×	×		(イ) 施設花き作主業経営		○	×	×	
(ウ) 施設花き作単一経営	施設花き作付延べ面積	◎	×	×		(ウ) 施設花き作単一経営	施設花き作付延べ面積	◎	×	×	
(削除)						(エ) 鉢物が主		○	×	×	
(削除)						(オ) 鉢物が主		○	×	×	
(6)～(10) (略)						(6)～(10) (略)					

変 更 案					変 更 前					変 更 理 由
<p>2 個人経営体（主業・準主業経営体、青色申告の副業的経営体）</p> <p>単一経営は貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く</p>					<p>2 個人経営体（基本項目及び詳細項目（白色申告の副業的経営体を除く。））</p>					<p>集計対象に係る記載の明確化</p> <p>指定品目（部門）については、報告者の記入負担軽減のため、品目ごとの収支等の把握から、生産概況のみの把握に変更し、部門の表章に代えて当該品目の経営状況を表章するため、品目の単一経営を集計する（(3)及び(4)においても同じ）</p> <p>なお、表章地域について、施策上の利活用に影響がないことから最小限に変更</p>
(1) 水田作経営					(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	○	○	○		ア 水田作経営	○	○	○		
イ 水田作経営青色申告経営体	○	○	○		イ 水田作経営青色申告経営体	○	○	○		
(2) 畑作経営					(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	○	○	○		ア 畑作経営	○	○	○		
イ 畑作経営青色申告経営体	○	○	○		イ 畑作経営青色申告経営体	○	○	○		
ウ ばれいしょ作単一経営	×	○	×		ウ ばれいしょ作経営(部門)	×	○	○	※ 関東・東山、九州のみ	
エ 茶作単一経営	×	○	※	×	エ 茶作経営(部門)	×	○	※	※1 都府県のみ ※2 関東・東山、東海、近畿、九州のみ	
オ かんしよ作単一経営	×	○	※	×	オ かんしよ作経営(部門)	×	○	※	※1 都府県のみ ※2 関東・東山、九州のみ	
(3) 野菜作経営					(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営	○	○	○		ア 野菜作経営	○	○	○		
イ 野菜作経営青色申告経営体	○	○	○		イ 野菜作経営青色申告経営体	○	○	○		
ウ 露地野菜作経営	○	○	○		ウ 露地野菜作経営	○	○	○		
(ア) 露地きゅうり作単一経営	○	×	×		(ア) 露地きゅうり作経営(部門)	○	×	×		
(イ) 露地大玉トマト作単一経営	○	×	×		(イ) 露地大玉トマト作経営(部門)	○	×	×		
(ウ) 露地なす作単一経営	○	×	×		(ウ) 露地なす作経営(部門)	○	×	×		
(エ) 露地キャベツ作単一経営	○	×	×		(エ) 露地キャベツ作経営(部門)	○	×	×		
(オ) 露地ほうれんそう作単一経営	○	×	×		(オ) 露地ほうれんそう作経営(部門)	○	×	×		
(カ) 露地たまねぎ作単一経営	○	×	×		(カ) 露地たまねぎ作経営(部門)	○	×	×		
(キ) 露地レタス作単一経営	○	×	×		(キ) 露地レタス作経営(部門)	○	×	×		
(ク) 露地はくさい作単一経営	○	×	×		(ク) 露地はくさい作経営(部門)	○	×	×		
(ケ) 露地白ねぎ作単一経営	○	×	×		(ケ) 露地白ねぎ作経営(部門)	○	×	×		
(コ) 露地だいこん作単一経営	○	×	×		(コ) 露地だいこん作経営(部門)	○	×	×		
(サ) 露地にんじん作単一経営	○	×	×		(サ) 露地にんじん作経営(部門)	○	×	×		
エ 露地野菜作経営青色申告経営体	○	○	○		エ 露地野菜作経営青色申告経営体	○	○	○		
オ 施設野菜作経営	○	○	○		オ 施設野菜作経営	○	○	○		
(ア) 施設きゅうり作単一経営	○	×	×		(ア) 施設きゅうり作経営(部門)	○	×	×		
(イ) 施設大玉トマト作単一経営	○	×	×		(イ) 施設大玉トマト作経営(部門)	○	×	×		
(ウ) 施設ミニトマト作単一経営	○	×	×		(ウ) 施設ミニトマト作経営(部門)	○	×	×		
(エ) 施設なす作単一経営	○	×	×		(エ) 施設なす作経営(部門)	○	×	×		
カ 施設野菜作経営青色申告経営体	○	○	○		カ 施設野菜作経営青色申告経営体	○	○	○		

変 更 案					変 更 前					変 更 理 由
(4) 果樹作経営					(4) 果樹作経営					
ア 果樹作経営		○	○	○	ア 果樹作経営		○	○	○	
イ 果樹作経営青色申告経営体		○	○	○	イ 果樹作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ りんご作単一経営		○	×	×	ウ りんご作経営(部門)		○	×	○	※ 東北、関東・東山のみ
エ 露地温州みかん作単一経営		○	×	×	エ 露地温州みかん作経営(部門)		○	×	○	※ 東海、近畿、中国、 四国、九州のみ
オ 露地ぶどう作単一経営		○	×	×	オ 露地ぶどう作経営(部門)		○	×	○	※ 東北、関東・東山、 中国、九州のみ
カ 日本なし作単一経営		○	×	×	カ 日本なし作経営(部門)		○	×	○	※ 東北、関東・東山、 東海、中国、九州のみ
キ もも作単一経営		○	×	×	キ もも作経営(部門)		○	×	○	※ 東北、関東・東山、 近畿、中国のみ
ク 施設温州みかん作単一経営		○	×	×	ク 施設温州みかん作経営(部門)		○	×	×	
ケ 施設ぶどう作単一経営		○	×	×	ケ 施設ぶどう作経営(部門)		○	×	×	
コ かき作単一経営		○	×	×	コ かき作経営(部門)		○	×	×	
サ うめ作単一経営		○	×	×	サ うめ作経営(部門)		○	×	×	
シ おおうとう作単一経営		○	×	×	シ おおうとう作経営(部門)		○	×	×	
ス キウイフルーツ作単一経営		○	×	×	ス キウイフルーツ作経営(部門)		○	×	×	
セ すもも作単一経営		○	×	×	セ すもも作経営(部門)		○	×	×	
(5) 花き作経営					(5) 花き作経営					
ア 花き作経営		○	×	×	ア 花き作経営		○	×	×	
イ 露地花き作経営		○	×	×	イ 露地花き作経営		○	×	×	
ウ 施設花き作経営 (削除)		○	×	×	ウ 施設花き作経営 施設ばら作経営(部門)		○	×	×	
(6)～(10) (略)					(6)～(10) (略)					
3 (略)					3 (略)					
4 農業経営体					4 農業経営体(基本項目)					
(1)～(10) (略)					(1)～(10) (略)					
										集計対象に係る記載の明確化



貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く

変 更 案					変 更 前					変 更 理 由
II 経営形態別経営統計					II 経営形態別経営統計					農業生産関連事業に係る詳細な把握を取り止めることによる変更 (以下IIにおいて同じ)
1 個人経営体					1 個人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業の主副業別統計表		○	○	○	(3) 農業の主副業別統計表		○	○	○	
(4) 青色申告経営体統計表		○	○	○	(4) 青色申告経営体統計表		○	○	○	
(5) 農業地域類型別統計表		○	×	×	(5) 農業地域類型別統計表		○	×	×	
(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支 (削除)		○	○	×	(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支		○	○	×	
					(7) <u>農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u>		○	×	×	
2 法人経営体					2 法人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表 (削除)		○	○	○	(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 法人経営体のうち組織法人経営体 ア 全国年次別統計表 (削除)		○	×	×	(3) <u>農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u>		○	×	×	
(4) 法人経営体のうち個別法人経営体 ア 全国年次別統計表 (削除)		○	×	×	(4) 法人経営体のうち組織法人経営体 ア 全国年次別統計表		○	×	×	
					イ <u>農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u>		○	×	×	
3 農業経営体					(5) 法人経営体のうち個別法人経営体 ア 全国年次別統計表		○	×	×	
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	イ <u>農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u>		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表 (削除)		○	○	○	3 農業経営体					
					(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
III・IV (略)					(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
					(3) <u>農業生産関連事業に取り組む経営体の経営収支</u>		○	×	×	

変 更 案				変 更 前				変 更 理 由
別添5 農業経営統計調査の公表時期				別添5 農業経営統計調査の公表時期				<p>時宜を捉えた情報の提供に資するため、営農類型別経営統計の概要の公表時期を翌年10月までに繰り上げ</p>
統 計		公表時期		統 計		公表時期		
		概要	詳細			概要	詳細	
営農類型別経営統計				営農類型別経営統計				
個人経営体		翌年10月まで	翌々年3月まで	個人経営体		翌年12月まで	翌々年3月まで	
法人経営体				法人経営体				
農業経営体				農業経営体				
(略)				(略)				

農業経営統計調査調査票に係る新旧対照表

1 営農類型別経営統計（個人経営体用）

変更案	変更前	変更点及び理由															
<p>別添3-1</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 農業経営統計</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>農業経営統計調査</p> <p>○年 営農類型別経営統計調査票 ① (個人経営体用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>営農類型 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/></p> <p>☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。統計作成以外の目的に使うことはありません。</p> <p>②</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【記入上の留意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ○年1月1日～○年12月31日の1年間について記入してください。 記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。 調査項目欄には、右づめで記入してください。 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 オンラインで回答される方は、同封の「オンライン利用の手引き」を参照してください。 本調査に必要な資料 設問に回答する際は、お手元に次の資料をご用意ください。 ○青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）、確定申告書 <p style="background-color: #90EE90; text-align: center; padding: 2px;">○年○月○日までに提出をお願いします。</p> <p>ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> </div> <p>④</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【通信欄】 1年の中で、農畜産物の生産や販売で特筆的なできごとがあれば、記入してください。</p> <div style="border: 1px dashed black; height: 60px; width: 100%;"></div> </div> </div>	<p>別添3-1</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>秘 農林水産省 統計法に基づく基幹統計 農業経営統計</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>農業経営統計調査</p> <p>○年 営農類型別経営統計調査票 ① (個人経営体用（詳細調査）)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>政府統計 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>営農類型 <input type="text"/> 番号 <input type="text"/></p> <p>☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。</p> <p>②</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 年1月1日～年12月31日の1年間について記入してください。調査項目欄には、右づめで記入してください。 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 <p>★数字は枠からはみ出さないように記入してください。</p> <p>記入見本 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="9"/></p> <p>★O印は記入見本を参考に記入してください。</p> <p>記入見本 <input type="text" value="1"/></p> <p>ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。</p> <p>③</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>営農類型</th> <th colspan="2">指定品目名</th> <th>調査区</th> <th>畜体番号</th> </tr> <tr> <td>2020センサス番号</td> <td>郡市町村</td> <td>旧市町村</td> <td>農業事業</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	営農類型	指定品目名		調査区	畜体番号	2020センサス番号	郡市町村	旧市町村	農業事業		<p>①調査項目の整理等に伴い、従前設けていた詳細調査票（基本項目と詳細項目の報告を求める調査票）と基本調査票（基本項目のみの報告を求める調査票）の2種類の調査票を1つに統合することによる修正 当該変更により、年により調査対象経営体の経営状況等が変更しても調査項目を適切に把握することが可能となる</p> <p>②記入に当たり参照する資料を追加するなど、【記入上の留意事項】の記載内容を変更</p> <p>③指定品目について、報告者の記入負担軽減を図るため把握方法を変更（該当品目を作付ける全農家の品目別作付面積・販売金額を把握）することから、指定品目名欄を削除</p> <p>④通信欄を現行の【8】から移動</p>
営農類型	指定品目名		調査区	畜体番号													
2020センサス番号	郡市町村	旧市町村	農業事業														
...													

変更案

変更前

変更点及び理由

【はじめに】

調査に御協力いただきまして、ありがとうございます。

本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっているため、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので、該当する科目の記入欄へ転記してください。
- 営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。
- 営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

①調査事項の変更に伴う修正

① 1 調査票の構成

区 分	説 明	回答対象者	ページ
【1】現況	農業従事者の状況や青色申告の申請状況、経営耕地面積など	全ての方に お答えいただく項目です	3
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況		4、5
【3】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況		5
【4】貸借対照表	資産や負債の状況	青色申告を行っている方 又は、年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方にお答えいただく項目です	6、7
【5】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況	全ての方に お答えいただく項目です	8
【6】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況		8、9
【7】生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入の状況		10～15
【8】農作業受託収入	農作業受託収入の状況	全ての方に お答えいただく項目です	16
【9】制度受取金・積立金等	制度受取金等に係る状況		16、17

①

1 調査票の構成

区 分	説 明	対応ページ
【1】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください	3
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください	4、5
【3】貸借対照表	資産や負債の状況について転記又は記入してください	6、7
【4】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください	8
【5】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください	8
【6】主要農業固定資産の状況	農機固定資産の保有状況について記入してください	9
【7】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください	9
【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産概況と販売収入、また農作業受託収入について記入してください	10～13
【9】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください	14、15
【10】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください	16
【11】指定品目に係る労働の概要	指定品目がある方のみ記入してください	17
【12】農業生産関連事業収支	農業生産関連事業を営んでいる方のみ記入してください	18

2 「【3】貸借対照表」の転記に際しての留意点

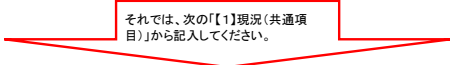
「【3】貸借対照表」（6ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を別様式（7ページ）に記入してください。

②調査項目の整理等に伴い、従前設けていた詳細調査票（基本項目と詳細項目の報告を求める調査票）と基本調査票（基本項目のみの報告を求める調査票）の2種類の調査票を1つに統合することによる修正

2 【4】貸借対照表の転記に際しての留意点

「【4】貸借対照表」（6ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。

一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を7ページに記入してください。

変更案	変更前	変更点及び理由														
	<p>3 指定品目がある場合 畑作・露地野菜作・施設野菜作・果樹作・施設花き作経営においては、部門（品目）の経営実態を明らかにするために特定の品目を指定する場合があります。 本調査の担当から、指定品目があると説明があった場合、次の（1）～（4）に留意してください。</p> <p>(1) 損益計算書 「【2】損益計算書」（4、5ページ）の農産物の棚卸高、経費の一部項目、経費合計に、それぞれの勘定科目に占める指定品目の金額を割合で記入してください。</p> <p>(2) 指定品目の作付延べ面積、生産量、販売金額 「【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入」（10～13ページ）に、指定品目の作付延べ面積、生産量及び販売金額をそれぞれ記入してください。</p> <p>(3) 指定品目の制度受取金・積立金等 「【9】制度受取金・積立金等」（14、15ページ）に、指定品目の制度受取金、制度積立金の金額又は各合計に占める指定品目の金額を、割合で記入してください。</p> <p>(4) 労働の概要 「【11】指定品目に係る労働の概要」（17ページ）に、男女別の労働時間のほか、作業別労働時間を記入してください。</p> <p>4 農業生産関連事業がある場合 農業に関連した事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストラン等）を行っている場合には、「【12】農業生産関連事業取次」（18ページ）に記入してください。</p> <p>《農業生産関連事業とは》 農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。 ただし、これらの事業活動が経営を別として営まれている場合には、記入する必要はありません。</p> <table border="1" data-bbox="1077 746 1641 1050"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農 産 加 工</td> <td>・自家で生産した原材料を用いた農産加工品を、自家で販売している事業をいいます。 なお、自家で加工を行うものであっても最終的な商品として販売しない物（荒米、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。</td> </tr> <tr> <td>観 光 農 園</td> <td>・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。</td> </tr> <tr> <td>貸 し 農 園</td> <td>・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。</td> </tr> <tr> <td>農 家 民 宿</td> <td>・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。</td> </tr> <tr> <td>農 家 レ ス ト ラ ン</td> <td>・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>・上記以外の農業生産関連事業をいいます（例：耕地を利用した太陽光発電）。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">  それでは、次の「【1】現況（共通項目）」から記入してください。 </p>	区 分	説 明	農 産 加 工	・自家で生産した原材料を用いた農産加工品を、自家で販売している事業をいいます。 なお、自家で加工を行うものであっても最終的な商品として販売しない物（荒米、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。	観 光 農 園	・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。	貸 し 農 園	・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。	農 家 民 宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。	農 家 レ ス ト ラ ン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。	そ の 他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます（例：耕地を利用した太陽光発電）。	<p>指定品目の把握方法を変更（該当品目を作付ける全農家の品目別作付面積・販売金額を把握）及び農業生産関連事業の把握を取りやめに伴い当該事項に係る説明を削除</p>
区 分	説 明															
農 産 加 工	・自家で生産した原材料を用いた農産加工品を、自家で販売している事業をいいます。 なお、自家で加工を行うものであっても最終的な商品として販売しない物（荒米、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。															
観 光 農 園	・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。															
貸 し 農 園	・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。															
農 家 民 宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。															
農 家 レ ス ト ラ ン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。															
そ の 他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます（例：耕地を利用した太陽光発電）。															

変更案

【1】現況 (全ての方にお答えいただく項目です。)

1-1 現況についてお伺いします。

①	経営主の年齢を記入してください。 (令和〇年12月31日時点)		歳
②	認定農業者がいますか。	はい	いいえ
③	経営主を含む家族のうち、年間60日(480時間)以上自営農業に従事している65歳未満の方がいますか。	はい	いいえ
④	世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の所得(年金等は含みません。)のどちらが多いですか。	自営農業	自営農業以外
⑤	青色申告決算書(農業所得用)を利用していますか。	はい	いいえ

(注) ③の従事した日数については、1日を8時間として換算してください。

④ 1-2 期末(12月31日)時点の土地の状況についてお伺いします。

経営している田~採草放牧地がありますか。

⑤ はい → 本年欄に記入してください。 いいえ → 【2】へお進みください。

土地の状況を記入してください。貸している面積は含みません。

区分	前年		本年	
	経営面積(a)	うち借入地(a)	経営面積	うち借入地
田	⑦		ha a	ha a
畑 (樹園地、牧草地を除く。)				
樹園地 (茶の植栽面積を含む。)				
牧草地				
採草放牧地				

・牧草地とは、専ら牧草の栽培を行う耕地をいいます。
・採草放牧地とは、自生する野草を飼料用や肥料用に採草したり、放牧に利用する土地をいいます。

変更前

【1】現況 (共通項目)

青色申告を行っている	はい	いいえ	
認定農業者がいる	はい	いいえ	
② 農業研修生の受け入れがある	はい	いいえ	「はい」の方は、右の設問にも記入してください。
経営主	性別	男	女
	年齢		
期末(12月31日)時点			
③ 直接販売を行っている	はい	いいえ	「はい」の方 → 12ページ「3 直接販売」の記入をお願いします。
農業生産関連事業を行っている	はい	いいえ	「はい」の方 → 18ページ「12 農業生産関連事業収支」の記入をお願いします。

農業研修生	人数(人)
外国人技能実習生	
日本人研修生	

④ 【7】土地面積

期末(12月31日)時点の土地の状況を記入してください。

区分	説明	経営面積(a)	
		ha	a
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積	ha	a
畑(普通畑)	畑(樹園地、牧草地を除く)全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

⑥

区分	説明	面積(a)
貸付地(耕地)	他の経営体に貸し付けた耕地の面積(所有地分のみ)	ha a

変更点及び理由

①時系列比較ができるよう、主業、副業の集計を可能とするための判定項目を追加

②変更後の【6】-4へ移動

③直接販売、農業生産関連事業について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

なお、直接販売、農業生産関連事業を行っている経営体の状況については農林業センサス、農業生産関連事業の状況については6次産業化総合調査により把握可能

④土地の状況について現行の【7】から移動

⑤報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、経営している土地の有無を確認する設問を追加

⑥貸付地面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ

なお、貸付地面積は農林業センサスにより把握可能

⑦報告者の誤記入、記入漏れを防ぐため、前年値欄を設ける(以下【9】まで同じ)

変更案

変更前

変更点及び理由

【2】損益計算書（全ての方にお答えいただく項目です。）

農業の収入、経費などについてお伺いします。

① 青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。
はい → 2-2へお進みください。 いいえ → 本年欄に記入してください。

2-1 青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

科目	青色申告決算書No	収支内訳書No	前年		本年		
			金額(円)		金額(円)		
収入	販売金額	①					
	家事消費金額・事業消費金額	②					
	雑収入	③					
	小計	④					
	農産物の棚卸高	期首	⑤				
		期末	⑥				
	収入計	⑦					
	経費	租税公課	⑧				
		種苗費	⑨				
		素畜費	⑩				
肥料費		⑪					
飼料費		⑫					
農具費		⑬					
農業費・衛生費		⑭					
諸材料費		⑮					
修繕費		⑯					
動力光熱費		⑰					
作業用衣料費		⑱					
農業共済掛金		⑲					
減価償却費		⑳					
荷造運賃手数料		㉑					
雇人費		㉒					
利子割引料		㉓					
地代・賃借料		㉔					
土地改良費		㉕					
雑費		㉖					
小計		㉗					
農産物以外の棚卸高	期首	㉘					
	期末	㉙					
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	㉚						
計	㉛						

(注) 飼料費の計上がある場合は、2-2も必ず回答してください。

(任意科目欄)
※科目が一致しない場合、決算書に記載の科目名を記入いただき、金額を記入してください。

【2】損益計算書

1 農業収支について、青色申告決算書（農業所得用）などを参照し、記入してください（収支内訳書（農業所得用）は、該当する科目の記入欄へ記入してください。）。また、指定品目がある場合は、それぞれの科目に占める指定品目の割合を記入してください。

科目	青色申告決算書No	収支内訳書No	説明	金額(円)	うち指定品目の割合(%)	
収入	販売金額	①	農産物の販売額			
	家事消費金額・事業消費金額	②	家計で消費した金額、農業以外の事業で消費した金額			
	雑収入	③	作業受託、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取共済金			
	小計	④	販売金額、家事消費・事業消費金額、雑収入の合計			
	農産物の棚卸高	期首	⑤	農産物の期首棚卸高		
		期末	⑥	農産物の期末棚卸高（年内に精算され、精算できていない生産物を詳記）		
	収入計	⑦	収入の合計（④-⑤+⑥）			
経費	租税公課	⑧	農業に係る固定資産税・印紙税、組合・部会費、支払消費税			
	種苗費	⑨	種子、苗の購入費			
	素畜費	⑩	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、登録料			
	肥料費	⑪	肥料の購入費			
	飼料費	⑫	飼料の購入費			
	農具費	⑬	取得価額が10万円未満の農業機械、農具等			
	農業費・衛生費	⑭	農薬・家畜薬品等の購入費、共同防除の負担金			
	諸材料費	⑮	生産に要したビニール、縄、おがくず等の購入費			
	修繕費	⑯	農業機械、車両、建物等の修理費			
	動力光熱費	⑰	水道料、電気料、燃油代金			

※ 飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金を除いていますか。

配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。

① 報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに決算書の提供を確認する欄を追加

② 報告者の記入負担軽減を図るため、指定品目について、把握方法を変更（該当品目を作付ける全農家の品目別作付面積・販売金額を把握）することから、指定品目に係る割合欄を削除

③ 小計及び収入計については計算可能なため削除

④【9】により把握することを明記

⑤ 報告者の記入負担軽減を図るため、決算書から転記しやすいよう国税庁の決算書様式と同様に任意科目欄を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

2-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。
 はい → 本年金額欄に控除した補てん金額を記入してください。
 いいえ → 2-3へお進みください。

前年金額 (円)	本年金額 (円)			
	億	万	千	百

この欄には、対象となる指定品目名が、それぞれの科目に占める割合を記入してください。

指定品目名

科目	青色申告決算書 No	収支内訳書 No	説明	金額 (円)	うち指定品目の収支 (%)
④ 経費					
④ ① 作業用衣料費	⑮	⑳	農作業に必要な衣服・靴・帽子等の購入費		
④ ② 農業共済掛金	⑯	㉑	共済掛金、農用車両の保険料、共済掛金		
④ ③ 減価償却費	⑰	㉒	農用建物、機械具、農具、生物等固定資産の減価償却費		
④ ④ 荷造運賃手数料	⑱	㉓	販運に要したダンボール等の資材代金、運賃、包装料等		
④ ⑤ 雇人費	㉒	㉔	雇労費及び謝礼金、交通費		
④ ⑥ 利子割引料	㉓	㉕	借入金利息、手形割引料、貸付保証料		
④ ⑦ 地代・賃借料	㉔	㉖	農地代、農用建物代金、農具等の使用代金、リース金等、共同農業者の料		
④ ⑧ 土地改良費	㉕	㉗	古土、排水施設等の維持管理費		
④ ⑨ 雑費	㉖	㉘	上記以外の事業費等一般管理費を含む。		
③ ⑩ 小計	⑰	—	上記租税公課・雑費までの経費の合計		
③ ⑪ 農産物以外の棚卸高	⑱	㉙	農産物以外の期首棚卸高		
③ ⑫ 農産物以外の棚卸高	⑲	㉚	農産物以外の期末棚卸高		
③ ⑬ 経費合計	⑳	㉛	⑩+⑪+⑫+⑬		

② 同上

④ 同上

③ 同上

2-3 専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

科目	青色申告決算書 No	収支内訳書 No	前年		本年	
			金額 (円)		金額 (円)	
			億	万	千	百
専従者給与	⑭	⑳				

2 貸倒引当金及び専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）の損益計算書の繰入額等欄などから転記してください。

科目	青色申告決算書 No	収支内訳書 No	説明	金額 (円)
⑦ 貸倒引当金	㉜-㉝	㉞	(繰入額-繰戻額)の金額	
⑦ 専従者給与	⑭	⑳	専従者給与(繰入額)の金額	

⑦ 報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用等に影響がないことから把握を取りやめ

変更案		変更前		変更点及び理由																																																																																																																																																	
<p>① 【3】事業収支の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）</p> <p>事業収入や山林収入等についてお伺いします。</p> <p>② 確定申告書第一表、第三表の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。</p> <p>はい → 【4】へお進みください。 いいえ → 本年欄に記入してください。</p> <p>3-1 事業収入、事業所得についてお伺いします。 申告書第一表を参照して、次の科目の金額を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科目</th> <th rowspan="2">申告書記号</th> <th colspan="2">前年</th> <th colspan="2">本年</th> </tr> <tr> <th colspan="2">金額(円)</th> <th colspan="2">金額(円)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>億</td> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> <td>二</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収入金額</td> <td>営業等 ⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業 ①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不動産 ②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">所得金額</td> <td>営業等 ①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業 ②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不動産 ③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 1年間のうち、山林の所得がある場合には、申告書第三表（分離課税用）を参照して、次の科目の金額を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科目</th> <th rowspan="2">申告書記号</th> <th colspan="2">前年</th> <th colspan="2">本年</th> </tr> <tr> <th colspan="2">金額(円)</th> <th colspan="2">金額(円)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>億</td> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> <td>二</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入金額（山林）</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所得金額（山林）</td> <td>⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>④</p>		科目	申告書記号	前年		本年		金額(円)		金額(円)				億	万	千	百	十	二	収入金額	営業等 ⑦							農業 ①							不動産 ②							所得金額	営業等 ①							農業 ②							不動産 ③							科目	申告書記号	前年		本年		金額(円)		金額(円)				億	万	千	百	十	二	収入金額（山林）	⑦							所得金額（山林）	⑧							<p>① 【4】事業収支の概要</p> <p>1 事業収支について、所得税の確定申告書Bを参照して、次の科目の金額を転記してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>申告書記号</th> <th>説明</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>⑦</td> <td>専業、兼業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>①</td> <td>農業収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>②</td> <td>不動産収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 収入金額計</td> <td>—</td> <td>⑦+①+②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所得</td> <td>①</td> <td>農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所得</td> <td>②</td> <td>農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所得</td> <td>③</td> <td>不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 所得金額計</td> <td>—</td> <td>①+②+③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 経費</td> <td>—</td> <td>収入金額計(⑦+①+②) - 所得金額計(①+②+③)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 山林の所得がある場合には、申告書（分離課税用）第三表を参照して、次の科目の金額を転記してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>説明</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入金額（山林）</td> <td>山林を売却、譲渡、収穫した際に生じた収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所得金額（山林）</td> <td>山林収入から収穫などに掛かった費用を差し引いた金額</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		科目	申告書記号	説明	金額(円)	収入	⑦	専業、兼業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入		収入	①	農業収入		収入	②	不動産収入		③ 収入金額計	—	⑦+①+②		所得	①	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額		所得	②	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額		所得	③	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額		③ 所得金額計	—	①+②+③		③ 経費	—	収入金額計(⑦+①+②) - 所得金額計(①+②+③)		科目	説明	金額(円)	収入金額（山林）	山林を売却、譲渡、収穫した際に生じた収入		所得金額（山林）	山林収入から収穫などに掛かった費用を差し引いた金額		<p>① 番号変更</p> <p>② 報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに確定申告書類の提供を確認する欄を追加</p> <p>③ 収入金額計、所得金額計及び経費については計算可能なため削除</p> <p>④ 申告書から転記しやすいよう申告書の記号欄を追加(調査年の申告書記号の変更があった場合は追加した記号欄以外も含め修正する)</p>
科目	申告書記号			前年		本年																																																																																																																																															
		金額(円)		金額(円)																																																																																																																																																	
		億	万	千	百	十	二																																																																																																																																														
収入金額	営業等 ⑦																																																																																																																																																				
	農業 ①																																																																																																																																																				
	不動産 ②																																																																																																																																																				
所得金額	営業等 ①																																																																																																																																																				
	農業 ②																																																																																																																																																				
	不動産 ③																																																																																																																																																				
科目	申告書記号	前年		本年																																																																																																																																																	
		金額(円)		金額(円)																																																																																																																																																	
		億	万	千	百	十	二																																																																																																																																														
収入金額（山林）	⑦																																																																																																																																																				
所得金額（山林）	⑧																																																																																																																																																				
科目	申告書記号	説明	金額(円)																																																																																																																																																		
収入	⑦	専業、兼業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入																																																																																																																																																			
収入	①	農業収入																																																																																																																																																			
収入	②	不動産収入																																																																																																																																																			
③ 収入金額計	—	⑦+①+②																																																																																																																																																			
所得	①	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額																																																																																																																																																			
所得	②	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額																																																																																																																																																			
所得	③	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額																																																																																																																																																			
③ 所得金額計	—	①+②+③																																																																																																																																																			
③ 経費	—	収入金額計(⑦+①+②) - 所得金額計(①+②+③)																																																																																																																																																			
科目	説明	金額(円)																																																																																																																																																			
収入金額（山林）	山林を売却、譲渡、収穫した際に生じた収入																																																																																																																																																				
所得金額（山林）	山林収入から収穫などに掛かった費用を差し引いた金額																																																																																																																																																				

変 更 案		変 更 前		変更点及び理由																																																																																																		
①	<p>【4】貸借対照表（該当する方のみお答えいただく項目です。）</p> <p>次のいずれかに該当する方は、貸借対照表の期末（12月31日）時点の各科目の金額を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青色申告決算書（農業所得用）を利用している方（【1】～⑤が「はい」の方） ・年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方（【1】～③が「はい」の方） <p>（青色申告決算書（農業所得用）を利用していない方を含みます。）</p>	①	<p>【3】貸借対照表</p> <p>※ 税務申告に際し、貸借対照表を作成している場合はこのページ（6ページ）の表を、作成していない場合は右のページ（7ページ）の表を使用し、各勘定科目の金額を転記又は記入してください。</p>	① 番号変更																																																																																																		
②	<p>4-1 貸借対照表を作成していますか。</p> <p>はい → 4-2へお進みください。 いいえ → 次の頁4-5、4-6へお進みください。</p>	③	<p>1 貸借対照表を作成している場合</p> <p>資産と負債の状況について、貸借対照表から期末（12月31日）時点の金額を転記してください。記載の勘定科目以外の科目を設けている場合は、その科目及び金額を任意勘定科目欄に転記してください。</p>	② 貸借対照表の把握対象を明確化するため、説明を追加																																																																																																		
③	<p>4-2 貸借対照表の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。</p> <p>資料を提供していただけますか。</p> <p>はい → 4-4負債・資本の借入金<small>の短期・長期の内訳</small>をご記入の上、8頁の【5】へお進みください。</p> <p>いいえ → 4-3、4-4の本年欄に記入してください。</p>																																																																																																					
④	<p>4-3 資産</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科 目</th> <th>前 年</th> <th>本 年</th> </tr> <tr> <th>期末(12月31日) (円)</th> <th>期末(12月31日) (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>現 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>普通預金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>定期預金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他預金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>売 掛 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>未 収 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>有 価 証 券</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>農 産 物 等</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>未 収 穫 農 産 物 等</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>未 成 熟 の 果 樹 育 成 中 の 牛 馬 等</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>肥 料 そ の 他 の 貯 蔵 品</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>前 払 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>貸 付 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>建 物 ・ 構 築 物</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>農 機 具 等</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果 樹 ・ 牛 馬 等</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>土 地</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>土 地 改 良 事 業 受 益 者 負 担 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>事 業 主 貸</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合 計</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	科 目	前 年	本 年	期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)	現 金			普通預金			定期預金			その他預金			売 掛 金			未 収 金			有 価 証 券			農 産 物 等			未 収 穫 農 産 物 等			未 成 熟 の 果 樹 育 成 中 の 牛 馬 等			肥 料 そ の 他 の 貯 蔵 品			前 払 金			貸 付 金			建 物 ・ 構 築 物			農 機 具 等			果 樹 ・ 牛 馬 等			土 地			土 地 改 良 事 業 受 益 者 負 担 金			事 業 主 貸			合 計			<p>4-4 負債・資本</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科 目</th> <th>前 年</th> <th>本 年</th> </tr> <tr> <th>期末(12月31日) (円)</th> <th>期末(12月31日) (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>買 掛 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>借 入 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>未 払 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>前 受 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>預 り 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>貸 倒 引 当 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>事 業 主 借</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>元 入 金</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合 計</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	科 目	前 年	本 年	期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)	買 掛 金			借 入 金			未 払 金			前 受 金			預 り 金			貸 倒 引 当 金			事 業 主 借			元 入 金			合 計					③ 貸借対照表の作成の有無により調査内容が変わることから、説明を変更
科 目	前 年		本 年																																																																																																			
	期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)																																																																																																				
現 金																																																																																																						
普通預金																																																																																																						
定期預金																																																																																																						
その他預金																																																																																																						
売 掛 金																																																																																																						
未 収 金																																																																																																						
有 価 証 券																																																																																																						
農 産 物 等																																																																																																						
未 収 穫 農 産 物 等																																																																																																						
未 成 熟 の 果 樹 育 成 中 の 牛 馬 等																																																																																																						
肥 料 そ の 他 の 貯 蔵 品																																																																																																						
前 払 金																																																																																																						
貸 付 金																																																																																																						
建 物 ・ 構 築 物																																																																																																						
農 機 具 等																																																																																																						
果 樹 ・ 牛 馬 等																																																																																																						
土 地																																																																																																						
土 地 改 良 事 業 受 益 者 負 担 金																																																																																																						
事 業 主 貸																																																																																																						
合 計																																																																																																						
科 目	前 年	本 年																																																																																																				
	期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)																																																																																																				
買 掛 金																																																																																																						
借 入 金																																																																																																						
未 払 金																																																																																																						
前 受 金																																																																																																						
預 り 金																																																																																																						
貸 倒 引 当 金																																																																																																						
事 業 主 借																																																																																																						
元 入 金																																																																																																						
合 計																																																																																																						
	<p>※ 任意科目欄：科目が一致しない場合、科目名を記入いただき金額を記入してください。 8頁の【5】へお進みください。</p>	<p>(1) 資産</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>説 明</th> <th>期 末 (12月31日) (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>現 金</td><td>農業経営の現金</td><td></td></tr> <tr><td>普通預金</td><td>農業経営の預金</td><td></td></tr> <tr><td>定期預金</td><td>農業経営の定期預金</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>預立金等</td><td></td></tr> <tr><td>売掛金</td><td>農産物販売金額の未収金</td><td></td></tr> <tr><td>未収金</td><td>農産物販売金額以外の未収金</td><td></td></tr> <tr><td>有価証券</td><td>農業経営者の有価証券</td><td></td></tr> <tr><td>農産物等</td><td>農産物の購入品</td><td></td></tr> <tr><td>未収穫農産物等</td><td>農産物の購入品</td><td></td></tr> <tr><td>肥料その他貯蔵品</td><td>肥料等の貯蔵品</td><td></td></tr> <tr><td>前払金</td><td>費用、資産購入等の代金の前払金</td><td></td></tr> <tr><td>貸付金</td><td>農業経営の貸付金</td><td></td></tr> <tr><td>建物・構築物</td><td>農業経営用建物・構築物の未償却残高</td><td></td></tr> <tr><td>農機具等</td><td>農業用機械等の未償却残高</td><td></td></tr> <tr><td>果樹・牛馬等</td><td>果樹と牛馬の未償却残高</td><td></td></tr> <tr><td>土地</td><td>農業経営用の土地等の固定資産評価額</td><td></td></tr> <tr><td>土地改良事業受益者負担金</td><td>土地改良事業による受益者負担金</td><td></td></tr> <tr><td>事業主借</td><td>事業主借</td><td></td></tr> <tr><td>元入金</td><td>青色申告特別控除前の所得金額</td><td></td></tr> <tr><td>合 計</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	科 目	説 明	期 末 (12月31日) (円)	現 金	農業経営の現金		普通預金	農業経営の預金		定期預金	農業経営の定期預金		その他	預立金等		売掛金	農産物販売金額の未収金		未収金	農産物販売金額以外の未収金		有価証券	農業経営者の有価証券		農産物等	農産物の購入品		未収穫農産物等	農産物の購入品		肥料その他貯蔵品	肥料等の貯蔵品		前払金	費用、資産購入等の代金の前払金		貸付金	農業経営の貸付金		建物・構築物	農業経営用建物・構築物の未償却残高		農機具等	農業用機械等の未償却残高		果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高		土地	農業経営用の土地等の固定資産評価額		土地改良事業受益者負担金	土地改良事業による受益者負担金		事業主借	事業主借		元入金	青色申告特別控除前の所得金額		合 計			<p>(2) 負債・資本</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>説 明</th> <th>期 末 (12月31日) (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>買掛金</td><td>原材料等の購入代金の未払金</td><td></td></tr> <tr><td>借入金</td><td>返済期限が1年以内の借入金</td><td></td></tr> <tr><td>借入金</td><td>返済期限が1年を越える借入金</td><td></td></tr> <tr><td>未払金</td><td>買掛金以外の未払金</td><td></td></tr> <tr><td>前受金</td><td>農産物の販売を前倒にした手付金等</td><td></td></tr> <tr><td>預り金</td><td>借入金以外の未償却残高の預り金等の借入金</td><td></td></tr> <tr><td>貸倒引当金</td><td>貸倒引当金</td><td></td></tr> <tr><td>事業主借</td><td>事業主借</td><td></td></tr> <tr><td>元入金</td><td>青色申告特別控除前の所得金額</td><td></td></tr> <tr><td>合 計</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	科 目	説 明	期 末 (12月31日) (円)	買掛金	原材料等の購入代金の未払金		借入金	返済期限が1年以内の借入金		借入金	返済期限が1年を越える借入金		未払金	買掛金以外の未払金		前受金	農産物の販売を前倒にした手付金等		預り金	借入金以外の未償却残高の預り金等の借入金		貸倒引当金	貸倒引当金		事業主借	事業主借		元入金	青色申告特別控除前の所得金額		合 計			④ 報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに貸借対照表の提供を確認する欄を追加		
科 目	説 明	期 末 (12月31日) (円)																																																																																																				
現 金	農業経営の現金																																																																																																					
普通預金	農業経営の預金																																																																																																					
定期預金	農業経営の定期預金																																																																																																					
その他	預立金等																																																																																																					
売掛金	農産物販売金額の未収金																																																																																																					
未収金	農産物販売金額以外の未収金																																																																																																					
有価証券	農業経営者の有価証券																																																																																																					
農産物等	農産物の購入品																																																																																																					
未収穫農産物等	農産物の購入品																																																																																																					
肥料その他貯蔵品	肥料等の貯蔵品																																																																																																					
前払金	費用、資産購入等の代金の前払金																																																																																																					
貸付金	農業経営の貸付金																																																																																																					
建物・構築物	農業経営用建物・構築物の未償却残高																																																																																																					
農機具等	農業用機械等の未償却残高																																																																																																					
果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高																																																																																																					
土地	農業経営用の土地等の固定資産評価額																																																																																																					
土地改良事業受益者負担金	土地改良事業による受益者負担金																																																																																																					
事業主借	事業主借																																																																																																					
元入金	青色申告特別控除前の所得金額																																																																																																					
合 計																																																																																																						
科 目	説 明	期 末 (12月31日) (円)																																																																																																				
買掛金	原材料等の購入代金の未払金																																																																																																					
借入金	返済期限が1年以内の借入金																																																																																																					
借入金	返済期限が1年を越える借入金																																																																																																					
未払金	買掛金以外の未払金																																																																																																					
前受金	農産物の販売を前倒にした手付金等																																																																																																					
預り金	借入金以外の未償却残高の預り金等の借入金																																																																																																					
貸倒引当金	貸倒引当金																																																																																																					
事業主借	事業主借																																																																																																					
元入金	青色申告特別控除前の所得金額																																																																																																					
合 計																																																																																																						

変更案

⑤

→ 貸借対照表を作成していない方にお伺いします。
 期末（12月31日）時点の各科目の金額を記入してください。

4-5 資産に該当する勘定科目

科目	説明	前年		本年					
		期末(12月31日) (円)		期末(12月31日) (円)					
				億	万	千	百	十	二
現金	農業経営の現金								
預貯金等	農業経営の普通預金、定期預金、積立金、農業経営所有の有価証券、前払金、貸付金								
売掛未収入金	売掛金、未収金								
建物・構築物	農業経営用建物・構築物等の未償却残高								
農機具等	農業用機械等の未償却残高								
果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高								
土地 (貸付地以外)	農業経営用のうち等の固定資産評価額 (土地改良事業受益者負担を含む。)								
貸付地	貸付地の固定資産評価額								

4-6 負債に該当する勘定科目

科目	説明	前年		本年					
		期末(12月31日) (円)		期末(12月31日) (円)					
				億	万	千	百	十	二
流動負債	買掛金、短期借入金、未払金、前受金、預り金								
うち 買掛金	原材料等の購入代金の未払金								
うち 短期借入金	経営のために銀行やJFなどからの借入金のうち返済期限が1年以内に到来する借入金								
長期借入金	経営のために銀行やJFなどからの借入金のうち返済期限が1年を超える借入金								

変更前

⑤

2 貸借対照表を作成していない場合(貸借対照表相当の勘定科目の把握)

農業経営における資産と負債の状況について、期末（12月31日）時点の金額を記入してください。必須調査項目を合算している場合は、相当額に按分して記入してください。
 また、②及び③へ記入できる場合は②及び③の秩序、④～⑩に記入できる場合は④～⑩への記入は必要ありません。

(1) 資産に該当する勘定科目 (※①、②、③、④～⑦は、必須調査項目です。)

科目	説明	期末(12月31日) (円)	
		億	万
① 現金	農業経営の現金を記入してください。		
② 預貯金等	本欄【預貯金欄の合算】②が記入できる場合は、②-1～②-5の記入の必要はありません。		
普通預金②-1	農業経営の普通預金		
定期預金②-2	農業経営の定期預金		
その他の預金②-3	積立金等		
有価証券②-4	農業経営者の有価証券		
前払金②-5	費用、資産購入等の代金の前払金		
貸付金②-6	農業経営の貸付金		
③ 売掛未収入金	本欄【売掛未収入金の合算】③が記入できる場合は、③-1、③-2の記入の必要はありません。		
売掛金③-1	農産物の販売金額の未収金		
未収金③-2	農産物の販売金額以外の未収金		
④ 建物・構築物	農業経営用建物・構築物等の未償却残高		
⑤ 農機具等	農業用機械等の未償却残高		
⑥ 果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高		
⑦ 土地 (土地以外)	⑦-1 農業経営用の農地等の固定資産評価額【土地改良事業受益者負担を含む。】		
⑦-2 貸付地の固定資産評価額			
資産合計	①+②+③+④+⑤+⑥+⑦		

(2) 負債に該当する勘定科目 (※⑧～⑩、⑪は、必須調査項目です。)

科目	説明	期末(12月31日) (円)	
		億	万
⑧ 流動負債			
⑨ 買掛金	原材料等の購入代金の未払金		
⑩ 短期借入金	経営のために銀行やJFなどからの借入金のうち返済期限が1年以内に到来する借入金		
⑪ 未払金	買掛金以外の未払金		
⑫ 前受金	生産物の販売を前売にした予約金等		
⑬ 預り金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の繰越		
⑭ 長期借入金	経営のために銀行やJFなどからの借入金のうち返済期限が1年を超える借入金		
負債合計	⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭		

変更点及び理由

⑤報告者の記入負担軽減を図るため、変更前の必須項目のみに変更

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																					
<p style="background-color: #d4edda; padding: 5px;">【5】投資と資金調達状況（該当する方のみお答えいただく項目です。）</p> <p>① 次のいずれかに該当する方は、1年間の設備投資や借入れについて、記入してください。 ・青色申告決算書（農業所得用）を利用している方（【1】-⑤が「はい」の方） ・年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方（【1】-③が「はい」の方） （青色申告決算書（農業所得用）を利用していない方を含みます。）</p> <p>② 事業経営のため、1年間に設備投資や借入れがありましたか。 <input type="checkbox"/> はい → 本年欄に記入してください。 <input type="checkbox"/> いいえ → 【6】へお進みください。</p> <p>5-1 事業経営のため1年間に設備投資したそれぞれの資産について、取得額の合計を記入してください。 また、記入した金額のうち農業の占める割合（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="170 432 896 622"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">説明</th> <th colspan="2">前年</th> <th colspan="2">本年</th> </tr> <tr> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>建物・構築物の購入金額</td> <td></td> <td>%</td> <td>億 万 千 百 十 一</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>農機具等</td> <td>自動車・農機具の購入金額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>果樹・牛馬等</td> <td>植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>土地の購入金額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 事業経営のため1年間に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。 また、記入した金額のうち農業の占める割合（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="170 703 896 834"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">説明</th> <th colspan="2">前年</th> <th colspan="2">本年</th> </tr> <tr> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期借入金</td> <td>返済期限が1年以内の借入金</td> <td></td> <td>%</td> <td>億 万 千 百 十 一</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>返済期限が1年を超える借入金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	説明	前年		本年		金額(円)	農業割合	金額(円)	農業割合	建物・構築物	建物・構築物の購入金額		%	億 万 千 百 十 一	%	農機具等	自動車・農機具の購入金額					果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）					土地	土地の購入金額					区分	説明	前年		本年		金額(円)	農業割合	金額(円)	農業割合	短期借入金	返済期限が1年以内の借入金		%	億 万 千 百 十 一	%	長期借入金	返済期限が1年を超える借入金					<p>【5】投資と資金調達状況</p> <p>1 経営する事業への投資の状況について、次の資産科目それぞれの1年間（決算期間）の購入金額の合計を記入してください。 また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="987 288 1545 462"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>説明</th> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">投資</td> <td>土地</td> <td>土地の購入金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>建物・構築物の購入金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動車・農機具</td> <td>自動車・農機具の購入金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植物・牛馬</td> <td>植物・牛馬の購入金額（実産形成のものに限る。）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 事業経営のため1年間（決算期間）に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。 また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="987 560 1545 667"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>説明</th> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期借入金</td> <td>返済期限が1年以内の借入金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>返済期限が1年を超える借入金</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目	説明	金額(円)	農業割合	投資	土地	土地の購入金額		建物・構築物	建物・構築物の購入金額		自動車・農機具	自動車・農機具の購入金額		植物・牛馬	植物・牛馬の購入金額（実産形成のものに限る。）		科目	説明	金額(円)	農業割合	短期借入金	返済期限が1年以内の借入金			長期借入金	返済期限が1年を超える借入金			<p>①投資と資金調達の状況に係る把握対象を明確化するため、説明を追加</p> <p>②報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、投資、借入の有無を確認する設問を追加</p>
区分			説明	前年		本年																																																																																	
	金額(円)	農業割合		金額(円)	農業割合																																																																																		
建物・構築物	建物・構築物の購入金額		%	億 万 千 百 十 一	%																																																																																		
農機具等	自動車・農機具の購入金額																																																																																						
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）																																																																																						
土地	土地の購入金額																																																																																						
区分	説明	前年		本年																																																																																			
		金額(円)	農業割合	金額(円)	農業割合																																																																																		
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金		%	億 万 千 百 十 一	%																																																																																		
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金																																																																																						
科目	説明	金額(円)	農業割合																																																																																				
投資	土地	土地の購入金額																																																																																					
	建物・構築物	建物・構築物の購入金額																																																																																					
	自動車・農機具	自動車・農機具の購入金額																																																																																					
	植物・牛馬	植物・牛馬の購入金額（実産形成のものに限る。）																																																																																					
科目	説明	金額(円)	農業割合																																																																																				
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金																																																																																						
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金																																																																																						
<p>(削除)</p>	<p>【6】主要農業固定資産の状況</p> <p>期末（12月31日）時点で所有する資産（農業に使用する資産）について、建物の面積を記入してください。</p> <p>建物・構築物の状況</p> <table border="1" data-bbox="999 1086 1312 1257"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納屋・倉庫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハウス（ガラス室以外）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>畜舎・鶏舎</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	面積(m ²)	納屋・倉庫		ガラス室		ハウス（ガラス室以外）		畜舎・鶏舎		<p>ガラス室及びハウスの面積については農林業センサスにより把握可能なため、また、その他の固定資産については施策上の利活用に影響がないため、それぞれ把握を取りやめ</p>																																																																											
区分	面積(m ²)																																																																																						
納屋・倉庫																																																																																							
ガラス室																																																																																							
ハウス（ガラス室以外）																																																																																							
畜舎・鶏舎																																																																																							

変更案

① 【6】労働の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）

1年間に事業に従事した家族、雇用者の人数、農業労働時間についてお伺いします。

② 以下の設問にある従事者数及び農業労働時間を整理した資料がある場合、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 10頁の【7】へお進みください。 いいえ → 本年欄に記入してください。

③ 6-1 事業（農業、農業生産関連事業、林業、不動産業、その他の事業）に従事した人数を記入してください。

区分	前年		本年	
	事業に従事した人数 (人)	事業に従事した人数 (人)	事業に従事した人数 (人)	事業に従事した人数 (人)
家族 (経営主含む)				
常用雇用者				

【6-1から6-3までの家族、雇用の区分は次のとおりです】

- ・家族：生計を一にする経営主を含む家族のうち、15歳以上の方を記入してください。
- ・常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます
- ・臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。
- ※1 常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。
- ※2 簡農ヘルパーなどの派遣労働に係る労働者及びその労働時間は含まれません。

④ 6-2 農業に従事した家族の性別、年齢及び1年間の農業労働時間について、一人ずつ記入してください。

区分	前年			本年		
	性別	年齢	年間の農業労働時間	性別	年齢	年間の農業労働時間
経営主	男 女			男 女		
家族①	男 女	歳		男 女	歳	
家族②	男 女	歳		男 女	歳	
家族③	男 女	歳		男 女	歳	
家族④	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑤	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑥	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑦	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑧	男 女	歳		男 女	歳	

- ・農業には、世帯として請け負った農作業を含みます。
- ・年間の農業労働時間は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
- (例) 平均労働時間が1日8時間、年間300日働いている場合、 $8 \times 300 = 2,400$ となるため、「2,400」と記入してください。

④ 6-3 農業に従事した雇用者の人数、農業労働時間をそれぞれ記入してください。

(1) 常用雇用者の人数を区分ごとに記入してください。

区分	前年				本年			
	男性 (人)	65歳未満 (人)	女性 (人)	65歳未満 (人)	男性 (人)	65歳未満 (人)	女性 (人)	65歳未満 (人)
常用雇用者	合計							
	うち7か月以上の雇用者							

(2) 常用雇用者の1年間の農業労働時間を区分ごとに記入してください。

区分	前年		本年	
	年間の農業労働時間 (時間)	年間の農業労働時間 (時間)	年間の農業労働時間 (時間)	年間の農業労働時間 (時間)
常用雇用者	合計			
	うち7か月以上の雇用者			

- ・農業労働時間：整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
- (例1) 「1人当たりの1日平均労働時間」×「1人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出
- (例2) 「雇用者に支払った賃金総額（損益計算書の雇入費のうち農業分）」÷「時間（日）当たり単価」により算出

変更前

① 【10】労働の概要

1年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別、労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者
臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者
※常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。

(1) 家族・常用雇用者労働時間

区分	性別	年齢	家族・雇用の別			農業労働時間 (時間)	農業受託労働時間 (時間)	農業生産関連労働時間 (時間)
			家族	常用雇用者				
				7か月未満の雇用者	7か月以上の雇用者			
経営主	男 女							
従事者①	男 女		1	2	3			
従事者②	男 女		1	2	3			
従事者③	男 女		1	2	3			
従事者④	男 女		1	2	3			
従事者⑤	男 女		1	2	3			
従事者⑥	男 女		1	2	3			
従事者⑦	男 女		1	2	3			
従事者⑧	男 女		1	2	3			
従事者⑨	男 女		1	2	3			
従事者⑩	男 女		1	2	3			
従事者⑪	男 女		1	2	3			
従事者⑫	男 女		1	2	3			
従事者⑬	男 女		1	2	3			
従事者⑭	男 女		1	2	3			
従事者⑮	男 女		1	2	3			

注：事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者をいいます。

変更点及び理由

- ①番号変更
- ②報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに資料の提供を確認する欄を追加
- ③報告者の記入負担軽減を図るため、人別の把握から、事業従事した家族、常用雇用者の人数把握へ変更
- ④報告者が記入し易いよう家族と常用雇用者の記入を分離して把握へ変更。
家族について、農業に従事した家族の農業労働時間を引き続き人別に把握。
常用雇用者について、報告者の記入負担軽減を図るとともに、農業労働者を重点的に把握するため、人別の記入から、農業に従事した常用雇用者人数を男女別、うち65歳未満、うち7か月以上に区分した人数把握へ変更。また、農業労働時間の合計、うち7か月以上雇用の農業労働時間合計の把握へ変更。
- ⑤農作業受託労働時間及び農業生産関連事業労働時間について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

変 更 案	変 更 前	変更点及び理由																																							
<p>⑥ (3) 臨時雇用者の農業に従事した人数及び1年間の農業労働時間をそれぞれ記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="168 236 607 363"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>前 年</th> <th>本 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">臨 時 雇 用 者</td> <td>農業に従事した人数 (人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>年間の農業労働時間 (時間)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦ 6-4 研修生の受け入れがあった場合、研修生的人数をそれぞれ記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="168 536 510 679"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th>前年</th> <th>本年</th> </tr> <tr> <th>人数(人)</th> <th>人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国人技能実習生</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本人研修生</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="533 555 882 647" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>・外国人技能実習生は、外国人技能実習制度に基づき雇用した実習生的人数(実人数)を記入してください。 ・日本人研修生は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生(実人数)を記入してください。</p> </div>	区 分		前 年	本 年	臨 時 雇 用 者	農業に従事した人数 (人)			年間の農業労働時間 (時間)			区 分	前年	本年	人数(人)	人数(人)	外国人技能実習生			日本人研修生			<p>(2) 臨時雇用者労働時間</p> <table border="1" data-bbox="1003 236 1435 408"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">人 数 (人)</th> <th rowspan="2">農 業 労働時間 (時間)</th> <th colspan="2">⑤</th> </tr> <tr> <th>農作業受 託 労働時間 (時間)</th> <th>農業生産 関連事業 労働時間 (時間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑥ 男</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	人 数 (人)	農 業 労働時間 (時間)	⑤		農作業受 託 労働時間 (時間)	農業生産 関連事業 労働時間 (時間)	⑥ 男					女					<p>⑤ 同上</p> <p>⑥ 臨時雇用者について、施策上の利活用に影響がないことから、報告者の記入負担軽減を図るため男女別の把握から合計の把握へ変更</p> <p>⑦ 現行の【1】から移動</p>
区 分		前 年	本 年																																						
臨 時 雇 用 者	農業に従事した人数 (人)																																								
	年間の農業労働時間 (時間)																																								
区 分	前年	本年																																							
	人数(人)	人数(人)																																							
外国人技能実習生																																									
日本人研修生																																									
区 分	人 数 (人)	農 業 労働時間 (時間)	⑤																																						
			農作業受 託 労働時間 (時間)	農業生産 関連事業 労働時間 (時間)																																					
⑥ 男																																									
女																																									

変更案

変更前

変更点及び理由

①【7】生産概況、農畜産物収入 全ての方にお答えいただく項目です。

1年間（決算期間）に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）及び販売金額についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。

なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」「生産量」欄には事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。
また、稲わら以外の副産物を販売した場合は、該当する区分の販売金額に含めてください。

② 7-1 稲、麦類等

区分	作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前年			
		作付延べ面積（茶は植栽面積）		生産量 (kg)	販売金額 (円)
		田 (a)	畑 (a)		
稲（食用）	主食用米	主食用			
	加工用米	酒造用、加工用			
	新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計			
	陸稲				
稲（飼料用）	飼料用米	自給用を含む。			
	WCS用稲	稲免耕粗飼料用稲（自給用を含む。）			
稲わら・ぬか等		稲わら・ぬか等を販売したものの			
麦類	小麦				
	二条大麦				
	六条大麦				
	はだか麦				
	その他の麦	ライ麦など			
豆類	大豆	乾燥子実（枝豆等の未成熟は野菜）			
	大豆以外	小豆、さきげ、落花生などの乾燥子実			
雑穀	そば	そば殻を含む。			
	他の雑穀	とうもろこし、あわ、ひえ、などの穀物			
いも類	かんしょ	種いも用、原材料かんしょを含む。			
	ばれいしょ	種いも用、原材料ばれいしょを含む。			
工業農作物	てんさい				
	さとうきび				
	茶	作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算			
	その他工業農作物	なたね、い草、葉たばこなど			
その他	飼料用作物	牧草、アントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計（自給用を含む。）			
	その他の作物	芝、苗、苗木、栽培きのこ類など			

③ 以下の項目の設問について、1年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 16頁の【8】へお進みください。 いいえ → 本年欄に記入してください。

7-1 稲、麦類等

区分	作付延べ面積（茶は植栽面積）	本年			
		作付延べ面積（茶は植栽面積）		生産量 (kg)	販売金額 (円)
		田 (a)	畑(普通畑) (a)		
稲（食用）	主食用米				
	加工用米				
	新規需要米等				
	陸稲				
稲（飼料用）	飼料用米				
	WCS用稲				
稲わら・ぬか等					
麦類	小麦				
	二条大麦				
	六条大麦				
	はだか麦				
	その他の麦				
豆類	大豆				
	大豆以外				
雑穀	そば				
	他の雑穀				
いも類	かんしょ				
	ばれいしょ				
工業農作物	てんさい				
	さとうきび				
	茶				
	その他工業農作物				
その他	飼料用作物				
	その他の作物				

① 農作業受託収入を【8】に分離することによる修正

② 報告者が記入しやすいよう農産物（耕種）の表を、7-1 稲、麦類等、7-2 野菜、7-3 果樹、7-4 茶・花きの4つに区分し、畜産物については、7-5として整理

③ 報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに資料の提供を確認する欄を追加

変更案

変更前

変更点及び理由

① 【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入

1年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額についてそれぞれ記入してください。
 なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む）」欄に含めてください。
 また、1年間（決算期間）の農作業受託収入について記入してください。

② 1 農産物

品 目		説 明	生産概況（事業消費含む。）		⑤ 農畜産物収入		
			作付延べ面積（a）		生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
			田	畑			
稲（食用）	水 稲	主 食 用 米	加工用米・新規需要米等以外の米				
		加 工 用 米	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）及び 備蓄米				
		陸 稲					
稲（飼料用）	飼 料 用 米	飼料用米（自給用を含む。）					
	W C S 用 稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）					
稲	わ ら ・ ぬ か 等	稲わら、ぬか等を販売したもの					
麦 類	小 麦	小 麦					
	二 条 大 麦	小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦					
	六 条 大 麦	以外の麦（えん麦、らい麦等）は、そ の他の麦の欄に記入してください。					
	は だ か 麦						
	そ の 他 の 麦						
雑 穀	そ ば	そばも含む。					
	他 の 雑 穀（そば以外）	とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物					
豆 類	大 豆	乾燥子実。生（枝豆）は野菜					
	大 豆 以 外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実					
い も 類	か ん し よ	種いも用、原料用かんしよも含む。					
	ば れ い し よ	種いも用、原料用ばれいしよも含む。					
工 芸 農 作 物	て ん さ い	寒冷地作物として中、高緯度で栽培される甘 味資源作物（ビート・トップを含む。）					
	さ と う き び	熱帯を中心に栽培される甜味資源作物					
	そ の 他 の 工 芸 農 作 物	なたね、い草、こんにやくいも、薬たばこ等					
そ の 他 物 作	飼 料 用 作 物	飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物 （自給用含む。）					
	そ の 他	芝、苗、苗木等（栽培きのこ類を含む。）					
品 目		説 明	④ 植栽面積（a）	うち成園（結果樹）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
茶		数量は、荒茶で換算して記入してください。					
果 樹		りんご、みかん、ぶどう等の果樹					

① 同上

② 同上

④ 茶・果樹に係る成園面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

⑤ 販売数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

変更案

変更前

変更点及び理由

① ⑦ 生産概況、農畜産物収入 (続き)

② 7-2 野菜

区分	前年				販売金額 (円)
	品目		作付延べ面積		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
露地野菜					
		その他の露地野菜			
施設野菜					
		その他の施設野菜			

7-2 野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

⑥

区分	本年				販売金額 (円)
	品目 (生産した野菜の品目コード又は品目名を記入してください)		作付延べ面積		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
露地野菜					
		その他の露地野菜			
施設野菜					
		その他の施設野菜			

野菜の品目はこちらから選択してください。

コード	01 だいこん	04 キャベツ	07 ねぎ	10 なす	13 ビーマン
	02 にんじん	05 ほうれんそう	08 たまねぎ	11 大玉トマト	
	03 はくさい	06 レタス	09 きゅうり	12 ミニトマト	

② 7-3 果樹

区分	前年				販売金額 (円)
	品目		作付延べ面積 (植栽面積)		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
果樹					
		その他の果樹			

7-3 果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にまとめて記入してください。

⑥

区分	本年				販売金額 (円)
	品目 (生産した果樹の品目コード又は品目名を記入してください)		作付延べ面積 (植栽面積)		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
果樹					
		その他の果樹			

果樹の品目はこちらから選択してください。

コード	51 りんご	54 露地ぶどう	57 もも	60 おうとう	63 くり
	52 露地温州みかん	55 施設ぶどう	58 かき	61 すもも	64 キウイフルーツ
	53 施設温州みかん	56 日本なし	59 うめ	62 びわ	65 バインアップル

① 同上

② 同上

⑥ 報告者の記入を容易にするとともに、指定品目に係る把握に代えて品目を主として生産する経営体の集計を可能とするため、野菜・果樹について、作付面積及び販売金額の合計の把握から、該当品目を作付ける全農家について作付けた品目を選択した上で作付面積及び販売金額の把握へ変更

変更案

変更前

変更点及び理由

④

品目	説明	植栽面積 (a)	うち成園 (結果樹)	生産量 (kg)	販売数量 (kg)	販売金額 (円)
茶	数値は、荒茶で換算して記入してください。					
果樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹					

⑥

⑥

品目	説明	作付延べ面積	販売金額 (円)
野菜	露地 露地生産した野菜	a	
	施設 施設で生産した野菜	m	
花き	露地 切り花鉢物	露地で生産した花き (鉢植えの花木を含む。)	a
		施設で生産した花き (鉢植えの花木を含む。)	m
	施設 鉢物	露地で生産した花き (鉢植えの花木を含む。)	a
		施設で生産した花き (鉢植えの花木を含む。)	m

⑦

⑧

農産物のうち、指定品目 (果樹、露地・施設野菜、施設花き)

果樹、野菜 (露地・施設) 又は施設花きの指定品目がある場合は、その品目について、①作付延べ (結果樹) 面積、②生産量及び③販売金額を記入してください。

「a」又は「m」どちらかを選択してください。

① 作付延べ (結果樹) 面積

② 生産量 (kg) (バラは本)

③ 販売金額 (円)

④同上

⑥同上

⑦花きの切り花、鉢物の区分について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから取りやめ

⑧指定品目について、報告者の記入負担軽減を図るため把握方法を変更 (該当品目を作付ける全農家の品目別作付面積・販売金額を把握) することから、野菜、果樹及び施設花きの指定品目に係る作付け面積、生産量、販売金額の把握を取りやめ

変更案

変更前

変更点及び理由

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

② 7-4 花き

区分	作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前年		販売金額 (円)
		露地 (a)	施設 (m ²)	
露地花き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施設花き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

② 7-5 畜産物

区分	飼養頭羽数、生産量に含めるもの	販売金額に含めるもの	前年		
			飼養頭羽数、生産量	販売頭羽数	販売金額 (円)
酪農	生乳生産量 (年間)	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	kg		
	搾乳牛	搾乳牛 (乾乳中の生を含む。)の月平均飼養頭数	頭		
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳牛 (F1、ETを含む。)、搾乳用育成牛	頭		
肉用牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛種中の月平均飼養頭数	頭		
	自家生産和牛等	自家で生産した子牛 (和子牛・F1クロス牛)。自家で生産して繁殖用に育成した牛	頭		
	肉専用種	肉専用種の牛の月平均飼養頭数	頭		
	乳用種	乳用種の牛の月平均飼養頭数	頭		
	交雑種	交雑種の牛 (他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛)の月平均飼養頭数	頭		
	繁殖雌豚	繁殖用の豚の月平均飼養頭数	頭		
豚	肥育豚	肥育用の豚の月平均飼養頭数	頭		
	肉豚	肉豚、屠用豚のうち販売した豚	頭		
	子豚	肥育用・繁殖用子豚	頭		
	飼養羽数	採卵用鶏 (うずらを除く。)の月平均飼養羽数	羽		
採卵鶏	鶏卵生産量 (年間)	採卵用の鶏から生産される卵 (正常卵以外も販売したものを含む。)、廃卵	kg		
	ブロイラー養鶏	ブロイラー、ブロイラー雛 (地鶏を除く。)の年間販売羽数	羽		
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)	きゅう肥として販売したもの (自給肥料としたもの以外)			
	その他	地鶏、錦羊、うずら、やぎ、養蚕、養蜂等			

7-4 花き

区分	本年			
	作付延べ面積		販売金額 (円)	
	露地 (a)	施設 (m ²)	億	万 千 百 十 一
露地花き				
施設花き				

7-5 畜産物

区分	飼養頭羽数 (月平均)、生産量 (年間)	販売頭羽数 (年間)	本年	
			飼養頭羽数 (月平均)	販売金額 (円)
酪農	生乳生産量 (年間)	kg		
	搾乳牛	頭 (月平均)		
	自家生産乳牛等	頭		
肉用牛	繁殖雌牛	頭 (月平均)		
	自家生産和牛等	頭		
	肉専用種	頭 (月平均)		
	乳用種	頭 (月平均)		
	交雑種	頭 (月平均)		
	繁殖雌豚	頭 (月平均)		
豚	肥育豚	頭 (月平均)		
	肉豚	頭		
	子豚	頭		
	飼養羽数	羽 (月平均)		
採卵鶏	鶏卵生産量 (年間)	kg		
	ブロイラー養鶏	羽		
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)			
	その他			

② 同上

⑦ 同上

変更案

変更前

変更点及び理由

② 2 畜産物

品目	説明	生産概況 (事業消費含む。)	農畜産物収入		
		生産量 (kg)	販売頭数	販売金額 (円)	
酪農	生乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの			億 万 千 百 十
	搾乳牛	搾乳を行った牛	飼養頭数 (月平均)		
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳牛 (F1:交雑種、ET:受精卵移植を含む)、搾乳牛、乳廃牛			億 万 千 百 十
肉用牛	繁殖雌牛	繁殖用の雌牛	飼養頭数 (月平均)	販売頭数	販売金額 (円)
	自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はF1クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛			億 万 千 百 十
	肉専用種	肉専用種の牛			
	乳用種	乳用種の牛			
交雑種	交雑種の牛 (F1クロス牛を含む。)				
養豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚	飼養頭数 (月平均)	販売頭数	販売金額 (円)
	肥育豚	肥育用の豚			
	肉豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚			
	子豚	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚			
採卵養鶏	採卵用鶏	採卵用の鶏 (うずらは、その他畜産物に含める。)	飼養羽数 (月平均)	販売羽数	販売金額 (円)
	鶏卵	採卵用の鶏から生産される卵 (正常卵以外も販売したものは含む。)。また、販売金額には、廃卵も含める。	生産量 (kg)		億 万 千 百 十
ブロイラー養鶏	ブロイラー	ブロイラー、ブロイラーの雛 (地鶏は含まない。)	販売羽数 (年間)	販売金額 (円)	
その他	きゅう肥 (ふん尿)	きゅう肥として販売したもの (自給肥料としたものは含まない。)			販売金額 (円)
	その他畜産物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など			

②同上

変更案	変更前	変更点及び理由																																								
<p>(削除)</p>	<p>⑨ 3 直接販売</p> <p>販売金額のうち、自ら生産した農産物を、実需者（小売業、食品製造業、外食産業等）や、消費者に直接販売（自営直売所、その他直売所、インターネット等）して得た金額を記入してください。</p> <p>また、直接販売の販路別の金額割合を記入してください。</p> <p>(1) 直接販売の金額</p> <p>金額（円） <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>億</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 金額での記入が難しい場合 → 販売金額に占める割合（%） <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></p> <p>この欄には直接販売で得た販売金額を記入してください。</p> <p>この欄には4ページの販売金額に占める直接販売の割合を記入してください。</p> <p>(2) 販路別金額割合</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">直接販売(全体)</th> <th rowspan="2">小売業者</th> <th rowspan="2">食品製造業・外食産業</th> <th colspan="4">消費者に直接販売</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>自営直売所</th> <th>その他直売所</th> <th>インターネット</th> <th>他の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>この欄には直接販売の販路別の金額割合を合計して100%になるように記入してください。</p>	億	千	百	十									直接販売(全体)	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売				その他	自営直売所	その他直売所	インターネット	他の方法	%	%	%	%	%	%	%	%	100								<p>⑨直接販売について、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ</p> <p>なお、直接販売等の出荷先別の経営体数は農林業センサスにより把握可能</p>
億	千	百	十																																							
直接販売(全体)	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売				その他																																			
			自営直売所	その他直売所	インターネット	他の方法																																				
%	%	%	%	%	%	%	%																																			
100																																										
<p>① 【8】 農作業受託収入（全ての方にお答えいただく項目です。）</p> <p>農作業受託についてお伺いします。</p> <p>③ 1年間に農作業受託収入がありましたか。</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>はい</td> <td>→ 本年金額欄に記入してください。</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>→ 【9】へお進みください。</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">前年金額（円）</th> <th colspan="4">本年金額（円）</th> </tr> <tr> <th>億</th> <th>千</th> <th>百</th> <th>十</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	はい	→ 本年金額欄に記入してください。	いいえ	→ 【9】へお進みください。	前年金額（円）	本年金額（円）				億	千	百	十						<p>① 4 農作業受託収入</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>作業内容</th> <th>収入金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農作業受託収入</td> <td></td> <td><table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>億</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td> </tr> </tbody> </table> <p>②</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>【通信欄】</p> <p>1年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。</p> <p>（例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。）</p> </div>	区分	作業内容	収入金額（円）	農作業受託収入		<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>億</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	億	千	百	十					<p>①農作業受託収入を、【8】から分離することに伴い修正</p> <p>②作業内容について、報告者の記入負担軽減を図るため把握を取りやめ</p> <p>③報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、受託収入の有無を確認する設問を追加</p> <p>表紙へ移動</p>								
はい	→ 本年金額欄に記入してください。																																									
いいえ	→ 【9】へお進みください。																																									
前年金額（円）	本年金額（円）																																									
	億	千	百	十																																						
区分	作業内容	収入金額（円）																																								
農作業受託収入		<table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td>億</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	億	千	百	十																																				
億	千	百	十																																							

変更案

変更前

変更点及び理由

【9】制度受取金・積立金等（全ての方にお答えいただく項目です。）

制度受取金・積立金等についてお伺いします。

①

1年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。

はい → 次の設問へお進みください。

いいえ → 調査は終了になります。

（右頁に続きます。）

②

以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけませんか。

はい → 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェックを付けていただき、調査は終了になります。

いいえ → ① 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェックを付けてください。
② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。
なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計（制度受取金等）」及び「合計（制度積立金等）」欄を記入してください。

名称等	前年		金額	
	チェック		制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	受取	積立		
共通				
水田・畑作				
野菜				
茶				
果樹				
畜産				
その他				
合計				

③

名称等	本年		金額	
	チェック		制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
	受取	積立		
共通				
水田・畑作				
野菜				
茶				
果樹				
畜産				
その他				
合計				

調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。

① 報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、制度受取金・積立金の該当の有無を確認する設問を追加

② 報告者の記入負担軽減のため、調査項目を記入する代わりに資料の提供を確認する欄を追加

③ 報告者の記入負担軽減のため、内訳又は上記以外の制度受取金及び合計欄のみの回答とし、該当のあった制度へのチェック欄を設ける（なお、名称は、調査時に名称を印字して配布する）

【9】制度受取金・積立金等

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

③

1 共通

区 分	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

2 稲、畑作物等関連

区 分	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

3 園芸作物関連

区 分	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

3 園芸作物関連 (続き)

区 分	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

4 畜産関連

区 分	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

5 その他

区 分	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
	億 万 千 百 十	億 万 千 百 十

④

指定品目の制度受取金・積立金等

指定品目名

いも類、茶、果樹、野菜（露地・施設）又は施設花きの指定品目がある場合は、その品目に係る制度受取金・積立金等を記入してください。

制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)	制度受取金・積立金等の各会計に占める割合を記入する場合は、こちらに記入してください。	指定品目に係る受取金・積立金等の割合
億 万 千 百 十	億 万 千 百 十		

③同上

④指定品目に係る把握の取りやめに伴い、指定品目に係る制度受取金・積立金等の把握取りやめ

変 更 案	変 更 前	変更点及び理由																																													
(削除)	<p data-bbox="1070 209 1496 261">【11】 指定品目に係る労働の概要 (指定品目がある方のみ記入してください。)</p> <p data-bbox="1093 280 1308 300">1 家族・雇用者別労働時間</p> <p data-bbox="1104 312 1536 352">指定品目について、農作業に係る労働時間を男女別・労働区分別に記入してください。</p> <div data-bbox="1308 363 1541 403" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 指定品目名 </div> <table border="1" data-bbox="1070 413 1449 557" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 25%;">男 (時間)</th> <th style="width: 25%;">女 (時間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家 族</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>雇 用 者</td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1093 579 1240 598">2 作業別労働時間</p> <p data-bbox="1104 611 1536 651">指定品目について、次の農作業区分に従事した作業別労働時間を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1070 660 1541 1177" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">説 明</th> <th style="width: 30%;">作業別労働 (時間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業別労働時間計</td> <td>指定品目の農作業に係る労働時間の計</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>種子予措・育苗</td> <td>選種、浸種、種子消毒、催芽、育苗</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>耕うん・施肥 (基肥・追肥)</td> <td>耕起、整地、畝立て、マルチ、基肥の配合、施肥、追肥など</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>は種・定植 整枝・せん定</td> <td>は種、定植、覆土、整枝、せん定、誘引、新梢管理 など</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>除草・防除</td> <td>作付ほ場の中耕除草、除草剤散布、農薬散布、鳥獣害対策など</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>授粉・摘果</td> <td>授粉、摘花、摘房、摘粒、摘果、葉つみ、ジベレリン処理など</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>生育管理</td> <td>かん排水、けい酢の草刈り・除草剤散布、ビニール張りなど</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>収穫・調製</td> <td>収穫、結束、乾燥・調製、仮の収納場所への運搬 など</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>包装・荷造り</td> <td>包装、荷造り作業</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>搬出・出荷・販売</td> <td>該当農産物の搬出作業、出荷作業、販売に係る労働</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> <tr> <td>経営管理 間接労働</td> <td>農機具修繕、資材等の調達、集会出席、技術習得、簿記記帳 など</td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	男 (時間)	女 (時間)	家 族			雇 用 者			区 分	説 明	作業別労働 (時間)	作業別労働時間計	指定品目の農作業に係る労働時間の計		種子予措・育苗	選種、浸種、種子消毒、催芽、育苗		耕うん・施肥 (基肥・追肥)	耕起、整地、畝立て、マルチ、基肥の配合、施肥、追肥など		は種・定植 整枝・せん定	は種、定植、覆土、整枝、せん定、誘引、新梢管理 など		除草・防除	作付ほ場の中耕除草、除草剤散布、農薬散布、鳥獣害対策など		授粉・摘果	授粉、摘花、摘房、摘粒、摘果、葉つみ、ジベレリン処理など		生育管理	かん排水、けい酢の草刈り・除草剤散布、ビニール張りなど		収穫・調製	収穫、結束、乾燥・調製、仮の収納場所への運搬 など		包装・荷造り	包装、荷造り作業		搬出・出荷・販売	該当農産物の搬出作業、出荷作業、販売に係る労働		経営管理 間接労働	農機具修繕、資材等の調達、集会出席、技術習得、簿記記帳 など		<p data-bbox="1787 181 2123 296">指定品目に係る把握の取りやめに伴い、指定品目に係る作業別労働時間の把握取りやめ</p>
区 分	男 (時間)	女 (時間)																																													
家 族																																															
雇 用 者																																															
区 分	説 明	作業別労働 (時間)																																													
作業別労働時間計	指定品目の農作業に係る労働時間の計																																														
種子予措・育苗	選種、浸種、種子消毒、催芽、育苗																																														
耕うん・施肥 (基肥・追肥)	耕起、整地、畝立て、マルチ、基肥の配合、施肥、追肥など																																														
は種・定植 整枝・せん定	は種、定植、覆土、整枝、せん定、誘引、新梢管理 など																																														
除草・防除	作付ほ場の中耕除草、除草剤散布、農薬散布、鳥獣害対策など																																														
授粉・摘果	授粉、摘花、摘房、摘粒、摘果、葉つみ、ジベレリン処理など																																														
生育管理	かん排水、けい酢の草刈り・除草剤散布、ビニール張りなど																																														
収穫・調製	収穫、結束、乾燥・調製、仮の収納場所への運搬 など																																														
包装・荷造り	包装、荷造り作業																																														
搬出・出荷・販売	該当農産物の搬出作業、出荷作業、販売に係る労働																																														
経営管理 間接労働	農機具修繕、資材等の調達、集会出席、技術習得、簿記記帳 など																																														

変更案

(削除)

変更前

【12】農業生産関連事業収支

- 1 農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。
また、農業生産関連事業の収入金額が税務申告の農業収入に含まれる場合は、「はい」を選択してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】事業収支の概要」（8ページ）の「収入金額計」に占める割合を記入してください。

区 分	収入金額(円)	割合(%)	農業収入に含まれる
農業生産関連事業収入	億 万 千 百 十		はい

- 2 農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】事業収支の概要」（8ページ）の「経費」に占める割合を記入してください。


区 分	支出金額(円)	経費割合(%)	割合(%)
農業生産関連事業支出合計	億 万 千 百 十		
自家農畜産物	材料費のうち、自らが生産した農畜産物	/	
雇 人 費	事業に従事した者の労働時間分		
減 価 償 却 費	事業で利用した設備、施設等の減価償却費		

この欄には、「農業生産関連事業支出合計」に占める割合を記入してください。

変更点及び理由

農業生産関連事業について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ
なお、農業生産関連事業を行っている経営体数及び売上金額規模別経営体数については農林業センサス、農業生産関連事業の状況については6次産業化総合調査により把握可能

1 営農類型別経営統計（個人経営体用）

変更案	変更前	変更点及び理由																																		
<p>(削除)</p>	<p>別添3-2</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p style="text-align: center;">秘</p> <p style="text-align: center;">農 林 水 産 省</p> <p style="font-size: 8px;">統計法に基づく基幹統計 農 業 経 営 統 計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: 8px;">政府統計 統計法に基づく国 の統計調査です。 調査集情報の秘密 の保護に万全を期 します。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">農業経営統計調査</p> <p style="text-align: center;">○年 営農類型別経営統計調査票 (個人経営体用 (基本調査))</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 年1月1日～ 年12月31日の1年間について記入してください。 調査項目欄には、右づめで記入してください。 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 <p style="font-size: 8px;">★数字は枠からはみ出さないように記入してください。</p> <table border="1" style="font-size: 8px; margin: 5px 0;"> <tr> <td>記入見本</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td> </tr> </table> <p style="font-size: 8px;">★○印は記入見本を参考に記入してください。</p> <table border="1" style="font-size: 8px; margin: 5px 0;"> <tr> <td>記入見本</td> <td>①</td> </tr> </table> <p style="font-size: 8px;">ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 80px;"> <p style="font-size: 8px;">【問合せ先】</p> </div> </div> <div style="font-size: 8px; margin-top: 10px;"> <p>☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。</p> <p>☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。</p> </div> <table border="1" style="font-size: 8px; margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>営農類型</th> <th colspan="6"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020センサス番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>客体番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	記入見本	①	営農類型							2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号		<p>調査項目の整理等に伴い、従前設けていた詳細調査票（基本項目と詳細項目の報告を求める調査票）と基本調査票（基本項目のみの報告を求める調査票）の2種類の調査票を1つに統合することによる修正</p>
記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																										
記入見本	①																																			
営農類型																																				
2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号																														
																														

変 更 案

変 更 前

変更点及び理由

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。
- 営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

○ 調査票の構成

区 分	説 明	対応ページ
【1】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください。	2
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください。	3、4
【3】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください。	5
【4】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	5
【5】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産概況と販売収入、また農作業受託収入について記入してください。	6～9
【6】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	10、11
【7】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	12

《農業生産関連事業とは》

農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。

ただし、これらの事業活動が経営を別として営まれている場合には、記入する必要はありません。

区 分	説 明
農 産 加 工	・自家で生産した原材料を用いた農産加工品を、自家で販売している事業をいいます。 なお、自家で加工を行うものであっても最終的な商品として販売しない物（荒茶、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業も含めてください。
観 光 農 園	・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。
貸 し 農 園	・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸付している場合は該当しません。
農 家 民 宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。
農 家 レ ス ト ラ ン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。
そ の 他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます（例：耕地を利用した太陽光発電）。

それでは、次の「【1】現況（共通項目）」から記入してください。

【1】現況（共通項目）

認定農業者がいる	はい	いいえ	農業研修生	人数（人）
農業研修生の受け入れがある	はい	いいえ	外国人技能実習生	
経営主	性別	男	女	日本人研修生
	年齢			
	期末（12月31日）時点			

「はい」の方は、右の設問にも記入してください。

変更案

変更前

変更点及び理由

【2】損益計算書

1 農業収支について、青色申告決算書（農業所得用）などを参照し、記入してください（収支内訳書（農業所得用）は、該当する科目の記入欄へ記入してください。）。

科目	青色申告決算書 No	収支内訳書 No	説明	金額（円）					
収入	販売金額	①	①	農畜産物の販売額	億	万	千	百	十
	家事消費金額・事業消費金額	②	②	家計で消費した金額、農業以外の事業で消費した金額					
	雑収入	③	③	作業受託、経高所得安定対策交付金、価格補填金、受取共済金					
	小計	④	④	販売金額、家事消費・事業消費金額、雑収入の合計					
金額	農産物の棚卸高 期首	⑤	⑤	農産物の期首棚卸高					
	期末	⑥	⑥	農産物の期末棚卸高（年内に精算され、精算できていない生産物を評価）					
	収入計	⑦	⑦	収入の合計（④-⑤+⑥）					
経費	租税公課	⑧	⑧	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税					
	種苗費	⑨	⑨	種子、苗の購入費					
	素畜費	⑩	⑩	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、発酵料					
	肥料費	⑪	⑪	肥料の購入費					
	飼料費	⑫	⑫	飼料の購入費					
	農具費	⑬	⑬	取得価額が10万円未満の農業機械、農具等					
	農業費・衛生費	⑭	⑭	農業・家畜薬品等の購入費、共同防除の負担金					
	諸材料費	⑮	⑮	生産に要したビニール、縄、おがくず等の購入費					
修繕費	⑯	⑯	農業機械、車両、建物等の修理費						
動力光熱費	⑰	⑰	水道料、電気料、燃油代金						

※ 飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を除いていますか。



〔 配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。 〕

2 貸倒引当金及び専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）の損益計算書の繰入額等欄などから転記してください。

科目	青色申告決算書 No	収支内訳書 No	説明	金額（円）				
貸倒引当金	⑳-㉑	⑰	繰入額-繰戻額の金額	億	万	千	百	十
専従者給与	㉒	⑱	専従者給与（繰入額）の金額					

変更案

変更前

変更点及び理由

【2】損益計算書（続き）

科目	青色申告 決算書 No	収支 内訳書 No	説明	金額（円）			
				億	万	千	百
経費 （ 続 き ）	作業用衣料費	⑬	⑬	農作業に必要な衣類・靴・帽子等の購入費			
	農業共済掛金	⑭	⑭	共済掛金、農用車両の保険料・共済掛金			
	減価償却費	⑮	⑮	農用建物、構築物、農機具、生物等固定資産の減価償却費			
	荷造運賃手数料	⑯	⑯	販売に要したダンボール等の資材代金、運賃、検査料等			
	雇人費	⑰	⑰	雇用労賃及び関係費・交通費			
	利子割引料	⑱	⑱	借入金利息、手形割引料、債務保証料			
	地代・賃借料	⑲	⑲	農地代、農用建物代金、農機具等の使用代金、ライスセンター・共同選果場の料金			
	土地改良費	⑳	㉑	客土・揚排水施設等の維持管理費			
	雑費	㉒	㉒	上記以外の事務費等一般管理費を含む。			
	小計	㉓	—	上記租税公課～雑費までの経費の合計			
農産物 以外の 棚卸高	期首	㉔	㉔	農産物以外の期首棚卸高			
	期末	㉕	㉕	農産物以外の期末棚卸高			
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	㉖	㉖	木成熟果樹、育成牛等の育成に要した費用				
経費合計	㉗	⑬	⑬+⑭-⑮-⑯				

変更案

変更前

変更点及び理由

【3】事業収支の概要

1 事業収支について、所得税の確定申告書Bを参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目	申告書記号	説明	金額(円)
収入金額	⑦	卸売業、製造業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入	億 万 千 百 十
	⑧	農業収入	
	⑨	不動産収入	
収入金額計	—	⑦+⑧+⑨	
所得金額	①	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額	
	②	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額	
	③	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額	
所得金額計	—	①+②+③	
経費	—	収入金額計(⑦+⑧+⑨) - 所得金額計(①+②+③)	

2 山林の所得がある場合には、申告書(分離課税用)第三表を参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目	説明	金額(円)
収入金額(山林)	山林を売却、譲渡、伐採した際に生じた収入	億 万 千 百 十
所得金額(山林)	山林収入から伐採などに掛かった費用を差し引いた金額	

【4】土地面積

期末(12月31日)時点の土地の状況を記入してください。

区分	説明	経営面積(a)	
		ha	㎡
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
畑(普通畑)	畑(樹園地、牧草地を除く)全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

区分	説明	面積(a)
貸付地(耕地)	他の経営体に貸し付けた耕地の面積(所有地のみ)	ha

変更案

変更前

変更点及び理由

【5】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入

1年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額についてそれぞれ記入してください。
 なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的で作付け（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。
 また、1年間（決算期間）の農作業受託収入について記入してください。

1 農産物

品目	説明	生産概況（事業消費含む。）		農畜産物収入			
		作付延べ面積（a）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）		
稲（食用）	水稲 主食用米	加工用米・新規需要米等以外の米				億 万 千 百 十	
	水稲 加工用米						
	水稲 新規需要米等	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）及び障害米					
稲（飼料用）	陸稲 飼料用米	飼料用米（自給用含む。）					
	WCS用稲	稲穀餅粗飼料用稲（自給用含む。）					
稲わら・ぬか等	稲わら、ぬか等を販売したもの						
麦類	小麦 小条大麦	小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。					
	小麦 二条大麦						
	小麦 六条大麦						
	小麦 はだか麦						
その他	その他の麦						
雑穀	そば	そば穀も含む。					
	その他	とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物					
豆類	大豆	乾燥子実。生（枝豆）は野菜					
	大豆以外	小豆、さげ、落花生などの乾燥子実					
いも類	かんしょ	種いも用、原料用かんしょも含む。					
	れいしょ	種いも用、原料用ばれいしょも含む。					
工業農作物	てんさい	寒地作物として中、高緯度で栽培される甘味資源作物（ビート・トップを含む。）					
	さとうきび	熱帯を中心に栽培される甘味資源作物					
	その他	なたね、い草、こんにやくいも、葉たばこ等					
その他作物	飼料用作物	飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用含む。）					
	その他	芝、苗、苗木等（観音木を含む。）					
品目	説明	植栽面積（a）	うち成園（結果樹）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）	
茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。						
果樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹						
品目	説明	作付延べ面積	販売金額（円）				
野菜	露地	露地で生産した野菜	a	億 万 千 百 十			
	施設	施設で生産した野菜	m				
花き	露地	切り花鉢物	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）	a			
		鉢物		a			
	施設	切り花鉢物	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）	m			
		鉢物		m			

変更案

変更前

変更点及び理由

2 畜産物

品目		説明	生産概況 (事業消費含む。)
			生産量 (kg)
酪農	生乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	
	搾乳牛	搾乳を行った牛	飼養頭数 (月平均)
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳用種・交雑種・受精卵移植牛、搾乳牛、乳廃牛	
品目		説明	飼養頭数 (月平均)
肉用牛	繁殖雌牛 (子とり)	繁殖用の雌牛	
	自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はF1クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛	
	肉専用種	肉専用種の牛	
	乳用種	乳用種の牛	
交雑種	交雑種の牛 (F1クロス牛を含む。)		
品目		説明	飼養頭数 (月平均)
養豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚	
	肥育豚	肥育用の豚	
	肉豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚	
	子豚	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚	
品目		説明	飼養羽数 (月平均)
採卵養鶏	採卵鶏	採卵用の鶏 (うずらは、その他畜産物に含める。)	
	鶏卵	採卵用の鶏から生産される卵 (正常卵以外も販売したものは含む。)。また、販売金額には、廃卵も含める。	生産量 (kg)
品目		説明	
ブロイラー養鶏	ブロイラー	ブロイラー、ブロイラーの雛 (地鶏は含まない。)	
品目		説明	
その他	きゅう肥 (ふん尿)	きゅう肥として販売したもの (自給肥料としたものは含まない。)	
	その他畜産物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など	

農畜産物収入	
販売頭数	販売金額 (円)
	億 万 千 百 十
	億 万 千 百 十
販売頭数	販売金額 (円)
販売頭数	販売金額 (円)
販売羽数 (年間)	販売金額 (円)
販売羽数 (年間)	販売金額 (円)

3 農作業受託収入

区分	作業内容	収入金額 (円)
農作業受託収入		億 万 千 百 十

【通信欄】
 1年の中で、農畜産物の生産や販売で特微的なできごとがあれば、記入してください。
 (例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。)

変更案

変更前

変更点及び理由

【6】制度受取金・積立金等

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

1 共通

区 分	制度受取金等 (円)		制度積立金等 (円)	
	億	万 千 百 十	億	万 千 百 十

2 稲、畑作物等関連

区 分	制度受取金等 (円)		制度積立金等 (円)	
	億	万 千 百 十	億	万 千 百 十

3 園芸作物関連

区 分	制度受取金等 (円)		制度積立金等 (円)	
	億	万 千 百 十	億	万 千 百 十

3 園芸作物関連 (続き)

区 分	制度受取金等 (円)		制度積立金等 (円)	
	億	万 千 百 十	億	万 千 百 十

4 畜産関連

区 分	制度受取金等 (円)		制度積立金等 (円)	
	億	万 千 百 十	億	万 千 百 十

5 その他

区 分	制度受取金等 (円)		制度積立金等 (円)	
	億	万 千 百 十	億	万 千 百 十

変更案

変更前

変更点及び理由

【7】労働の概要

1年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別、労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者
 臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者
 ※常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。

(1) 家族・常用雇用者労働時間

区分	性別	年齢	家族・雇用の別			農業労働時間 (時間)	農作業受託労働時間 (時間)	農業生産関連労働時間 (時間)
			家族	常用雇用者				
				7か月未満の雇用者	7か月以上の雇用者			
1	2	3						
経営主	男	女						
従事者①	男	女	1	2	3			
従事者②	男	女	1	2	3			
従事者③	男	女	1	2	3			
従事者④	男	女	1	2	3			
従事者⑤	男	女	1	2	3			
従事者⑥	男	女	1	2	3			
従事者⑦	男	女	1	2	3			
従事者⑧	男	女	1	2	3			
従事者⑨	男	女	1	2	3			
従事者⑩	男	女	1	2	3			
従事者⑪	男	女	1	2	3			
従事者⑫	男	女	1	2	3			
従事者⑬	男	女	1	2	3			
従事者⑭	男	女	1	2	3			
従事者⑮	男	女	1	2	3			

注：事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者をいいます。

(2) 臨時雇用者労働時間

区分	人数 (人)	農業労働時間 (時間)	農作業受託労働時間 (時間)	農業生産関連労働時間 (時間)
男				
女				

2 営農類型別経営統計(法人経営体用)

変更案	変更前	変更点及び理由																																																
<p>別添3-2</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>秘</td></tr> <tr><td>農林水産省</td></tr> <tr><td>統計法に基づく基幹統計</td></tr> <tr><td>農業経営統計</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>農業経営統計調査</p> <p>○年 営農類型別経営統計調査票 (法人経営体用)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">営農類型</td> <td style="width: 10%;">番号</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table> <p>☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。 統計作成以外の目的に使うことはありません。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①【記入上の留意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ○年4月1日～○年3月31日の間に到来した決算日の対象となる1年間について記入してください。 2. 記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。 3. 調査項目欄には、右づめで記入してください。 4. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 5. オンラインを利用される方は、同封の「オンライン利用の手続き」を参照してください。 6. 本調査に必要な資料 設問に回答する際は、お手元に次の書類をご用意ください。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 貸借対照表 ○ 損益計算書 ○ 事業経費の内訳がわかる書類 (製造原価報告書や販売費及び一般管理費内訳書など) ○ 労働時間や給与支給額がわかる書類 ○ 生産状況・販売金額の内訳がわかる書類 <div style="background-color: #e0ffe0; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;"> ○年○月○日までに提出をお願いします。 (決算月が1月～3月の場合は○月○日までに提出をお願いします。) </div> <p style="font-size: x-small;">ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 60px; width: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>②【通信欄】 決算期間の1年間で、農畜産物の生産や販売で特微的な出来事があれば、記入してください。</p> </div> </div>	秘	農林水産省	統計法に基づく基幹統計	農業経営統計	営農類型	番号		<p>別添3-3</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: x-small;"> <tr><td>別記様式第3号</td></tr> <tr><td>秘</td></tr> <tr><td>農林水産省</td></tr> <tr><td>統計法に基づく基幹統計</td></tr> <tr><td>農業経営統計</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>農業経営統計調査</p> <p>○年 営農類型別経営統計調査票 (法人経営体用)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">営農類型</td> <td style="width: 10%;">番号</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table> <p>☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。 ☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ____年4月1日～ ____年3月31日までの間に到来した決算日前1年間について記入してください。 2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。 3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。 4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。 <p style="font-size: x-small;">★数字は枠からはみ出さないように記入してください。</p> <table border="1" style="font-size: x-small; text-align: center;"> <tr> <td>記入見本</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">★○印は記入見本を参考に記入してください。</p> <table border="1" style="font-size: x-small; text-align: center;"> <tr> <td>記入見本</td> <td>①</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; height: 60px;"> <p>【問合せ先】</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td style="width: 10%;">営農類型</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>2020センサス番号</td> <td>都道府県</td> <td>市区町村</td> <td>旧市区町村</td> <td>農業集落</td> <td>調査区</td> <td>客体番号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> </div>	別記様式第3号	秘	農林水産省	統計法に基づく基幹統計	農業経営統計	営農類型	番号		記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	記入見本	①	営農類型										2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号				<p>①記入に当たり参照する資料を追加するなど、【記入上の留意事項】の記載内容を変更</p> <p>②通信欄を現行の【8】から移動</p>
秘																																																		
農林水産省																																																		
統計法に基づく基幹統計																																																		
農業経営統計																																																		
営農類型	番号																																																	
別記様式第3号																																																		
秘																																																		
農林水産省																																																		
統計法に基づく基幹統計																																																		
農業経営統計																																																		
営農類型	番号																																																	
記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																								
記入見本	①																																																	
営農類型																																																		
2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号																																												

変更案

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。
- 事業経費に係る記入は、農業についてのみとさせていただきます。
- 営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

①

②

1 調査票の構成

区 分	説 明	対応ページ
【1】現況	認定農業者の有無、決算期、経営する土地面積等の状況について記入してください。	3
【2】貸借対照表	資産や負債の状況について記入してください。	4
【3】投資と資金の調達	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	5
【4】労働の概要、給与の状況	事業に従事した人数や労働時間、役員、雇用者への給与の状況について記入してください。	6、7
【5】損益計算書	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について記入してください。	8
【6】農業に係る事業経費	農業に係る経費の状況について記入してください。	9～11
【7】生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入について記入してください。	12～17
【8】農業受託収入、事業消費など	農業受託収入、事業消費に仕向けた農畜産物の金額について記入してください。	18、19
【9】制度受取金・積立金	制度受取金等に係る状況について記入してください。	18、19

②

2 「【6】農業に係る事業経費」の記入に際しての留意点

- (1) 「当期製品製造原価」と「販売費及び一般管理費」の内訳である「事業経費」については、法人ごとに会計処理が異なるため、貴法人に該当する項目（【6】農業に係る事業経費（P9）（6-1-1又は6-2-1））を選択し記入してください。
- (2) 「事業経費」の勘定科目は、農業法人協会が定める「農業の会計に関する指針」（平成26年5月制定）及びその参考資料の「標準的勘定科目一覧」を基準に設定しています。
- (3) このため、調査項目に採用している勘定科目は、各法人ごとに異なるものであるため、貴法人の勘定科目の名称と相違がある場合には、勘定科目の説明欄を参照し科目ごとに記入してください。

変更前

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。
- 事業経費に係る記入は、農業についてのみとさせていただきます。

②

○ 必ず記入しなければならない項目

区 分	説 明	対応ページ
【1】現況（共通項目）	認定農業者の有無、決算期、設立年次等について記入してください。	3
【2】貸借対照表	資産や負債の状況について記入してください。	4、5
【3】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	6
【4】損益計算書	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について記入してください。	7
【5】事業経費	農業に係る経費の状況について記入してください。	8、9
【6】給与の状況	役員、雇用者への給与の状況について記入してください。	10
【7】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	10
【8】主要農業固定資産の状況	農業固定資産の保有状況について記入してください。	11
【9】生産概況及び農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入について記入してください。	12～15
【10】農作業受託収入等	農作業受託収入等、作業面積を記入してください。	16、17
【11】制度受取金・積立金等	田からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	18、19
【12】労働の概要	事業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	20、21

②

1 「【5】事業経費」の記入に際しての留意点

- (1) 「事業経費」の勘定科目は、（公社）日本農業法人協会が定める「農業の会計に関する指針」（平成26年5月制定）及びその参考資料の「農業法人標準勘定科目」を基準に設定しています。
- (2) しかしながら、法人の採用する勘定科目は、各法人ごとに異なるため、貴法人の勘定科目の名称と相違がある場合には、勘定科目の説明欄を参照してください。
- (3) なお、「事業経費」の項目には、農業事業に係る経費の金額（又は事業経費全体に占める農業の割合）を記入してください。

③

2 農業生産関連事業がある場合

農業に関連した事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストランなど）を行っている場合には、「【13】農業生産関連事業収入」（22ページ）に記入してください。

《農業生産関連事業とは》

農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。
ただし、これらの事業活動が別法人によって営まれる場合には、記入する必要はありません。

区 分	説 明
農 産 加 工	・貴法人で生産した原材料を用いた農産加工品を、貴法人で販売している事業をいいます。 なお、貴法人で加工を行うものであっても最終的な商品としては販売しない物（荒米、白干し梅等）については、農産加工とはせず農業に含めてください。
観 光 農 園	・貴法人で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場に於いて収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。
貸 し 農 園	・農地を、第三者を越えせず、農園利用方式等により農業以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸付している場合は該当しません。
農 家 民 宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。
農家レストラン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。
そ の 他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます（例：耕地を利用した太陽光発電）。

それでは、次の「【1】現況（共通項目）」から記入してください。

変更点及び理由

①報告者が記入しやすくするため、「営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。」を追記

②調査事項の変更に伴う修正

③報告者の記入負担軽減を図るため、農業生産関連事業の把握を取りやめることに伴い説明を削除

なお、農業生産関連事業を行っている経営体の状況については農林業センサス、農業生産関連事業の状況については6次産業化総合調査により把握可能

変 更 案	変 更 前	変更点及び理由																																																																																																																																						
<p>【1】現況</p> <p>1-1 経営する法人の形態等についてお伺いします。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">① 家族による経営ですか。</td> <td style="width:50%;">はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>② 貴法人は認定農業者ですか。又は、認定農業者はいますか。</td> <td>はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>③ 決算期間の期末月を記入してください。</td> <td>月</td> </tr> <tr> <td>④ 決算日時点の経営主の年齢を記入してください。</td> <td>歳</td> </tr> <tr> <td>⑤ 農業以外の事業を行っていますか。</td> <td>はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>⑥ 集落営農ですか。</p> <p>はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></p> <p>「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいいます。</p> <p>① 農業以外の事業とは、農業生産関連事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストラン）、林業、米穀集荷販売業、不動産経営などをいいます。</p> <p>④ 1-2 決算期末時点の土地の状況についてお伺いします。</p> <p>⑤ 経営している田～採草放牧地がありますか。</p> <p>はい <input type="checkbox"/> → 本年欄に記入してください。 いいえ <input type="checkbox"/> → 【2】へお進みください。</p> <p>区分は現状の目目で記入してください。また、貸している面積は含みません。 なお、集落営農の場合は、構成員持ち寄りの耕地は借入地に含めてください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">⑥ 前 年</th> <th colspan="4">本 年</th> </tr> <tr> <th>経営面積 (a)</th> <th>うち借入地 (a)</th> <th colspan="2">経営面積</th> <th colspan="2">うち借入地</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td>a</td> <td>ha</td> <td>a</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>畑 (樹園地、牧草地を除く。)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹 園 地 (茶の植栽面積含む。)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牧 草 地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>採 草 放 牧 地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	① 家族による経営ですか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	② 貴法人は認定農業者ですか。又は、認定農業者はいますか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	③ 決算期間の期末月を記入してください。	月	④ 決算日時点の経営主の年齢を記入してください。	歳	⑤ 農業以外の事業を行っていますか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	区 分	⑥ 前 年		本 年				経営面積 (a)	うち借入地 (a)	経営面積		うち借入地					ha	a	ha	a	田							畑 (樹園地、牧草地を除く。)							樹 園 地 (茶の植栽面積含む。)							牧 草 地							採 草 放 牧 地							<p>【1】現況（共通項目）</p> <p>次の1～10について、当該決算期間中の状況を記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">1 家族による経営である</td> <td style="width:50%;">はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2 認定農業者である</td> <td>はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3 決算期間の期末月</td> <td>月</td> </tr> <tr> <td>② 4 農業研修生の受け入れがある</td> <td>はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>③ 5 法人化した年次（西暦）</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>6 性別</td> <td>男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>7 経営主 年齢（決算日時点）</td> <td>歳</td> </tr> <tr> <td>8 集落営農である</td> <td>はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>1で「いいえ」の方は、右の設問にもお答え</p> <p>4で「はい」の方は、右の設問にもお答えください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">9 外国人技能実習生</td> <td style="width:50%;">農業研修生 人数 (人)</td> </tr> <tr> <td>10 日本人研修生</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいいます。</p> <p>④ 【7】土地面積</p> <p>決算日時点の土地の状況を記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">説 明</th> <th colspan="2">経営面積 (a)</th> <th colspan="2">うち借入地面積</th> </tr> <tr> <th>ha</th> <th>a</th> <th>ha</th> <th>a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td>田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>畑 (普通畑)</td> <td>畑 (樹園地、牧草地を除く。) 全体の面積と、このうち他から借り入れている面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹 園 地</td> <td>樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牧 草 地</td> <td>牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>採 草 放 牧 地</td> <td>採草放牧地の面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>説 明</th> <th>面積 (a)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ha a</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付地 (耕地)</td> <td>他の経営体に貸し付けた耕地の面積 (所有地分のみ)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 家族による経営である	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	2 認定農業者である	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	3 決算期間の期末月	月	② 4 農業研修生の受け入れがある	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	③ 5 法人化した年次（西暦）	年	6 性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>	7 経営主 年齢（決算日時点）	歳	8 集落営農である	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	9 外国人技能実習生	農業研修生 人数 (人)	10 日本人研修生		区 分	説 明	経営面積 (a)		うち借入地面積		ha	a	ha	a	田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積					畑 (普通畑)	畑 (樹園地、牧草地を除く。) 全体の面積と、このうち他から借り入れている面積					樹 園 地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積					牧 草 地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積					採 草 放 牧 地	採草放牧地の面積					区 分	説 明	面積 (a)			ha a	貸付地 (耕地)	他の経営体に貸し付けた耕地の面積 (所有地分のみ)		<p>① 事業内容に関する質問を現行の【5】から移動</p> <p>② 変更後の【6】へ移動</p> <p>③ 法人化した年次及び経営主の性別について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ なお、経営主の性別は農林業センサスにより把握可能</p> <p>④ 現行の【7】から移動、名称変更</p> <p>⑤ 報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、経営耕地の有無を確認する設問を追加</p> <p>⑥ 報告者の誤記入、記入漏れを防ぐため、前年値欄を設ける(以下【9】まで同じ)</p> <p>⑦ 貸付地面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、把握を取りやめ なお、貸付地面積は農林業センサスにより把握可能</p>
① 家族による経営ですか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
② 貴法人は認定農業者ですか。又は、認定農業者はいますか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
③ 決算期間の期末月を記入してください。	月																																																																																																																																							
④ 決算日時点の経営主の年齢を記入してください。	歳																																																																																																																																							
⑤ 農業以外の事業を行っていますか。	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
区 分	⑥ 前 年		本 年																																																																																																																																					
	経営面積 (a)	うち借入地 (a)	経営面積		うち借入地																																																																																																																																			
			ha	a	ha	a																																																																																																																																		
田																																																																																																																																								
畑 (樹園地、牧草地を除く。)																																																																																																																																								
樹 園 地 (茶の植栽面積含む。)																																																																																																																																								
牧 草 地																																																																																																																																								
採 草 放 牧 地																																																																																																																																								
1 家族による経営である	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
2 認定農業者である	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
3 決算期間の期末月	月																																																																																																																																							
② 4 農業研修生の受け入れがある	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
③ 5 法人化した年次（西暦）	年																																																																																																																																							
6 性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
7 経営主 年齢（決算日時点）	歳																																																																																																																																							
8 集落営農である	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																							
9 外国人技能実習生	農業研修生 人数 (人)																																																																																																																																							
10 日本人研修生																																																																																																																																								
区 分	説 明	経営面積 (a)		うち借入地面積																																																																																																																																				
		ha	a	ha	a																																																																																																																																			
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積																																																																																																																																							
畑 (普通畑)	畑 (樹園地、牧草地を除く。) 全体の面積と、このうち他から借り入れている面積																																																																																																																																							
樹 園 地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積																																																																																																																																							
牧 草 地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積																																																																																																																																							
採 草 放 牧 地	採草放牧地の面積																																																																																																																																							
区 分	説 明	面積 (a)																																																																																																																																						
		ha a																																																																																																																																						
貸付地 (耕地)	他の経営体に貸し付けた耕地の面積 (所有地分のみ)																																																																																																																																							

変更案

【2】貸借対照表

資産、負債の状況について、貸借対照表を参照して、期末の金額を記入してください。
 また、農業以外の事業も経営している場合は、農業の占める割合を必ず記入（有形固定資産の内訳及び負債計のみ）してください。

① 「貸借対照表」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 農業以外の事業を行っている場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、5頁の【3】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

2-1 資産の部

勘定科目	説明	前年		本年	
		金額(円)	農業割合%	金額(円)	農業割合%
資産計	資産の合計				
流動資産	流動資産の合計				
うち現金・預貯金	現金、当座預金、普通預金、定期預金				
売掛金・未収入金	通常取引による営業上の未収入金				
棚卸資産	農産物、半製品、仕掛品、貯蔵品、資材				
うち農産物	農産物				
固定資産	固定資産の計				
有形固定資産	有形固定資産の計				
うち動物・植物	乳牛、繁殖牛、繁殖豚、果樹、茶、桑等				
自動車・農機具	車両運搬具、トラクター、乾燥機、機械装置、すり機等				
建物・構築物	建物、施設、畜舎、建物付属設備等				
土地	農地、付属施設等				
減価償却累計額	間接法による場合の減価償却費の累計額				
無形固定資産	電話加入権、地上権、借地権				
投資・その他の資産	農協出資金、長期貸付金、投資証券、補償金				
繰延資産	創立費、開業費				

変更前

【2】貸借対照表

1 資産の状況について、貸借対照表を参照して、金額を記入してください。
 また、固定資産は、記入した金額に対する農業の割合を記入してください。

(1) 資産計

勘定科目	説明	金額(円)			
資産計	資産の合計(流動資産、固定資産及び繰延資産の合計)	億	万	千	百十

(2) 流動資産

勘定科目	説明	金額(円)			
流動資産合計	流動資産の合計	億	万	千	百十
現金・預貯金	現金、当座預金、普通預金、定期預金				
売掛金	農産物販売金額の未収金等、通常取引による営業上の未収金				
有価証券	国債、地方債、株券				
棚卸資産	農産物、半製品、仕掛品、貯蔵品、資材				
うち農産物	農産物				
その他	上記以外の流動資産				

固定資産については、それぞれの項目に記入した金額のうち、農業に該当する割合を記入してください。

(3) 固定資産

勘定科目	説明	金額(円)				農業割合(%)
固定資産合計	固定資産額の合計	億	万	千	百十	
有形固定資産	有形固定資産の合計					
動物・植物	乳牛、繁殖牛、繁殖豚、果樹、茶、桑					
自動車・農機具	自動車、トラクター、乾燥機、もみすり機					
建物・構築物	建物、施設、畜舎					
土地	農地、付属施設					
その他	建設仮勘定、育成仮勘定、工具器具備品					
無形固定資産	電話加入権、地上権、借地権					
投資等	農協出資金、長期前払金、長期貸付金、投資証券、補償金					

(4) 繰延資産

勘定科目	説明	金額(円)			
繰延資産	創立費、開業費など(固定資産に整理している場合は、その金額を記入)	億	万	千	百十

① 報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに貸借対照表の提供を確認する欄を追加

② 施策上の利活用に影響のない項目について、報告者の記入負担軽減を図るため把握を取りやめ

③ 決算書から転記しやすいよう、貸借対照表に係る一般的な勘定科目を追加

変更案

2-2 負債の部

勘定科目	説明	前年		本年	
		金額(円)	農業割合	金額(円)	農業割合
負債計	負債の合計				
流動負債	流動負債の合計				
うち買掛金・未払金	原材料等の購入代金等の未払金の合計				
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金				
固定負債	固定負債の合計				
うち長期借入金	返済期限が1年を超える借入金				

次頁の【3】へお進みください。

(削除)

変更前

2 負債及び純資産の状況について、貸借対照表を参照して、金額を記入してください。
また、負債計は、記入した金額に対する農業の割合を記入してください。

(1) 負債計

勘定科目	説明	金額(円)				農業割合(%)
負債計	負債の合計(流動負債と固定負債の合計)					

(2) 流動負債

勘定科目	説明	金額(円)			
流動負債	流動負債の合計				
買掛金・未払金	原材料等の購入代金等の未払金の合計				
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金				
その他	上記以外の金額				

(3) 固定負債

勘定科目	説明	金額(円)			
固定負債	固定負債の合計				
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金				
その他	長期借入金以外の固定負債				

②

②

④

(4) 純資産

勘定科目	説明	金額(円)			
純資産	資産計-負債計の金額				
資本金・出資金	資本金、出資金				
資本剰余金	資本準備金、資本金額減少差額、資本準備金取崩額				
利益剰余金	利益準備金、繰越利益剰余金、農業経営基盤強化準備金の積入金				
その他	上記以外の純資産				

変更点及び理由

② 同上

④純資産の内訳について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ
なお、純資産計については継続把握する項目(資産計、負債計)からの差引で把握可能

変更案

【3】投資と資金の調達

3-1 直近決算期における設備投資の状況についてお伺いします。

1年間に、建物・構築物、自動車・農機具、事業用の動物・植物、土地への投資を行いましたか。

はい → 本年欄に記入してください。 いいえ → 3-2へお進みください。

事業経営のため1年間（決算期間）に設備投資したそれぞれの資産について、取得額の合計を記入してください。また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年		本年						
		金額(円)	農業割合%	金額(円)						
				億	万	千	百	十	円	農業割合%
建物・構築物	建物・構築物の購入金額									
農機具等	自動車・農機具の購入金額									
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）									
土地	土地の購入金額									

3-2 直近決算期の資金調達の状況についてお伺いします。

1年間に、事業のための資金調達を行いましたか。

はい → 本年欄に記入してください。 いいえ → 【4】へお進みください。

1年間に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年		本年						
		金額(円)	農業割合%	金額(円)						
				億	万	千	百	十	円	農業割合%
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金									
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金									

(削除)

変更前

【3】投資と資金調達の状況

1 経営する事業への投資の状況について、次の資産科目それぞれの1年間（決算期間）の購入金額の合計を記入してください。また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

勘定科目	説明	金額(円)				農業割合(%)	
		億	万	千	百	十	
土地	土地の購入金額						
建物・構築物	建物・構築物の購入金額						
自動車・農機具	自動車・農機具の購入金額						
植物・牛馬	植物・牛馬の購入金額（資産形成のものに限る。）						

販売に供するための動物等は除く。

2 事業経営のため1年間（決算期間）に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

勘定科目	説明	金額(円)				農業割合(%)	
		億	万	千	百	十	
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金						
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金						

2 3 決算日時点の貴法人に対する出資者数と出資金額について、それぞれ記入してください。

区分	計	個人				
		個人	農協	農協連合会	関連会社	その他
出資者数 (人、団体又は会社数)		人	人	団体	社	団体
出資金額		万円	万円	万円	万円	万円

①報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、投資及び資金調達の有無を確認する設問を追加

②出資者数と出資金額について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																																																																																																																																							
<p>① 【4】労働の概要、給与の状況 雇用形態別の従事者数、農業労働時間等についてお伺いします。</p> <p>② 以下の設問にある従事者数、農業労働時間、性別、支給した給与を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入しやすくなります。資料を提供していただけますか。 はい → 8頁の【5】へお進みください。 いいえ → 本年欄に記入してください。</p> <p>③ 4-1 男性の従事者数：1年間の男性の従事者数について、雇用形態別に実人数で記入してください。また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="168 432 907 662"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">前年</th> <th colspan="3">本年</th> </tr> <tr> <th>男性の全従事者数 (人)</th> <th>うち農業 (人)</th> <th>65歳未満 (人)</th> <th>男性の全従事者数 (人)</th> <th>うち農業 (人)</th> <th>65歳未満 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有給役員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">常用雇用者</td> <td>正社員・正職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち7か月以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-2 女性の従事者数：1年間の女性の従事者数について、雇用形態別に実人数で記入してください。また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="168 738 907 968"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">前年</th> <th colspan="3">本年</th> </tr> <tr> <th>女性の全従事者数 (人)</th> <th>うち農業 (人)</th> <th>65歳未満 (人)</th> <th>女性の全従事者数 (人)</th> <th>うち農業 (人)</th> <th>65歳未満 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有給役員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">常用雇用者</td> <td>正社員・正職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち7か月以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 臨時雇用者数：1年間の臨時雇用者数（男女計）について、実人数で記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="168 1018 772 1137"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">前年</th> <th colspan="2">本年</th> </tr> <tr> <th>従事者数 (人)</th> <th>うち農業 (人)</th> <th>従事者数 (人)</th> <th>うち農業 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨時雇用者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-4 研修生の受け入れがあった場合、研修生の人数をそれぞれ記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="168 1241 548 1369"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>前年</th> <th>本年</th> </tr> <tr> <th>人数(人)</th> <th>人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国人技能実習生</td> <td></td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>日本人研修生</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・外国人技能実習生は、外国人技能実習制度に基づき雇用した実習生の人数（実人数）を記入してください。 ・日本人研修生は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生（実人数）を記入してください。</p>	区分	前年			本年			男性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	男性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	有給役員							常用雇用者	正社員・正職員						その他						うち7か月以上					⑥	区分	前年			本年			女性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	女性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	有給役員							常用雇用者	正社員・正職員						その他						うち7か月以上					⑥	区分	前年		本年		従事者数 (人)	うち農業 (人)	従事者数 (人)	うち農業 (人)	臨時雇用者				④	区分	前年	本年	人数(人)	人数(人)	外国人技能実習生		⑦	日本人研修生			<p>① 【12】労働の概要 1 事業従事者の数 1年間（決算期間）の事業従事者について、男女別に雇用形態別、構成員の別に実人数で記入してください。 また、事業従事者のうち農業従事者について男女別・年齢別日数階層別に記入してください。</p> <p>(1) 雇用形態別の事業従事者数</p> <table border="1" data-bbox="1003 363 1451 738"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>男(人)</th> <th>女(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有給役員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業従事者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち農業従事者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用雇用者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 正社員・正職員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち農業従事者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち7か月以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち農業従事者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 臨時雇用者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち農業従事者</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 構成員数</p> <table border="1" data-bbox="1003 770 1451 914"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>男(人)</th> <th>女(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構成員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 事業従事者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち農業従事者</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 農業従事者の年齢別日数別従事者数（臨時雇用者を除く。）</p> <table border="1" data-bbox="1003 946 1451 1441"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">農業に従事した日数別 (人)</th> </tr> <tr> <th>60日未満</th> <th>60～150日</th> <th>150日以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">男</td> <td>35歳未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>35～44</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>45～49</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>50～59</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～64</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>65～69</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">女</td> <td>35歳未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>35～44</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>45～49</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>50～59</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～64</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>65～69</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>70歳以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤ 構成員とは合同会社、合名会社、合資会社では社員、株式会社では株主（個人）、農事組合法人では組合員をいい、このうち実際に事業に従事している者を記入してください。なお、経営主、役員は除きます。</p> <p>⑥ 年間の労働時間を8時間で除した日数で区分してください。</p>	区分	男(人)	女(人)	有給役員			事業従事者			うち農業従事者			常用雇用者			正社員・正職員			うち農業従事者			その他			うち7か月以上			うち農業従事者			④ 臨時雇用者			うち農業従事者			区分	男(人)	女(人)	構成員			事業従事者			うち農業従事者			区分	農業に従事した日数別 (人)			60日未満	60～150日	150日以上	男	35歳未満			35～44			45～49			50～59			60～64			65～69			女	35歳未満			35～44			45～49			50～59			60～64			65～69			70歳以上			<p>① 現行の【12】から移動するとともに、【8】給与の状況と項目を統合し、名称を変更</p> <p>② 報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに労働時間、給与等を整理した書類の提供を確認する欄を追加</p> <p>③ レイアウトの変更</p> <p>④ 報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから、男女別の把握から合計の把握へ変更</p> <p>⑤ 構成員の従事者数について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用において影響がないことから把握を取りやめ</p> <p>⑥ 農業従事者数の年齢別日数別について、報告者の記入負担軽減を図るため、常用雇用者のうち、7か月以上の65歳未満の人数を把握 なお、年齢別の従事者数、従事日数別の従事者数は農林業センサスによりそれぞれ把握可能</p> <p>⑦ 現行の【1】から移動して把握</p>
区分		前年			本年																																																																																																																																																																																																				
	男性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	男性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)																																																																																																																																																																																																			
有給役員																																																																																																																																																																																																									
常用雇用者	正社員・正職員																																																																																																																																																																																																								
	その他																																																																																																																																																																																																								
	うち7か月以上					⑥																																																																																																																																																																																																			
区分	前年			本年																																																																																																																																																																																																					
	女性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	女性の全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)																																																																																																																																																																																																			
有給役員																																																																																																																																																																																																									
常用雇用者	正社員・正職員																																																																																																																																																																																																								
	その他																																																																																																																																																																																																								
	うち7か月以上					⑥																																																																																																																																																																																																			
区分	前年		本年																																																																																																																																																																																																						
	従事者数 (人)	うち農業 (人)	従事者数 (人)	うち農業 (人)																																																																																																																																																																																																					
臨時雇用者				④																																																																																																																																																																																																					
区分	前年	本年																																																																																																																																																																																																							
	人数(人)	人数(人)																																																																																																																																																																																																							
外国人技能実習生		⑦																																																																																																																																																																																																							
日本人研修生																																																																																																																																																																																																									
区分	男(人)	女(人)																																																																																																																																																																																																							
有給役員																																																																																																																																																																																																									
事業従事者																																																																																																																																																																																																									
うち農業従事者																																																																																																																																																																																																									
常用雇用者																																																																																																																																																																																																									
正社員・正職員																																																																																																																																																																																																									
うち農業従事者																																																																																																																																																																																																									
その他																																																																																																																																																																																																									
うち7か月以上																																																																																																																																																																																																									
うち農業従事者																																																																																																																																																																																																									
④ 臨時雇用者																																																																																																																																																																																																									
うち農業従事者																																																																																																																																																																																																									
区分	男(人)	女(人)																																																																																																																																																																																																							
構成員																																																																																																																																																																																																									
事業従事者																																																																																																																																																																																																									
うち農業従事者																																																																																																																																																																																																									
区分	農業に従事した日数別 (人)																																																																																																																																																																																																								
	60日未満	60～150日	150日以上																																																																																																																																																																																																						
男	35歳未満																																																																																																																																																																																																								
	35～44																																																																																																																																																																																																								
	45～49																																																																																																																																																																																																								
	50～59																																																																																																																																																																																																								
	60～64																																																																																																																																																																																																								
	65～69																																																																																																																																																																																																								
女	35歳未満																																																																																																																																																																																																								
	35～44																																																																																																																																																																																																								
	45～49																																																																																																																																																																																																								
	50～59																																																																																																																																																																																																								
	60～64																																																																																																																																																																																																								
	65～69																																																																																																																																																																																																								
70歳以上																																																																																																																																																																																																									

変更案

4-5 労働時間：1年間の労働時間の合計を雇用形態別に記入してください。
また、農業には、貴法人が請け負った農作業も含まれます。⑧

区 分	前 年		本 年	
	年間の事業労働時間 (時間)	うち農業労働時間 (時間)	年間の事業労働時間 (時間)	うち農業労働時間 (時間)
有給役員				
常用 雇用者	正社員・ 正職員			
	その他			
	うち 7か月以上			
臨時雇用者				

労働時間の合計の記入は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
「1人当たりの1日平均労働時間」×「1人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出した値を
記入してください。

<例>
正社員5人の平均労働時間が、1日8時間、年間300日働いている場合、 $8 \times 300 \times 5 = 12,000$ となるため、
「12,000」を記入してください。

(削除)

変更前

2 作業別・年齢別の労働時間

事業従事者の1年間（決算期間）の作業別の労働時間を男女別に雇用形態別、経営主、構成員
の別に記入してください。

また、農業労働時間について雇用形態別の労働時間を男女別・年齢階層別に記入してくださ

(1) 雇用形態別の作業別労働時間

区 分	労働時間 計 (時間)	農 業	農業			農業生産 関連事業
			農畜産物 の生産	販売・一 般管理	受 託	
⑨ 有給 役員	男					
	女					
常用 雇用者	男	正社員・正職員				
		その他				
	女	うち7か月以上				
		その他				
臨時 雇用者	男					
	女					

⑩ (2) 経営主、構成員の作業別労働時間

区 分	労働時間 計 (時間)	農 業	農業			農業生産 関連事業
			農畜産物 の生産	販売・一 般管理	受 託	
経 営 主						
構成員	男					
	女					

⑪ (3) 雇用形態別の年齢別農業労働時間

区 分	有給役員 (時間)	常用雇用 者 (時間)	うち7カ 月 以上雇用 者
男	35歳未満		
	35～44		
	45～49		
	50～59		
	60～64		
	65～69		
女	35歳未満		
	35～44		
	45～49		
	50～59		
	60～64		
	65～69		
70歳以上			

⑧農業の作業別労働時間及び農業生産関連事業の労働時間について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

⑨男女別について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

⑩経営主、構成員の作業別労働時間について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

なお、経営主の農業労働時間は4-2のうち有給役員、構成員の農業労働時間は4-2のうち常用雇用者又は臨時雇用者に含まれる

⑪雇用形態別の年齢別農業労働時間について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

なお、年齢別の役員数は農林業センサスにより把握可能

変更案

変更前

変更点及び理由

⑫ 4-6 1年間に支給した給与（農業以外の事業に従事した従事者を含みます。）

支給総額を雇用形態別に記入してください。
 なお、従事分量配当として事業従事者に支払った場合は給与に含まれます。

区 分	前 年 給与支給総額 (円)	本 年 給与支給総額 (円)				
		億	千	百	十	一
有 給 役 員						0 0 0 0
常 用 雇 用 者	正 社 員・ 正 職 員					0 0 0 0
	そ の 他					0 0 0 0
臨 時 雇 用 者						0 0 0 0

<留意点>
 ・退職金、法定福利費及び福利厚生費は支給総額に含めないでください。
 ・支給総額は万円単位（千の位を四捨五入）で記入してください。

【雇用形態の区分】
 ○有給役員：法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている者をいいます。
 ○常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます。
 ・正社員・正職員：常用雇用者のうち貴法人で正社員・正職員として処遇している者をいいます。
 ・その他：常用雇用者のうち正社員・正職員以外の者（1か月以上雇用したパート、アルバイト等）をいいます。
 ○臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。
 ※常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。
 酪農ヘルパー等の派遣労働に係る労働者及びその労働時間は含みません。

⑫ 【6】給与の状況

1 年間（決算期間）に支給した給与と関連する情報について、次の表に記入してください。

1 給与の支給総額を、雇用形態別・男女別に記入してください。
 なお、従事分量配当として事業従事者に支払った場合も給与に含まれます。

区 分	給与支給額 総計 (万円)	有給役員 (万円)	常用雇用者 (万円)		臨時雇用者 (万円)
			正社員・ 正職員	その他	
総 計	億 万	億 万	億 万	億 万	億 万
男					
女					

⑬

2 決算日時点の有給役員の平均年齢について、男女別に記入してください。

区 分	有給役員の 平均年齢 (歳)
男	
女	

【雇用形態の定義】
 ○有給役員：法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている者。
 ○常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者。
 ・正社員・正職員：常用雇用者のうち貴法人で正社員・正職員として処遇している者。
 ・その他：常用雇用者のうち正社員・正職員以外の者。（パート、アルバイト等）
 ○臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

⑫ 現行の【6】から移動
 有給役員、常用雇用者、臨時雇用者別の給与総額を把握

⑬ 男女別の給与及び有給役員の平均年齢について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																																																																															
<p>① 【5】損益計算書</p> <p>事業全体の売上高や経費等についてお伺いします。</p> <p>5-1 損益計算書：事業全体の売上高、経費等について記入してください。</p> <p>「損益計算書」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。</p> <p>②</p> <p>はい → 農業以外の事業を行っている場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、5-2へお進みください。</p> <p>いいえ → 本年欄に記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="152 383 817 861"> <thead> <tr> <th rowspan="2">勘定科目</th> <th colspan="2">前年</th> <th colspan="2">本年</th> </tr> <tr> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> <th>金額(円)</th> <th>農業割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期首商品棚卸高 ①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期商品仕入高 ②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期製品製造原価 ③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生物売却原価 ④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期末商品棚卸高 ⑤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支払利息・割引料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③</p> <p>5-2 「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳である事業経費についてお伺いします。</p> <p>「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳の整理方法について当てはまる方へお進みください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>①まとめて整理している (製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書のいずれかのみ作成している場合)</p> <p>9頁へお進みください。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>②別々に整理している (製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方を作成している場合)</p> <p>10頁へお進みください。</p> </div> </div>	勘定科目	前年		本年		金額(円)	農業割合	金額(円)	農業割合	売上高					売上原価					期首商品棚卸高 ①					当期商品仕入高 ②					当期製品製造原価 ③					生物売却原価 ④					期末商品棚卸高 ⑤					販売費及び一般管理費					営業外収益					営業外費用					支払利息・割引料					特別利益					特別損失					当期純利益					<p>① 【4】損益計算書</p> <p>1 売上高などについて、損益計算書などを参照して、それぞれ記入してください。</p> <p>また、(1)のうち「売上原価」及び(2)のうち「支払利息・割引料」については、金額を記入した上で、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。</p> <p>(1) 売上高、売上原価、販売費及び一般管理費</p> <table border="1" data-bbox="990 391 1556 790"> <thead> <tr> <th>勘定科目</th> <th>説明</th> <th>金額(円)</th> <th>農業割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>事業の売上高</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>商品の仕入原価、製造原価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期首商品棚卸高 ①</td> <td>商品・製品の期首在り高</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期商品仕入高 ②</td> <td>商品の当期における仕入高</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期製品製造原価 ③</td> <td>製品の当期における製造原価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生物売却原価 ④</td> <td>減価償却資産の販売直前の帳簿価格</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期末商品棚卸高 ⑤</td> <td>商品・製品の期末在り高</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>販売に係る経費、法人全体を運営、管理に要した費用</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「当期製品製造原価」について、必ず8ページの【5】事業経費の「(1)製造原価報告書」に内訳を記入してください。</p> <p>内訳を記入</p> <p>「販売費及び一般管理費」について、必ず9ページの「(2)販売費及び一般管理費」に内訳を記入してください。</p> <p>内訳を記入</p> <p>(2) 営業外収益、営業外費用</p> <table border="1" data-bbox="990 837 1556 1037"> <thead> <tr> <th>勘定科目</th> <th>説明</th> <th>金額(円)</th> <th>農業割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業外収益</td> <td>営業活動以外の経常的収益</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>営業活動以外の経常的費用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支払利息・割引料</td> <td>借入金の支払利息、手形譲渡損、割引料</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 特別利益、特別損失、当期純利益</p> <table border="1" data-bbox="990 1093 1512 1284"> <thead> <tr> <th>勘定科目</th> <th>説明</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別利益</td> <td>臨時収益、固定資産売却益等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>臨時損失、固定資産売却損等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>税引き前当期純利益-法人税等の金額</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)	売上高	事業の売上高			売上原価	商品の仕入原価、製造原価			期首商品棚卸高 ①	商品・製品の期首在り高			当期商品仕入高 ②	商品の当期における仕入高			当期製品製造原価 ③	製品の当期における製造原価			生物売却原価 ④	減価償却資産の販売直前の帳簿価格			期末商品棚卸高 ⑤	商品・製品の期末在り高			販売費及び一般管理費	販売に係る経費、法人全体を運営、管理に要した費用			勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)	営業外収益	営業活動以外の経常的収益			営業外費用	営業活動以外の経常的費用			支払利息・割引料	借入金の支払利息、手形譲渡損、割引料			勘定科目	説明	金額(円)	特別利益	臨時収益、固定資産売却益等		特別損失	臨時損失、固定資産売却損等		当期純利益	税引き前当期純利益-法人税等の金額		<p>①番号修正</p> <p>②報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに損益計算書の提供を確認する欄を追加</p> <p>③当期製品製造原価の農業分の金額は、【6】事業経費から把握可能なため削除</p> <p>④報告者の決算書類の整理状況に応じて【6】事業経費の記入方法を選択してもらうための誘導を追加</p>
勘定科目		前年		本年																																																																																																																																													
	金額(円)	農業割合	金額(円)	農業割合																																																																																																																																													
売上高																																																																																																																																																	
売上原価																																																																																																																																																	
期首商品棚卸高 ①																																																																																																																																																	
当期商品仕入高 ②																																																																																																																																																	
当期製品製造原価 ③																																																																																																																																																	
生物売却原価 ④																																																																																																																																																	
期末商品棚卸高 ⑤																																																																																																																																																	
販売費及び一般管理費																																																																																																																																																	
営業外収益																																																																																																																																																	
営業外費用																																																																																																																																																	
支払利息・割引料																																																																																																																																																	
特別利益																																																																																																																																																	
特別損失																																																																																																																																																	
当期純利益																																																																																																																																																	
勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)																																																																																																																																														
売上高	事業の売上高																																																																																																																																																
売上原価	商品の仕入原価、製造原価																																																																																																																																																
期首商品棚卸高 ①	商品・製品の期首在り高																																																																																																																																																
当期商品仕入高 ②	商品の当期における仕入高																																																																																																																																																
当期製品製造原価 ③	製品の当期における製造原価																																																																																																																																																
生物売却原価 ④	減価償却資産の販売直前の帳簿価格																																																																																																																																																
期末商品棚卸高 ⑤	商品・製品の期末在り高																																																																																																																																																
販売費及び一般管理費	販売に係る経費、法人全体を運営、管理に要した費用																																																																																																																																																
勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)																																																																																																																																														
営業外収益	営業活動以外の経常的収益																																																																																																																																																
営業外費用	営業活動以外の経常的費用																																																																																																																																																
支払利息・割引料	借入金の支払利息、手形譲渡損、割引料																																																																																																																																																
勘定科目	説明	金額(円)																																																																																																																																															
特別利益	臨時収益、固定資産売却益等																																																																																																																																																
特別損失	臨時損失、固定資産売却損等																																																																																																																																																
当期純利益	税引き前当期純利益-法人税等の金額																																																																																																																																																

変更案

変更前

変更点及び理由

【6】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）

① 製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書のいずれかのみ作成している場合
6-1-1 事業経費についてお伺いします。

事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書及び販売費及び一般管理費内訳書のいずれか）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

- はい → 資料を提出いただける場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、12頁の【7】へお進みください。
- いいえ → 本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年		本年	
		金額(円)	農業割合 %	金額(円)	農業割合 %
合計		【5】損益計算書の「当期製品製造原価⑤」+「販売費及び一般管理費」の合計額			
期首材料棚卸高	原材料の期首在り高				
期首仕掛品棚卸高	仕掛品の期首在り高				
種苗費	種もみ、種子、種芋、苗類などの購入費用				
素畜費	預託費、種付け費、もと畜の購入費用、登録料				
肥料費	肥料の購入費用				
飼料費	飼料の購入費用、自給飼料の価額				
農業衛生費	農業、予防目的の家畜用の薬剤の購入費用				
水道料	水道、電力、ガス、灯油、ハウス燃料、機械・車両等の燃料費				
諸材料費	敷料、諸材料費、消耗品費、事務用品費				
労務費・人件費	賃金手当、賞与、役員報酬、福利厚生費等の一切				
うち作業用衣料費	労務費に含まれている作業服、養生着の購入費用				
農作業委託費	賃耕料、刈取料等の農作業委託料				
診察衛生費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費用				
外注費	ヘルパー利用料、ほ場管理費等				
農具・機械等	農機具、車両の購入費用、維持費用				
修繕費	建物、農機具等の修繕費用				
修繕用品費	建物、農機具等の修繕用品				
共済掛金	作物や施設の共済掛金、支払保険料、事務費等				
減価償却費	建物、農機具、自動車等の減価償却費				
地代・家賃・賃借料	地代、家賃、賃借料、穀物等の貯蓄料				
土地改良費	土地改良負担金・賦課金、水利費				
租税公課	租税公課、諸会費、諸負担金、消費税、印刷費、共済賦課金、自賠保保険				
諸会費等					
荷造運賃	運賃、販売手数料、容器包装費、発送配達費等				
販売手数料					
その他の経費	上記に含まれない経費の合計				
期末材料棚卸高	原材料の期末在り高				
期末仕掛品棚卸高	仕掛品の期末在り高				
育成費振替高	育成中の生物に対する当期の支出				

6-1-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

- はい → 「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。
- いいえ → 12頁の【7】へお進みください。

前年金額(円)	本年金額(円)			
	億	万	千	百

(新設)

報告者の決算書類の整理状況に応じた記入を可能にするため、製造原価報告書、販売費及び一般管理費をまとめて整理している場合の回答欄を追加

飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

変更案

変更前

変更点及び理由

① 【6】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）（続き）

② 製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の方を作成している場合
 ※前頁6-1-1を回答した場合は、【7】へ進んでください。
 6-2-1 事業経費についてお伺いします。

② 事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。
 はい → 資料を提出いただける場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、12頁の【7】へお進みください。
 いいえ → 本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入してください。

(1) 当期製品製造原価（製造原価報告書）

勘定科目	説明	前年		本年	
		金額(円)	農業割合%	金額(円)	農業割合%
当期製品製造原価	【5】損益計算書の「当期製品製造原価③」計上額				
材料費	期首材料棚卸高	原材料の期首在り高			
	種苗費	種もみ、種子、種芋、苗類などの購入費			
	素畜費	種付費、もと畜の購入費用、登録料			
	肥料費	肥料の購入費用			
	飼料費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額			
	農薬費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤の購入費			
	敷料費	敷料の購入費			
	燃油費	重油等、園芸用ハウス暖房用燃料等の購入費			
諸材料費	被覆用ビニール(マルチ)、鉢、針金などの購入費				
	期末材料棚卸高	原材料の期末在り高			
労務費	賞金手当、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費				
	うち作業用衣料費	労務費に含まれる作業服、長靴、軍手等の購入費			
外注費	作業委託費	賃耕料、刈取料などの農作業委託費			
	診療衛生費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費			
	預託費	家畜の育成、肥育の委託費			
製造経費	ヘルパー利用料	酪農や肥育牛などのヘルパー利用料			
	ほ場管理費	けい・草刈り、水管理・肥培管理などの作業委託料			
	農機具費	取得10万円未満又は耐用年数1年未満の農機具購入費			
	修繕費	建物、農機具、農業用車両等の維持、修繕費			
	動力光熱費	生産用の電気、水道料やガソリン、軽油などの燃料費			
	共済掛金	作物や農用施設の共済掛金、価格補填基金の収入保険料、事務費等			
	減価償却費	農業生産に使用した建物、農機具等の減価償却費			
	賃借料・地代	地代、家賃、賃借料、検査料、委託農産物清算費			
	土地改良費	土地改良費掛金、土地改良賦課金、水利費			
	租税公課	生産用固定資産税等の租税、自動車損害賠償責任保険、農業共済賦課金			
その他	上記以外の経費				
仕掛品棚卸高増減	仕掛品の期首在り高-期末在り高				
育成費振替高	育成中の生物に対する当期の支出				

① 【5】事業経費（製造原価報告書、販売費及び一般管理費）

③ 1 貴法人の事業内容について、該当するもの一つに記入してください。

「農業」のみ経営	1
「農業」及び「農業生産関連事業」を経営	2
「農業」、「農業生産関連事業」及び「その他の事業」を経営	3

2 1の設問で「1」を選んだ方は、製造原価報告書などを参照して、次の表に金額を記入してください。
 「2又は3」を選んだ方は、製造原価報告書などを参照して、農業に係る経費の金額を記入してください。
 金額の記入が難しい場合には、貴法人の事業全体の次の科目の金額を記入した上で、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

※ 決算書の勘定科目と調査における科目が異なる場合は、勘定科目ごとの説明欄を参照し、記入してください。

(1) 製造原価報告書

勘定科目	説明	金額(円)		農業割合(%)
		億	千万百十	
材料費	期首材料棚卸高			
	種苗費			
	素畜費			
	肥料費			
	飼料費			
	農薬費			
	敷料費			
	燃油費			
諸材料費	被覆用ビニール(マルチ)、鉢、針金などの購入費用			
	期末材料棚卸高			
労務費	賞金手当、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費			
	うち作業用衣料費			
外注費	作業委託費			
	診療衛生費			
	預託費			
ヘルパー利用料	酪農や肉用牛などのヘルパー利用料			
	ほ場管理費			

・農業の金額が記入できない場合、①各勘定科目の金額を記入し、②そのうち、農業の割合を記入してください。
 ・農業の金額が記入できる場合には、農業割合の記入は不要です。

・期末材料棚卸高は来期に繰り越す材料費で、今期の製造原価からは差引かれるものです。

配合飼料価格安定制度の補填金を、飼料費から控除していますか。 はい いいえ

①番号修正及び農業に係る事業経費を把握するため、名称を適正化

②報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに事業経費に係る決算資料の提供を確認する欄を追加

③変更後の【1】へ移動

変更案

変更前

変更点及び理由

(2) 販売費及び一般管理費内訳書

勘定科目	説明	前年		本年	
		金額(円)	農業割合%	金額(円)	農業割合%
【5】損益計算書の「販売費及び一般管理費」計上額					
人件費	給与手当、雑給、賞与、退職金、役員報酬、福利厚生費				
荷造運賃・販売手数料	出荷用包装材料、運賃、販売手数料など				
車両費・修繕費	事務用固定資産の修繕費、車両費				
うち燃料費	車両費に含まれる燃料代				
減価償却費	販売や管理に使用した建物や自動車等の減価償却費				
地代・家賃・賃借料	販売管理用土地・建物の賃借料				
支払保険料	販売管理用固定資産の支払保険料				
租税公課・諸会費等	印紙税、消費税、諸会費				
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金の当期の繰入金				
動力光熱費	販売や管理に使用した電気・水道料金など				
その他	上記に含まれない経費の合計				

飼料費は含まれる場合は記入してください。

6-2-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

はい	→「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。
いいえ	→12頁の【7】へお進みください。

前年金額(円)	本年金額(円)			
	億	万	千	百十

(1) 製造原価報告書(続き)

勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)
農具費	取得10万円未満又は耐用年数1年未満の農機具購入費		
製修繕費	建物、農機具、農業に用いた車両等の維持、修繕に要した経費		
動力光熱費	生産用の電気、水道料金やガソリン、軽油などの燃料費		
造共済掛金	作物や農業用施設の共済掛金、価格補填負担金収入保険の保険料・事務費等		
経減価償却費	農業生産に使用した建物、農機具等の減価償却費		
賃借料・地代	地代、家賃、賃借料、穀物の検査料、受託農産物精算費		
費土地改良費	土地改良負担金、土地改良賦課金、水利費		
租税公課	生産用の固定資産税等の租税、自動車損害賠償責任保険、農業共済賦課金		
その他	上記以外の経費		
仕掛品棚卸高増減	仕掛品(未収穫農産物、販売用動物等)の期首在り高-期末在り高の金額		
育成費振替高	育成中の生物に対する当期の支出として原価から控除する額		

・製造原価において、各勘定科目に該当しない場合は、「その他」にまとめて記入してください。

(2) 販売費及び一般管理費

勘定科目	説明	金額(円)	農業割合(%)
人件費	給与手当、雑給、賞与、退職金、役員報酬、賞与引当金繰入額、福利厚生費		
荷造運賃・販売手数料	出荷用包装材料の購入費用、製品の運送費用、JAや市場の販売手数料		
④ 交際費	取引先の接待、供応、慰安、贈答のため支出する費用		
車両費・修繕費	販売管理用固定資産の修理費用、車両費		
うち燃料費	車両費に含まれている自動車燃料代		
減価償却費	販売や管理に使用した建物や自動車等の減価償却費		
地代家賃	販売管理用土地・建物の賃借料		
支払保険料	販売管理用固定資産の保険料		
租税公課・諸会費	印紙税、消費税、諸会費		
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金の当期の繰入額		
動力光熱費	販売や管理のために使用した電気・水道料金など		
その他	上記以外の販売費及び一般管理費		

・販売費及び一般管理費において各勘定科目に該当しない場合は、「その他」にまとめて記入してください。

④令和元年以前の調査事項と接続を図るため設けていたが、一定の年数を経過したことから削除

変更案	変更前	変更点及び理由										
(削除)	<p>【8】主要農業固定資産の状況</p> <p>決算日時点の所有する資産（農業に使用する資産）について、建物の面積を記入してください。</p> <p>建物・構築物の状況</p> <table border="1" data-bbox="992 338 1350 542"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>面積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納 屋 ・ 倉 庫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガ ラ ス 室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハウス（ガラス室以外）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>畜 舎 ・ 鶏 舎</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	面積 (㎡)	納 屋 ・ 倉 庫		ガ ラ ス 室		ハウス（ガラス室以外）		畜 舎 ・ 鶏 舎		<p>ガラス室及びハウスの面積については農林業センサスにより把握可能なため、また、その他の固定資産については施策上の利活用に影響がないことから、それぞれ把握を取りやめ</p>
区 分	面積 (㎡)											
納 屋 ・ 倉 庫												
ガ ラ ス 室												
ハウス（ガラス室以外）												
畜 舎 ・ 鶏 舎												

変 更 案		変 更 前		変更点及び理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>① 【7】生産概況、農畜産物収入</p> <p>1年間に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）生産量及び販売金額についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。</p> <p>なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」欄には事業（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。 また、稲わら以外の副産物を販売した場合は、該当する区分の販売額に含めてください。</p>		<p>③ 以下の項目の設定について、1年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。</p> <p>はい →18頁の【8】へお進みください。 いいえ →本年欄に記入してください。</p>		<p>①番号変更</p> <p>②報告者が記入しやすいよう農産物（耕種）の表を、7-1 稲、麦類等、7-2野菜、7-3果樹、7-4花きの4つに区分し、畜産物については、7-5として整理</p> <p>③報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに資料の提供を確認する欄を追加</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>② 7-1 稲、麦類等</p>		<p>7-1 稲、麦類等</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区 分</th> <th rowspan="3">作付延べ面積、販売金額に含めるもの</th> <th colspan="3">前 年</th> <th rowspan="3">販売金額 (円)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">作付延べ面積 (茶は植栽面積)</th> <th rowspan="2">生産量 (kg)</th> </tr> <tr> <th>田 (a)</th> <th>畑 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>稲 (食用)</td><td>主食用米</td><td>主食用</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>加工用米</td><td>酒造用、加工用</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>新規需要米等</td><td>輸出用、米粉用、備蓄用の合計</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>陸 稲</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>稲 (飼料用)</td><td>飼料用米</td><td>自給用を含む。</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>WCS用稲</td><td>稲稈酢粗飼料用稲 (自給用を含む。)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>稲わら・ぬか等</td><td>稲わら・ぬか等を販売したもの</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>麦類</td><td>小 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>二 条 大 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>六 条 大 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>は だ か 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他の麦</td><td>ライ麦など</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>豆類</td><td>大 豆</td><td>乾燥子実 (枝豆等の未成熟は野菜)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>大豆以外</td><td>小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>雑穀</td><td>そ ば</td><td>そば殻を含む。</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>他の雑穀</td><td>とうもろこし、あわ、ひえ、などの穀物</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>いも類</td><td>か ん し ょ</td><td>種いも用、原材料かんしょを含む。</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ば れ い し ょ</td><td>種いも用、原材料ばれいしょを含む。</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>工芸農作物</td><td>て ん さい</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>さとうきび</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>茶</td><td>作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他工芸農作物</td><td>なたね、い草、葉たばこなど</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>飼料用作物</td><td>牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計 (自給用を含む。)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他の作物</td><td>苧、苧、苗木、栽培きのこと類など</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		区 分	作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前 年			販売金額 (円)	作付延べ面積 (茶は植栽面積)		生産量 (kg)	田 (a)	畑 (a)	稲 (食用)	主食用米	主食用					加工用米	酒造用、加工用					新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計					陸 稲					稲 (飼料用)	飼料用米	自給用を含む。					WCS用稲	稲稈酢粗飼料用稲 (自給用を含む。)				稲わら・ぬか等	稲わら・ぬか等を販売したもの					麦類	小 麦						二 条 大 麦						六 条 大 麦						は だ か 麦						その他の麦	ライ麦など				豆類	大 豆	乾燥子実 (枝豆等の未成熟は野菜)					大豆以外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実				雑穀	そ ば	そば殻を含む。					他の雑穀	とうもろこし、あわ、ひえ、などの穀物				いも類	か ん し ょ	種いも用、原材料かんしょを含む。					ば れ い し ょ	種いも用、原材料ばれいしょを含む。				工芸農作物	て ん さい						さとうきび						茶	作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算					その他工芸農作物	なたね、い草、葉たばこなど				その他	飼料用作物	牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計 (自給用を含む。)					その他の作物	苧、苧、苗木、栽培きのこと類など				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区 分</th> <th rowspan="3">作付延べ面積 (茶は植栽面積)</th> <th colspan="3">本 年</th> <th rowspan="3">販売金額 (円)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">田 (a)</th> <th rowspan="2">生産量 (kg)</th> </tr> <tr> <th>ha</th> <th>a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>稲 (食用)</td><td>主食用米</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>加工用米</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>新規需要米等</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>陸 稲</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>稲 (飼料用)</td><td>飼料用米</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>WCS用稲</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>稲わら・ぬか等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>麦類</td><td>小 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>二 条 大 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>六 条 大 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>は だ か 麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他の麦</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>豆類</td><td>大 豆</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>大豆以外</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>雑穀</td><td>そ ば</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>他の雑穀</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>いも類</td><td>か ん し ょ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ば れ い し ょ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>工芸農作物</td><td>て ん さい</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>さとうきび</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>茶</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他工芸農作物</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>飼料用作物</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他の作物</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		区 分	作付延べ面積 (茶は植栽面積)	本 年			販売金額 (円)	田 (a)		生産量 (kg)	ha	a	稲 (食用)	主食用米						加工用米						新規需要米等						陸 稲					稲 (飼料用)	飼料用米						WCS用稲					稲わら・ぬか等						麦類	小 麦						二 条 大 麦						六 条 大 麦						は だ か 麦						その他の麦					豆類	大 豆						大豆以外					雑穀	そ ば						他の雑穀					いも類	か ん し ょ						ば れ い し ょ					工芸農作物	て ん さい						さとうきび						茶						その他工芸農作物					その他	飼料用作物						その他の作物					
区 分	作付延べ面積、販売金額に含めるもの			前 年				販売金額 (円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				作付延べ面積 (茶は植栽面積)		生産量 (kg)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		田 (a)	畑 (a)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
稲 (食用)	主食用米	主食用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	加工用米	酒造用、加工用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	陸 稲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
稲 (飼料用)	飼料用米	自給用を含む。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	WCS用稲	稲稈酢粗飼料用稲 (自給用を含む。)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
稲わら・ぬか等	稲わら・ぬか等を販売したもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
麦類	小 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	二 条 大 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	六 条 大 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	は だ か 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	その他の麦	ライ麦など																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
豆類	大 豆	乾燥子実 (枝豆等の未成熟は野菜)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大豆以外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
雑穀	そ ば	そば殻を含む。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	他の雑穀	とうもろこし、あわ、ひえ、などの穀物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
いも類	か ん し ょ	種いも用、原材料かんしょを含む。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ば れ い し ょ	種いも用、原材料ばれいしょを含む。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
工芸農作物	て ん さい																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	さとうきび																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	茶	作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	その他工芸農作物	なたね、い草、葉たばこなど																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	飼料用作物	牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計 (自給用を含む。)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	その他の作物	苧、苧、苗木、栽培きのこと類など																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区 分	作付延べ面積 (茶は植栽面積)	本 年			販売金額 (円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		田 (a)		生産量 (kg)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		ha	a																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
稲 (食用)	主食用米																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	加工用米																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	新規需要米等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	陸 稲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
稲 (飼料用)	飼料用米																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	WCS用稲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
稲わら・ぬか等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
麦類	小 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	二 条 大 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	六 条 大 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	は だ か 麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	その他の麦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
豆類	大 豆																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	大豆以外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
雑穀	そ ば																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	他の雑穀																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
いも類	か ん し ょ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ば れ い し ょ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
工芸農作物	て ん さい																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	さとうきび																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	茶																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	その他工芸農作物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
その他	飼料用作物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	その他の作物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

【9】生産概況及び農畜産物収入

1年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額をそれぞれ記入してください。
 なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。

② 1 農産物

品目	説明	生産概況 作付延 田	況（事業消費含む。）		農畜産物収入	
			べ面積（a） 畑	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
稲（食用）	主食用米	加工用米・新規需要米等以外の米				
	加工用米	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）・備蓄米				
	陸稲					
稲（飼料用）	飼料用米（自給用を含む。）					
	WCS用稲（自給用を含む。）					
稲わら・めか等	稲わら、めか等を販売したもの					
麦類	小麦					
	二条大麦					
	六条大麦	小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。				
	はだか麦					
その他の麦						
雑穀	そば	そば殻も含む。				
	他の雑穀（そば以外）	とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物				
豆類	大豆	乾燥子実、生（枝豆）は野菜				
	大豆以外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実				
いも類	かんしょ	種いも用、原料用かんしょを含む。				
	ばれいしょ	種いも用、原料用はれいしょを含む。				
工芸農作物	てんさい	寒地作物として中、高緯度で栽培される甘味蜜源作物（ビート・トップを含む。）				
	さとうきび	熱帯を中心に栽培される甘味蜜源作物				
	その他の工芸農作物	なたね、いんげん、こんにやくいも、薬たばこ等				
その他物	飼料用作物	飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用を含む。）				
	その他	芝、苗、苗木等（観音さのこ類を含む。）				
品目	説明	植栽面積（a）	うち成園（結果樹）	生産量（kg）	販売数量（kg）	販売金額（円）
茶	数値は、荒茶で換算して記入してください。					
果樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹					

② 同上

④販売数量について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

⑤茶・果樹に係る成園面積について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ

変更案

変更前

変更点及び理由

① 【7】生産概況、農畜産物収入 (続き)

② 7-2 野菜

区分	前年				販売金額 (円)
	品目		作付延べ面積		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
露地野菜					
		その他の露地野菜			
施設野菜					
		その他の施設野菜			

7-2 野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

⑥

区分	本年				販売金額 (円)
	品目		作付延べ面積		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
露地野菜					
		その他の露地野菜			
施設野菜					
		その他の施設野菜			

野菜の品目はこちらから選択してください。

01	だいこん	04	キャバツ	07	ねぎ	10	なす	13	ピーマン
02	にんじん	05	ほうれんそう	08	たまねぎ	11	大玉トマト		
03	はくさい	06	レタス	09	きゅうり	12	ミニトマト		

② 7-3 果樹

区分	前年				販売金額 (円)
	品目		作付延べ面積 (植栽面積)		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
果樹					
		その他の果樹			

7-3 果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にまとめて記入してください。

⑥

区分	本年				販売金額 (円)
	品目		作付延べ面積 (植栽面積)		
	コード	品目名	露地 (a)	施設 (m ²)	
果樹					
		その他の果樹			

果樹の品目はこちらから選択してください。

51	りんご	54	露地ぶどう	57	もも	60	おうとう	63	くり
52	露地温州みかん	55	施設ぶどう	58	かき	61	すもも	64	キウイフルーツ
53	施設温州みかん	56	日本なし	59	うめ	62	びわ	65	パイナップル

①同上

②同上

⑥報告者の記入を容易にするため、野菜・果樹の場合、合計作付面積及び合計販売金額の把握から、作付けた品目を選択した上で品目毎の作付面積及び販売金額の把握へ変更

⑥同上

変更案

変更前

変更点及び理由

品目		説明	植栽面積 (a)	うち 成園 (結果樹)	生産量 (kg)	販売数量 (kg)	販売金額 (円)
茶		数量は、普查で換算して記入してください。					円 万 千 百 +
果 樹		りんご、みかん、ぶどう等の果樹					
品目		説明	作付延べ面積				販売金額 (円)
野 菜	露 地	露地で生産した野菜	a				円 万 千 百 +
	施 設	施設で生産した野菜	m				
花 き	露 地	切り花	a				
		鉢物	a				
	施 設	切り花	m				
		鉢物	m				

⑥同上

⑦花きの切り花、鉢物の区分について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから取りやめ

変更案

変更前

変更点及び理由

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

⑦ 7-4 花き

区分	作付延べ面積、販売金額に含めるもの	前年		販売金額(円)
		作付延べ面積		
		露地 (a)	施設 (m ²)	
露地花き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施設花き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

⑦

② 7-5 畜産物

区分	飼養頭羽数、生産量に含めるもの	販売金額に含めるもの	前年		
			飼養頭羽数、生産量	販売頭羽数	販売金額(円)
酪農	生乳生産量(年間)	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	生乳	kg	
	搾乳牛	搾乳牛(乾乳中の牛を含む。)の月平均飼養頭数		頭	
	自家生産乳牛等		自家で生産した乳牛(FI、ETを含む。)、搾乳用育成牛		頭
肉用牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛雌牛の月平均飼養頭数		頭	
	自家生産和牛等		自家で生産した子牛(和子牛・FIクロス牛)、自家で生産して繁殖用に育成した牛		頭
	肉専用種	肉専用種の牛の月平均飼養頭数		頭	頭
肥育牛	乳用種	乳用種の牛の月平均飼養頭数		頭	頭
	交雑種	交雑種の牛(他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛)の月平均飼養頭数		頭	頭
	交雑種	交雑種の牛(他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛)の月平均飼養頭数		頭	頭
養豚	繁殖雌豚	繁殖用の豚の月平均飼養頭数		頭	
	肥育豚	肥育用の豚の月平均飼養頭数		頭	
	肉豚		肉豚、屠用豚のうち販売した豚		頭
	子豚		肥育用・繁殖用子豚		頭
採卵養鶏	飼養羽数	採卵用鶏(うずらを除く。)の月平均飼養羽数		羽	
	鶏卵生産量(年間)	採卵用の鶏から生産される卵(正常卵以外も販売したものは含む。)、産卵		kg	
ブロイラー養鶏	ブロイラー、ブロイラー雛(地鶏を除く。)の年間販売羽数	ブロイラー、ブロイラー雛		羽	
その他畜産	きゅう肥(ふん尿)		きゅう肥として販売したもの(自給肥料としたもの以外)		
	その他		地鶏、錦羊、うずら、やぎ、養蚕、養蜂等		

7-4 花き

区分	本年								
	作付延べ面積			販売金額(円)					
	露地 (a)		施設 (m ²)						
	ha	a	m ²	億	万	千	百	十	一
露地花き									
施設花き									

②同上

⑦同上

7-5 畜産物

区分	飼養頭羽数(月平均)、生産量(年間)	販売頭羽数(年間)	販売金額(円)	
			億	万
酪農	生乳生産量(年間)		kg	
	搾乳牛		頭(月平均)	
	自家生産乳牛等		頭	
肉用牛	繁殖雌牛		頭(月平均)	
	自家生産和牛等		頭	
	肉専用種		頭(月平均)	頭
肥育牛	乳用種		頭(月平均)	頭
	交雑種		頭(月平均)	頭
	交雑種		頭(月平均)	頭
養豚	繁殖雌豚		頭(月平均)	
	肥育豚		頭(月平均)	
	肉豚		頭	
	子豚		頭	
採卵養鶏	飼養羽数		羽(月平均)	
	鶏卵生産量(年間)		kg	
ブロイラー養鶏			羽	
その他畜産	きゅう肥(ふん尿)			
	その他			

変更案

変更前

変更点及び理由

② 2 畜産物

品目	説明	生産概況 (事業消費含む。)	農畜産物収入	
		生産量 (kg)	販売頭数	販売金額 (円)
酪農	生乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの		億 万 千 百 十
	搾乳牛	搾乳を行った牛		
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳用種・交雑種・受精移植牛、搾乳牛、乳腐牛		億 万 千 百 十
品目	説明	飼養頭数 (月平均)	販売頭数	販売金額 (円)
肉用牛	繁殖雌牛	繁殖用の雌牛		
	自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はF1クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛		億 万 千 百 十
	肉専用種	肉専用種の牛		
	乳用種	乳用種の牛		
交雑種	交雑種の牛 (F1クロス牛を含む。)			
品目	説明	飼養頭数 (月平均)	販売頭数	販売金額 (円)
養豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚		
	肥育豚	肥育用の豚		
	肉豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚		億 万 千 百 十
	子豚	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚		
品目	説明	飼養羽数 (月平均)	販売金額 (円)	
採卵養鶏	採卵鶏	採卵用の鶏(うずらは、その他畜産物に含める。)		
	鶏卵	採卵用の鶏から生産される卵 (正常卵以外も販売したものは含む。)。また、販売金額には、廃卵も含める。		億 万 千 百 十
品目	説明		販売羽数 (年間)	販売金額 (円)
ブロイラー養鶏	ブロイラー	ブロイラー、ブロイラーの雛(地鶏は含まない。)		億 万 千 百 十
品目	説明			販売金額 (円)
その他	きゅう肥 (ふん尿)	きゅう肥として販売したもの (自給肥料としたものは含まない。)		億 万 千 百 十
	その他畜産物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など		

② 同上

(削除)

⑧

3 直接販売
販売金額のうち、自ら生産した農産物を、実需者（小売業、食品製造業、外食産業等）や、自営直売所、その他直売所、インターネット等で消費者に直接販売して得た金額を記入してください。
また、直接販売の販路別の金額割合を記入してください。

(1) 直接販売の金額

金額 (円)	億 万 千 百 十	金額での記入が難しい場合	売上高に占める割合 (%)	(1)の記入があった場合、 → (2)の記入をお願いします。
この欄には直接販売で得た販売金額を記入してください。			この欄には7ページの売上高に占める直接販売の割合を記入してください。	

(2) 販路別金額割合

直接販売 (全体)	小売業者		消費者に直接販売				その他
	食品製造業・外食産業	自営直売所	その他直売所	インターネット	他の方法		
100	%	%	%	%	%	%	

この欄には直接販売の販路別の金額割合を合計して100%になるように記入してください。

⑧直接販売について、施策上の利活用に影響がないことから、把握を取りやめ
なお、直接販売等の出荷先別の経営体数は農林業センサスにより把握可能

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																		
<p>① 【8】 農作業受託収入、事業消費など 8-1 農作業受託についてお伺します。</p> <p>② 1年間に農作業受託収入がありましたか。 <input type="radio"/>はい → 「本年金額」欄に受託収入を記入してください。 <input type="radio"/>いいえ → 8-2へお進みください。</p> <p>(削除)</p>	<p>【10】 農作業受託収入等</p> <p>1 売上高のうち、農作業受託の収入金額を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="1034 323 1429 408"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>収入金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農 作 業 受 託 収 入</td> <td>億 万 千 百 十</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 貴法人の営農類型が水田作又は畑作の場合は2にも記入してください。</p> <p>2 水稻、麦類及び豆類の作業受託がある場合は、作業ごとの①受託面積等、②収入金額を次の表に記入してください。</p> <div data-bbox="1012 643 1639 970" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>1 受託面積等 部分作業のうち、 (※1) 育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。 (※2) 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。 (※3) 乾燥・調製は、水稻の場合は玄米、麦類の場合は玄麦、豆類の場合は乾燥子実の数量を記入してください。</p> <p>2 収入金額 収入金額は、各作業に対する金額を記入してください。 各作業に対する金額の記入が難しい場合は、1の農作業受託収入に占める割合を記入してください。</p> <p>3 全作業 全作業には、同一ほ場において、育苗から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積(実面積)、その収入金額を記入してください。</p> </div> <p>(1) 水 稻</p> <table border="1" data-bbox="1052 1005 1630 1364"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">①受託面積等</th> <th colspan="4">②収入金額 (円)</th> <th rowspan="2">1の金額に占める割合 (%)</th> </tr> <tr> <th>億</th> <th>万</th> <th>千</th> <th>百</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 作 業</td> <td>a</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">部 分 作 業</td> <td>育 苗※1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耕うん・整地※2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>田 植</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防 除</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>刈取・脱穀</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>乾燥・調製※3</td> <td>kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	収入金額 (円)	農 作 業 受 託 収 入	億 万 千 百 十	区 分	①受託面積等	②収入金額 (円)				1の金額に占める割合 (%)	億	万	千	百	全 作 業	a						部 分 作 業	育 苗※1						耕うん・整地※2						田 植						防 除						刈取・脱穀						乾燥・調製※3	kg					そ の 他							<p>① 現行【10】及び【13】を統合し名称を変更</p> <p>② 報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、作業受託収入の有無に関する設問を追加</p> <p>③ 農作業受託に係る内訳について、報告者の記入負担軽減を図るため、施策上の利活用に影響がないことから把握を取りやめ なお、農作業受託した経営体の事業部門別経営体数、受託収入規模別経営体数は農林業センサスによりそれぞれ把握可能</p>
区 分	収入金額 (円)																																																																			
農 作 業 受 託 収 入	億 万 千 百 十																																																																			
区 分	①受託面積等	②収入金額 (円)				1の金額に占める割合 (%)																																																														
		億	万	千	百																																																															
全 作 業	a																																																																			
部 分 作 業	育 苗※1																																																																			
	耕うん・整地※2																																																																			
	田 植																																																																			
	防 除																																																																			
	刈取・脱穀																																																																			
	乾燥・調製※3	kg																																																																		
そ の 他																																																																				

変更案

変更前

変更点及び理由

③

(2) 麦類			
区分	①受託面積等	②収入金額 (円)	1の 金額に 占める 割合 (%)
		億 万 千 百 十	
全 作 業	a		
部 分 作 業	耕うん・整地 ^{※2}	a	
	は 種	a	
	防 除	a	
	刈取・脱穀	a	
	乾燥・調製 ^{※3}	kg	
そ の 他			

(3) 豆類			
区分	①受託面積等	②収入金額 (円)	1の 金額に 占める 割合 (%)
		億 万 千 百 十	
全 作 業	a		
部 分 作 業	耕うん・整地 ^{※2}	a	
	は 種	a	
	防 除	a	
	刈取・脱穀	a	
	乾燥・調製 ^{※3}	kg	
そ の 他			

変更案

8-2 農業生産関連事業を行っている方にお伺いします。

自らが生産した農畜産物を農業生産関連事業に仕向けている場合は、仕向けた自家農畜産物の金額を記入してください。金額が不明な場合は、仕向けた数量に市場価格等を乗じて見積もった金額を記入してください。

ただし、12~17ページの「【7】生産概況、農畜産物収入」に計上されている場合は記入不要です。

前年金額 (円)	本年金額 (円)				
	億	万	千	百	十

変更前

【13】農業生産関連事業収支

1 各農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】損益計算書」(7ページ)の1(1)「売上高」に対する割合を記入してください。

区	分	収入金額(円)	売上高割合(%)
1	農産加工	農産加工事業の売上高	
2	観光農園	観光農園、関連施設内での売上高	
3	貸し農園	貸し農園の売上高	
4	農家民宿	農家民宿での売上高	
5	農家レストラン	農家レストランでの売上高	
6	その他	上記以外の売上高	

2 農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】損益計算書」(7ページ)の1(1)「売上原価」に占める割合を記入してください。

(1) 農業生産関連事業支出(売上原価)

区	分	支出金額(円)	売上原価割合(%)	売上原価割合(%)
売上原価	商品の仕入原価、製造原価			
製造原価				
材料費	事業で消費した材料費			
労務費	農業生産関連事業労働分の労務費			
減価償却費	農業生産関連事業分の減価償却費			

この欄には、農業生産関連事業の「売上原価」に占める割合を記入してください。

農業生産関連事業に仕向けた「自家農畜産物」

農業の金額が記入場合、この欄に「【4】損益計算書」(7ページ)の1(1)「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。

(2) 農業生産関連事業支出(販売費及び一般管理費)

区	分	支出金額(円)	販売費割合(%)	販売費割合(%)
販売費及び一般管理費	各農業生産関連事業の販売費及び一般管理費の合計			
人件費	農業生産関連事業労働分の人件費			
減価償却費	農業生産関連事業分の減価償却費			

この欄には、農業生産関連事業の「販売費及び一般管理費」に占める割合を記入してください。

変更点及び理由

報告者の記入負担軽減を図るため、農業生産関連事業に係る詳細な把握を取りやめ、農業粗収益に含まれる「農業生産関連事業に仕向けた自家農畜産物」に係る金額のみの把握へ変更

なお、農業生産関連事業を行っている経営体数、売上金額規模別経営体数については農林業センサス、農業生産関連事業の状況については6次産業化総合調査により把握可能

変更案	変更前	変更点及び理由																																																																																																							
<p>① [9] 制度受取金・積立金等</p> <p>② 制度受取金・積立金等についてお伺いします。</p> <p>1年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。</p> <p>はい → 次の設問へお進みください。</p> <p>いいえ → 調査は終了になります。</p> <p>(右頁に続きます。)</p> <table border="1" data-bbox="152 462 913 1165"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称等</th> <th colspan="2">前年</th> <th colspan="2">金額</th> </tr> <tr> <th>受取</th> <th>積立</th> <th>制度受取金等(円)</th> <th>制度積立金等(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>共通</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>水田・畑作</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>野菜</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>茶</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>果樹</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>畜産</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称等	前年		金額		受取	積立	制度受取金等(円)	制度積立金等(円)	共通					水田・畑作					野菜					茶					果樹					畜産					その他					合計					<p>以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。</p> <p>はい → 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けていただき、調査は終了になります。</p> <p>いいえ → ① 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けてください。 ② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。 なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計(制度受取金等)」及び「合計(制度積立金等)」欄を記入してください。</p> <p>④</p> <table border="1" data-bbox="958 462 1724 1165"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称等</th> <th colspan="2">本年</th> <th colspan="2">金額</th> </tr> <tr> <th>受取</th> <th>積立</th> <th>制度受取金等(円)</th> <th>制度積立金等(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>億</td> <td>万</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水田・畑作</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>茶</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>果樹</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>畜産</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計」欄を記入してください。</p> <p>調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。</p>	名称等	本年		金額		受取	積立	制度受取金等(円)	制度積立金等(円)				億	万	共通					水田・畑作					野菜					茶					果樹					畜産					その他					合計					<p>① 番号修正</p> <p>② 報告者の未記入防止及び調査票提出後の照会負担を軽減するため、制度受取金・積立金の該当の有無を確認する設問を追加</p> <p>③ 報告者の記入負担軽減を図るため、調査項目を記入する代わりに資料の提供を確認する欄を追加</p> <p>④ 報告者の記入負担軽減を図るため、内訳又は上記以外の制度受取金及び合計欄のみの回答とし、該当のあった制度へのチェック欄を設ける(なお、名称は、調査時に名称を印字して配布する)</p>
名称等		前年		金額																																																																																																					
	受取	積立	制度受取金等(円)	制度積立金等(円)																																																																																																					
共通																																																																																																									
水田・畑作																																																																																																									
野菜																																																																																																									
茶																																																																																																									
果樹																																																																																																									
畜産																																																																																																									
その他																																																																																																									
合計																																																																																																									
名称等	本年		金額																																																																																																						
	受取	積立	制度受取金等(円)	制度積立金等(円)																																																																																																					
			億	万																																																																																																					
共通																																																																																																									
水田・畑作																																																																																																									
野菜																																																																																																									
茶																																																																																																									
果樹																																																																																																									
畜産																																																																																																									
その他																																																																																																									
合計																																																																																																									

変更案

変更前

変更点及び理由

① **【11】 制度受取金・積立金等**

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

④ 1 共通

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	千	百	十	億	千	百	十

2 稲、畑作物等関連

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	千	百	十	億	千	百	十

3 園芸作物関連

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	千	百	十	億	千	百	十

4 畜産関連

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	千	百	十	億	千	百	十

5 その他

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	千	百	十	億	千	百	十

① 同上

④ 同上

調査計画（変更後）

1 調査の名称

農業経営統計調査

2 調査の目的

統計法（平成19年法律第53号。以下「法」という。）に基づき、農業経営統計（法第2条第4項に規定する基幹統計）を作成し、農業経営体の経営及び農産物の生産費の実態を明らかにするとともに、農業行政の基礎資料を整備することを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲（全国 その他）

(2) 属性的範囲（個人 世帯 事業所 企業・法人・団体 地方公共団体
その他）

農業経営体のうち、農産物の販売を目的とする経営体（農業経営体の定義については、別添1を参照。）とし、営農類型別経営統計に係る調査（以下「経営統計調査」という。）及び農畜産物の生産費統計に係る調査（以下「生産費調査」という。）の別に、次の区分とする。

ア 経営統計調査

(ア) 個人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有しない経営体

(イ) 法人経営体

世帯による事業を行う経営体のうち法人格を有する経営体、農事組合法人及び会社組織による経営体

イ 生産費調査

(ア) 個別経営体

世帯による事業を行う経営体（法人格を有する経営体を含む。）

(イ) 組織法人経営体

個別経営体以外で法人格を有する農事組合法人及び会社組織による経営体

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 報告者数

ア 経営統計調査

4, 526経営体（母集団の大きさ： 969, 279経営体）

（内訳）

○個人経営体	3, 665	（母集団	942, 155）
水田作	768	（母集団	520, 198）
畑作	826	（母集団	58, 800）
野菜作	818	（母集団	159, 191）
果樹作	556	（母集団	126, 808）
花き作	147	（母集団	19, 312）
酪農	88	（母集団	11, 104）
肉用牛	307	（母集団	25, 982）
養豚	70	（母集団	1, 200）
採卵養鶏	15	（母集団	980）
ブロイラー養鶏	20	（母集団	965）
その他 ^{（注1）}	50	（母集団	17, 615）

（注1）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（個人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

○法人経営体	861	（母集団	27, 124）
水田作（集落営農）	111	（母集団	4, 538）
水田作（集落営農以外）	153	（母集団	3, 698）
畑作	126	（母集団	3, 189）
野菜作	100	（母集団	4, 848）
果樹作	98	（母集団	1, 541）
花き作	65	（母集団	1, 113）
酪農	26	（母集団	1, 660）
肉用牛	38	（母集団	1, 612）
養豚	45	（母集団	1, 278）
採卵養鶏	58	（母集団	892）
ブロイラー養鶏	16	（母集団	434）
その他 ^{（注2）}	25	（母集団	2, 321）

（注2）「その他」には、水田作からブロイラー養鶏までの13営農類型のいずれにも分類されない営農（芝、軽種馬（競走用仔馬）、養蜂等）の販売金額が最も多い経営体が該当し、この情報は、経営形態別経営統計（法人経営体全体及び農業経営体全体の経営統計）を作成する際にのみ用いる。

イ 生産費調査

3, 832経営体（母集団の大きさ： 848, 839経営体）

（内訳）

○個別経営体	3, 385	（母集団	833, 033）
--------	--------	------	-----------

《農産物生産費統計》

米生産費	818 (母集団	673, 743)
小麦生産費	396 (母集団	26, 298)
二条大麦生産費	70 (母集団	6, 728)
六条大麦生産費	47 (母集団	2, 191)
はだか麦生産費	38 (母集団	1, 097)
そば生産費	112 (母集団	17, 354)
大豆生産費	398 (母集団	32, 769)
原料用かんしょ生産費	63 (母集団	2, 243)
原料用ばれいしょ生産費	71 (母集団	1, 942)
なたね生産費	45 (母集団	523)
てんさい生産費	68 (母集団	6, 381)
さとうきび生産費	114 (母集団	10, 451)

《畜産物生産費統計》

牛乳生産費	402 (母集団	12, 123)
去勢若齢肥育牛生産費	221 (母集団	6, 087)
乳用雄肥育牛生産費	74 (母集団	623)
交雑種肥育牛生産費	63 (母集団	1, 305)
子牛生産費	208 (母集団	28, 390)
乳用雄育成牛生産費	39 (母集団	415)
交雑種育成牛生産費	47 (母集団	1, 041)
肥育豚生産費	91 (母集団	1, 329)

○組織法人経営体 447 (母集団 15, 806)

《農産物生産費統計》

米生産費	176 (母集団	9, 394)
小麦生産費	100 (母集団	2, 577)
大豆生産費	171 (母集団	3, 835)

(2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出 (□全数階層あり) □有意抽出)

ア 経営統計調査

個人経営体及び水田作(集落営農)以外の法人経営体については、2020年農林業センサスにより集められた情報を、法人経営体の水田作(集落営農)については、令和2年集落営農実態調査により集められた情報を母集団とし、営農類型別及び農業経営体の種類(個人経営体及び法人経営体)ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。

詳細については、別添2のとおり。

イ 生産費調査

2020年農林業センサスにより集められた情報を母集団とし、品目別及び農業経営体の種類（個別経営体及び組織法人経営体）ごとに母集団リストを作成した上で、層化無作為抽出により選定する。

詳細については、別添2のとおり。

ウ 共通事項

次回の母集団情報更新までは、同一の報告者に対して、継続的に報告を求めることを基本とする。

(3) 報告義務者

ア 経営統計調査

(ア) 農業経営体を代表する者

(イ) 農業経営体を代表する者が対応できない場合には、地方農政局等^(注3)の職員又は調査に係る事務を委託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者

(注3) 「地方農政局等」とは、地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターをいう。

イ 生産費調査

(ア) 農業経営体を代表する者

(イ) 農業経営体を代表する者が報告できない場合には、地方農政局等の職員が指定する当該農業経営体の農業経営に関与している者

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項（詳細は、調査票（別添3-1から3-18まで）を参照。）

ア 経営統計調査

《基本項目》

(ア) 経営体の現況に関する事項

(イ) 損益計算書に関する事項

(ウ) 事業収支の概要

(エ) 保有する土地面積の状況

(オ) 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入に関する事項

(カ) 制度受取金・積立金等に関する事項

(キ) 労働に関する事項

《詳細項目》

- (ク) 貸借対照表に関する事項
- (ケ) 投資と資金調達の状況
- (コ) 役員、雇用者への給与に関する事項（法人経営体のみ）

なお、(ク) 及び (ケ) については、個人経営体のうち主業経営体^(注4)、準主業経営体^(注5) 及び所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理がなされている副業的経営体^(注6)（以下「青色申告の副業的経営体」という。）並びに法人経営体から報告を求める。

(注4) 「主業経営体」とは、個人経営体のうち、農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

(注5) 「準主業経営体」とは、個人経営体のうち、農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

(注6) 「副業的経営体」とは、個人経営体のうち、調査期間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。

[集計しない事項の有無] 無 有

(イ) ~ (コ) のうち記入にあたって該当の有無を確認する項目、関係資料の提供を確認する項目については集計を行わない。

イ 生産費調査

- (ア) 経営の概況
- (イ) 生産物の販売等の状況又は調査対象畜の取引状況
- (ウ) 調査対象農畜産物の生産に使用した資材等に関する事項
- (エ) 物件税及び公課諸負担に関する事項
- (オ) 土地改良及び水利費に関する事項（農産物生産費のみ）
- (カ) 消費税（畜産物生産費のみ）
- (キ) 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子に関する事項
- (ク) 出荷に要した経費（畜産物生産費（牛乳生産費を除く。）のみ）
- (ケ) 建物及び構築物（土地改良設備を含む。）の所有状況
- (コ) 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況
- (サ) 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況
- (シ) 農具の購入費等に関する事項
- (ス) 搾乳牛等の所有状況（牛乳生産費のみ）
- (セ) 土地の面積及び地代に関する事項
- (ソ) 労働に関する事項
- (タ) 乳用牛の月齢別の飼育経費に関する事項（牛乳生産費のみ）

[集計しない事項の有無] 無 有

(2) 基準となる期日又は期間

ア 経営統計調査

(ア) 個人経営体

毎年1月1日から12月31日まで

(イ) 法人経営体

毎年、決算の対象となった年の1年間

イ 生産費調査

生産サイクル（収穫終了月までの1年間）^(注7)に基づき、農畜産物の品目ごとに次の期間とする。

農畜産物	期間
米 そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい 牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	毎年1月1日から12月31日
さとうきび	毎年4月1日から3月31日
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	毎年9月1日から8月31日

(注7) 2つの暦年にまたがる品目は、集計対象月数の多い方の年次を調査年次とする。

6 報告を求めるとに用いる方法

(1) 調査系統

ア 経営統計調査

(ア) 経営統計調査のみの報告者

農林水産省－民間事業者－報告者

└ 調査員 ─

(イ) 生産費調査の報告者を兼ねる者

a 地方農政局の管轄区域

農林水産省－地方農政局－報告者

└ 調査員 ─

b 北海道

農林水産省－北海道農政事務所－報告者

└ 調査員 ─

c 沖縄県

農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者

└ 調査員 ─

なお、民間事業者による調査に協力を得られる報告者については (ア) に記載の

調査系統により実施する。

イ 生産費調査

(ア) 地方農政局の管轄区域

農林水産省－地方農政局－報告者
└ 調査員 ─

(イ) 北海道

農林水産省－北海道農政事務所－報告者
└ 調査員 ─

(ウ) 沖縄県

農林水産省－内閣府沖縄総合事務局－農林水産センター－報告者
└ 調査員 ─

(2) 調査方法

■郵送調査 ■オンライン調査 (■政府統計共同利用システム ■独自のシステム
□電子メール) ■調査員調査 ■その他 (職員調査)

[調査方法の概要]

原則として、報告者が調査票に記入又は電子化した調査票に入力する方法 (自計報告) により行う。ただし、報告者の希望により地方農政局等の職員、統計調査員若しくは民間事業者に決算書類等 (報告者が磁気情報として作成しているものを含む。以下同じ。) を開示若しくは提供することにより、又は口頭で回答する方法により行う場合もある。

ア 経営統計調査

(ア) 調査票の配布

a 経営統計調査のみの報告者

民間事業者が配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。

b 生産費調査の報告者を兼ねる者

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち経営体の現況に関する事項を除き、前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。

(イ) 調査票の提出等

a 経営統計調査のみの報告者

次のいずれかの方法により行う。

- ① 報告者が郵送により提出する。
 - ② 民間事業者が、報告者を訪問して回収する。
 - ③ 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。
 - ④ 報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステム（民間事業者が行うセキュアファイル交換サービスを利用し、データ送受信時に暗号化技術を用いるなど情報漏えいを防ぐ措置を施す。以下同じ。）により提供し、又は民間事業者が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。
- b 生産費調査の報告者を兼ねる者
次のいずれかの方法により行う。
- ① 報告者が郵送により提出する。
 - ② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。
 - ③ 報告者が政府統計共同利用システムにより提出する。
 - ④ 報告者が、その作成した決算書類等を郵送、政府統計共同利用システム若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。

イ 生産費調査

(ア) 調査票の配布

地方農政局等の職員又は統計調査員が配布する。

なお、前年から調査を継続している報告者に対しては、報告を求める事項のうち、固定資産の所有状況等について、地方農政局等の職員が前年の調査票情報をあらかじめ調査票に印字し、その内容について更新を求めるものとする。

また、承諾が得られる報告者に対しては、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成15年法律第72号）に基づき農林水産省が保有（データベースの管理は（独）家畜改良センターが実施）している牛個体識別台帳（トレーサビリティデータ）を活用し、地方農政局等の職員が牛乳生産費統計調査票における搾乳牛等の所有状況並びに子牛生産費統計調査票及び育成牛・肥育牛生産費統計調査票における調査対象畜の取引状況をあらかじめ調査票に印字する。

(イ) 調査票の提出等

次のいずれかの方法により行う。

- ① 報告者が郵送により提出する。
- ② 地方農政局等の職員又は統計調査員が、報告者を訪問して回収する。
- ③ 報告者が電子化した調査票を独自のシステムにより提出する。
- ④ 報告者が、その作成した決算書類等を郵送若しくは独自のシステムにより提供し、又は地方農政局等の職員若しくは統計調査員が報告者を訪問して当該書類の提供を受ける。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

- 1回限り 毎月 四半期 1年 2年 3年 5年 不定期
 その他 ()

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

ア 経営統計調査

調査票は、毎年、調査年翌年の3月に配布し、提出期限は調査年翌年の4月末までとする。ただし、法人経営体のうち決算期が1月から3月までの経営体の提出期限は調査年翌年の6月末までとする。

イ 生産費調査

調査票は、5(2)のイに掲げる期間前に配布し、提出期限については、同期間終了月の翌々月末又は報告者が税務署に確定申告した月若しくは総会等により決算報告が行われた月の翌月末までとする。

8 集計事項

次に掲げる集計を行う(詳細は、別添4のとおり。)

《経営統計調査》

(1) 営農類型別経営統計

ア 個人経営体

- (ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、
(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、
(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) ブロイラー養鶏経営

なお、5(1)アの(ク)及び(ケ)については、個人経営体のうち主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体並びに法人経営体を対象に集計を行う。

イ 法人経営体

- (ア) 水田作経営、(イ) 水田作経営(集落営農)、(ウ) 畑作経営、
(エ) 野菜作経営、(オ) 果樹作経営、(カ) 花き作経営、(キ) 酪農経営、
(ク) 肉用牛経営、(ケ) 養豚経営、(コ) 採卵養鶏経営、(サ) ブロイラー養鶏経営

ウ 農業経営体

- (ア) 水田作経営、(イ) 畑作経営、(ウ) 野菜作経営、(エ) 果樹作経営、
(オ) 花き作経営、(カ) 酪農経営、(キ) 肉用牛経営、(ク) 養豚経営、

(ケ) 採卵養鶏経営、(コ) ブロイラー養鶏経営

(2) 経営形態別経営統計

ア 個人経営体、イ 法人経営体、ウ 農業経営体

《生産費調査》

(3) 農産物生産費統計

ア 個別経営体

(ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 二条大麦生産費、(エ) 六条大麦生産費、
(オ) はだか麦生産費、(カ) そば生産費、(キ) 大豆生産費、
(ク) 原料用かんしょ生産費、(ケ) 原料用ばれいしょ生産費、
(コ) なたね生産費、(サ) てんさい生産費、(シ) さとうきび生産費

イ 組織法人経営体

(ア) 米生産費、(イ) 小麦生産費、(ウ) 大豆生産費

(4) 畜産物生産費統計(個別経営体)

ア 牛乳生産費、イ 去勢若齢肥育牛生産費、ウ 乳用雄肥育牛生産費、
エ 交雑種肥育牛生産費、オ 子牛生産費、カ 乳用雄育成牛生産費、
キ 交雑種育成牛生産費、ク 肥育豚生産費

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法 (e-Stat インターネット (e-Stat以外) 印刷物 閲覧)
調査結果は、e-Stat及び農林水産省ホームページに掲載する方法により公表する。

(2) 公表の期日

調査結果の概要は結果の集計後速やかに、その詳細は逐次公表する。詳細は、別添5のとおり。

10 使用する統計基準等

使用する → 日本標準産業分類 日本標準職業分類 その他 ()

使用しない

本調査では、販売を目的とする農業経営体を調査対象としているため、調査対象の範囲の画定や集計結果については、日本標準産業分類における分類がないことから、統計基準は使用していない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

関係書類名	保存期間	保存責任者
記入済み調査票 ^(注8)	調査結果を公表した日の属する年の翌年の4月1日から起算して3年	農林水産省大臣官房統計部長 地方農政局等の長
調査票の内容を記録した電磁的記録	永年	農林水産省大臣官房統計部長

(注8) 記入済み調査票とは、経営統計調査において調査票の記入に代えて提出された関係書類を含む。

12 立入検査等の対象とすることができる事項

本調査の事務に従事する職員は、正確な報告を確保する特段の必要があるときは、5(1)に掲げる事項について、資料の提出を求め、又は必要な場所の立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

別添 1

農業経営体の定義

「農業経営体」とは、次のいずれかに該当するものをいう。

- 1 その経営耕地面積が30 アール以上であること。
- 2 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次に定める規模以上であること。
 - (1) 露地野菜作付面積 15 アール
 - (2) 施設野菜栽培面積 350 平方メートル
 - (3) 果樹栽培面積 10 アール
 - (4) 露地花き栽培面積 10 アール
 - (5) 施設花き栽培面積 250 平方メートル
 - (6) 搾乳牛飼養頭数 1 頭
 - (7) 肥育牛飼養頭数 1 頭
 - (8) 豚飼養頭数 15 頭
 - (9) 採卵鶏飼養羽数 150 羽
 - (10) ブロイラー年間出荷羽数 1,000羽
 - (11) その他 調査期間の開始の前日1年間における農業生産物の総販売額が50万円に相当する事業の規模

別添2

報告者の選定方法

- 1 農林水産省大臣官房統計部長（以下「統計部長」という。）は、農業経営統計調査規則（以下「規則」という。）第3条第2項の農業経営体の中から営農類型別の経営に関する統計の調査客体（以下「営農類型調査客体」という。）を抽出するため、別表第1の左欄に掲げる営農類型区分及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局の長（以下「地方農政局等の長」という。）に送付する。
- 2 地方農政局等の長は、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた営農類型調査客体の数を、前項の規定により統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。
- 3 統計部長は、農畜産物の生産費に関する統計の調査客体（以下「生産費調査客体」という。）を抽出するため、別表第2の左欄に掲げる品目及び同表の中欄に掲げる農業経営体の種類ごとに、同表の右欄に掲げる分類基準により農業経営体を区分してリストを作成し、これを地方農政局等の長に送付する。
- 4 地方農政局等の長は、生産費調査客体を抽出するため、調査の結果が十分な精度を有するよう統計部長が定める基準に従って、統計部長から割り当てられた生産費調査客体の数を、営農類型調査客体及び生産費調査客体の標本の十分な共用が図られるよう統計部長が定めるところにより、前項で統計部長から送付されたリストを使用して層化無作為抽出の方法により抽出する。
- 5 なお、農業経営体を区分したリストから標本抽出できない場合には、行政記録情報（農事組合法人名簿等）を基に調査対象を選定する。

別表第1

営農類型区分		農業経営体の種類	分類基準
水田作経営		個人経営体 法人経営体	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営			稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付した農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	露地野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
	施設野菜作経営		野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地野菜の販売収入より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営			果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	露地花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
	施設花き作経営		花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、露地花きの販売収入より施設花きの販売収入が多い経営
酪農経営			酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
肉用牛経営	繁殖牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数が肥育牛の飼養頭数以上である経営
	肥育牛経営		肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営のうち、繁殖用雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営
養豚経営			養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
採卵養鶏経営			採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
ブロイラー養鶏経営			ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
その他経営			水田作経営、畑作経営、野菜作経営、果樹作経営、花き作経営、酪農経営、肉用牛経営、養豚経営、採卵養鶏経営、ブロイラー養鶏経営以外の経営

別表第2

品目	農業経営体の種類	分類基準	
米	個別経営体	水稻を作付けし、玄米を年間600キログラム以上販売する経営	
	組織法人経営体	水稻を作付けし、販売する経営	
小麦	個別経営体	小麦を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	小麦を作付けし、販売する経営	
二条大麦	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
六条大麦			
はだか麦			
そば			
大豆	個別経営体	大豆（黒大豆を除く）を10アール以上作付けし、販売する経営	
	組織法人経営体	大豆（黒大豆を除く）を作付けし、販売する経営	
原料用かんしょ	個別経営体	対象作目を10アール以上作付けし、販売する経営	
原料用ばれいしょ			
なたね			
てんさい			
さとうきび			
牛乳			搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売する経営
去勢若齢肥育牛			肥育を目的とする去勢若齢和牛を1頭以上飼養し、販売する経営
乳用雄肥育牛			肥育を目的とする乳用雄牛を1頭以上飼養し、販売する経営
交雑種肥育牛			肥育を目的とする交雑種牛を1頭以上飼養し、販売する経営
子牛			肉用種の繁殖雌牛を2頭以上飼養し、子牛を生産して販売する経営
乳用雄育成牛			育成を目的とする乳用雄育成牛を5頭以上飼養し、販売する経営
交雑種育成牛	育成を目的とする交雑種牛を5頭以上飼養し、販売する経営		
肥育豚	肥育豚を年間20頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が7割以上の経営		

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

○年営農類型別経営統計調査票 (個人経営体用)



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

営農類型		番号	
------	--	----	--

☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。

☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。
統計作成以外の目的に使うことはありません。

【記入上の留意事項】

1. ○年1月1日～○年12月31日の1年間について記入してください。
2. 記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。
3. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
4. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
5. オンラインを利用される方は、同封の「オンライン利用の手引き」を参照してください。
6. 本調査に必要な資料

設問に回答する際は、お手元に次の資料をご用意ください。

○青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）、確定申告書

○年○月○日までに提出をお願いします。

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【通信欄】 1年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。

【はじめに】

調査に御協力いただきまして、ありがとうございます。

本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっているため、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので、該当する科目の記入欄へ転記してください。
- 営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

1 調査票の構成

区 分	説 明	回答対象者	ページ
【1】現況	農業従事者の状況や青色申告の申請状況、経営耕地面積など	全ての方に お答えいただく項目です	3
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況		4、5
【3】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況		5
【4】貸借対照表	資産や負債の状況	青色申告を行っている方 又は、年間60日以上自営 農業に従事している65歳 未満の家族がいる方にお 答えいただく項目です	6、7
【5】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況		8
【6】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況	全ての方に お答えいただく項目です	8、9
【7】生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入の状況		10～15
【8】農作業受託収入	農作業受託収入の状況		16
【9】制度受取金・積立金等	制度受取金等に係る状況		16、17

2 【4】貸借対照表の転記に際しての留意点

「【4】貸借対照表」（6ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。

一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を7ページに記入してください。

【1】現況（全ての方にお答えいただく項目です。）

1-1 現況についてお伺いします。

①	経営主の年齢を記入してください。 (令和〇年12月31日時点)	歳	
②	認定農業者がいますか。	はい	いいえ
③	経営主を含む家族のうち、年間60日 (480時間)以上自営農業に従事している 65歳未満の方がいますか。	はい	いいえ
④	世帯としての所得は、自営農業と自営 農業以外の所得（年金等は含みませ ん。）のどちらが多いですか。	自営 農業	自営 農業 以外
⑤	青色申告決算書（農業所得用）を利用 していますか。	はい	いいえ

(注)
③の従事した日数については、1日を8時間として
換算してください。

1-2 期末（12月31日）時点の土地の状況についてお伺いします。

経営している田～採草放牧地がありますか。

はい → 本年欄に記入してください。 いいえ → 【2】へお進みください。

土地の状況を記入してください。貸している面積は含みません。

区 分	前 年		本 年			
	経営面積 (a)	うち借入地 (a)	経営面積		うち借入地	
			ha	a	ha	a
田						
畑 (樹園地、牧草地を除く。)						
樹 園 地 (茶の植栽面積を含む。)						
牧 草 地						
採 草 放 牧 地						

- ・牧草地とは、専ら牧草の栽培を行う耕地をいいます。
- ・採草放牧地とは、自生する野草を飼料用や肥料用に採草したり、放牧に利用する土地をいいます。

【2】 損益計算書（全ての方にお答えいただく項目です。）

農業の収入、経費などについてお伺いします。

青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 2-2へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

2-1 青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

科 目	青色申告決算書No	収支内訳書No	前 年	本 年						
			金 額 (円)	金 額 (円)						
				億	万	千	百	十	一	
収入	販 売 金 額	①	①							
	家事消費金額・ 事業消費金額	②	②							
	雑 収 入	③	③							
	小 計	④	④							
	農産物の 棚卸高	期 首	⑤	⑤						
		期 末	⑥	⑥						
	収 入 計	⑦	⑦							
経 費	租 税 公 課	⑧	㊶							
	種 苗 費	⑨	㊷							
	素 畜 費	⑩	㊸							
	肥 料 費	⑪	㊹							
	飼 料 費 (注)	⑫	㊺							
	農 具 費	⑬	㊻							
	農薬費・衛生費	⑭	㊼							
	諸 材 料 費	⑮	㊽							
	修 繕 費	⑯	㊾							
	動 力 光 熱 費	⑰	㊿							
	作 業 用 衣 料 費	⑱	㊽							
	農 業 共 済 掛 金	⑲	㊿							
	減 価 償 却 費	⑳	㊽							
	荷 造 運 賃 手 数 料	㉑	㊿							
	雇 人 費	㉒	㊽							
	利 子 割 引 料	㉓	㊽							
	地 代 ・ 賃 借 料	㉔	㊽							
	土 地 改 良 費	㉕	㊽							
		㉖	㊽							
		㉗	㊽							
	㉘	㊽								
	㉙	㊽								
雑 費	㉚	㊽								
小 計	㉛	-								
農産物 以外の 棚卸高	期 首	㉜	㊽							
	期 末	㉝	㊽							
経費から差し引く果樹牛馬等の 育成費用	㉞	㊿								
計	㉟	㊽								

(注) 飼料費の計上がある場合は、2-2も必ず回答してください。

16,17頁へ記入してください。

(任意科目欄)
※科目が一致しない場合、決算書に記載の科目名を記入いただき、金額を記入してください。

2-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

はい → 本年金額欄に控除した補てん金額を記入してください。

いいえ → 2-3へお進みください。

前年金額 (円)	本年金額 (円)			
	億	万	千	百 十 一

2-3 専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

科 目	青色申告決算書No	収支内訳書No	前 年	本 年
			金 額 (円)	金 額 (円)
				億 万 千 百 十 一
専 従 者 給 与	④	⑬		

【3】事業収支の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）

事業収入や山林収入等についてお伺いします。

確定申告書第一表、第三表の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 【4】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

3-1 事業収入、事業所得についてお伺いします。

申告書第一表を参照して、次の科目の金額を記入してください。

科 目		申告書記号	前 年	本 年
			金 額 (円)	金 額 (円)
				億 万 千 百 十 一
収入金額	事業	営業等	㊦	
		農 業	①	
	不 動 産	㊧		
所得金額	事業	営業等	①	
		農 業	②	
	不 動 産	③		

3-2 1年間のうち、山林の所得がある場合には、申告書第三表（分離課税用）を参照して、次の科目の金額を記入してください。

科 目	申告書記号	前 年	本 年
		金 額 (円)	金 額 (円)
			億 万 千 百 十 一
収 入 金 額 (山 林)	㊦		
所 得 金 額 (山 林)	㊦		

【4】貸借対照表（該当する方のみお答えいただく項目です。）

次のいずれかに該当する方は、貸借対照表の期末（12月31日）時点の各科目の金額を記入してください。

- ・青色申告決算書（農業所得用）を利用している方（【1】-⑤が「はい」の方）
- ・年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方（【1】-③が「はい」の方）
（青色申告決算書（農業所得用）を利用していない方を含みます。）

4-1 貸借対照表を作成していますか。

はい → 4-2へお進みください。 いいえ → 次頁の4-5、4-6へお進みください。

4-2 貸借対照表の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。
資料を提供していただけますか。

はい → 4-4負債・資本の借入金の短期・長期の内訳をご記入の上、8頁の【5】へお進みください。

いいえ → 4-3、4-4の本年欄に記入してください。

4-3 資産

科 目	前 年 期末(12月31日) (円)	本 年 期末(12月31日) (円)			
		億	万	千	百 十
現 金					
普 通 預 金					
定 期 預 金					
そ の 他 預 金					
売 掛 金					
未 収 金					
有 価 証 券					
農 産 物 等					
未 収 穫 等					
未 成 熟 の 果 樹					
育 成 中 の 牛 馬 等					
肥 料 そ の 他 の 貯 蔵 品					
前 払 金					
貸 付 金					
建 物 ・ 構 築 物					
農 機 具 等					
果 樹 ・ 牛 馬 等					
土 地					
土 地 改 良 事 業 受 益 者 負 担 金					
(任意科目欄)※					
(任意科目欄)※					
(任意科目欄)※					
(任意科目欄)※					
事 業 主 貸					
合 計					

4-4 負債・資本

科 目	前 年 期末(12月31日) (円)	本 年 期末(12月31日) (円)			
		億	万	千	百 十
買 掛 金					
借 入 金					
短 期 借 入 金					
長 期 借 入 金					
未 払 金					
前 受 金					
預 り 金					
(任意科目欄)※					
(任意科目欄)※					
貸 倒 引 当 金					
(任意科目欄)※					
(任意科目欄)※					
事 業 主 借					
元 入 金					
青 色 申 告 特 別 控 除 前 の 所 得 金 額					
合 計					

※ 任意科目欄：科目が一致しない場合、科目名を記入いただき金額を記入してください。

8頁の【5】へお進みください。95

- 貸借対照表を作成していない方にお伺いします。
 期末（12月31日）時点の各科目の金額を記入してください。

4-5 資産に該当する勘定科目

科 目	説 明	前 年	本 年					
		期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)					
			億	万	千	百	十	一
現 金	農業経営の現金							
預 貯 金 等	農業経営の普通預金、定期預金、積立金、農業経営所有の有価証券、前払金、貸付金							
売 掛 未 収 入 金	売掛金、未収金							
建 物 ・ 構 築 物	農業経営用建物・構築物等の未償却残高							
農 機 具 等	農業用機械等の未償却残高							
果 樹 ・ 牛 馬 等	果樹と牛馬の未償却残高							
土 地	土 地 (貸付地以外)	農業経営用のうち等の固定資産評価額 (土地改良事業受益者負担を含む。)						
	貸 付 地	貸付地の固定資産評価額						

4-6 負債に該当する勘定科目

科 目	説 明	前 年	本 年					
		期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)					
			億	万	千	百	十	一
流 動 負 債	買掛金、短期借入金、未払金、前受金、預り金							
うち 買 掛 金	原材料等の購入代金の未払金							
うち 短 期 借 入 金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年以内に到来する借入金							
長 期 借 入 金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年を超える借入金							

【5】投資と資金調達の状況（該当する方のみお答えいただく項目です。）

次のいずれかに該当する方は、1年間の設備投資や借り入れについて、記入してください。

- ・青色申告決算書（農業所得用）を利用している方（【1】-⑤が「はい」の方）
- ・年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方（【1】-③が「はい」の方）
（青色申告決算書（農業所得用）を利用していない方を含みます。）

事業経営のため、1年間に設備投資や借り入れがありましたか。

はい → 本年欄に記入してください。

いいえ → 【6】へお進みください。

5-1 事業経営のため1年間に**設備投資したそれぞれの資産**について、**取得額の合計**を記入してください。
また、記入した金額のうち**農業の占める割合**（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。

区 分	説 明	前 年		本 年						
		金 額 (円)	農 業 割 合 %	金 額 (円)						
				億	万	千	百	十	一	農 業 割 合 %
建物・構築物	建物・構築物の購入金額									
農 機 具 等	自動車・農機具の購入金額									
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）									
土 地	土地の購入金額									

5-2 事業経営のため1年間に**借り入れた金額の合計**を**短期・長期別**に記入してください。
また、記入した金額のうち**農業の占める割合**（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。

区 分	説 明	前 年		本 年						
		金 額 (円)	農 業 割 合 %	金 額 (円)						
				億	万	千	百	十	一	農 業 割 合 %
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内の借入金									
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金									

【6】労働の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）

1年間に事業に従事した家族、雇用者の人数、農業労働時間についてお伺いします。

以下の設問にある従事者数及び農業労働時間を整理した資料がある場合、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 10頁の【7】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

6-1 **事業**（農業、農業生産関連事業、林業、不動産業、その他の事業）に**従事した人数**を記入してください。

区 分	前 年	本 年
	事業に従事した人数 (人)	事業に従事した人数 (人)
家 族 (経営主含む)		
常用雇用者		

【6-1から6-3までの家族、雇用の区分は次のとおりです】

- ・家族： 生計を一にする経営主を含む家族のうち、15歳以上の方を記入してください。
 - ・常用雇用者： 期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます
 - ・臨時雇用者： 1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。
- ※1 常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。
2 酪農ヘルパーなどの派遣労働に係る労働者及びその労働時間は含みません。

6-2 農業に従事した家族の性別、年齢及び1年間の農業労働時間について、一人ずつ記入してください。

区分	前年			本年		
	性別	年齢	年間の農業労働時間	性別	年齢	年間の農業労働時間
経営主	男 女			男 女		
家族①	男 女	歳		男 女	歳	
家族②	男 女	歳		男 女	歳	
家族③	男 女	歳		男 女	歳	
家族④	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑤	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑥	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑦	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑧	男 女	歳		男 女	歳	

・農業には、世帯として請け負った農作業を含みます。
 ・年間の農業労働時間は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
 (例) 平均労働時間が1日8時間、年間300日働いている場合、 $8 \times 300 = 2,400$ となるため、「2,400」と記入してください。

6-3 農業に従事した雇用者の人数、農業労働時間をそれぞれ記入してください。

(1) 常用雇用者の人数を区分ごとに記入してください。

区分	前年				本年			
	男性 (人)	65歳未満 (人)	女性 (人)	65歳未満 (人)	男性 (人)	65歳未満 (人)	女性 (人)	65歳未満 (人)
常用雇用者	合計							
	うち7か月以上の雇用者							

(2) 常用雇用者の1年間の農業労働時間を区分ごとに記入してください。

区分	前年	本年
	年間の農業労働時間 (時間)	年間の農業労働時間 (時間)
常用雇用者	合計	
	うち7か月以上の雇用者	

・農業労働時間：整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
 (例1) 「1人当たりの1日平均労働時間」×「1人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出
 (例2) 「雇用者に支払った賃金総額(損益計算書の雇人費のうち農業分)」÷「時間(日)当たり単価」により算出

(3) 臨時雇用者の農業に従事した人数及び1年間の農業労働時間をそれぞれ記入してください。

区分	前年	本年
臨時雇用者	農業に従事した人数 (人)	
	年間の農業労働時間 (時間)	

6-4 研修生の受け入れがあった場合、研修生の人数をそれぞれ記入してください。

区分	前年	本年
	人数(人)	人数(人)
外国人技能実習生		
日本人研修生		

・外国人技能実習生は、外国人技能実習制度に基づき雇用した実習生の人数(実人数)を記入してください。
 ・日本人研修生は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生(実人数)を記入してください。

【7】生産概況、農畜産物収入（全ての方にお答えいただく項目です。）

1年間（決算期間）に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）及び販売金額についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。

なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」「生産量」欄には事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。

また、稲わら以外の副産物を販売した場合は、該当する区分の販売金額に含めてください。

7-1 稲、麦類等

区 分			作付延べ面積、 販売金額 に含めるもの	前 年			
				作付延べ面積（茶は植栽面積）		生産量（kg）	販 売 金 額 （円）
				田（a）	畑（a）		
稲（食用）	水稲	主食用米	主食用				
		加工用米	酒造用、加工用				
		新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計				
	陸 稲						
稲（飼料用）	飼料用米	自給用を含む。					
	WCS用稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）					
稲わら・ぬか等			稲わら・ぬか等を販売したもの				
麦類	小 麦						
	二 条 大 麦						
	六 条 大 麦						
	は だ か 麦						
	その他の麦		ライ麦など				
豆類	大 豆		乾燥子実（枝豆等の未成熟は野菜）				
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実				
雑穀	そ ば		そば殻を含む。				
	他の雑穀		とうもろこし、あわ、ひえ、などの穀物				
いも類	か ん し ょ		種いも用、原材料かんしょを含む。				
	ば れ い し ょ		種いも用、原材料ばれいしょを含む。				
工芸農作物	て ん さ い						
	さ と う き び						
	茶		作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算				
	その他工芸農作物		なたね、い草、葉たばこなど				
その他	飼 料 用 作 物		牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計（自給用を含む。）				
	その他の作物		芝、苗、苗木、栽培きのこと類など				

以下の項目の設問について、1年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 16頁の【8】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

7-1 稲、麦类等

区 分			本 年													
			作付延べ面積（茶は植栽面積）						生産量（kg）			販売金額（円）				
			田（a）			畑（普通畑）（a）										
			ha	a		ha	a		億	万	千	百	十	一		
稲（食用）	水稲	主食用米														
		加工用米														
		新規需要米等														
		陸 稲														
稲（飼料用）		飼料用米														
		WCS用稲														
稲わら・ぬか等																
麦類		小 麦														
		二条大麦														
		六条大麦														
		はだか麦														
		その他の麦														
豆類		大 豆														
		大豆以外														
雑穀		そ ば														
		他の雑穀														
いも類		かんしょ														
		ばれいしょ														
工芸農作物		てんさい														
		さとうきび														
		茶														
		その他工芸農作物														
その他		飼料用作物														
		その他の作物														

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-2 野菜

区 分	前 年				販 売 金 額 (円)
	品 目		作 付 延 べ 面 積		
	コード	品 目 名	露地 (a)	施設 (m ²)	
露 地 野 菜					
		その他の露地野菜			
施 設 野 菜					
		その他の施設野菜			

7-3 果樹

区 分	前 年				販 売 金 額 (円)
	品 目		作 付 延 べ 面 積 (植 栽 面 積)		
	コード	品 目 名	露地 (a)	施設 (m ²)	
果 樹					
		その他の果樹			

7-2 野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】
【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

区 分	品目 (生産した野菜の品目コード又は品目名) を記入してください		本 年				販売金額 (円)					
	コード	品目名	作 付 延 べ 面 積		施設 (m ²)							
			露 地 (a)				億	万	千	百	十	一
		ha	a	m	m							
露 地 野 菜												
		その他の露地野菜										
施 設 野 菜												
		その他の施設野菜										

野菜の品目はこちらから選択してください。

コ	01	だいこん	04	キャベツ	07	ねぎ	10	なす	13	ピーマン
ド	02	にんじん	05	ほうれんそう	08	たまねぎ	11	大玉トマト		
	03	はくさい	06	レタス	09	きゅうり	12	ミニトマト		

7-3 果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にまとめて記入してください。

区 分	品目 (生産した果樹の品目コード又は品目名) を記入してください		本 年				販売金額 (円)					
	コード	品目名	作 付 延 べ 面 積 (植 栽 面 積)		施設 (m ²)							
			露 地 (a)				億	万	千	百	十	一
		ha	a	m	m							
果 樹												
		その他の果樹										

果樹の品目はこちらから選択してください。

コ	51	りんご	54	露地ぶどう	57	もも	60	おうとう	63	くり
ド	52	露地温州みかん	55	施設ぶどう	58	かき	61	すもも	64	キウイフルーツ
	53	施設温州みかん	56	日本なし	59	うめ	62	びわ	65	パインアップル

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-4 花き

区 分	作付延べ面積、販売金額 に含めるもの	前年		
		作付延べ面積		販売金額 (円)
		露地 (a)	施設 (m ²)	
露 地 花 き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施 設 花 き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

7-5 畜産物

区 分	飼養頭羽数、生産量 に含めるもの	販売金額 に含めるもの	前 年		
			飼養頭羽数、 生産量	販売頭羽数	販売金額 (円)
酪 農	生乳生産量 (年間)	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	生乳	kg	
	搾乳牛	搾乳牛（乾乳中の牛を含む。）の 月平均飼養頭数		頭	
	自家生産乳牛等		自家で生産した乳牛（F1、ETを含む。）、搾乳用育成牛		頭
肉 用 牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛雌牛の 月平均飼養頭数		頭	
	自家生産和牛等		自家で生産した子牛（和子牛・F1クロス牛）、自家で生産して繁殖用に育成した牛		頭
	肉専用種	肉専用種の牛の 月平均飼養頭数	肉専用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭
	乳用種	乳用種の牛の 月平均飼養頭数	乳用種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭
	交雑種	交雑種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の 月平均飼養頭数	交雑種の牛（他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛）の合計	頭	頭
養 豚	繁殖雌豚	繁殖用の豚の 月平均飼養頭数		頭	
	肥育豚	肥育用の豚の 月平均飼養頭数		頭	
	肉豚		肉豚、廃用豚のうち販売した豚		頭
	子豚		肥育用・繁殖用子豚		頭
採卵養鶏	飼養羽数	採卵用鶏（うずらを除く。）の 月平均飼養羽数		羽	
	鶏卵生産量 (年間)	採卵用の鶏から生産される卵（正常卵以外も販売したものは含む。）	採卵鶏から生産される卵（販売した不正常卵を含む。）、廃鶏	kg	
ブロイラー養鶏		ブロイラー、ブロイラー雛（地鶏を除く。）の 年間販売羽数	ブロイラー、ブロイラー雛		羽
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)		きゅう肥として販売したもの（自給肥料としたもの以外）		
	その他		地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕、養蜂等		

7-4 花き

区 分	本 年									
	作付延べ面積					販 売 金 額 (円)				
	露地 (a)		施設 (m ²)							
	ha	a	m ²		億	万	千	百	十	一
露 地 花 き										
施 設 花 き										

7-5 畜産物

区 分	本 年										
	飼養頭羽数 (月平均)、 生産量 (年間)				販 売 頭 羽 数 (年 間)				販 売 金 額 (円)		
	万 千 百 十 一			(単位)	万 千 百 十 一			(単位)	億	万 千 百 十 一	
酪 農	生乳生産量 (年間)		kg								
	搾乳牛		頭 (月平均)								
	自家生産乳牛等							頭			
肉 用 牛	繁殖牛	繁殖雌牛		頭 (月平均)							
		自家生産和牛等							頭		
	肥育牛	肉専用種		頭 (月平均)					頭		
		乳用種		頭 (月平均)					頭		
		交雑種		頭 (月平均)					頭		
養 豚	繁殖雌豚		頭 (月平均)								
	肥育豚		頭 (月平均)								
	肉 豚							頭			
	子 豚							頭			
採卵養鶏	飼養羽数		羽 (月平均)								
	鶏卵生産量 (年間)		kg								
ブロイラー養鶏								羽			
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)										
	その他										

【8】農作業受託収入（全ての方にお答えいただく項目です。）

農作業受託についてお伺いします。

1年間に農作業受託収入がありましたか。

はい	→ 本年金額欄に記入してください。
いいえ	→ 【9】へお進みください。

前年金額（円）	本年金額（円）				
	億	万	千	百	十

【9】制度受取金・積立金等（全ての方にお答えいただく項目です。）

制度受取金・積立金等についてお伺いします。

1年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。

はい	→ 次の設問へお進みください。
いいえ	→ 調査は終了になります。

（右頁に続きます。）

名 称 等		前 年			
		チェック		金 額	
		受取	積立	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
共通					
水田・畑作					
野菜					
茶					
果樹					
畜産					
その他					
合 計					

内訳の記入が難しい場合は、「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入してください。

以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい

→ 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けていただき、調査は終了になります。

いいえ

→ ① 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けてください。
 ② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。
 なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計（制度受取金等）」及び「合計（制度積立金等）」欄を記入してください。

名 称 等		チエック		本 年 金 額												
		受取	積立	制度受取金等（円）				制度積立金等（円）								
				億	万	千	百	十	一	億	万	千	百	十	一	
共通																
水田・畑作																
野菜																
茶																
果樹																
畜産																
その他																
合 計																

内訳の記入が難しい場合は、「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入してください。

調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。

秘
農林水産省
統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

○年 営農類型別経営統計調査票 (法人経営体用)

営農類型	番号	
------	----	--

- ☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
- ☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。
統計作成以外の目的に使うことはありません。

【記入上の留意事項】

1. **○年4月1日～○年3月31日の間に到来した決算日の対象となる1年間**について記入してください。
2. 記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。
3. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
4. **黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し**、間違えた場合は消しゴムで消してください。
5. オンラインを利用される方は、同封の「オンライン利用の手続き」を参照してください。
6. 本調査に必要な資料
設問に回答する際は、お手元に次の書類をご用意ください。
 - 貸借対照表
 - 損益計算書
 - 事業経費の内訳がわかる書類
(製造原価報告書や販売費及び一般管理費内訳書など)
 - 労働時間や給与支給額がわかる書類
 - 生産状況・販売金額の内訳がわかる書類

○年○月○日までに提出をお願いします。
(決算月が1月～3月の場合は○月○日までに提出をお願いします。)

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【通信欄】

決算期間の1年間で、農畜産物の生産や販売で特徴的な出来事があれば、記入してください。

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

本調査の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 貸借対照表や事業経費（製造原価、販売費及び一般管理費）に係る勘定科目の記入欄は、貴法人が採用する勘定科目と異なる場合があります。
- 事業経費に係る記入は、農業についてのみとしてください。
- 営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

1 調査票の構成

区 分	説 明	対応ページ
【1】現況	認定農業者の有無、決算期、経営する土地面積等の状況について記入してください。	3
【2】貸借対照表	資産や負債の状況について記入してください。	4
【3】投資と資金の調達	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	5
【4】労働の概要、給与の状況	事業に従事した人数や労働時間、役員、雇用者への給与の状況について記入してください。	6、7
【5】損益計算書	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について記入してください。	8
【6】農業に係る事業経費	農業に係る経費の状況について記入してください。	9～11
【7】生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入について記入してください。	12～17
【8】農業受託収入、事業消費など	農作業受託収入、事業消費に仕向けた農畜産物の金額について記入してください。	18、19
【9】制度受取金・積立金	制度受取金等に係る状況について記入してください。	18、19

2 「【6】農業に係る事業経費」の記入に際しての留意点

- (1) 「当期製品製造原価」と「販売費及び一般管理費」の内訳である「事業経費」については、法人ごとに会計処理が異なるため、貴法人に該当する項目（【6】農業に係る事業経費（P9）（6-1-1又は6-2-1））を選択し記入してください。
- (2) 「事業経費」の勘定科目は、農業法人協会が定める「農業の会計に関する指針」（平成26年5月制定）及びその参考資料の「標準的勘定科目一覧」を基準に設定しています。
- (3) このため、調査項目に採用している勘定科目は、各法人ごとに異なるものであるため、貴法人の勘定科目の名称と相違がある場合には、勘定科目の説明欄を参照し科目ごとに記入してください。

【1】現況

1-1 経営する法人の形態等についてお伺いします。

①	家族による経営ですか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
②	貴法人は認定農業者ですか。 又は、認定農業者はいますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
③	決算期間の期末月を記入してください。	月
④	決算日時点の経営主の年齢を記入してください。	歳
⑤	農業以外の事業を行っていますか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

⑥	集落営農ですか。	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
---	----------	--

「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいいます。

・**農業以外の事業**とは、農業生産関連事業（農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストラン）、林業、米穀集荷販売業、不動産経営などをいいます。

1-2 決算期末時点の土地の状況についてお伺いします。

経営している田～採草放牧地がありますか。

はい

→ 本年欄に記入してください。

いいえ

→ 4頁の【2】へお進みください。

区分は現状の地目で記入してください。また、貸している面積は含みません。

なお、集落営農の場合は、構成員持ち寄りの耕地は借入地に含めてください。

区 分	前 年		本 年						
	経営面積 (a)	うち借入地 (a)	経営面積		うち借入地				
			ha	a	ha	a			
田									
畑 (樹園地、牧草地を除く。)									
樹 園 地 (茶の植栽面積含む。)									
牧 草 地									
採 草 放 牧 地									

・**牧草地**とは、専ら牧草の栽培を行う耕地をいいます。
 ・**採草放牧地**とは、自生する野草を飼料用や肥料用に採草したり、放牧に利用する土地をいいます。

【2】貸借対照表

資産、負債の状況について、**貸借対照表を参照して、期末の金額を記入してください。**

また、**農業以外の事業も経営している場合は、農業の占める割合を必ず記入**（有形固定資産の内訳及び負債計のみ）してください。

「貸借対照表」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 農業以外の事業を行っている場合は、**点線内の農業割合を必ず記入の上**、5頁の【3】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

2-1 資産の部

勘定科目	説明	前年		本年					
		金額(円)	農業割合 %	金額(円)					農業割合 %
				億	万	千	百	十	
資産計	資産の合計								
流動資産	流動資産の合計								
うち現金・預貯金	現金、当座預金、普通預金、定期預金								
売掛金・未収入金	通常取引による営業上の未収入金								
棚卸資産	農産物、半製品、仕掛品、貯蔵品、資材								
うち農産物	農産物								
固定資産	固定資産の計								
有形固定資産	有形固定資産の計								
うち動物・植物	乳牛、繁殖牛、繁殖豚、果樹、茶、桑等								
自動車・農機具	車両運搬具、トラクター、乾燥機、機械装置、粃すり機等								
建物・構築物	建物、施設、畜舎、建物付属設備等								
土地	農地、付属施設等								
減価償却累計額	間接法による場合の減価償却費の累計額								
無形固定資産	電話加入権、地上権、借地権								
投資・その他の資産	農協出資金、長期貸付金、投資証券、補償金								
繰延資産	創立費、開業費								

2-2 負債の部

勘定科目	説明	前年		本年					
		金額(円)	農業割合 %	金額(円)					農業割合 %
				億	万	千	百	十	
負債計	負債の合計								
流動負債	流動負債の合計								
うち買掛金・未払金	原材料等の購入代金等の未払金の合計								
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金								
固定負債	固定負債の合計								
うち長期借入金	返済期限が1年を超える借入金								

次頁の【3】へお進みください。10

【3】投資と資金の調達

3-1 直近決算期における設備投資の状況についてお伺いします。

1年間に、建物・構築物、自動車・農機具、事業用の動物・植物、土地への投資を行いましたか。

はい → 本年欄に記入してください。

いいえ → 3-2へお進みください。

事業経営のため1年間（決算期間）に設備投資したそれぞれの資産について、取得額の合計を記入してください。また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年		本年						
		金額(円)	農業割合	金額(円)				農業割合		
			%	億	万	千	百	十	一	%
建物・構築物	建物・構築物の購入金額									
農機具等	自動車・農機具の購入金額									
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）									
土地	土地の購入金額									

3-2 直近決算期の資金調達の状況についてお伺いします。

1年間に、事業のための資金調達を行いましたか。

はい → 本年欄に記入してください。

いいえ → 6頁の【4】へお進みください。

1年間に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。また、記入した金額のうち農業の占める割合を必ず記入してください。

勘定科目	説明	前年		本年						
		金額(円)	農業割合	金額(円)				農業割合		
			%	億	万	千	百	十	一	%
短期借入金	返済期限が1年以内の借入金									
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金									

【4】労働の概要、給与の状況

雇用形態別の従事者数、農業労働時間等についてお伺いします。

以下の設問にある従事者数、農業労働時間、性別、支給した給与を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけませんか。

はい → 8頁の【5】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

4-1 男性の従事者数：1年間の**男性の従事者数**について、雇用形態別に実人数で記入してください。
また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。

区 分	前 年			本 年		
	男性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	男性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)
有 給 役 員						
常 用 雇 用 者	正 社 員・ 正 職 員					
	そ の 他					
	うち 7か月以上					

4-2 女性の従事者数：1年間の**女性の従事者数**について、雇用形態別に実人数で記入してください。
また、そのうち農業に従事した方の人数をそれぞれ記入してください。

区 分	前 年			本 年		
	女性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)	女性の 全従事者数 (人)	うち農業 (人)	65歳未満 (人)
有 給 役 員						
常 用 雇 用 者	正 社 員・ 正 職 員					
	そ の 他					
	うち 7か月以上					

4-3 臨時雇用者数：1年間の**臨時雇用者数（男女計）**について、実人数で記入してください。

区 分	前 年		本 年	
	従事者数 (人)	うち農業 (人)	従事者数 (人)	うち農業 (人)
臨 時 雇 用 者				

4-4 **研修生**の受け入れがあった場合、研修生の**人数**をそれぞれ記入してください。

区 分	前 年	本 年
	人数 (人)	人数 (人)
外国人技能実習生		
日本人研修生		

・外国人技能実習生は、**外国人技能実習制度**に基づき雇用した実習生の人数（実人数）を記入してください。

・日本人研修生は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生（実人数）を記入してください。

4-5 労働時間：1年間の労働時間の合計を雇用形態別に記入してください。
また、農業には、貴法人が請け負った農作業も含まれます。

区 分	前 年		本 年	
	年間の事業労働時間 (時間)	うち農業労働時間 (時間)	年間の事業労働時間 (時間)	うち農業労働時間 (時間)
有 給 役 員				
常 用 雇 用 者	正社員・ 正職員			
	そ の 他			
	うち 7カ月以上			
臨 時 雇 用 者				

労働時間の合計の記入は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。
「1人当たりの1日平均労働時間」×「1人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出した値を記入してください。

<例>

正社員5人の平均労働時間が、1日8時間、年間300日働いている場合、 $8 \times 300 \times 5 = 12,000$ となるため、「12,000」を記入してください。

4-6 1年間に支給した給与（農業以外の事業に従事した従事者を含みます。）
支給総額を雇用形態別に記入してください。
なお、従事分量配当として事業従事者に支払った場合は給与に含めます。

区 分	前 年 給与支給総額 (円)	本 年 給与支給総額 (円)					
		億	万	千	百十		
有 給 役 員				0	0	0	0
常 用 雇 用 者	正社員・ 正職員			0	0	0	0
	そ の 他			0	0	0	0
臨 時 雇 用 者				0	0	0	0

<留意点>

- ・退職金、法定福利費及び福利厚生費は支給総額に含めないでください。
- ・支給総額は万円単位（千の位を四捨五入）で記入してください。

【雇用形態の区分】

- 有給役員：法人の取締役、理事などで役員報酬を得ている者をいいます。
- 常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます。
 - ・正社員・正職員：常用雇用者のうち貴法人で正社員・正職員として処遇している者をいいます。
 - ・その他：常用雇用者のうち正社員・正職員以外の者（1か月以上雇用したパート、アルバイト等）をいいます。
- 臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。

※常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。

【5】損益計算書

事業全体の売上高や経費等についてお伺いします。

5-1 損益計算書：事業全体の売上高、経費等について記入してください。

「損益計算書」の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

(はい) → 農業以外の事業を行っている場合は、**点線内の農業割合を必ず記入**の上、5-2へお進みください。

(いいえ) → 本年欄に記入してください。

勘定科目	前年		本年						
	金額(円)	農業割合 %	金額(円)				農業割合 %		
			億	万	千	百		十	一
営業 売上高									
売上原価 (①+②+③+④-⑤)									
期首商品棚卸高 ①									
当期商品仕入高 ②									
当期製品製造原価 ③									
生物売却原価 ④									
期末商品棚卸高 ⑤									
販売費及び一般管理費									
営業外収益									
営業外費用									
支払利子・割引料									
特別利益									
特別損失									
当期純利益									

5-2 「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳である事業経費についてお伺いします。

「当期製品製造原価」「販売費及び一般管理費」の内訳の整理方法について当てはまる方へお進みください。

①まとめて整理している
(製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の**いずれかのみ作成**している場合)

9頁へお進みください。

②別々に整理している
(製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の**両方を作成**している場合)

10頁へお進みください。

【6】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）

① 製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書のいずれかのみ作成している場合

6-1-1 事業経費についてお伺いします。

事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書及び販売費及び一般管理費内訳書のいずれか）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 資料を提出いただける場合は、**点線内の農業割合を必ず記入の上**、12頁の【7】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が**困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入**してください。

勘定科目	説明	前年		本年						
		金額(円)	農業割合 %	金額(円)					農業割合 %	
				億	万	千	百	十	一	
合計	【5】損益計算書の「当期製品製造原価③」+「販売費及び一般管理費」の合計額									
期首材料棚卸高	原材料の期首在り高									
期首仕掛品棚卸高	仕掛品の期首在り高									
種 苗 費	種もみ、種子、種芋、苗類などの購入費用									
素 畜 費	預託費、種付け費、もと畜の購入費用、登録料									
肥 料 費	肥料の購入費用									
飼 料 費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額									
農 薬 費・ 衛 生 費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤の購入費用									
水 道 料・ 動 力 光 熱 費	水道、電力、ガス、灯油、ハウス燃料、機械・車両等の燃料費									
諸 材 料 費	敷料、諸材料費、消耗品費、事務用消耗品費									
労 務 費・人 件 費	賃金手当、賞与、役員報酬、福利厚生費等の一切									
うち作業用衣料費	労務費に含まれている作業服、軍手等の購入費用									
農作業等委託費	賃耕料、刈取料等の農作業委託料									
診 察 衛 生 費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費用									
外 注 費	ヘルパー利用料、ほ場管理費等									
農 具 ・ 機 械 車 両 費 等	農機具、車両の購入費用、維持費用									
修 繕 費 ・ 修 繕 用 部 品 費	建物、農機具等の修繕費用									
共 済 掛 金 ・ 保 険 料	作物や施設の共済掛金、支払保険料、事務費等									
減 価 償 却 費	建物、農機具、自動車等の減価償却費									
地 代 ・ 家 賃 ・ 賃 借 料	地代、家賃、賃借料、穀物等の検査料									
土 地 改 良 費	土地改良負担金・賦課金、水利費									
租 税 公 課 ・ 諸 会 費 等	租税公課、諸会費、諸負担金、消費税、印紙税、共済賦課金、自賠責保険									
荷 造 運 賃 ・ 販 売 手 数 料	運賃、販売手数料、容器包装費、発送配達費等									
そ の 他 の 経 費	上記に含まれない経費の合計									
期末材料棚卸高	原材料の期末在り高									
期末仕掛品棚卸高	仕掛品の期末在り高									
育 成 費 振 替 高	育成中の生物に対する当期の支出									

飼料費がある場合は、必ず回答してください。

6-1-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の**補てん金を控除**していますか。

はい → 「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。

いいえ → 12頁の【7】へお進みください。

前年金額(円)	本年金額(円)				
	億	万	千	百	十

【6】農業に係る事業経費（当期製品製造原価、販売費及び一般管理費）（続き）

② 製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方を作成している場合

※前頁6-1-1を回答した場合は、【7】へ進んでください。

6-2-1 事業経費についてお伺いします。

事業経費の内訳を整理している決算資料（製造原価報告書、販売費及び一般管理費内訳書の両方）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 資料を提出いただける場合は、点線内の農業割合を必ず記入の上、12頁の【7】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

農業に係る経費を科目別に記入してください。農業以外の事業を行っている場合で農業に係る経費の記入が困難な場合は事業全体の金額を記入し、うち農業の占める割合を必ず記入してください。

(1) 当期製品製造原価（製造原価報告書）

勘定科目	説明	前 年		本 年					
		金 額 (円)	農業割合	金 額 (円)				農業割合	
			%	億	万	千	百	十	一
当期製品製造原価		【5】損益計算書の「当期製品製造原価③」計上額							
材料費	期首材料棚卸高	原材料の期首在り高							
	種 苗 費	種もみ、種子、種芋、苗類などの購入費							
	素 畜 費	種付費、もと畜の購入費用、登録料							
	肥 料 費	肥料の購入費用							
	飼 料 費	飼料の購入費用、自給飼料の振替額							
	農 薬 費	農薬、予防目的の家畜用の薬剤の購入費							
	敷 料 費	敷料の購入費							
	燃 油 費	重油等、園芸用ハウス暖房用燃料等の購入費							
	諸 材 料 費	被覆用ビニール(マルチ)、鉢、針金などの購入費							
	期末材料棚卸高	原材料の期末在り高							
労 務 費	賃金手当、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費								
	うち作業用衣料費	労務費に含まれる作業服、長靴、軍手等の購入費							
外 注 費	作 業 委 託 費	賃耕料、刈取料などの農作業委託料							
	診 療 衛 生 費	獣医の診療報酬・コンサル料、治療用の薬剤費							
	預 託 費	家畜の育成、肥育の委託費							
	ヘルパー利用料	酪農や肥育牛などのヘルパー利用料							
	ほ 場 管 理 費	けい畝草刈り、水管理・肥培管理などの作業委託料							
製 造 経 費	農 機 具 費	取得10万円未満又は耐用年数1年未満の農機具購入費							
	修 繕 費	建物、農機具、農業用車両等の維持、修繕費							
	動 力 光 熱 費	生産用の電気、水道料やガソリン、軽油などの燃料費							
	共 済 掛 金	作物や農用施設の共済掛金、価格補填負担金の収入保険料、事務費等							
	減 価 償 却 費	農業生産に使用した建物、農機具等の減価償却費							
	賃 借 料 ・ 地 代	地代、家賃、賃借料、検査料、受託農産物清算費							
	土 地 改 良 費	土地改良負担金、土地改良賦課金、水利費							
	租 税 公 課	生産用固定資産税等の租税、自動車損害賠償責任保険、農業共済賦課金							
そ の 他	上記以外の経費								
仕掛品棚卸高増減	仕掛品の期首在り高－期末在り高								
育成費振替高	育成中の生物に対する当期の支出								

(2) 販売費及び一般管理費内訳書

勘定科目	説明	前年		本年				
		金額(円)	農業割合	金額(円)			農業割合	
			%	億	万	千	百	十
販売費及び一般管理費	【5】損益計算書の「販売費及び一般管理費」計上額							
人件費	給与手当、雑給、賞与、退職金、役員報酬、福利厚生費							
荷造運賃・販売手数料	出荷用包装材料、運賃、販売手数料など							
車両費・修繕費	事務用固定資産の修繕費、車両費							
うち燃料費	車両費に含まれる燃料代							
減価償却費	販売や管理に使用した建物や自動車等の減価償却費							
地代・家賃・賃借料	販売管理用土地・建物の賃借料							
支払保険料	販売管理用固定資産の支払保険料							
租税公課・諸会費等	印紙税、消費税、諸会費							
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金の当期の繰入金							
動力光熱費	販売や管理に使用した電気・水道料金など							
その他	上記に含まれない経費の合計							

飼料費がある場合は、必ず回答してください。

6-2-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

- はい → 「本年金額」欄に控除した補てん金額を記入してください。
- いいえ → 12頁の【7】へお進みください。

前年金額(円)	本年金額(円)					
	億	万	千	百	十	一

【7】生産概況、農畜産物収入

1年間に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）生産量及び販売金額についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。

なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」欄には事業（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。

また、**稲わら以外の副産物を販売した場合は**、該当する区分の販売額に含めてください。

7-1 稲、麦類等

区 分			作付延べ面積、 販売金額 に含めるもの	前 年			
				作付延べ面積（茶は植栽面積）		生産量（kg）	販売金額 （円）
				田（a）	畑（a）		
稲（食用）	水稲	主食用米	主食用				
		加工用米	酒造用、加工用				
		新規需要米等	輸出用、米粉用、備蓄用の合計				
	陸 稲						
稲（飼料用）	飼料用米	自給用を含む。					
	WCS用稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）					
稲わら・ぬか等			稲わら・ぬか等を販売したもの				
麦類	小 麦						
	二 条 大 麦						
	六 条 大 麦						
	は だ か 麦						
	その他の麦		ライ麦など				
豆類	大 豆		乾燥子実（枝豆等の未成熟は野菜）				
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実				
雑穀	そ ば		そば殻を含む。				
	他の雑穀		とうもろこし、あわ、ひえ、などの穀物				
いも類	か ん し ょ		種いも用、原材料かんしょを含む。				
	ば れ い し ょ		種いも用、原材料ばれいしょを含む。				
工芸農作物	て ん さ い						
	さ とう き び						
	茶		作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算				
	その他工芸農作物		なたね、い草、葉たばこなど				
その他	飼 料 用 作 物		牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計（自給用を含む。）				
	その他の作物		芝、苗、苗木、栽培きのこ類など				

以下の項目の設問について、1年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい →18頁の【8】へお進みください。

いいえ →本年欄に記入してください。

7-1 稲、麦類等

区 分			本 年																
			作付延べ面積（茶は植栽面積）						生産量（kg）			販売金額（円）							
			田（a）			畑（普通畑）（a）													
			ha	a		ha	a		kg	kg	kg	億	万	千	百	十	一		
稲（食用）	水稲	主食用米																	
		加工用米																	
		新規需要米等																	
		陸 稲																	
稲（飼料用）		飼料用米																	
		WCS用稲																	
稲わら・ぬか等																			
麦類		小 麦																	
		二条大麦																	
		六条大麦																	
		はだか麦																	
		その他の麦																	
豆類		大 豆																	
		大豆以外																	
雑穀		そ ば																	
		他の雑穀																	
いも類		かんしょ																	
		ばれいしょ																	
工芸農作物		てんさい																	
		さとうきび																	
		茶																	
		その他工芸農作物																	
その他		飼料用作物																	
		その他の作物																	

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-2 野菜

区 分	前 年				販 売 金 額 (円)
	品 目		作 付 延 べ 面 積		
	コード	品 目 名	露 地 (a)	施 設 (m ²)	
露 地 野 菜					
		その他の露地野菜			
施 設 野 菜					
		その他の施設野菜			

7-3 果樹

区 分	前 年				販 売 金 額 (円)
	品 目		作 付 延 べ 面 積 (植 栽 面 積)		
	コード	品 目 名	露 地 (a)	施 設 (m ²)	
果 樹					
		その他の果樹			

7-2 野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】
【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

区 分	本 年				販売金額 (円)					
	品 目 (生産した野菜の品目コード又は 品目名を記入してください。)		作 付 延 べ 面 積							
	コード	品 目 名	露地 (a) ha	施設 (m ²) m	億	万	千	百	十	一
露 地 野 菜										
		その他の露地野菜								
施 設 野 菜										
		その他の施設野菜								

野菜の品目はこちらから選択してください。

コ ー ド	01	だいこん	04	キャバツ	07	ねぎ	10	なす	13	ピーマン
	02	にんじん	05	ほうれんそう	08	たまねぎ	11	大玉トマト		
	03	はくさい	06	レタス	09	きゅうり	12	ミニトマト		

7-3 果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にま
とめて記入してください。

区 分	本 年				販売金額 (円)					
	品 目 (生産した果樹の品目コード又は 品目名を記入してください。)		作 付 延 べ 面 積 (植栽面積)							
	コード	品 目 名	露地 (a) ha	施設 (m ²) m	億	万	千	百	十	一
果 樹										
		その他の果樹								

果樹の品目はこちらから選択してください。

コ ー ド	51	りんご	54	露地ぶどう	57	もも	60	おうとう	63	くり
	52	露地温州みかん	55	施設ぶどう	58	かき	61	すもも	64	キウイフルーツ
	53	施設温州みかん	56	日本なし	59	うめ	62	びわ	65	パインアップル

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-4 花き

区 分	作付延べ面積、販売金額 に含めるもの	前 年		
		作付延べ面積		販 売 金 額 (円)
		露地 (a)	施設 (m ²)	
露 地 花 き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施 設 花 き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

7-5 畜産物

区 分	飼養頭羽数、生産量 に含めるもの	販売金額 に含めるもの	前 年		
			飼養頭羽数、 生産量	販売頭羽数	販 売 金 額 (円)
酪 農	生乳生産量 (年間)	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの 生乳	kg		
	搾乳牛	搾乳牛(乾乳中の牛を含む。)の 月平均飼養頭数	頭		
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳牛(F1、ETを含む。)、搾乳用育成牛		頭	
肉 用 牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛雌牛の 月平均飼養頭数		頭	
	自家生産和牛等	自家で生産した子牛(和子牛・F1クロス牛)、自家で生産して繁殖用に育成した牛		頭	
	肉専用種	肉専用種の牛の 月平均飼養頭数	肉専用種の牛(他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛)の合計	頭	頭
	乳用種	乳用種の牛の 月平均飼養頭数	乳用種の牛(他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛)の合計	頭	頭
	交雑種	交雑種の牛(他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛)の 月平均飼養頭数	交雑種の牛(他家から購入して育成または肥育した牛、自家で生産して肥育した牛)の合計	頭	頭
養 豚	繁殖雌豚	繁殖用の豚の 月平均飼養頭数		頭	
	肥育豚	肥育用の豚の 月平均飼養頭数		頭	
	肉豚		肉豚、廃用豚のうち販売した豚		頭
	子豚		肥育用・繁殖用子豚		頭
採卵養鶏	飼養羽数	採卵用鶏(うずらを除く。)の 月平均飼養羽数		羽	
	鶏卵生産量 (年間)	採卵用の鶏から生産される卵(正常卵以外も販売したものは含む。)	採卵鶏から生産される卵(販売した不正常卵を含む。)、廃鶏	kg	
ブロイラー養鶏	ブロイラー、ブロイラー雛(地鶏を除く。)の 年間販売羽数	ブロイラー、ブロイラー雛		羽	
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)		きゅう肥として販売したもの(自給肥料としたもの以外)		
	その他		地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕、養蜂等		

7-4 花き

区 分	本 年									
	作付延べ面積					販 売 金 額 (円)				
	露地 (a)		施設 (m ²)							
ha	a	m			億	万	千	百	十	一
露 地 花 き										
施 設 花 き										

7-5 畜産物

区 分	本 年											
	飼養頭羽数 (月平均)、 生産量 (年間)				販売頭羽数 (年間)			販 売 金 額 (円)				
	万 千 百 十 一 (単位)				万 千 百 十 一 (単位)			億 万 千 百 十 一				
酪 農	生乳生産量 (年間)		kg									
	搾乳牛		頭 (月平均)									
	自家生産乳牛等				頭							
肉 用 牛	繁殖牛	繁殖雌牛		頭 (月平均)								
		自家生産和牛等										頭
	肥育牛	肉専用種		頭 (月平均)		頭						
		乳用種		頭 (月平均)		頭						
		交雑種		頭 (月平均)		頭						
養 豚	繁殖雌豚		頭 (月平均)									
	肥育豚		頭 (月平均)									
	肉豚				頭							
	子豚				頭							
採卵養鶏	飼養羽数		羽 (月平均)									
	鶏卵生産量 (年間)		kg									
ブロイラー養鶏							羽					
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)											
	その他											

【8】農作業受託収入、事業消費など

8-1 農作業受託についてお伺します。

1年間に農作業受託収入がありましたか。

はい → 「本年金額」欄に受託収入を記入してください。

いいえ → 8-2へお進みください。

(右頁に続きます。)

前年金額 (円)	本 年 金 額 (円)				
	億	万	千	百	十

【9】制度受取金・積立金等

制度受取金・積立金等についてお伺いします。

1年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。

はい → 次の設問へお進みください。

いいえ → 調査は終了になります。

(右頁に続きます。)

名 称 等		前 年			
		チェック		金 額	
		受取	積立	制度受取金等 (円)	制度積立金等 (円)
共通					
水田・畑作					
野菜					
茶					
果樹					
畜産					
その他					
合 計					

内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入ください。

8-2 農業生産関連事業を行っている方にお伺いします。

自らが生産した農畜産物を農業生産関連事業に仕向けている場合は、仕向けた自家農畜産物の金額を記入してください。金額が不明な場合は、仕向けた数量に市場価格等に乗じて見積もった金額を記入してください。

ただし、12~17ページの「【7】生産概況、農畜産物収入」に計上されている場合は記入不要です。

前年金額 (円)	本 年 金 額 (円)			
	億	万	千	百 十 一

以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けていただき、調査は終了になります。

いいえ → ① 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けてください。
 ② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。
 なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計（制度受取金等）」及び「合計（制度積立金等）」欄を記入してください。

名 称 等	チェック		本 年 金 額							
	受取	積立	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
			億	万	千	百 十 一	億	万	千	百 十 一
共通										
水田・畑作										
野菜										
茶										
果樹										
畜産										
その他										
合 計										

内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入ください。

調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。

別記様式第3号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査集計値の秘匿の確保に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産 米生産費統計調査票 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産の米生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号
.....

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「食用米（※1）及び飼料用米の生産コスト」を把握する調査です。

調査票の「1 経営の概況」～「12 作業別労働時間」には○年産の食用米、「13 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間」には飼料用米の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※1 食用米とは
食用に供する水稻のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。（食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。）

※2 この調査での食用米の生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（食用米負担割合について）】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「8ha」、小麦「2ha」の作付地に施肥した場合

例1 食用米に施肥した数量、金額を記入する方法

区分	数量 (kg)	金額 (円)	食用米負担割合 (%)
窒素質肥料	800	80000	100

食用米負担割合には100%と記入

例2 食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
食用米と小麦の作付面積割合「8：2」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。

区分	数量 (kg)	金額 (円)	食用米負担割合 (%)
窒素質肥料	1000	100000	80

食用米負担割合には80%と記入

【食用米負担割合の設定方法】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。

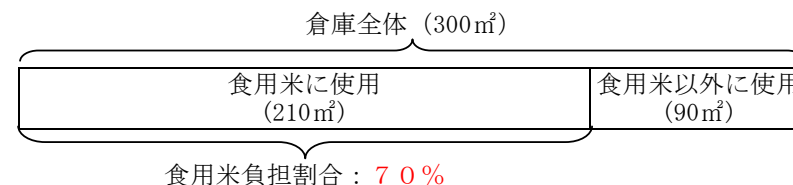
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は70%（210㎡÷300㎡）

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は40%

調 査 事 項

ページ

【1】 経営の概況	3
経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、食用米生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況	5
食用米、稲わら及びびくず米の販売状況等について記入してください。	
【3】 食用米の生産のために使用した資材等	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライセンスター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費	9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間	15
家族、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。	
【13】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間	16
飼料用米の作付面積、生産量、食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用及び労働時間等について記入します。	

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
田	ha	a	ha	a
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。



4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における食用米の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、**食用米**（食用に供する水稻のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米）です。
食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めな
いでください。

【1】経営の概況（続き）

5 移植・直まき面積

食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。

区 分	面 積 (a)	
移 植	ha	a
直 ま き		

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

6 水稲作付ほ場規模別枚数及び面積

食用米を作付けたほ場の規模別枚数及び合計面積を記入してください。

区 分	ほ場枚数 (枚)	面 積 (a)	
未 整 理 又 は 10a 未 満		ha	a
10a～20a 区画			
20a～30a 区画			
30a～50a 区画			
50a～1 ha 区画			
1 ha 以上 区画			

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

7 田の状況

食用米を作付けた田の状況について記入してください。

区 分	団地数等
田 の 団 地 数	団地
区画整理 割合	50 % 未 満 ①
	50 ~ 80 % ②
	80 % 以 上 ③

団地とは、田を含む地続きの耕地の一区をいいます。ただし、地続きの耕地の一区が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。

8 ほ場間の距離及び団地への平均距離

食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

区 分	距 離 (km)
ほ 場 間 の 距 離	km
団 地 へ の 平 均 距 離	

ほ場間の距離とは、2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が1つの場合は記入不要です。

団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

9 食用米生産における作業委託の状況

同一のほ場を複数回にわたって防除した場合は、延べ面積を記入してください。育苗は、委託した苗を用いて植え付けた田のほ場面積を記入してください。

区 分	数 量		単 位
育 苗	ha	a	a
防 除			a

10 食用米（うるち米）の品種別作付面積

当年産に作付けた食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)		区 分	品 種 名	面 積	
品 種 1		ha	a	品 種 6		ha	a
品 種 2				品 種 7			
品 種 3				品 種 8			
品 種 4				品 種 9			
品 種 5				品 種 10			

11 制度受取金等の状況

当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

【2】生産物の販売等の状況

1 食用米の販売状況等（玄米換算）

当年産の食用米の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分		内 容 例 示	数 量 (kg)				金 額 (円)				
			万	千	百	十	万	千	百	十	
販 売 用 （ 予 定 を 含 む ）	主 食 用 (計)	主食用米として販売された米（いわゆる縁故米、贈答米、産直米、政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）及びその種子									
自 家 用	加 工 用 (計)	加工用として販売された米（加工用米、米粉用米）及びその種子									
区 分 出 荷		集荷円滑化対策において区分出荷された米									
自 家 用	種 子 用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの									
	飯 米 用	飯米用に仕向けた（予定を含む。）もの									
	そ の 他	種子用、飯米用以外に仕向けた（予定を含む。）もの									

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 稲わら、くず米の販売状況等

当年産の食用米生産で発生した稲わら、くず米及びもみがらの販売状況等について記入してください。
 また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。

(1) 稲わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区 分		内 容 例 示	数量の割合 (%)	金 額 (円)			
				万	千	百	十
販 売 用	加 工 品 等	民芸品、なわ等の原料仕向けのもの					
	そ の 他 (肥料、飼料、敷料等)	飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの（きゅう肥交換を含む。）					
自 家 用	生 わ ら	コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの（無評価）					
	乾 燥 わ ら	収納された稲わらで、自家仕向けのもの（水田還元、敷料、たい肥等）					
	そ の 他 (焼却、放棄)	焼却、放棄（無評価）					
計			100				

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2) くず米及びもみがら

くず米及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。

区 分	数量の割合 (%)	数量の割合 (%)		
		販売用	自家用	その他 (廃棄等)
く ず 米	100			
も み が ら	100			

くず米及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。（販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区 分	販 売 金 額 (円)			
	万	千	百	十
く ず 米				
も み が ら				

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産の水稲栽培の特徴

- 1 作柄概況
- 2 被害の状況や品質
- 3 栽培状況の変化
 - (1) 新たな品種の導入
 - (2) 直まき栽培の導入
 - (3) 新たな設備・機械の導入
 - (4) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【3】食用米の生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の食用米生産のために使用した種子及び苗について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(1) 種子

品 種 名 等	数 量 (kg)				金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	万	千	百	十	
(計)									
購 入									
自 給									

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 苗

品 種 名 等	植え付けた面積 (a)		金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	ha	a	万	千	百	十	
(計)							
購 入							

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の食用米生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

資材名等	数量 (kg)	金額 (円)	食用米負担割合 (%)	備考欄	
購	窒素質肥料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	りん酸質肥料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	カリ質肥料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
入	けい酸質肥料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
	炭酸カルシウム (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		炭酸カルシウムには石灰を含みます。 なお、融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
	複合肥料 (計)	万 千 百 十	万 千 百 十		
土壌改良資材		万 千 百 十		微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など	
たい肥・きゅう肥	万 千 百 十				
その他					

2 肥料費（続き）

当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。

資材名等	数量 (kg)	食用米負担割合 (%)
自給		
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額 (円)	食用米負担割合 (%)	備考欄
殺虫剤 (計)	万 千 百 十		
殺菌剤 (計)	万 千 百 十		
殺虫殺菌剤 (計)	万 千 百 十		
除草剤 (計)	万 千 百 十		
その他	万 千 百 十		殺鼠剤、植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材（育苗箱など）の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費」の「その他」に記入してください。

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外を使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

4 光熱動力費

当年産の食用米生産のために使用した光熱動力について記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （%）
		万 千 百 十		万 千 百 十	
動 力 燃 料	重 油		L		
	軽 油		L		
	灯 油		L		
	ガ ソ リ ン		L		
	潤 滑 油		L		
	混 合 油		L		
電 力 料			-		
そ の 他 (水道料、木炭などの燃料)			-		
自 給					

使用した自給の
資材名と数量を記
入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は100（%）としてください。
 ・食用米以外を使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

5 諸材料費

当年産の食用米生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （%）
		万 千 百 十		万 千 百 十	
購 入	育苗用土（素土含む。）		kg		
	そ の 他（計）				
自 給					

使用した自給の
資材名と数量を記
入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、育苗箱マット、あぜ波板、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に計上）、なわ、バインダー用結束ひも等が入ります。

・食用米のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外を支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について記入してください。

料 金 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （%）
				万 千 百 十	
共 同 負 担 金	薬 剂 散 布		-		
	共 同 施 設		-		
	共 同 苗 代		-		
農 機 具 借 料			-		
航 空 防 除 賃			ha		
賃 耕 料			a		
は 種 ・ 田 植 賃			a		
収 穫 請 負 せ 賃			a		
ラ イ ス セ ン タ ー 費			kg		
カ ン ト リ ー エ レ ベ ー タ ー 費			kg		
上 記 以 外 の 乾 燥 ・ 調 製 委 託 料			kg		
そ の 他			-		

注1： 共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

注2： ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した食用米生産に関する物件税について記入してください。

区 分	金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
固定資産税 (建物)					
固定資産税 (農機具)					
不動産取得税 (土地以外)					
水利地益税					
都市計画税 (土地以外)					
共同施設税					

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。

・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。
 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税(建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税(農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

2 公課諸負担

1年間に負担した食用米生産に関する公課諸負担について記入してください。

区 分	金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)					
農業協同組合費					
農事実行組合費 (稲作部会等の会費)					
農業共済組合賦課金					

・食用米のみの負担分を記入する場合は100(%)としてください。
 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	食用米作付ほ場負担金額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	維持負担金		償還金		
	万	千	百	十	
ほ場整備事業					
農地開発事業					
かんがい排水事業					
農道整備事業					
その他(整地、表土 扱いのない事業)					

・食用米のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合を目安に記入してください。

2 水利費等

費用名	食用米作付ほ場 負担金額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
水利組合費					
揚水ポンプ組合費					
その他					

・食用米のみの生産に関する金額を記入する場合は、100(%)としてください。
 ・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資金名(用途)	調査開始時 未償還残高 (円)				支払利子額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	万	千	百	十	
短期借入金									
(計)									
長期借入金									
(計)									
買掛未払金									

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄へ「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築	古分	耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円)	農業経営基盤強化準備金(円)	修繕費(円)	保険料(円)	食用米負担割合(%)	年内異動状況	
							年(西暦)	月						異動コード	異動に伴う発生金額(円)
								購入金額から補助金を控除した額を記入してください。		建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。		当年の当該建物等の修繕費を記入してください。		当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	
								万 千 百 十		万 千 百 十		万 千 百 十		万 千 百 十	
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード			
建築物			
(1住宅) ~ (13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック	11	造
構築物			
(14稲架) ~ (31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用时间割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料 （円） （当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税 （円） （当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		食用米負担割合（%）	年内異動状況		
						年（西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠償保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」	
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金を控除した額を記入してください。)</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。)</small>	保険料 (円) <small>(当年の当該農業機械の保険料を記入してください。)</small>	軽自動車税 (円) <small>(当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。)</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		食用米負担割合(%)	年内異動状況		
						年(西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)</small>	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	電動機
2	発動機
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
12	電熱育苗機
13	田植機
15	揚水ポンプ
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
19	バインダー
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
32	もみすり機
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満	(31 乾燥機)	4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上	1 静置式	5 その他・耐用年数7年
(13 田植機)	2 循環式	上記以外の農機具
1 2条植		6 その他
2 3～5条植		
3 6～7条植		
4 8条植以上		

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				食用米 負担割合 （%）	内容 例示
	万	千	百	十		
(計)						
農 具 ・ 農 業 被 服 等 の 購 入 費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				食用米 負担割合 （%）	内容 例示
	万	千	百	十		
(計)						
生 産 管 理 関 係 の 費 用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ・食用米のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
 ・食用米以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、食用米と食用米以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に食用米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が食用米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。

$$\frac{\text{食用米400万円}}{(\text{食用米400万円} + \text{小麦400万円})} \times 100 =$$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けした所有地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

2 借入地

(1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けした借入地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)				食用米負担割合 (%)	
		ha	a	ha	a	万	千	百	十		
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)				食用米負担割合 (%)	
		ha	a	ha	a	万	千	百	十		
1											
2											
3											

【12】作業別労働時間

当年産の食用米生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
		性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)				
種子	選種、浸種、消毒、催芽														種子	選種、浸種、消毒、催芽	
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業														育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業	
耕起地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り														耕起地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り	
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入														基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入	
直まき	直まき、覆土に係る労働														直まき	直まき、覆土に係る労働	
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け														田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け	
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布														追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布	
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき														除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき	
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理														管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理	
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策														防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理														刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理	
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬														乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬	
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）														生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等														間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	

注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

3 食用米の田植、収穫期間

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区分	開始日	終了日
田植	月 日	月 日
収穫	月 日	月 日

4 支払賃金

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	食用米負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

【13】 飼料用米の作付状況、費用及び労働時間

当年産に飼料用米の作付けがある場合は、以下について記入してください。

1 飼料用米の作付面積及び生産量

当年産の作付面積と玄米、乾燥もみ及び生もみ別の生産量について記入してください。
また、乾燥もみ、生もみの生産量は玄米換算しない数量を記入してください。

区分	作付面積 (a)	生産量		
		玄米 (kg)	乾燥もみ (kg)	生もみ (kg)
飼料用米				
うち多収品種				

2 稲わら販売状況等

当年産の飼料用米生産で発生した稲わらの数量、自家用別に仕向けた数量または全体を100%とした場合の割合と販売金額を記入してください。
また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を計上してください。

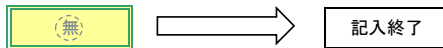
区分		内容例示	数量の割合 (%)	金額 (円)
販売用		民芸品、なわ、飼料、敷料、たい肥等仕向けのもの(きゅう肥交換含む。)		
自家用	生わら	コンバインの切断わら、野積み、野ざらし状態のもの		/
	乾燥わら	取納された稲わらで、自家仕向けのもの(水田還元、敷料、たい肥等)		
	その他(焼却、放棄)	焼却、放棄		
計			100	

注：自家用については、記入の数量を基に市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

3 飼料用米と食用米の10a当たり費用及び労働時間の違いの有無

当年産の飼料用米と食用米生産にかかる10a当たりの費用及び労働時間に違いがない場合は「無」を○で囲んでください。その場合は以下の記入は不要です。



4 食用米生産に対して飼料用米生産にかかる費用 (10a当たり)

当年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの費用について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

費用の種類	食用米との違い		割合 (%)	違いが生じる主な要因
	有	無		
種苗費	○	○		
肥料費	○	○		
農業薬剤費	○	○		
光熱動力費	○	○		
その他の諸材料費	○	○		
土地改良及び水利費	○	○		
賃借料及び料金	○	○		
物件税及び公課諸負担	○	○		
建物費	○	○		
自動車費	○	○		
農機具費	○	○		
生産管理費	○	○		

5 食用米生産に対して飼料用米生産にかかる労働時間 (10a当たり)

当年産の飼料用米生産にかかる10a当たりの労働時間について、食用米との違いの有無、違いがある場合には食用米を100とした場合の「割合」、「違いが生じる主な要因」について記入してください。

労働時間名	食用米との違い		割合 (%)	違いが生じる主な要因
	有	無		
種子予措	○	○		
育苗	○	○		
耕起整地	○	○		
基肥	○	○		
直まき	○	○		
田植	○	○		
追肥	○	○		
除草	○	○		
管理	○	○		
防除	○	○		
刈取脱穀	○	○		
乾燥	○	○		
生産管理	○	○		
間接労働	○	○		

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産 麦類生産費統計調査票

[小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦]

(個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. ○年産の小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦のいずれかの生産費について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	1
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦（※1）の生産コスト」を把握する調査です。

調査票には、〇年産の小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦のうち、対象品目の麦の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦とは食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈目的で栽培している麦は含みません。）
また、二条大麦についてはビール麦も含みます。
- ※2 この調査での対象品目の麦の生産とは自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（対象品目が小麦の場合の負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。

小麦と水稻を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「2ha」、水稻「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
肥料(購入)計	2000	200000	100

対象品目負担割合には100%と記入

例2 小麦、水稻に施肥した数量、金額の合計を記入する方法

小麦と水稻の作付面積割合「2：8」を目安に小麦負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
肥料(購入)計	10000	1000000	20

対象品目負担割合には20%と記入

【対象品目が小麦の場合の負担割合設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

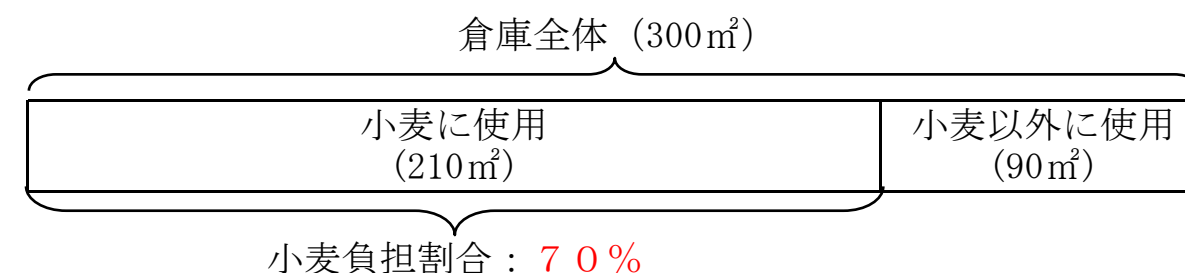
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 ……………	3
経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、麦生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況 ……………	5
麦の品質・用途別、麦わら及びくず麦の販売状況について記入してください。	
【3】 対象品目の麦生産のために使用した資材等 ……………	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担 ……………	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費 ……………	9
土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 ……………	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 ……………	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 ……………	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 ……………	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……………	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代 ……………	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間 ……………	15
家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上		
	150日以上		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○	○
い る	い な い

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における対象品目の麦の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1 年 前	2 年 前	3 年 前	4 年 前	5 年 前
10a 当たり収量 (kg)					

本調査の対象品目は、調査をお願いした、小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦のいずれかです。
対象品目以外の麦を含めないでください。
また、食用だけでなく、種子用の麦も含まれます。（青刈り目的で栽培している麦は含みません。）

【1】経営の概況（続き）

5 対象品目の麦生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。

区 分	数 量	単 位
耕 う ん ・ 整 地	ha a	a
は 種		a
防 除		a
刈 取 ・ 脱 穀		a
乾 燥 ・ 調 製	万 千 百 十	kg

6 対象品目の麦の品種別作付面積

当年産に作付けした対象品目の麦の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		ha a
品 種 2		
品 種 3		
品 種 4		
品 種 5		

注：面積の合計が当年産の対象品目の麦の作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産の対象品目の麦に係る制度受取金等について記入してください。

区分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

当年産の対象品目の麦栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 新たな設備・機械の導入

(3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【2】生産物の販売等の状況

1 対象品目の麦（二条大麦のうちビール麦を除く。）の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

なお、1等、2等、規格外A及びBについて、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量(kg)				金額(円)				
		万	千	百	十	万	千	百	十	
販売用 (予定を含む (ビール麦を除く。))	1 等 (計)									
		農産物検査において「1等」と判定されたもの								
	2 等 (計)									
		農産物検査において「2等」と判定されたもの								
	規格外 A (計)									
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの								
(自家用 (ビール麦を除く。))	規格外 B (計)									
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランクのもの								
	規格外 C	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Cランクのもの								
	その他	種子用のほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの								
	食用	食用に仕向けた(予定を含む。)1・2等、規格外Aのもの								
	種子用	種子用に仕向けた(予定を含む。)もの								
	規格外 B	自家用に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちBランクのもの								
	規格外 C	自家用に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちCランクのもの								
	その他	食用、種子用、規格外B・C以外に仕向けた(予定を含む。)もの								

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

※ 対象品目が二条大麦の場合、「2 ビール麦の販売内訳」についても記入してください。

2 ビール麦の販売内訳（玄麦換算）

ビール麦の販売がある場合、その販売状況等について黄色の欄に記入してください。

なお、1等、2等及び等外上について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量(kg)				金額(円)				
		万	千	百	十	万	千	百	十	
販売用 (予定を含む。)	1 等 (計)									
		農産物検査において「1等」と判定されたもの								
	2 等 (計)									
		農産物検査において「2等」と判定されたもの								
	等外上 (計)									
		農産物検査において「等外上」と判定されたもの								
自家用	食用	食用に仕向けた(予定を含む。)								
	種子用	種子用に仕向けた(予定を含む。)もの								
	その他	食用、種子用以外に仕向けた(予定を含む。)もの								

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わら、くず麦の販売状況等については、6ページへ記入してください。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

3 麦わら、くず麦の販売状況等

当年産の対象品目の麦生産で発生した麦わら及びくず麦の状況について記入してください。
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1) 麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数量の割合 (%)	金額 (円)
販 売 用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		万 千 百 十
自 家 用	販売していない麦わら全般		
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら		
計		1 0 0	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2) くず麦

用途別に数量の割合を記入してください。

区 分	数量の割合 (%)	数量の割合 (%)		
		販売用	自家用	その他 (廃棄等)
く ず 麦	1 0 0			

くず麦の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。
 （販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区 分	販売金額 (円)
く ず 麦	万 千 百 十

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子（購入）

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)			
			万	千	百	十
計		—				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子（自給）

品 種 名	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				対象品目負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
（炭酸カルシウム・石灰含む）								
複合肥料								
土壌改良資材								
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。

微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

2 肥料費（続き）

・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	対象品目負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	対象品目負担割合（%）	備考欄
計			
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌殺虫剤			
除草剤			
その他			

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	対象品目負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

5 諸材料費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	対象品目負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・対象品目の麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・対象品目の麦のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の対象品目の麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	対象品目負担割合（%）
計			—	万 千 百 十	
共同負担金	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
農機具借料			—		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			—		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
 注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した対象品目の麦生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				対象品目 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
固定資産税(建物)					
固定資産税(農機具)					
不動産取得税 (土地以外)					
水利地益税					
都市計画税 (土地以外)					
共同施設税					

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税(建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：使用面積割合

固定資産税(農機具)、共同施設税：機械等の使用時間割合

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した対象品目の麦生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				対象品目 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
集落協議会費 (地域集落等の会費)					
農業協同組合費					
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)					
農業共済組合賦課金					

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合

農業共済組合賦課金：作付面積割合

【5】土地改良及び水利費

当年産の対象品目の麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額(円)				対象品目 負担割合 (%)
	維持負担金		償還金		
ほ場整備事業					
農地開発事業					
かんがい排水事業					
農道整備事業					
その他(整地、表土 扱いのない事業)					

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

2 水利費等

費用名	対象品目作付ほ場 負担金額(円)	対象品目 負担割合 (%)
水利に係る費用計		

【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

当年産の対象品目の麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・対象品目の麦のみの生産に関する金額を記入する場合は、100(%)としてください。
- ・対象品目の麦以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名(用途)	調査開始時 未償還残高(円)	支払利子額(円)	対象品目 負担割合 (%)
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

- ・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	対象品目負担割合 （%）	年内異動状況	
						年 （西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） 売却金額、取り壊しの金額
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード					
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨格材の肉厚3～4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック				
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄へ「対象品目負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新 品	古 中 古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円） <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	修繕費（円） <small>当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。</small>	自動車保険料（円） <small>当年の当該自動車等の保険料を記入してください。</small>	自動車・軽自動車税（円） <small>当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		対象品目負担割合（%）	年内異動状況	
							年（西暦）	月					自動車重量税（円）	自賠責保険（円）		異動コード	売却金額（円） <small>（廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

対象品目の麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード		耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金（円） （農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費（円） （当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。）	保険料（円） （当年の当該農業機械の保険料を記入してください。）	軽自動車税（円） （当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた車両について記入してください。		対象品目負担割合（%）	年内異動状況		
			新品	中古		年（西暦）	月						自動車重量税（円）	自賠責保険（円）		異動コード	売却金額（円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満		4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上		5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の対象品目の麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				対象品目 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				対象品目 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、

- ・対象品目の麦のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
- ・対象品目の麦以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、対象品目の麦とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $小麦400万円 \div (米400万円 + 小麦400万円) \times 100 = 50 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けした所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		対象品目負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、

- ・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・対象品目の麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		対象品目負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

2 借入地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けした借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)			対象品目負担割合 (%)	地目		
		ha	a	ha	a	万	千	百		十	田	畑
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)			対象品目負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	百	
1									
2									
3									

【12】 作業別労働時間

当年産の対象品目の麦生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種別	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種別	内容例示
		性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)	性別	(年齢)				
種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			種子予措	選種、浸種、種子消毒、催芽
耕起地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			耕起地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）
基肥	基肥の配合、運搬、施肥	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破碎、麦などで、ほ場見回り	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破碎、麦などで、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
乾燥	乾燥、調製	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間	男	時間			間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産の対象品目の麦生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	対象品目負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

・対象品目の麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・対象品目の麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

別記様式第5号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

○年産 そば生産費統計調査票

(個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産のそば生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「そば（※1）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、「〇年産のそばの生産（※2）のために」にかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 そばとは
食用だけでなく、種子用のそばも該当します。
- ※2 この調査でのそばの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（そば負担割合について）】

そばを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からそば負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
そばと水稻を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、そば「2ha」、水稻「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 そばに施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	そば負担割合 (%)
肥料(購入)計	200	20000	100

そば負担割合には100%と記入

例2 そば、水稻に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
そばと水稻の作付面積割合「2：8」を目安にそば負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	そば負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	10000	20

そば負担割合には20%と記入

【そば負担割合の設定方法】

そばを含めた複数の作物を作付けしている場合のそば負担割合を設定する方法について説明します。

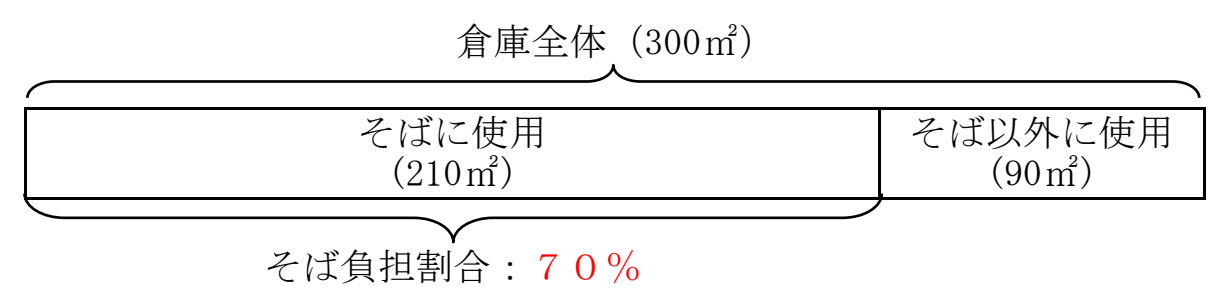
(1) 倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、そば生産のために使用した面積の割合を「そば負担割合」とします。

$$\text{そば負担割合} = \frac{\text{そばに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うちそば生産のために210㎡、そば以外の作物に90㎡を使用した場合の「そば負担割合」は70% (210㎡÷300㎡×100) になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



(2) 農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、そば生産のために使用した時間の割合を「そば負担割合」とします。

$$\text{そば負担割合} = \frac{\text{そばに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うちそば生産のために80時間、そば以外の作物に120時間使用した場合の「そば負担割合」は40% (80時間÷200時間×100) になります。

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況	3
経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、そば生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況	4
そばの品質・用途別、くずそば等の販売状況について記入してください。	
【3】 そばの生産のために使用した資材等	5
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担	8
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費	8
土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	8
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	9
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	10
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	11
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	12
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代	13
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間	14
家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○	○
いる	いない

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年におけるそばの10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、
食用だけでなく、種子用
も含めたそばです。

【1】経営の概況（続き）

5 そば生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。
乾燥・調製は、玄そばの数量を記入してください。

区 分	数 量	単 位
耕うん・整地	ha a	a
は 種	a	a
防 除	a	a
刈取・脱穀	a	a
乾燥・調製	kg	0

6 そばの品種別作付面積

当年産に作付けしたそばの品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		ha a
品 種 2		a
品 種 3		a
品 種 4		a
品 種 5		a

注：面積の合計が当年産のそば作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産のそばに係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万円 千 百 十	万円 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

【2】生産物の販売等の状況

1 そばの品質・用途別の販売状況等（玄そば換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
また、1等、2等及び規格外について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
販 売 用 (予 定 を 含 む 。)	1 等 (計)	万円 千 百 十	万円 千 百 十
	農産物検査において「1等」と判定されたもの		
	2 等 (計)		
	農産物検査において「2等」と判定されたもの		
自 家 用	規 格 外 (計)		
	農産物検査において「規格外」と判定されたもの		
そ の 他	農産物検査を受検しないもののうち、主産物と同等の品質を有するもの		
自 家 用	食 用	食用に仕向けた（予定を含む。）もの	
	種 子 用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの	
	そ の 他	食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 くずそば等の状況

当年産のそば生産で発生したくずそば等について、記入してください。
なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
販 売 用	販売した（予定を含む。）もの	万円 千 百 十	万円 千 百 十
自 家 用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のそば栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 新たな設備・機械の導入

(3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【3】そばの生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産のそば生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子（購入）

品 種 名	数 量	単 位	金 額（ 円 ）			
			万	千	百	十
計		—				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子（自給）

品 種 名	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】 そばの生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産のそば生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				そば負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
(炭酸カルシウムを含む)								※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料								
土壌改良資材								微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

2 肥料費（続き）

・そばのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・そば以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	そば負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産のそば生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	そば負担割合（%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌殺虫剤			
除草剤			
その他			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他。」）」に記入してください。

【3】そばの生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産のそば生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	そば負担割合（%）
購入（計）			—	万円 千 百 十	
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
	電力料		—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自給					

・そばのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・そば以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産のそば生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	そば負担割合（%）
購入（計）			—	万円 千 百 十	
自給					

・そばのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・そば以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・そばのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・そば以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産のそば生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	そば負担割合（%）
計			—	万円 千 百 十	
共同負担金	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
農機具借料			—		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			—		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担したそば生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	そば 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

・そばのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担したそば生産に関する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	そば 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (そば生産部会等の会費)		
農業共済組合賦課金		

・そばのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、そばの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産のそば生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類名	そば作付ほ場負担金額 (円)		そば 負担割合 (%)
	維持負担金	償 還 金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (整地、表土扱いのない事業)			

2 水利費等

費用名	そば作付ほ場 負担金額 (円)	そば 負担割合 (%)
水利に係る費用計	万 千 百 十	

・そばのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・そば以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、そばの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産のそば生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・そばのみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・そば以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	そば 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借 入 金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

そば生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「そば負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
 ・建物の電灯や電球の交換費用
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築	中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円）				農業経営基盤強化準備金（円）		修繕費（円）		保険料（円）		そば負担割合（%）	年内異動状況			
							年（西暦）	月	年	月	千	百	十	円	千	百	十	円		千	百	十	円
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード				
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)				
1	木造	6	木造モルタル	9 鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10 鉄骨格材の肉厚3～4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11 鉄骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック			
構築物 (15 コンクリートけい畔)～(31 その他の構築物)				
1	コンクリート、レンガ、石、ブロック	2	金属	5 合成樹脂
		3	木造	6 塩化ビニール
		4	土管	7 その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

そば生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～
 「そば負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
 ・バッテリー・補充液
 ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・そばのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円）			修繕費（円）		自動車保険料（円）		自動車・軽自動車税（円）		当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		そば負担割合（%）	年内異動状況			
					年（西暦）	月	（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）			（当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）		（当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）		（当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）		自動車重量税（円）	自賠償保険（円）		異動コード	売却金額（円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」		
					年	月	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十
1																						
2																						
3																						
4																						
5																						
6																						
7																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

そば生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「そば負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・そばのみに使用した場合は、100(%)としてください。
 ・そば以外の作物へ共通して使用した場合は、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品	古区分 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円)	農業経営基盤強化準備金(円)	修繕費(円)	保険料(円)	軽自動車税(円)	当年、車検を受けた車両について記入してください。		そば負担割合(%)	年内異動状況					
							年(西暦)	月						自動車重量税(円)	自賠責保険(円)		異動コード	売却金額(円)				
1							年	月	万	千	百	十	万	千	百	十			万	千	百	十
2																						
3																						
4																						
5																						
6																						
7																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						

種類コード		
3	歩行用トラクター	21 普通型コンバイン
4	乗用トラクター	22 そば収穫機
8	たい肥等散布機	29 脱穀機
9	肥料散布機	31 乾燥機
10	総合は種機	54 トレーラー
16	中耕除草機	56 その他の農機具
17	動力噴霧機	57 パソコン
18	動力散粉機	58 その他の生産管理機器
20	自脱型コンバイン	
33	ドローン	

型式コード		
(4 乗用トラクター)		(56 その他の農機具)
1	20馬力未満	1 その他・耐用年数3年
2	20～50馬力未満	2 その他・耐用年数4年
3	50～80馬力未満	3 その他・耐用年数5年
4	80～100馬力未満	4 その他・耐用年数6年
5	100馬力以上	5 その他・耐用年数7年
(20 自脱型コンバイン)		上記以外の農機具
1	3条刈以下	6 その他
2	4～5条刈	
3	6条刈以上	

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のそば生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・そばのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・そば以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				そば負担割合（％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				そば負担割合（％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンター、トナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産のそばの収穫が終わる前の1年間に、
 ・そばのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
 ・そば以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、そばとそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）にそばと米を作付けており、過去1年間における作物別の収入がそば400万円、米400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $\text{そば400万円} \div (\text{米400万円} + \text{そば400万円}) \times 100 = 50 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産のそば生産のために作付けした所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）		作付実面積（a）		そば負担割合（％）	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産のそば生産のために作付けした借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）		作付実面積（a）		支払地代（円）		そば負担割合（％）	地目	
		ha	a	ha	a	万	千		百	十
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のそば生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

当年産のそばの収穫が終わる前の1年間に、
 ・そばのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・そば以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）		使用面積（a）		そば負担割合（％）
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

(2) 建物敷地等

当年産のそば生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）		使用面積（a）		支払賃借料（円）		そば負担割合（％）
		ha	a	ha	a	万	千	
1								
2								
3								

【12】作業別労働時間

当年産のそば生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
		性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)				
耕起地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布													耕起地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布
基肥	基肥の配合、運搬、施肥													基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種まき、覆土													は種	種まき、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥													追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布													中耕草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り													管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策													防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀													刈取脱穀	収穫、運搬、脱穀
乾燥	乾燥、調製													乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）													生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等													間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産のそば生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	そば負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

・そば生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・そば生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合に

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

別記様式第6号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

○年産 大豆生産費統計調査票 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産の大豆生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「大豆（※1）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年産の大豆の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 大豆とは
普通大豆、特定加工用大豆及び種子大豆（黒大豆は除きます。）
が該当します。
- ※2 この調査での大豆の生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（大豆負担割合について）】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から大豆負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
大豆と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、大豆「2ha」、水稲「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 大豆に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	大豆負担割合 (%)
肥料(購入)計	200	20000	100

大豆負担割合には100%と記入

例2 大豆、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
大豆と水稲の作付面積割合「2：8」を目安に大豆負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	大豆負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	10000	20

大豆負担割合には20%と記入

【大豆負担割合の設定方法】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合の大豆負担割合を設定する方法について説明します。

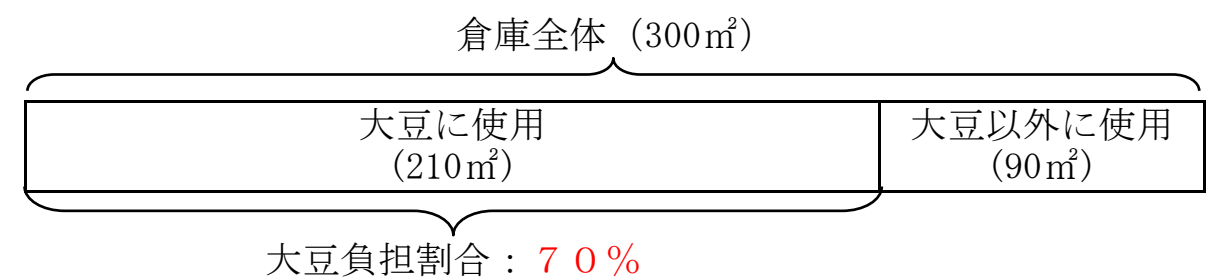
(1) 倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、大豆生産のために使用した面積の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うち大豆生産のために210㎡、大豆以外の作物に90㎡を使用した場合の「大豆負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



(2) 農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、大豆生産のために使用した時間の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うち大豆生産のために80時間、大豆以外の作物に120時間使用した場合の「大豆負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調査事項

	ページ
【1】 経営の概況 ……………	3
経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、大豆生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況 ……………	5
大豆の品質・用途別、くず大豆等の販売状況について記入してください。	
【3】 大豆の生産のために使用した資材等 ……………	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担 ……………	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費 ……………	9
土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 ……………	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 ……………	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 ……………	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 ……………	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 ……………	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代 ……………	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間 ……………	15
家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

【1】経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○	○
---	---

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における大豆の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、普通大豆、特定加工用大豆、種子大豆です。
黒大豆は含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 大豆生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。
乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。

区 分	数 量				単 位	
耕うん・整地		ha	a	.	a	
は 種				.	a	
防 除				.	a	
刈取・脱穀				.	a	
乾燥・調製		万	千	百	十	0 kg

6 大豆の品種別作付面積

当年産に作付けた大豆の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)			
品 種 1			ha	a	.
品 種 2					.
品 種 3					.
品 種 4					.
品 種 5					.

注：面積の合計が当年産の大豆作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産の大豆に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済		

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

当年産の大豆栽培の特徴

- 1 作柄概況
- 2 被害の状況や品質
- 3 栽培状況の変化
 - (1) 新たな品種の導入
 - (2) 新たな設備・機械の導入
 - (3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【2】生産物の販売等の状況

1 大豆の品質・用途別の販売状況等

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
 また、1等、2等、3等・規格外及び特定加工用について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分		内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
			万 千 百 十	万 千 百 十
販 売 用 （ 予 定 を 含 む 。）	普 通	1 等 (計)		
		農産物検査において「1等」と判定されたもの		
	大 豆	2 等 (計)		
		農産物検査において「2等」と判定されたもの		
	特 定 加 工 用 (計)	3等・規格外 (計)		
農産物検査において「3等」又は「規格外」と判定されたもの				
		特定加工用大豆として農産物検査において「合格」又は「規格外」と判定されたもの (豆腐・油揚げ・しょう油・きな粉等、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆。)		
	そ の 他	種子用のほか、普通大豆や特定加工用と同等の品質を有するもの		
自 家 用	食 用	食用に仕向けた(予定を含む。)もの		
	種 子 用	種子用に仕向けた(予定を含む。)もの		
	そ の 他	食用、種子用以外に仕向けた(予定を含む。)もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 くず大豆等の状況

当年産の大豆生産で発生したくず大豆等（農産物検査で等級がつかなくくず大豆等。）の状況について、記入してください。
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
		万 千 百 十	万 千 百 十
販 売 用	販売した(予定を含む。)もの		
自 家 用	自家用に仕向けた(予定を含む。)もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自由記入欄

【3】大豆の生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の大豆生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子（購入）

品 種 名 等	数 量	単 位	金 額（ 円 ）			
			万	千	百	十
計		—				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子（自給）

品 種 名 等	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の大豆生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				大豆負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
（炭酸カルシウムを含む）								※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料								
土壌改良資材								
たい肥・きゅう肥								
その他		—						微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

2 肥料費（続き）

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	大豆負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の大豆生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	大豆負担割合（%）	備考欄
計			
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌剤 殺虫			
除草剤			
その他			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産の大豆生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

5 諸材料費

当年産の大豆生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・大豆のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・大豆以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
計			—	万 千 百 十	
共同負担金	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
農機具借料			—		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			—		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した大豆生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				大豆 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
固定資産税(建物)					
固定資産税(農機具)					
不動産取得税 (土地以外)					
水利地益税					
都市計画税 (土地以外)					
共同施設税					

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
 ・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税(建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税(農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

2 公課諸負担

1年間に負担した大豆生産に関する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				大豆 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
集落協議会費 (地域集落等の会費)					
農業協同組合費					
農事実行組合費 (大豆作部会等の各種部会費)					
農業共済組合賦課金					

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
 ・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産の大豆生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	大豆作付ほ場負担金額(円)				大豆 負担割合 (%)
	維持負担金		償還金		
	万	千	百	十	
ほ場整備事業					
農地開発事業					
かんがい排水事業					
農道整備事業					
その他(整地、表土 扱いのない事業)					

2 水利費等

費用名等	大豆作付ほ場負担金額(円)				大豆 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
水利に係る費用計					

・大豆のみの負担分を記入する場合は、100(%)としてください。
 ・大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【6】借入金(買掛未払金を含む。)及び支払利子

当年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみの生産に関する金額を記入する場合は、100(%)としてください。
 ・大豆以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名(用途)	調査開始時 未償還残高(円)	支払利子額(円)	大豆 負担割合 (%)
計			
借 入 金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金は除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
 ・建物の電灯や電球の交換費用
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	大豆負担割合 （%）	年内異動状況				
						年 （西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） （売却金額、取り壊しの金額）			
						年	月	億	万	千	百	十		万	千	百	十
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード					
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	骨格材の肉厚3～4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック				
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
 ・バッテリー・補充液
 ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合は、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分		耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円）			修繕費（円）			自動車保険料（円）			自動車・軽自動車税（円）		大豆負担割合（％）		年内異動状況			
				年（西暦）	月		購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	大豆のみに使用した場合は、100（％）としてください。大豆以外の作物へ共通して使用した場合は、使用時間割合を目安に記入してください。	異動コード	売却金額（円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）												
														自動車重量税（円）	自賠責保険（円）	異動コード	売却金額（円）								
1																									
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

大豆生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）として
 ください。
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、
 使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金分を 控除した額を記入してくだ さい。）	農業経営基盤 強化準備金 （円） （農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を記 入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該農業機械 や生産管理機器の修繕 費を記入してください。）	保険料 （円） （当年の当該農業 機械の保険料を記 入してください。）	軽自動車税 （円） （当年の当 該農業機械 の軽自動車 税を記入し てください。）	当年、車検を受けた車両 について記入してください。		大豆 負担 割合 （%）	年内異動状況		
						年 （西暦）	月						自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動 コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。） した場合は、「0（ゼロ）」	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード		
3	歩行用トラクター	21 普通型コンバイン
4	乗用トラクター	23 大豆収穫機
8	たい肥等散布機	29 脱穀機
9	肥料散布機	31 乾燥機
10	総合は種機	54 トレーラー
16	中耕除草機	56 その他の農機具
17	動力噴霧機	57 パソコン
18	動力散粉機	58 その他の生産管理機器
20	自脱型コンバイン	
33	ドローン	

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満		4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上		5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の大豆生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				大豆 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				大豆 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費
						・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費
						・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産の大豆の収穫が終わる前の1年間に、
 ・大豆のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
 ・大豆以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、大豆とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）に小麦と大豆を作付けており、過去1年間における作物別の収入が小麦300万円、大豆200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
大豆200万円 ÷ (小麦300万円 + 大豆200万円) × 100 = 40（％）

1 所有地

(1) 作付地

当年産の大豆生産のために作付けした所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		大豆負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産の大豆生産のために作付けした借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)		大豆負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a	万	千		百	十
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

当年産の大豆の収穫が終わる前の1年間に、
 ・大豆のみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・大豆以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	大豆負担割合 (%)
		ha	ha	
1				
2				
3				

(2) 建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	大豆負担割合 (%)		
		ha	ha	万	千	百	十
1							
2							
3							

【12】作業別労働時間

当年産の大豆生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種別	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種別	内容例示
		性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)				
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等		時間		時間		時間		時間		時間		時間		時間	育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕起地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布															耕起地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布
基肥	基肥の配合、運搬、施肥															基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土															は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植															定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥															追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布															中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り															管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策															防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業															収穫	収穫、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業
乾燥	乾燥、調製															乾燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）															生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等															間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産の大豆生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	大豆負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

・大豆生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

別記様式第7号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

農業経営統計調査

○年産 原料用かんしょ生産費統計調査票 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産のでん粉原料用かんしょ生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「でん粉原料用かんしょ（※）の生産コスト」を把握する調査です。

調査票には、〇年産のでん粉原料用かんしょの生産のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※1 でん粉原料用かんしょとは
でん粉原料用とする目的で栽培しているかんしょです。
生食用、焼酎用、飼料用、種子用とする目的で栽培しているかんしょや、規格外・余剰品ででん粉原料用に利用したかんしょは含みません。

※2 この調査でのでん粉原料用かんしょの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（でん粉原料用かんしょ負担割合について）】

でん粉原料用かんしょを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からでん粉原料用かんしょ負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。

でん粉原料用かんしょと野菜を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、でん粉原料用かんしょ「2ha」、野菜「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 でん粉原料用かんしょに施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	でん原 負担割合 (%)
肥料(購入)計	2000	200000	100

でん粉原料用かんしょ負担割合には100%と記入

例2 でん粉原料用かんしょ、野菜に施肥した数量、金額の合計を記入する方法

でん粉原料用かんしょと野菜の作付面積割合「2：8」を目安に
でん粉原料用かんしょ負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	でん原 負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	100000	20

でん粉原料用かんしょ負担割合には20%と記入

【でん粉原料用かんしょ負担割合の設定方法】

でん粉原料用かんしょを含めた複数の作物を作付けしている場合のでん粉原料用かんしょ負担割合を設定する方法について説明します。

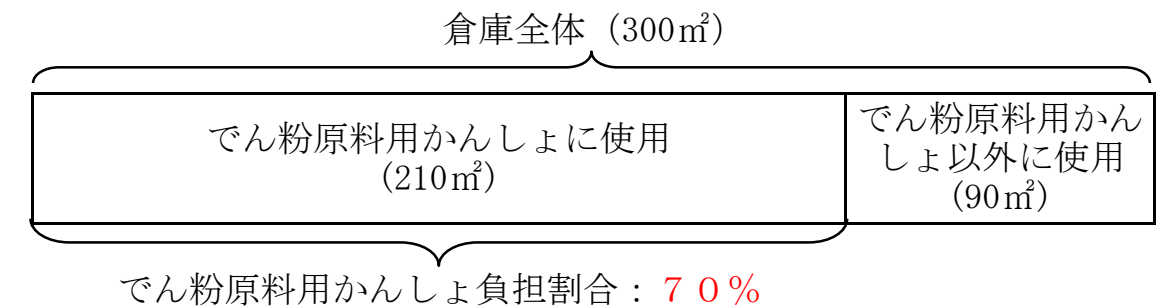
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、でん粉原料用かんしょ生産のために使用した面積の割合を「でん粉原料用かんしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用かんしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用かんしょに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うちでん粉原料用かんしょ生産のために210㎡、でん粉原料用かんしょ以外の作物に90㎡を使用した場合の「でん粉原料用かんしょ負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、でん粉原料用かんしょ生産のために使用した時間の割合を「でん粉原料用かんしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用かんしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用かんしょに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うちでん粉原料用かんしょ生産のために80時間、でん粉原料用かんしょ以外の作物に120時間使用した場合の「でん粉原料用かんしょ負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調査事項

	ページ
【1】 経営の概況 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、でん粉原料用かんしょの作付品種等について記入してください。	3
【2】 生産物の販売等の状況 4 でん粉原料用かんしょの用途別の販売状況について記入してください。	4
【3】 でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。	5
【4】 物件税及び公課諸負担 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	8
【5】 土地改良及び水利費 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	8
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 8 借入金残高、支払利子について記入してください。	8
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	9
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	10
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	11
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	12
【11】 土地の面積及び地代 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	13
【12】 作業別労働時間 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	14

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上の方		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○	○
いる	いない

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年におけるでん粉原料用かんしょの10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、でん粉原料用とする目的で栽培しているかんしょです。
生食用、焼耐用、種子用とする目的で栽培しているかんしょや、規格外・余剰品ででん粉原料用に利用したかんしょは含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 でん粉原料用かんしょの品種別作付面積

当年産に作付けしたでん粉原料用かんしょの品種名及びその作付面積を記入してください。

区分	品種名	面積 (a)			
		ha	a	㎡	㎡
品種 1					
品種 2					
品種 3					
品種 4					
品種 5					

注：面積の合計が当年産のでん粉原料用かんしょ作付面積です。

当年産のでん粉原料用かんしょ栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 新たな設備・機械の導入

(3) その他（新たな栽培技術の導入）

【2】生産物の販売等の状況

1 でん粉原料用かんしょの用途別の販売状況等

当年産のでん粉原料用かんしょの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、販売用（予定を含む。）について、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは、販売金額（でん粉原料用の場合、「でん粉原料用いも生産者交付金」を含めた金額）から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)				金額 (円)			
		万	千	百	十	万	千	百	十
計									
販売用 (予定を含む。)	でん粉原料用として出荷したかんしょ及びかんしょ生切り干し								
自家用	食用								
	種子用								
	その他								

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 くずいも等の状況

当年産のでん粉原料用かんしょ生産で発生したくずいも、芋づる等について、自家用に仕向けた（予定を含む。）ものの数量について記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)			
		万	千	百	十
自家用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの				

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自由記入欄

【3】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した種いも及び苗について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種いも（購入）

品 種 名 等	数 量	単 位	金 額（ 円 ）			
			万	千	百	十
計		—				

(2) 種いも（自給）

品 種 名 等	数 量	単 位

使用した自給の種いもの品種名と数量を記入してください。

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

(3) 苗（購入）

品 種 名 等	数 量	単 位	金 額（ 円 ）			
			万	千	百	十
計		—				

【3】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				でん原 負担割合 （%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
（炭酸カルシウム 石灰含む）								
複合肥料								
土壌改良資材								
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

2 肥料費（続き）

・でん粉原料用かんしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	でん原 負担割合 （%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	でん原 負担割合 （%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌剤 殺虫			
除草剤			
その他			

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【3】でん粉原料用かんしょの生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	でん原 負担割合 （%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
動力 燃 料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
	電力料		—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自 給					

・でん粉原料用かんしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	でん原 負担割合 （%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
自 給					

・でん粉原料用かんしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に記入。）、マルチ張り用のポリエチレン等が入ります。

・でん粉原料用かんしょのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	でん原 負担割合 （%）
計			—	万 千 百 十	
負 担 金	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
農機具借料			—		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
貯蔵			kg		
その他			—		

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担したでん粉原料用かんしょ生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	でん原 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担したでん粉原料用かんしょ生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	でん原 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、でん粉原料用かんしょの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額 (円)		でん原 負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (整地、表土扱いのない事業)			

・でん粉原料用かんしょのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、でん粉原料用かんしょの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

2 水利費等

費用名等	でん粉原料用かんしょ作付ほ場負担金額 (円)	でん原 負担割合 (%)
水利に係る費用計	万 千 百 十	

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産の原料用かんしょ生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用かんしょのみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	でん原 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

でん粉原料用かんしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

- ・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新区分 新築 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤 強化準備金 (円) 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	でん原負担割合 (%)	年内異動状況				
						年 (西暦)	月						異動コード	異動に伴う発生金額 (円) 売却金額、取り壊しの金額			
						年	月	億	万	千	百	十	万	千	百	十	
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード					
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨格材の肉厚3～4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	鉄骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック				
構築物 (15コンクリートけい畔)～(31その他の構築物)					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

でん粉原料用かんしょ生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金を控除した額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。</small>	自動車保険料 (円) <small>当年の当該自動車等の保険料を記入してください。</small>	自動車・軽自動車税 (円) <small>当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		でん原負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠償保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

でん粉原料用かんしょ生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤強化準備金 (円) <small>農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該農業機械の保険料を記入してください。</small>	軽自動車税 (円) <small>当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		でん原負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード		
3	歩行用トラクター	18 動力散粉機
4	乗用トラクター	24 かんしょ収穫機
8	たい肥等散布機	54 トレーラー
9	肥料散布機	56 その他の農機具
14	移植機	57 パソコン
16	中耕除草機	58 その他の生産管理機器
17	動力噴霧機	
33	ドローン	

型式コード		
(4 乗用トラクター)		(56 その他の農機具)
1	20馬力未満	1 その他・耐用年数3年
2	20～50馬力未満	2 その他・耐用年数4年
3	50～80馬力未満	3 その他・耐用年数5年
4	80～100馬力未満	4 その他・耐用年数6年
5	100馬力以上	5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				でん原 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				でん原 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の1年間に、

- ・でん粉原料用かんしょのみ作付けた団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
- ・でん粉原料用かんしょ以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、でん粉原料用かんしょとそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）にキャベツとでん粉原料用かんしょを作付けており、過去1年間における作物別の収入がキャベツ300万円、でん粉原料用かんしょ200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $\text{でん原かんしょ200万円} \div (\text{キャベツ300万円} + \text{でん原かんしょ200万円}) \times 100 = 40 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために作付けた所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		でん原 負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のでん粉原料用かんしょの収穫が終わる前の1年間に、

- ・でん粉原料用かんしょのみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・でん粉原料用かんしょ以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		でん原 負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

2 借入地

(1) 作付地

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために作付けた借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)		でん原 負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a	万	千		百	十
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)		でん原 負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	
1								
2								
3								

【12】作業別労働時間

当年産のでん粉原料用かんしょ生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
		性別 (男) (女)	(年齢) 時間	性別 (男) (女)	(年齢) 時間	性別 (男) (女)	(年齢) 時間	性別 (男) (女)	(年齢) 時間	性別 (男) (女)	(年齢) 時間				
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等													育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕起地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り													耕起地	耕起、整地、畝立て、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥													基肥	基肥の配合、運搬、施肥
定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植													定植	苗取り、植穴堀り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥													追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布													中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り													管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策													防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬													収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）													生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等													間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産のでん粉原料用かんしょ生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	でん原負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

・でん粉原料用かんしょ生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用かんしょ生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産 原料用ばれいしょ生産費統計調査票 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産のでん粉原料用ばれいしょ生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「でん粉原料用ばれいしょ（※1）の生産コスト」を把握する調査です。

調査票には、〇年産のでん粉原料用ばれいしょの生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 でん粉原料用ばれいしょとは
でん粉原料用とする目的で栽培しているばれいしょです。
食用、加工用、種子用とする目的で栽培しているばれいしょや、規格外・余剰品ででん粉原料用に利用されたばれいしょ（でん原落ち分）は含めません。
- ※2 この調査でのでん粉原料用ばれいしょの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（でん粉原料用ばれいしょ負担割合について）】

でん粉原料用ばれいしょを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からでん粉原料用ばれいしょ負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。

でん粉原料用ばれいしょと小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、でん粉原料用ばれいしょ「2ha」、小麦「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 でん粉原料用ばれいしょに施肥した数量、金額を記入する方法

区分	数量 (kg)	金額 (円)	でん原負担割合 (%)
肥料(購入)計	2000	200000	100

でん粉原料用ばれいしょ負担割合には100%と記入

例2 でん粉原料用ばれいしょ、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法

でん粉原料用ばれいしょと小麦の作付面積割合「2：8」を目安にでん粉原料用ばれいしょ負担割合を「20%」と記入してください。

区分	数量 (kg)	金額 (円)	でん原負担割合 (%)
肥料(購入)計	10000	1000000	20

でん粉原料用ばれいしょ負担割合には20%と記入

【でん粉原料用ばれいしょ負担割合の設定方法】

でん粉原料用ばれいしょを含めた複数の作物を作付けしている場合のでん粉原料用ばれいしょ負担割合を設定する方法について説明します。

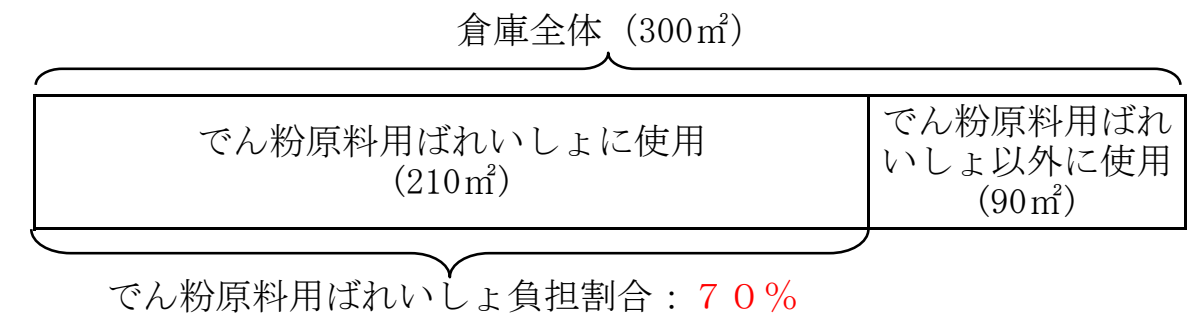
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した面積の割合を「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用ばれいしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用ばれいしょに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うちでん粉原料用ばれいしょ生産のために210㎡、でん粉原料用ばれいしょ以外の作物に90㎡を使用した場合の「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した時間の割合を「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」とします。

$$\text{でん粉原料用ばれいしょ負担割合} = \frac{\text{でん粉原料用ばれいしょに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うちでん粉原料用ばれいしょ生産のために80時間、でん粉原料用ばれいしょ以外の作物に120時間使用した場合の「でん粉原料用ばれいしょ負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、でん粉原料用ばれいしょの作付品種等について記入してください。	3
【2】 生産物の販売等の状況 でん粉原料用ばれいしょの用途別の販売状況について記入してください。	4
【3】 でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。	5
【4】 物件税及び公課諸負担 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	8
【5】 土地改良及び水利費 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	8
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 借入金残高、支払利子について記入してください。	8
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	9
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	10
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	11
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	12
【11】 土地の面積及び地代 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	13
【12】 作業別労働時間 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	14

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上		
	150日以上		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○	○
いる	いない

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年におけるでん粉原料用ばれいしょの10a当たり収量を記入してください。

区 分	1 年 前	2 年 前	3 年 前	4 年 前	5 年 前
10a 当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、でん粉原料用とする目的で栽培しているばれいしょです。生食用、加工用、種子用とする目的で栽培しているばれいしょや、規格外・余剰品ででん粉原料用として利用されるばれいしょ（でん原落ち分）は含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 でん粉原料用ばれいしょの品種別作付面積

当年産に作付けたでん粉原料用ばれいしょの品種名及びその作付面積を記入してください。

区分	品種名	面積 (a)
品種 1		ha a .
品種 2		
品種 3		
品種 4		
品種 5		

注：面積の合計が当年産のでん粉原料用ばれいしょ作付面積です。

6 制度受取金等の状況

当年産のでん粉原料用ばれいしょに係る制度受取金等について記入してください。

区分	掛金 (円)	受取金 (円)
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

【2】生産物の販売等の状況

1 でん粉原料用ばれいしょの用途別の販売状況等

当年産のでん粉原料用ばれいしょの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
また、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは、販売金額（早期出荷手当がある場合は、その手当を含めた金額）から搬出費、包装荷作り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)	金額 (円)
販売用 (予定を含む。)	計	万 千 百 十	万 千 百 十
自家用	食用		
	種いも用		
	その他		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 くずいも等の状況

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産で発生したくずいも等について、自家用に仕向けた（予定を含む。）ものの数量について記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)
自家用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの	万 千 百 十

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のでん粉原料用ばれいしょ栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 新たな設備・機械の導入

(3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【3】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した種いもについて、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種いも（購入）

品 種 名 等	数 量	単 位	金 額（ 円 ）			
			万	千	百	十
計		—				

(2) 種いも（自給）

品 種 名 等	数 量	単 位

使用した自給の種いもの品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				でん原 負担割合 （%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素 質								
りん 酸 質								
カリ 質								
けい 酸 質								
（炭酸カルシウム （石灰含む））								※融雪剤として使用した 分は「5 諸材料費」 に記入してください。
複合 肥料								
土壌改良資材								微生物資材、液肥、農薬 入り肥料、ペースト肥 料、苦土質肥料、微量要 素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

2 肥料費（続き）

- ・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
- ・でん粉原料用ばれいしょ以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	でん原 負担割合 （%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
注2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）				でん原 負担割合 （%）	備考欄
	万	千	百	十		
計						
殺虫 剤						
殺菌 剤						
殺菌 殺虫 剤						
除草 剤						植物成長調整剤、展着 剤、生産に使用する農 具及び資材の殺菌・消 毒剤など
その他						

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

【3】でん粉原料用ばれいしょの生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）				でん原 負担割合 （%）
			万	千	百	十	
購入（計）		—					
動力 燃 料	重油	L					
	軽油	L					
	灯油	L					
	ガソリン	L					
	潤滑油	L					
	混合油	L					
	電力料		—				
その他 (水道料、木炭などの燃料)		—					
自給							

・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外
 の使用分を含めて記入する
 場合には、機械等の使用時間や
 作付面積の割合を目安に記入
 してください。

使用した自給の資材名と数量を記入
 してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）				でん原 負担割合 （%）
			万	千	百	十	
購入（計）		—					
自給							

・でん粉原料用ばれいしょのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外
 の使用分を含めて記入する場
 合には、作付面積の割合を目
 安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量
 を記入してください。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・でん粉原料用ばれいしょのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外
 の支払分を含めて記入する場
 合には、機械等の使用時間や
 作付面積の割合を目安に記入
 してください。

6 賃借料及び料金

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等	数量等	単位	金額（円）				でん原 負担割合 （%）
			万	千	百	十	
計		—					
負担 共同 金	薬剤散布						
	共同施設						
	農機具借料						
	航空防除賃				a		
	賃耕料				a		
	は種・定植料				a		
	収穫請負わせ賃				a		
	貯蔵				kg		
	その他				—		

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担したでん粉原料用ばれいしょ生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	でん原 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

- ・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担したでん粉原料用ばれいしょ生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	でん原 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

- ・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、でん粉原料用ばれいしょの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額 (円)		でん原 負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他(整地、表土扱いのない事業)			

- ・でん粉原料用ばれいしょのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・でん粉原料用ばれいしょ以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、でん粉原料用ばれいしょの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

2 水利費等

費用名等	でん粉原料用ばれいしょ作付ほ場負担金額 (円)	でん原 負担割合 (%)
水利に係る費用計	万 千 百 十	

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	でん原 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

- ・でん粉原料用ばれいしょのみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・でん粉原料用ばれいしょ以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
 ・建物の電灯や電球の交換費用
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金 （円） （建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料 （円） （当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	でん原負担割合 （%）	年内異動状況	
						年（西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） （売却金額、取り壊しの金額）
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード			
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック		
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)			
1	コンクリート、レンガ、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄へ「でん原負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
 ・バッテリー・補充液
 ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費（円） （当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料（円） （当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税（円） （当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		でん原負担割合（%）	年内異動状況	
					年（西暦）	月					自動車重量税（円）	自賠責保険（円）		異動コード	売却金額（円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

でん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「でん原負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該農業機械の保険料を記入してください。</small>	軽自動車税 (円) <small>当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		でん原負担割合 (%)	年内異動状況		
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
25	ばれいしょ収穫機
33	ドローン

型式コード	
(4 乗用トラクター)	
1	20馬力未満
2	20～50馬力未満
3	50～80馬力未満
4	80～100馬力未満
5	100馬力以上
(56 その他の農機具)	
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
上記以外の農機具	
6	その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				でん原 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				でん原 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の1年間に、
 ・でん粉原料用ばれいしょのみ作付けた団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、でん粉原料用ばれいしょとそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）にでん粉原料用ばれいしょと小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入がでん粉原料用ばれいしょ400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $\text{でん原ばれいしょ400万円} \div (\text{でん原ばれいしょ400万円} + \text{小麦400万円}) \times 100 = 50 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために作付けた所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		でん原 負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のでん粉原料用ばれいしょの収穫が終わる前の1年間に、
 ・でん粉原料用ばれいしょのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		でん原 負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

2 借入地

(1) 作付地

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために作付けた借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)			でん原 負担割合 (%)	地目		
		ha	a	ha	a	万	千	百		十	田	畑
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)			でん原 負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	百	
1									
2									
3									

【12】作業別労働時間

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種別	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種別	内容例示
		性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)				
耕起地	耕起、整地、畝立て		時間		時間		時間		時間		時間		時間		時間	耕起地	耕起、整地、畝立て
基肥	基肥の配合、運搬、施肥															基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土															は種	種子予措、選種、種子消毒、植え付け、覆土
追肥	追肥の配合、運搬、施肥															追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中耕除	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布															中耕除	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り															管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策															防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬															収穫	収穫、運搬
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）															生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等															間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産のでん粉原料用ばれいしょ生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	でん原負担割合（%）
男 万 千 百 十	
女	

・でん粉原料用ばれいしょ生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・でん粉原料用ばれいしょ生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産 たたね生産費統計調査票 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産のなたね生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「なたね（※1）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年産のなたねの生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 なたねとは
食用だけでなく、種子用のなたねも該当します。
- ※2 この調査でのなたねの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【なたね負担割合の設定方法】

なたねを含めた複数の作物を作付けしている場合のなたね負担割合を設定する方法について説明します。

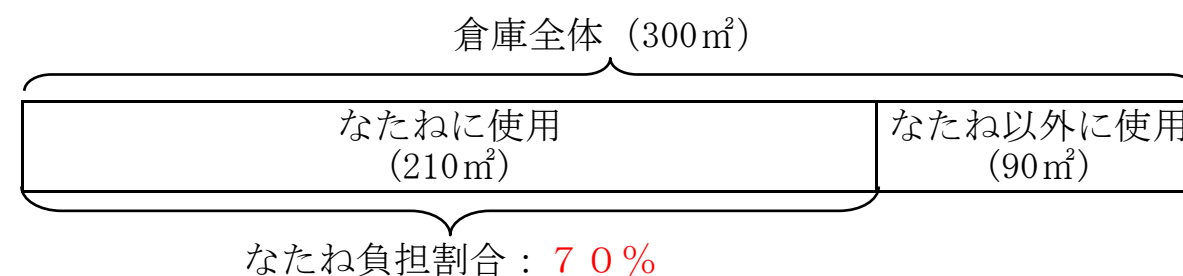
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、なたね生産のために使用した面積の割合を「なたね負担割合」とします。

$$\text{なたね負担割合} = \frac{\text{なたねに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うちなたね生産のために210㎡、なたね以外の作物に90㎡を使用した場合の「なたね負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、なたね生産のために使用した時間の割合を「なたね負担割合」とします。

$$\text{なたね負担割合} = \frac{\text{なたねに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うちなたね生産のために80時間、なたね以外の作物に120時間使用した場合の「なたね負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

【調査票の記入方法（なたね負担割合について）】

なたねを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からなたね負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
なたねと水稻を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、なたね「2ha」、水稻「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 なたねに施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	なたね負担割合 (%)
肥料(購入)計	2 0 0 0	2 0 0 0 0 0	1 0 0

なたね負担割合には100%と記入

例2 なたね、水稻に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
なたねと水稻の作付面積割合「2：8」を目安になたね負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	なたね負担割合 (%)
肥料(購入)計	1 0 0 0	1 0 0 0 0 0	2 0

なたね負担割合には20%と記入

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況	3
経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、なたね生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況	4
なたねの用途別、くずなたね等の販売状況について記入してください。	
【3】 なたねの生産のために使用した資材等	5
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担	8
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費	8
土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	8
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	9
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	10
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	11
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	12
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代	13
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間	14
家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○	○
ある	いない

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年におけるなたねの10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、
食用だけでなく、種子用
も含めたなたねです。

【1】経営の概況（続き）

5 なたね生産における作業委託の状況

耕うん・整地や防除などで、同一のは場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。
乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。

区 分	数 量	単 位
耕うん・整地	ha a	a
は 種		a
防 除		a
刈 取 ・ 脱 穀		a
乾 燥 ・ 調 製	万 千 百 十 . 0	kg

6 なたねの品種別作付面積

当年産に作付けしたなたねの品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		ha a
品 種 2		
品 種 3		
品 種 4		
品 種 5		

注：面積の合計が当年産のなたね作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産のなたねに係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

【2】生産物の販売等の状況

1 なたねの用途別の販売状況等

当年産のなたねの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
また、販売用（予定を含む。）について、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
販 売 用 (予 定 を 含 む 。)	計	万 千 百 十	万 千 百 十
		なたね油用として出荷・販売したものや、同等の品質を有するもの	
自 家 用	食 用		
	種 子 用		
	そ の 他		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 くずなたね等の状況

当年産のなたね生産で発生したくずなたね等について、記入してください。
なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
販 売 用	販売した（予定を含む。）もの	万 千 百 十	万 千 百 十
自 家 用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のなたね栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

- (1) 新たな品種の導入
- (2) 新たな設備・機械の導入
- (3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【3】なたねの生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産のなたね生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子（購入）

品 種 名	数 量	単 位	金 額（円）			
			万	千	百	十
計		—				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子（自給）

品 種 名	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】なたねの生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産のなたね生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				なたね負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
（炭酸カルシウム・石灰含む）								
複合肥料								
土壌改良資材								
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。

微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

2 肥料費（続き）

・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・なたね以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	なたね負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産のなたね生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	なたね負担割合（%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌殺虫			
除草剤			
その他			

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

【3】なたねの生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産のなたね生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）				なたね負担割合（%）
購入（計）			—					
動力燃料	重油		L					
	軽油		L					
	灯油		L					
	ガソリン		L					
	潤滑油		L					
	混合油		L					
電力料			—					
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—					
自給								

・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・なたね以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産のなたね生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）				なたね負担割合（%）
購入（計）			—					
自給								

・なたねのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・なたね以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・なたねのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・なたね以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産のなたね生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）				なたね負担割合（%）
計			—					
共同負担金	薬剤散布		—					
	共同施設		—					
農機具借料			—					
航空防除賃			a					
賃耕料			a					
は種・定植料			a					
収穫請負わせ賃			a					
乾燥調製料			kg					
その他			—					

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担したなたね生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				なたね負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
固定資産税 (建物)					
固定資産税 (農機具)					
不動産取得税 (土地以外)					
水利地益税					
都市計画税 (土地以外)					
共同施設税					

- ・なたねのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担したなたね生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				なたね負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
集落協議会費 (地域集落等の会費)					
農業協同組合費					
農事実行組合費 (なたね生産部会等の会費)					
農業共済組合賦課金					

- ・なたねのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、なたねの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産のなたね生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類名	なたね作付ほ場負担金額 (円)				なたね負担割合 (%)
	維持負担金		償 還 金		
	万	千	百	十	
ほ場整備事業					
農地開発事業					
かんがい排水事業					
農道整備事業					
その他 (整地、表土扱いのない事業)					

2 水利費等

費用名	なたね作付ほ場負担金額 (円)				なたね負担割合 (%)
	万	千	百	十	
水利に係る費用計					

- ・なたねのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・なたね以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、なたねの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産のなたね生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・なたねのみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・なたね以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	なたね負担割合 (%)			
			万	千	百	十
計						
借入金						
買掛未払金						

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

なたね生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「なたね負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・なたね以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円）				農業経営基盤強化準備金（円）				修繕費（円）				保険料（円）				なたね負担割合（%）	異動コード	年内異動状況						
						年（西暦）	月	購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。				建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。				当年の当該建物等の修繕費を記入してください。				当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。						異動に伴う発生金額（円） （売却金額、取り壊しの金額）						
1						年	月	億	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十					万	千	百	十
2																																
3																																
4																																
5																																
6																																
7																																
8																																
9																																
10																																
11																																
12																																
13																																
14																																
15																																

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード					
建築物					
(1住宅)～(13その他の建築物)					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	骨格材の肉厚3～4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック				
構築物					
(15コンクリートけい畔)～(31その他の構築物)					
1	コンクリート、レンガ、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

なたね生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～
 「なたね負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・なたねのみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・なたね以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） <small>（購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）</small>	修繕費 （円） <small>（当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）</small>	自動車保険料 （円） <small>（当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）</small>	自動車・軽自動車税 （円） <small>（当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		なたね負担割合（％）	年内異動状況	
						年（西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠償保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） <small>（廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

なたね生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「なたね負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・なたね以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を記 入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該農業機械 や生産管理機器の修繕 費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該農業 機械の保険料を記 入してください。</small>	軽自動車税 (円) <small>当年の当 該農業機械 の軽自動車 税を記入し てください。</small>	当年、車検を受けた車両 について記入してください。		なたね 負担 割合 (%)	年内異動状況		
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動 コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。） した場合は、「0（ゼロ）」</small>	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
20	自脱型コンバイン
33	ドローン
21	普通型コンバイン
26	なたね収穫機
29	脱穀機
31	乾燥機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード	
(4 乗用トラクター)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満	4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上	5 その他・耐用年数7年
(20 自脱型コンバイン)	上記以外の農機具
1 3条刈以下	6 その他
2 4～5条刈	
3 6条刈以上	

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のなたね生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・なたねのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・なたね以外の作物にも使用した場合は、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				なたね負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				なたね負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等の参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産のなたねの収穫が終わる前の1年間に、
 ・なたねのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
 ・なたね以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、なたねとそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に米となたねを作付けており、過去1年間における作物別の収入が米400万円、なたね400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $\text{なたね400万円} \div (\text{米400万円} + \text{なたね400万円}) \times 100 = 50 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産のなたね生産のために作付けした所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		なたね負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産のなたね生産のために作付けした借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)		なたね負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a	万	千		百	十
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のなたねの収穫が終わる前の1年間に、
 ・なたねのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・なたね以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のなたね生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		なたね負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

(2) 建物敷地等

当年産のなたね生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)		なたね負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	
1								
2								
3								

【12】作業別労働時間

当年産のなたね生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作 業 類	内 容 例 示	氏名	性別	(年齢)	氏名	性別	(年齢)	氏名	性別	(年齢)	氏名	性別	(年齢)	氏名	性別	(年齢)	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作 業 類	内 容 例 示
			男 女	時間		男 女	時間		男 女	時間		男 女	時間		男 女	時間				
育 苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等																		育 苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等
耕 起 地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布																		耕 起 地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布
基 肥	基肥の配合、運搬、施肥																		基 肥	基肥の配合、運搬、施肥
は 種	種まき、覆土																		は 種	種まき、覆土
定 植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植																		定 植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植
追 肥	追肥の配合、運搬、施肥																		追 肥	追肥の配合、運搬、施肥
中 耕 除 草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		中 耕 除 草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管 理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り																		管 理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り
防 除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		防 除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈 取 穀	収穫、運搬、脱穀																		刈 取 穀	収穫、運搬、脱穀
乾 燥	乾燥、調製																		乾 燥	乾燥、調製
生 産 管 理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		生 産 管 理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間 接 労 働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		間 接 労 働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産のなたね生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区 分	支 払 賃 金 (円)	なたね 負担割合 (%)
男	万 千 百 十	
女		

・なたね生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・なたね生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

〇年産 てんさい生産費統計調査票 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
 また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. 〇年産のてんさい生産費について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「てんさいの生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のてんさいの生産(※)のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 てんさいとは
砂糖原料用とする目的で栽培しているてんさいです。
- ※2 この調査でのてんさいの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（てんさい負担割合について）】

てんさいを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からてんさい負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
てんさいと小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

(記入例)

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、てんさい「8ha」、小麦「2ha」の作付地に施肥した場合

例1 てんさいに施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	てんさい負担割合 (%)
肥料(購入)計	800	80000	100

てんさい負担割合には100%と記入

例2 てんさい、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
てんさいと小麦の作付面積割合「8：2」を目安にてんさい負担割合を「80%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	てんさい負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	100000	80

てんさい負担割合には80%と記入

【てんさい負担割合の設定方法】

てんさいを含めた複数の作物を作付けしている場合のてんさい負担割合を設定する方法について説明します。

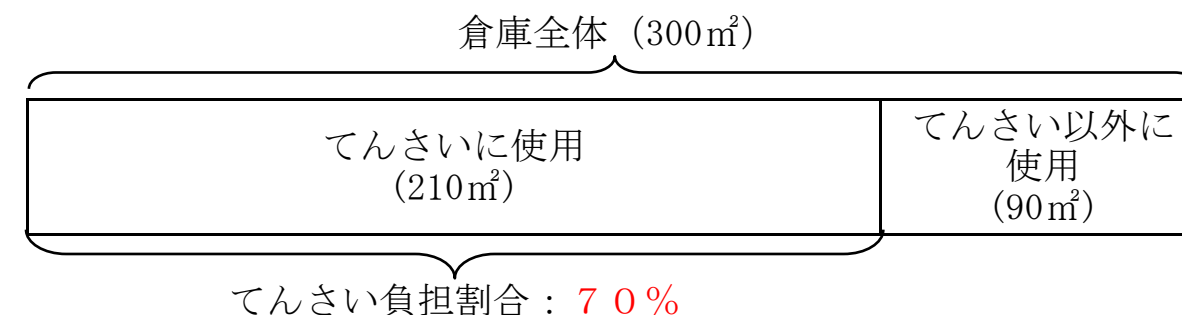
(1) 倉庫(建物)の場合

倉庫の全面積のうち、てんさい生産のために使用した面積の割合を「てんさい負担割合」とします。

$$\text{てんさい負担割合} = \frac{\text{てんさいに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うちてんさい生産のために210㎡、てんさい以外の作物に90㎡を使用した場合の「てんさい負担割合」は70%
(210㎡÷300㎡×100) になります。

○倉庫(300㎡)の負担割合のイメージ図



(2) 農機具(トラクター)の場合

トラクターの全使用時間のうち、てんさい生産のために使用した時間の割合を「てんさい負担割合」とします。

$$\text{てんさい負担割合} = \frac{\text{てんさいに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うちてんさい生産のために80時間、てんさい以外の作物に120時間使用した場合の「てんさい負担割合」は40%
(80時間÷200時間×100) になります。

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 3 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、てんさいの作付品種等について記入してください。	3
【2】 生産物の販売等の状況 4 てんさいの用途別の販売状況について記入してください。	4
【3】 てんさいの生産のために使用した資材等 5 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。	5
【4】 物件税及び公課諸負担 8 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	8
【5】 土地改良及び水利費 8 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	8
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 8 借入金残高、支払利子について記入してください。	8
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 9 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	9
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 10 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	10
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 11 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	11
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 12 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	12
【11】 土地の面積及び地代 13 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	13
【12】 作業別労働時間 14 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	14

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男 (人)	女 (人)
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上		
150日以上	年間の農業労働日数が150日以上		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○	○
いる	いない

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年におけるてんさいの10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

【1】経営の概況（続き）

5 てんさいの品種別作付面積

当年産に作付けしたてんさいの品種名及びその作付面積を記入してください。

区分	品 種 名	面 積 (a)	
		ha	a
品 種 1			
品 種 2			
品 種 3			
品 種 4			
品 種 5			

注：面積の合計が当年産のてんさい作付面積です。

6 移植・直まき面積

てんさいを作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。

区 分	面 積 (a)
移 植	ha a
直 ま き	a

注：面積の合計が当年産のてんさい作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産のてんさいに係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

【2】生産物の販売等の状況

1 てんさいの用途別の販売状況等

当年産のてんさいの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、実際に販売したものは、販売金額（早期出荷手当がある場合は、その手当を含めた金額）から搬出費、包装荷作り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (出 荷 量) (kg)				金 額 (円)				取 引 糖 度 (%)
		万	千	百	十	万	千	百	十	
計										
販 売 用 （ 予 定 を 含 む 。）										
自 家 用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの									

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

2 ビート・トップ等の状況

当年産のてんさい生産で発生したビート・トップ等について、用途別に記入してください。
 なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量(kg)	金額(円)
販売用	販売した(予定を含む。)もの	万 千 百 十	万 千 百 十
自家用	自家用に仕向けた(予定を含む。)もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のてんさい栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 直まき栽培の導入

(3) 新たな設備・機械の導入

(4) その他(新たな栽培技術の導入)

【3】てんさいの生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産のてんさい生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子(購入)

品種名等	数量		金額(円)			
		単位	万	千	百	十
計		—				

(2) 種子(自給)

品種名等	数量	単位

使用した種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

(3) 苗(購入)

品種名等	数量		金額(円)			
		単位	万	千	百	十
計		—				

注：は種済みポットについては、こちらに記入してください。

【3】てんさいの生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産のてんさい生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				てんさい負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
(炭酸カルシウム・石灰含む)								※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料								
土壌改良資材								微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

2 肥料費（続き）

・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	てんさい負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。

注2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産のてんさい生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	てんさい負担割合（%）	備考欄
計	万 千 百 十		
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌剤 殺虫			
除草剤			植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他			

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。

注2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【3】てんさいの生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産のてんさい生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	てんさい負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
	電力料		—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合は、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

5 諸材料費

当年産のてんさい生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	てんさい負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
自給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・てんさいのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

諸材料には、育苗用土、ペーパーポット、融雪剤等が入ります。

・てんさいのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の支払分を含めて記入する場合は、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産のてんさい生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	てんさい負担割合（%）
計			—	万 千 百 十	
共同負担金	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
農機具借料			—		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
その他			—		

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担したてんさい生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	てんさい負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

- ・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合は、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担したてんさい生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	てんさい負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

- ・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合は、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、てんさいの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産のてんさい生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	てんさい作付ほ場負担金額 (円)		てんさい負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (整地、表土扱いのない事業)			

- ・てんさいのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・てんさい以外の負担分を含めて記入する場合は、農業収入全体のうち、てんさいの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

2 水利費等

費用名等	てんさい作付ほ場負担金額 (円)	てんさい負担割合 (%)
水利に係る費用計	万 千 百 十	

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産のてんさい生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・てんさいのみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・てんさい以外の金額を含めて記入する場合は、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	てんさい負担割合 (%)
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

てんさい生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「てんさい負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
 ・建物の電灯や電球の交換費用
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金 （円） （建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料 （円） （当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	てんさい負担割合（%）	年内異動状況		
						年（西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） （売却金額、取り壊しの金額）	
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード			
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック		
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

てんさい生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～
 「てんさい負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
 ・バッテリー・補充液
 ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料 （円） （当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税 （円） （当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		てんさい負担割合（%）	年内異動状況		
					年（西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠償保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」	
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

てんさい生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「てんさい負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額（円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円） 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円） 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円） 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円） 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。		てんさい負担割合（%）	年内異動状況		
						年（西暦）	月						自動車重量税（円）	自賠責保険（円）		異動コード	売却金額（円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード		
3	歩行用トラクター	27 てんさい収穫機
4	乗用トラクター	54 トレーラー
8	たい肥等散布機	56 その他の農機具
9	肥料散布機	57 パソコン
10	総合は種機	58 その他の生産管理機器
14	移植機	
16	中耕除草機	
17	動力噴霧機	
18	動力散粉機	
33	ドローン	

型式コード	
(4 乗用トラクター)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満	4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上	5 その他・耐用年数7年
	上記以外の農機具
	6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のてんさい生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・てんさいのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・てんさい以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				てんさい負担割合（％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				てんさい負担割合（％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産のてんさいの収穫が終わる前の1年間に、
 ・てんさいのみ作付けた団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、てんさいとそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）にてんさいと他作物を作付けており、過去1年間における作物別の収入がてんさい300万円、他作物200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $てんさい300万円 \div (てんさい300万円 + 他作物200万円) \times 100 = 60 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産のてんさい生産のために作付けた所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		てんさい負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産のてんさい生産のために作付けた借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)		てんさい負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a	万	千		百	十
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のてんさいの収穫が終わる前の1年間に、
 ・てんさいのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のてんさい生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		てんさい負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

(2) 建物敷地等

当年産のてんさい生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)		てんさい負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	
1								
2								
3								

【12】 作業別労働時間

当年産のてんさい生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
		性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)	性別 (男/女)	(年齢)				
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体及びそれに伴う除雪等		時間		時間		時間		時間		時間		時間		時間	育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体及びそれに伴う除雪等
耕起地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り															耕起地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り
基肥	基肥の配合、運搬、施肥															基肥	基肥の配合、運搬、施肥
は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土															は種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植															定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥															追肥	追肥の配合、運搬、施肥
中除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布															中除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、育苗ハウス後に行う除雪作業、ほ場見回り															管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、育苗ハウス後に行う除雪作業、ほ場見回り
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策															防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
収穫	収穫、運搬、タッピング															収穫	収穫、運搬、タッピング
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）															生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等															間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産のてんさい生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	てんさい負担割合（%）
男	万 千 百 十	
女		

・てんさい生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・てんさい生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

〇年産 さとうきび生産費統計調査票 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. 〇年産のさとうきび生産費について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「さとうきび(※1)の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産のさとうきびの生産(※2)のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 さとうきびとは
砂糖原料用とする目的で栽培しているさとうきびです。
苗取り用とする目的で栽培しているさとうきびは含みません。
- ※2 この調査でのさとうきびの生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（さとうきび負担割合について）】

さとうきびを含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等からさとうきび負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
さとうきびと野菜を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

(記入例)

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、さとうきび「8ha」、野菜「2ha」の作付地に施肥した場合

例1 さとうきびに施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	さとうきび負担割合 (%)
肥料(購入)計	8 0 0 0	8 0 0 0 0 0	1 0 0

さとうきび負担割合には100%と記入

例2 さとうきび、野菜に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
さとうきびと野菜の作付面積割合「8：2」を目安にさとうきび負担割合を「80%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	さとうきび負担割合 (%)
肥料(購入)計	1 0 0 0	1 0 0 0 0 0	8 0

さとうきび負担割合には80%と記入

【さとうきび負担割合の設定方法】

さとうきびを含めた複数の作物を作付けしている場合のさとうきび負担割合を設定する方法について説明します。

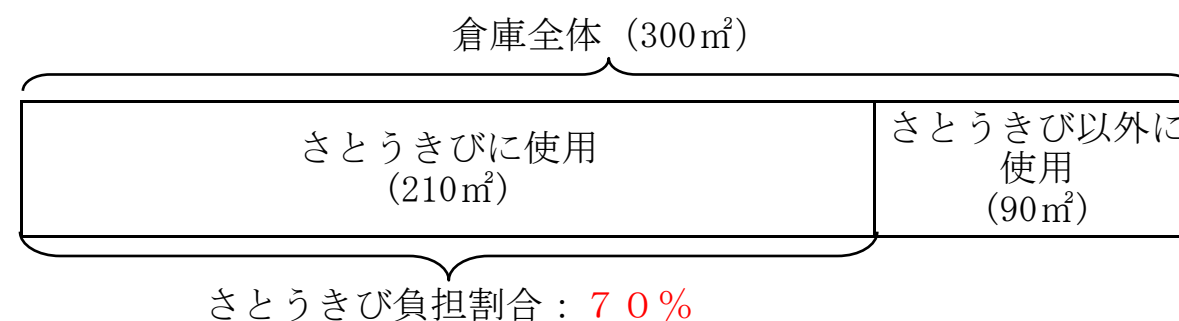
(1) 倉庫(建物)の場合

倉庫の全面積のうち、さとうきび生産のために使用した面積の割合を「さとうきび負担割合」とします。

$$\text{さとうきび負担割合} = \frac{\text{さとうきびに使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うちさとうきび生産のために210㎡、さとうきび以外の作物に90㎡を使用した場合の「さとうきび負担割合」は70% (210㎡÷300㎡×100) になります。

○倉庫(300㎡)の負担割合のイメージ図



(2) 農機具(トラクター)の場合

トラクターの全使用時間のうち、さとうきび生産のために使用した時間の割合を「さとうきび負担割合」とします。

$$\text{さとうきび負担割合} = \frac{\text{さとうきびに使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うちさとうきび生産のために80時間、さとうきび以外の作物に120時間使用した場合の「さとうきび負担割合」は40% (80時間÷200時間×100) になります。

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、さとうきびの作付品種等について記入してください。	3
【2】 生産物の販売等の状況 さとうきびの用途別の販売状況について記入してください。	4
【3】 さとうきびの生産のために使用した資材等 種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料等の賃借料・料金等について記入してください。	5
【4】 物件税及び公課諸負担 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	8
【5】 土地改良及び水利費 土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。	8
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 借入金残高、支払利子について記入してください。	8
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	9
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	10
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	11
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	12
【11】 土地の面積及び地代 所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	13
【12】 作業別労働時間 家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	14

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）		借入地（a）	
田	ha	a	ha	a
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男（人）	女（人）
世帯員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農業就業者	年間の農業労働日数が60日以上		
	150日以上		
農業年雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○ いる	○ いない
------	-------

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年におけるさとうきびの10a当たり収量を記入してください。

区 分	1 年前	2 年前	3 年前	4 年前	5 年前
10a 当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、砂糖原料用とする目的で栽培しているさとうきびです。苗取り用とする目的で栽培しているさとうきびは含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 さとうきびの品種別収穫面積

当年産に収穫したさとうきびの品種名及びその収穫面積を記入してください。

区分	品 種 名	面 積 (a)	
		ha	a
品 種 1			
品 種 2			
品 種 3			
品 種 4			
品 種 5			

注：面積の合計が当年産のさとうきび収穫面積です。

6 さとうきびの栽培型別収穫面積

当年産のさとうきびの収穫面積について、栽培型（株出し・春植え・夏植え）別面積を記入してください。

区 分	面 積 (a)
株 出 し	
春 植 え	
夏 植 え	

注：面積の合計が当年産のさとうきび収穫面積です。

7 農業共済金の状況

当年産のさとうきびに係る農業共済の掛金・受取金について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済		

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

【2】生産物の販売等の状況

1 さとうきびの用途別の販売状況等

当年産のさとうきびの販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは、販売金額（「甘味資源作物生産者交付金」を含めた金額）から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (出 荷 量) (kg)				金 額 (円)				取 引 糖 度 (%)
		万	千	百	十	万	千	百	十	
販 売 用 （ 予 定 を 含 む 。）	計									
自 家 用	苗 用									
	そ の 他									

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

2 梢頭部等の状況

当年産のさとうきび生産で発生した梢頭部等について、用途別に記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数 量 (kg)				金 額 (円)			
		万	千	百	十	万	千	百	十
販 売 用	販売した（予定を含む。）もの								
自 家 用	自家用に仕向けた（予定を含む。）もの								

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産のさとうきび栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 栽培型（株出し・春植え・夏植え）の動向

(3) 新たな設備・機械の導入

(4) その他（新たな栽培技術の導入や増産対策への取組状況）

【3】さとうきびの生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産のさとうきび生産のために使用した苗について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 苗（購入）

品 種 名 等	数 量		金 額 (円)			
		単 位	万	千	百	十
計		—				

(2) 苗（自給）

品 種 名 等	数 量	
		単 位

使用した種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産のさとうきび生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				さとうきび負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
（炭酸カルシウムを含む）								
複合肥料								
土壌改良資材								
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

2 肥料費（続き）

・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（自家生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	さとうきび負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産のさとうきび生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）	さとうきび負担割合（%）	備考欄
計			
殺虫剤			
殺菌剤			
殺菌殺虫剤			
除草剤			
その他			

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

【3】さとうきびの生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産のさとうきび生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）				さとうきび負担割合（%）
購入（計）			—					
動力燃料	重油		L					
	軽油		L					
	灯油		L					
	ガソリン		L					
	潤滑油		L					
	混合油		L					
	電力料		—					
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—					
自給								

・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産のさとうきび生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）				さとうきび負担割合（%）
購入（計）			—					
自給								

・さとうきびのみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・さとうきび以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、被覆用ポリエチレンや結束用のなわ等が入ります。

・さとうきびのみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・さとうきび以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産のさとうきび生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）				さとうきび負担割合（%）
計			—					
共同負担金	薬剤散布		—					
	共同施設		—					
農機具借料			—					
航空防除賃			a					
賃耕料			a					
は種・定植料			a					
収穫請負わせ賃			a					
その他			—					

注：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担したさとうきび生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				さとうきび負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
固定資産税 (建物)					
固定資産税 (農機具)					
不動産取得税 (土地以外)					
水利地益税					
都市計画税 (土地以外)					
共同施設税					

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

- ・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

2 公課諸負担

1年間に負担したさとうきび生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				さとうきび負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
集落協議会費 (地域集落等の会費)					
農業協同組合費					
農事実行組合費 (各種部会費)					
農業共済組合賦課金					

- ・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、さとうきびの収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産のさとうきび生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	さとうきび作付ほ場負担金額 (円)		さとうきび負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (整地、表土扱いのない事業)			

2 水利費等

費用名等	さとうきび作付ほ場負担金額 (円)	さとうきび負担割合 (%)
水利に係る費用計		

- ・さとうきびのみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・さとうきび以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、さとうきびの収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産のさとうきび生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・さとうきびのみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・さとうきび以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	さとうきび負担割合 (%)
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

さとうきび生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「さとうきび負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。

さとうきび以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

夏植えに使用している場合、○を囲んでください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤強化準備金 （円） （建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該建物等の修繕費を記入してください。）	保険料 （円） （当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。）	さとうきび負担割合（%）	夏植え使用 異動コード	年内異動状況		
						年（西暦）	月							異動に伴う発生金額（円） （売却金額、取り壊しの金額）		
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	12	育苗ハウス
3	納屋・倉庫	13	その他の建築物
4	作業場		
構築物			
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物
18	作業道		

構造コード			
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック		
構築物 (15コンクリートけい畔)～(31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

さとうきび生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄へ「さとうきび負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・さとうきびのみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・さとうきび以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

夏植えに使用している場合、○を囲んでください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区 新品	古 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。</small>	自動車保険料 (円) <small>当年の当該自動車等の保険料を記入してください。</small>	自動車・軽自動車税 (円) <small>当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		さとうきび負担割合 (%)	夏植え使用	年内異動状況	
							年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)			異動コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、12ページに記入してください。

さとうきび生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「さとうきび負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・パソコン等の修理費用、部品代 など

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

・さとうきびのみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・さとうきび以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

夏植えに使用している場合、○を囲んでください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤強化準備金 (円) <small>農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該農業機械の保険料を記入してください。</small>	軽自動車税 (円) <small>当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		さとうきび負担割合 (%)	夏植え使用 異動コード	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)			売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
14	移植機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
28	さとうきび収穫機
30	きび脱葉機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器
33	ドローン

型式コード	
(4 乗用トラクター)	
1	20馬力未満
2	20～50馬力未満
3	50～80馬力未満
4	80～100馬力未満
5	100馬力以上
(56 その他の農機具)	
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
上記以外の農機具	
6	その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産のさとうきび生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・さとうきび以外の作物にも使用した場合は、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				さとうきび負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				さとうきび負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産のさとうきびの収穫が終わる前の1年（夏植えの場合は1年半）の間に、

- ・さとうきびのみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
- ・さとうきび以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、さとうきびとそれ以外の作物との過去1年（夏植えの場合は1年半）の間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）にさとうきびと野菜を作付けており、過去1年（夏植えの場合は1年半）の間における作物別の収入がさとうきび300万円、野菜200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $さとうきび300万円 \div (さとうきび300万円 + 野菜200万円) \times 100 = 60 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産のさとうきび生産のために作付けした所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。
 また、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		さとうきび負担割合 (%)	地目		夏植え
		ha	a	ha	a		田	畑	
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産のさとうきびの収穫が終わる前の1年（夏植えの場合は1年半）の間に、

- ・さとうきびのみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・さとうきび以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のさとうきび生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。
 なお、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に○を付けてください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		さとうきび負担割合 (%)	夏植え
		ha	a	ha	a		
1							
2							
3							

2 借入地

(1) 作付地

当年産のさとうきび生産のために作付けした借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。
 また、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)			さとうきび負担割合 (%)	地目		夏植え
		ha	a	ha	a	万	千	百		十	田	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産のさとうきび生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。
 なお、作型が夏植えの場合は、「夏植え」欄に○を付けてください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)			さとうきび負担割合 (%)	夏植え
		ha	a	ha	a	万	千	百		
1										
2										
3										

【12】作業別労働時間

当年産のさとうきび生産における作業時間について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作業種類	内容例示	氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		氏名		雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業種類	内容例示
		性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)	性別 (男) (女)	(年齢)				
育苗	定植用の苗管理一切														育苗	定植用の苗管理一切	
耕起地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り														耕起地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布、マルチ張り	
基肥	基肥の配合、運搬、施肥														基肥	基肥の配合、運搬、施肥	
定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植														定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植	
株分け	苗の消毒、調苗、株の切断														株分け	苗の消毒、調苗、株の切断	
追肥	追肥の配合、運搬、施肥														追肥	追肥の配合、運搬、施肥	
中除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布														中除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布	
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り														管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り	
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策														防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策	
はく葉	はく葉														はく葉	はく葉	
収穫	収穫、運搬														収穫	収穫、運搬	
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）														生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）	
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等														間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等	

3 支払賃金

当年産のさとうきび生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	さとうきび負担割合（%）	
			万
男			
女			

・さとうきび生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・さとうきび生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

別記様式第 12号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

〇年産 米生産費統計調査票

(組織法人経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 1. 〇年産の米生産費について記入してください。
- 2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- 4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「食用米（※1）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、「〇年産の食用米の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等」について記入をお願いします。

※1 食用米とは
食用に供する水稻のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。（食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。）

※2 この調査での食用米の生産とは
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（食用米負担割合について）】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から食用米負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
食用米と小麦を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した窒素質肥料「1,000kg」を、食用米「8ha」、小麦「2ha」の作付地に施肥した場合

例1 食用米に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米負担割合 (%)
窒 素 質 肥 料	8 0 0	8 0 0 0 0	1 0 0

食用米負担割合には100%と記入

例2 食用米、小麦に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
食用米と小麦の作付面積割合「8：2」を目安に食用米負担割合を「80%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	食用米負担割合 (%)
窒 素 質 肥 料	1 0 0 0	1 0 0 0 0	8 0

食用米負担割合には80%と記入

【食用米負担割合の設定方法】

食用米を含めた複数の作物を作付けしている場合の食用米負担割合を設定する方法について説明します。

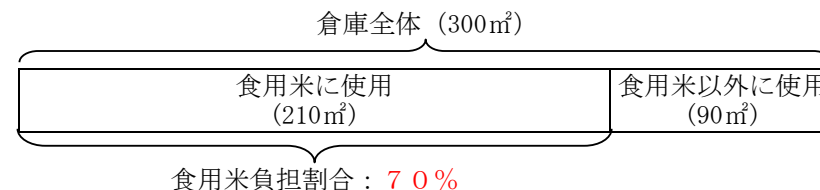
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、食用米生産のために使用した面積の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が300㎡で、うち食用米生産のために210㎡、食用米以外の作物に90㎡を使用した場合の「食用米負担割合」は70%
(210㎡÷300㎡×100) になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、食用米生産のために使用した時間の割合を「食用米負担割合」とします。

$$\text{食用米負担割合} = \frac{\text{食用米に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例：トラクター全体の使用時間が200時間で、うち食用米生産のために80時間、食用米以外の作物に120時間使用した場合の「食用米負担割合」は40%
(80時間÷200時間×100) になります。

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況	3
経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、食用米生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況	5
食用米、稲わら及びびくず米の販売状況等について記入してください。	
【3】 食用米の生産のために使用した資材等	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費	9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間	15
構成員、雇用別の作業労働時間、田植・収穫の開始日と終了日、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）		借入地（a）	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	人 数 等	単 位
構 成 員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者		人
農 業 年 雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		人
構 成 農 家 世 帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。例えば、同じ農家世帯から出資者が2名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「1」戸になります。

3 認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。
該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

4 稲作主体の経営

1年間における農産物総販売金額の中で、稲作販売金額が1位でしたか。
該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

5 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における食用米の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、**食用米**（食用に供する水稻のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米）です。食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

6 移植・直まき面積

食用米を作付けたほ場について、移植と直まき別の作付面積を記入してください。

区 分	面 積 (a)
移 植	ha a .
直 ま き	ha a .

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

7 飼料用米作付面積

当年産に飼料用米の作付けがあった場合は、その作付面積を記入してください。

区 分	面 積 (a)
飼料用米作付面積	ha a .

注：WCS用稲は含めないでください。

8 水稻作付ほ場規模別枚数及び面積

食用米を作付けたほ場の規模別枚数及び合計面積を記入してください。

区 分	ほ場枚数 (枚)	面 積 (a)
未 整 理 又 は 10a 未 満		ha a .
10a ~ 20a 区 画		ha a .
20a ~ 30a 区 画		ha a .
30a ~ 50a 区 画		ha a .
50a ~ 1 ha 区 画		ha a .
1 ha 以上 区 画		ha a .

注：面積の合計が当年産の食用米作付面積です。

9 田の状況

食用米を作付けた田の状況について記入してください。

区 分	団地数等	
田 の 団 地 数	団地	
区 画 積 割 合 済 み	50%未満	①
	50 ~ 80 %	②
	80 % 以上	③

団地とは、田を含む地続きの耕地の一群をいいます。ただし、地続きの耕地の一群が、他人の経営する耕地等によって分割されていても、作業単位として分離されていない場合は、同一の団地としてください。

10 ほ場間の距離及び団地への平均距離

食用米を作付けたほ場間の距離や団地への平均距離について記入してください。

区 分	距 離 (km)
ほ 場 間 の 距 離	km
団 地 へ の 平 均 距 離	km

ほ場間の距離とは、2つ以上団地がある場合、最も離れたほ場間を、最も使われる道のりで移動した距離のことをいいます。このため、団地数が1つの場合は記入不要です。

団地への平均距離とは、居住箇所を起点として、それぞれの団地へ、最も使われる道のりで移動した距離を、団地数の合計で割ったものです。

11 食用米生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、育苗から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

育苗は、引き受けた苗箱等の数量から、田植えのほ場面積を見積もり記入してください。乾燥・調製は、玄米の数量を記入してください。

(1) 受託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
全 作 業	ha a .	a
耕うん・整地	ha a .	a
育 苗	ha a .	a
田 植	ha a .	a
防 除	ha a .	a
刈 取 ・ 脱 穀	ha a .	a
乾 燥 ・ 調 製	万 千 百 十 . 0	kg

(2) 委託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
育 苗	ha a .	a
防 除	ha a .	a

12 食用米（うるち米）の品種別作付面積

当年産に作付けた食用米（うるち米）の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)	区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		ha a .	品 種 6		ha a .
品 種 2		ha a .	品 種 7		ha a .
品 種 3		ha a .	品 種 8		ha a .
品 種 4		ha a .	品 種 9		ha a .
品 種 5		ha a .	品 種 10		ha a .

13 制度受取金等の状況

当年産の食用米に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

【2】生産物の販売等の状況

1 食用米の販売状況等（玄米換算）

当年産の食用米の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
 また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)				金額 (円)				
		万	千	百	十	万	千	百	十	
販売用 (予定を含む)	主食用 (計)									
		主食用米として販売された米 (いわゆる縁故米、贈答米、 産直米、政府備蓄米、新規需 要米のうち酒造用米、輸出用 米を含む。) 及びその種子								
組織内消費	種子用									
	飯米用									
	その他	種子用、飯米用以外に仕向け た (予定を含む。) もの								

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 稲わら、くず米の販売状況等

当年産の食用米生産で発生した稲わら、くず米及びもみがらの販売状況等について記入してください。
 また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1) 稲わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合 (%)	金額 (円)
販売用	加工品等		
	その他 (肥料、飼料、敷料等)		
組織内消費	生わら		
	乾燥わら		
	その他 (焼却、放棄)		
計		100	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

稲わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

(2) くず米及びもみがら

くず米及びもみがらについて、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合 (%)	用途別		
		販売用	組織内消費	その他 (廃棄等)
くず米	100			
もみがら	100			

くず米及びもみがらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」、「その他 (廃棄等)」の各割合を記入してください。(販売用、組織内消費、その他 (廃棄等) の合計が100となります。)

区分	販売金額 (円)
くず米	
もみがら	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

当年産の水稻栽培の特徴

- 1 作柄概況
- 2 被害の状況や品質
- 3 栽培状況の変化
 - (1) 新たな品種の導入
 - (2) 直まき栽培の導入
 - (3) 新たな設備・機械の導入
 - (4) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【3】食用米の生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の食用米生産のために使用した種子及び苗について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(1) 種子

品 種 名 等	数 量 (kg)				金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	万	千	百	十	
(計)									
購 入									
自 給									

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 苗

品 種 名 等	植え付けた面積 (a)		金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	ha	a	万	千	百	十	
(計)							
購 入							

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の食用米生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

資材名等	数量 (kg)	金額 (円)	食用米負担割合 (%)	備考欄
購	窒素質肥料 (計)			
	りん酸質肥料 (計)			
入	カリ質肥料 (計)			
	けい酸質肥料 (計)			
炭酸カルシウム (計)				炭酸カルシウムには石灰を含みます。 なお、融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料 (計)				
土壌改良資材				微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥				
その他				

2 肥料費（続き）

当年産の食用米生産のために使用した肥料のうち、自家で生産した肥料について記入してください。

資材名等	数量 (kg)	食用米負担割合 (%)
自給		
たい肥		
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の食用米生産のために使用した農業薬剤について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額 (円)	食用米負担割合 (%)	備考欄
殺虫剤 (計)			
殺菌剤 (計)			
殺虫殺菌剤 (計)			
除草剤 (計)			
その他			殺鼠剤、植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材（育苗箱など）の殺菌・消毒剤など

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除費は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」の該当費目に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費」の「その他」に記入してください。

【3】食用米の生産のために使用した資材等（続き）

・食用米のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

4 光熱動力費

当年産の食用米生産のために使用した光熱動力について記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （%）
動 力 燃 料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電 力 料			-		
そ の 他 (水道料、木炭などの燃料)			-		
自給					

使用した自給の
資材名と数量を記
入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・食用米のみの使用分を記入する場合は100（%）としてください。
 ・食用米以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

5 諸材料費

当年産の食用米生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （%）
購 入	育苗用土（素土含む。）		kg		
	そ の 他（計）				
自給					

使用した自給の
資材名と数量を記
入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

諸材料には、育苗箱マット、あぜ波板、ビニール・シート（償却資産に属する建物（育苗ハウス等）のビニール張り替え費用については、建物費の修繕費に計上）、なわ、バインダー用結束ひも等が入ります。

・食用米のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の食用米生産のために支払った賃借料や料金について記入してください。

料 金 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	食用米 負担割合 （%）
共 同 負 担 金	薬 剂 散 布		-		
	共 同 施 設		-		
	共 同 苗 代		-		
農 機 具 借 料			-		
航 空 防 除 賃			ha		
賃 耕 料			a		
は 種 ・ 田 植 賃			a		
収 穫 請 負 せ 賃			a		
ラ イ ス セ ン タ ー 費			kg		
カ ン ト リ ー エ レ ベ ー タ ー 費			kg		
上 記 以 外 の 乾 燥 ・ 調 製 委 託 料			kg		
そ の 他			-		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
 2：ライスセンター、カントリーエレベーター等に乾燥・調製を委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれる場合、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した食用米生産に関する物件税について記入してください。

区 分	金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
固定資産税 (建物)					
固定資産税 (農機具)					
不動産取得税 (土地以外)					
水利地益税					
都市計画税 (土地以外)					
共同施設税					

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税は土地に係るものを除いて記入してください。

・食用米のみの負担分を記入する場合は100 (%)としてください。
 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

2 公課諸負担

1年間に負担した食用米生産に関する公課諸負担について記入してください。

区 分	金 額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)					
農業協同組合費					
農事実行組合費 (稲作部会等の会費)					
農業共済組合賦課金					

・食用米のみの負担分を記入する場合は100 (%)としてください。
 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産の食用米生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	食用米作付ほ場負担金額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	維持負担金		償 還 金		
	万	千	百	十	
ほ場整備事業					
農地開発事業					
かんがい排水事業					
農道整備事業					
その他 (整地、表土 扱いのない事業)					

・食用米のみの負担分を記入する場合は、100 (%)としてください。
 ・食用米以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、食用米の収入が占める割合を目安に記入してください。

2 水利費等

費用名	食用米作付ほ場負担金額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
水利組合費					
揚水ポンプ組合費					
その他					

・食用米のみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%)としてください。
 ・食用米以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産の食用米生産のための借入金及び支払利子について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時 未償還残高 (円)				支払利子額 (円)				食用米 負担割合 (%)
	万	千	百	十	万	千	百	十	
短期借入金									
(計)									
長期借入金									
(計)									
買掛未払金									

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄へ「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
 ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
 ・建物の電灯や電球の交換費用
 ・防風網や支柱の修繕費用 など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円)				農業経営基盤強化準備金(円)				修繕費(円)				保険料(円)				食用米負担割合(%)	異動コード	年内異動状況				
						年(西暦)	月	購入金額から補助金を控除した額を記入してください。				建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。				当年の当該建物等の修繕費を記入してください。				当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。						異動に伴う発生金額(円)				
						年	月	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十			万	千	百	十	
1																														
2																														
3																														
4																														
5																														
6																														
7																														
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード			
建築物			
(1住宅) ~ (13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック		
9	鉄骨	10	造
11	造	11	造
構築物			
(14稲架) ~ (31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

食用米生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用时间割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料 （円） （当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税 （円） （当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		食用米負担割合（%）	年内異動状況	
						年（西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」）
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

食用米生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「食用米負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金を控除した額を記入してください。)</small>	農業経営基盤 強化準備金 (円) <small>(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。)</small>	保険料 (円) <small>(当年の当該農業機械の保険料を記入してください。)</small>	軽自動車税 (円) <small>(当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。)</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		食用米負担割合(%)	年内異動状況		
						年(西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)</small>	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
1	電動機
2	発動機
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
12	電熱育苗機
13	田植機
15	揚水ポンプ
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
19	バインダー
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
32	もみすり機
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満	(31 乾燥機)	4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上	1 静置式	5 その他・耐用年数7年
(13 田植機)	2 循環式	上記以外の農機具
1 2条植		6 その他
2 3～5条植		
3 6～7条植		
4 8条植以上		

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の食用米生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・食用米以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				食用米 負担割合 （%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農 具 ・ 農 業 被 服 等 の 購 入 費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				食用米 負担割合 （%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生 産 管 理 関 係 の 費 用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ・食用米のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
 ・食用米以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、食用米と食用米以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に食用米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が食用米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。

$$\frac{\text{食用米400万円}}{\text{（食用米400万円）+（小麦400万円）}} \times 100 =$$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けした所有地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の食用米の収穫が終わる前の1年間に、
 ・食用米のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・食用米以外にも使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

2 借入地

(1) 作付地

当年産の食用米生産のために作付けした借入地について記入してください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)				食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	百	十	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の食用米生産のために使用した作付地以外の建物敷地等の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)				食用米負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	百	十	
1										
2										
3										

【12】作業別労働時間

当年産の食用米生産における主な作業時間（受託による作業時間は含みません。）について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽											種子予措
育苗	床作り、は種、施肥、かん水等の育苗作業											育苗
耕起整地	荒起し、秋起し、耕うんから代かき、あぜ塗り											耕起整地
基肥	肥料の運搬、施肥、客土の搬入											基肥
直まき	直まき、覆土に係る労働											直まき
田植	苗取り・運搬、田植、浮苗直し、補植、苗箱片付け											田植
追肥	肥料の運搬、施肥、除草剤混入肥料の散布											追肥
除草	本田の中耕除草、本田の除草剤散布、ひえぬき											除草
管理	けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、水管理											管理
防除	農業散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	稲刈り、稲の結束、稲架掛け、脱穀、稲わら処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、もみすり（注）、もみ及び玄米運搬											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

注：「もみすり・調製作業」と「包装荷造り作業」が機械化一貫作業の場合、包装荷造りに要した作業時間を除いて記入してください。

2 食用米の田植、収穫期間

当年産の田植、収穫を開始した日と終了した日を記入してください。

区分	開始日			終了日		
	月	日	日	月	日	日
田植						
収穫						

3 支払賃金

当年産の食用米生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	食用米負担割合（%）
合計	万 千 百 十	

- ・食用米生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
- ・食用米生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

秘

農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産 小麦生産費統計調査票

(組織法人経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. ○年産の小麦生産費について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	1
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦（※1）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年産の小麦の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ※1 小麦とは
食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈り目的で栽培している小麦は含みません。）
- ※2 この調査での小麦の生産とは
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（小麦負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
小麦と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「2ha」、水稲「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	小麦負担割合 (%)
肥料(購入)計	200	20000	100

小麦負担割合には100%と記入

例2 小麦、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
小麦と水稲の作付面積割合「2：8」を目安に小麦負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	小麦負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	10000	20

小麦負担割合には20%と記入

【小麦負担割合の設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

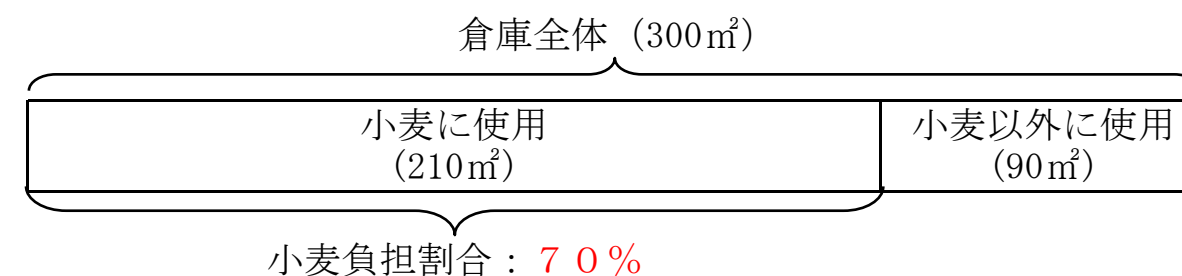
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況	3
経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、小麦生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況	5
小麦の品質・用途別、麦わら及びくず麦の販売状況について記入してください。	
【3】 小麦の生産のために使用した資材等	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費	9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間	15
構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
	ha	a	ha	a
田				
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	人 数 等	単 位
構 成 員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者		人
農 業 年 雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		人
構 成 農 家 世 帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。例えば、同じ農家世帯から出資者が2名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「1」戸になります。

3 認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。

該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における小麦の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前
10a当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、食用だけでなく、種子用を含めた小麦です。青刈り目的で栽培している小麦は含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 小麦生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。
 耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。
 乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。

(1) 受託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
全 作 業ha.....a	a
耕うん・整地ha.....a	a
は 種ha.....a	a
防 除ha.....a	a
刈 取・脱 穀ha.....a	a
乾 燥・調 製万 千 百 十.....0	kg

(2) 委託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
耕うん・整地ha.....a	a
は 種ha.....a	a
防 除ha.....a	a
刈 取・脱 穀ha.....a	a
乾 燥・調 製万 千 百 十.....0	kg

6 小麦の品種別作付面積

当年産に作付けした小麦の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1	ha.....a
品 種 2	ha.....a
品 種 3	ha.....a
品 種 4	ha.....a
品 種 5	ha.....a

注：面積の合計が当年産の小麦作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産の小麦に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済万 千 百 十.....万 千 百 十.....
	/万 千 百 十.....
	万 千 百 十.....
	万 千 百 十.....
	万 千 百 十.....

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

当年産の小麦栽培の特徴

- 1 作柄概況
- 2 被害の状況や品質
- 3 栽培状況の変化
 - (1) 新たな品種の導入
 - (2) 新たな設備・機械の導入
 - (3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【2】生産物の販売等の状況

1 小麦の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

1等、2等、規格外A及びBについて、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)				金額 (円)			
		万	千	百	十	万	千	百	十
販売用 (予定を含む。)	1 等 (計)								
		農産物検査において「1等」と判定されたもの							
	2 等 (計)								
		農産物検査において「2等」と判定されたもの							
	規格外 A (計)								
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの							
	規格外 B (計)								
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランクのもの							
	規格外 C	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Cランクのもの							
	その他	種子用のほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの							
組織内消費	食用	食用に仕向けた(予定を含む。)1・2等、規格外Aのもの							
	種子用	種子用に仕向けた(予定を含む。)もの							
	規格外 B	組織内に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちBランクのもの							
	規格外 C	組織内に仕向けた(予定を含む。)規格外のうちCランクのもの							
	その他	食用、種子用、規格外B・C以外に仕向けた(予定を含む。)もの							

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 麦わら、くず麦の販売状況等

当年産の小麦生産で発生した麦わら及びくず麦の状況について記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1) 麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合 (%)	金額 (円)
販売用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		
組織内消費	販売していない麦わら全般		
	うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら	
計		100	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」の用途別に割合を記入してください。(用途別の合計が100となります。)

(2) くず麦

くず麦について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合 (%)	数量の割合 (%)		
		販売用	組織内消費	その他(廃棄等)
くず麦	100			

くず麦の総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」、「その他(廃棄等)」の各割合を記入してください。(販売用、組織内消費、その他(廃棄等)の合計が100となります。)

区分	販売金額 (円)
くず麦	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自由記入欄

【3】小麦の生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の小麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子（購入）

品 種 名	数 量	単 位	金 額（ 円 ）			
			万	千	百	十
計		—				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子（自給）

品 種 名	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の小麦生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				小麦負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
(炭酸カルシウム 石灰含む)								※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料								
土壌改良資材								微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

2 肥料費（続き）

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（組織内で生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	小麦負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後には場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の小麦生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）				小麦負担割合（%）	備考欄
	万	千	百	十		
計						
殺虫剤						
殺菌剤						
殺菌剤 殺虫						
除草剤						植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他						

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【3】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産の小麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）				小麦負担割合（%）
			万	千	百	十	
購入（計）		—					
動力燃料	重油	L					
	軽油	L					
	灯油	L					
	ガソリン	L					
	潤滑油	L					
	混合油	L					
電力料		—					
その他 (水道料、木炭などの燃料)		—					
自給							

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産の小麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）				小麦負担割合（%）
			万	千	百	十	
購入（計）		—					
自給							

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・小麦のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・小麦以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等	数量等	単位	金額（円）				小麦負担割合（%）
			万	千	百	十	
計		—					
共同負担金	薬剤散布						
	共同施設						
農機具借料		—					
航空防除賃		a					
賃耕料		a					
は種・定植料		a					
収穫請負わせ賃		a					
乾燥調製料		kg					
その他		—					

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
 注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した小麦生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	小麦負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した小麦生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	小麦負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち小麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産の小麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	小麦作付ほ場負担金額 (円)		小麦負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (整地、表土扱いのない事業)			

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、小麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

2 水利費等

費用名	小麦作付ほ場負担金額 (円)	小麦負担割合 (%)
水利に係る費用計	万 千 百 十	

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
 ・小麦以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	小麦負担割合 (%)
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新区分 新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	小麦負担割合（%）	年内異動状況				
						年（西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額（円） （売却金額、取り壊しの金額）			
						年	月	億	万	千	百	十		万	千	百	十
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード				
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)				
1	木造	6	木造モルタル	9 鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10 骨格材の肉厚3～4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11 造骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック			
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)				
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5 合成樹脂
		3	木造	6 塩化ビニール
		4	土管	7 その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～
 「小麦負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

- ・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。</small>	自動車保険料 (円) <small>当年の当該自動車等の保険料を記入してください。</small>	自動車・軽自動車税 (円) <small>当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		小麦負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠償保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」</small>
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・小麦のみに使用した場合は、100（％）として
 ください。
 ・小麦以外の作物へ共通して使用した場合は、
 使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金分を 控除した額を記入してくだ さい。）	農業経営基盤 強化準備金 （円） （農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を記 入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該農業機械 や生産管理機器の修繕 費を記入してください。）	保険料 （円） （当年の当該農業 機械の保険料を記 入してください。）	軽自動車税 （円） （当年の当 該農業機械 の軽自動車 税を記入し てください。）	当年、車検を受けた車両 について記入してください。		小麦 負担 割合 （％）	年内異動状況		
						年 （西暦）	月						自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動 コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。） した場合は、「0（ゼロ）」	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満		4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上		5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の小麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				小麦負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				小麦負担割合（%）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
 ・小麦のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
 ・小麦以外の作物も作付けした団地（ほ場）においては、小麦とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $\text{小麦400万円} \div (\text{米400万円} + \text{小麦400万円}) \times 100 = 50 (\%)$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の小麦生産のために作付けした所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		小麦負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産の小麦生産のために作付けした借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)		小麦負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a	万	千		百	十
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		小麦負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	
1						
2						
3						

当年産の小麦の収穫が終わる前の1年間に、
 ・小麦のみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・小麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)		使用面積 (a)		支払賃借料 (円)		小麦負担割合 (%)
		ha	a	ha	a	万	千	
1								
2								
3								

【12】作業別労働時間

当年産の小麦生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構 成 員 の 年 齢 階 層								雇 用		作業種類
		65 歳 未 満		65 ～ 69 歳		70 ～ 74 歳		75 歳 以 上		合 計		
		延べ 作業時間	実人数	延べ 作業時間	実人数	延べ 作業時間	実人数	延べ 作業時間	実人数	延べ 作業時間	実人数	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽											種子予措
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）											耕起整地
基 肥	基肥の配合、運搬、施肥											基 肥
は 種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は 種
追 肥	追肥の配合、運搬、施肥											追 肥
中 耕 除 草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中 耕 除 草
麦 踏 み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）											麦 踏 み
管 理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破碎、麦など、ほ場見回り											管 理
防 除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防 除
刈 取 脱 穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊しを含む。）、麦稈の処理											刈 取 脱 穀
乾 燥	乾燥、調製											乾 燥
生 産 管 理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生 産 管 理
間 接 労 働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間 接 労 働

2 支払賃金

当年産の小麦生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	小麦負担割合（%）										
合計	<table border="1"> <tr> <td></td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>		万	千	百	十						
	万	千	百	十								

・小麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・小麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

〇年産 大豆生産費統計調査票

(組織法人経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 〇年産の大豆生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「大豆（※1）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年産の大豆の生産（※2）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※1 大豆とは
普通大豆、特定加工用大豆及び種子大豆（黒大豆は除きます。）
が該当します。

※2 この調査での大豆の生産とは
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（大豆負担割合について）】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から大豆負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
大豆と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、大豆「2ha」、水稲「8ha」の作付地に施肥した場合

例1 大豆に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	大豆負担割合 (%)
肥料(購入)計	200	20000	100

大豆負担割合には100%と記入

例2 大豆、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
大豆と水稲の作付面積割合「2：8」を目安に大豆負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	大豆負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	10000	20

大豆負担割合には20%と記入

【大豆負担割合の設定方法】

大豆を含めた複数の作物を作付けしている場合の大豆負担割合を設定する方法について説明します。

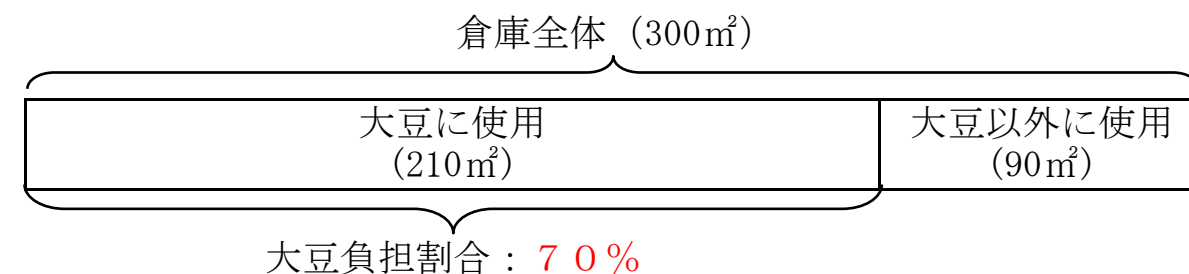
（1）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、大豆生産のために使用した面積の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うち大豆生産のために210㎡、大豆以外の作物に90㎡を使用した場合の「大豆負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（2）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、大豆生産のために使用した時間の割合を「大豆負担割合」とします。

$$\text{大豆負担割合} = \frac{\text{大豆に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うち大豆生産のために80時間、大豆以外の作物に120時間使用した場合の「大豆負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調 査 事 項

ページ

【1】 経営の概況	3
経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、大豆生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。	
【2】 生産物の販売等の状況	5
大豆の品質・用途別、くず大豆等の販売状況について記入してください。	
【3】 大豆の生産のために使用した資材等	6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。	
【4】 物件税及び公課諸負担	9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。	
【5】 土地改良及び水利費	9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。	
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	9
借入金残高、支払利子について記入してください。	
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。	
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。	
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。	
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等	13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。	
【11】 土地の面積及び地代	14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。	
【12】 作業別労働時間	15
構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。	

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地 (a)		借入地 (a)	
田	ha	a	ha	a
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	人 数 等	単 位
構 成 員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に1日以上従事した者		人
農 業 年 雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		人
構 成 農 家 世 帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。例えば、同じ農家世帯から出資者が2名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「1」戸になります。

3 認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。

該当を○で囲んでください。

はい	いいえ
----	-----

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における大豆の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1 年 前	2 年 前	3 年 前	4 年 前	5 年 前
10a 当たり収量 (kg)					

本調査の対象作物は、普通大豆、特定加工用大豆、種子大豆です。黒大豆は含めないでください。

【1】経営の概況（続き）

5 大豆生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、乾燥子実の数量を記入してください。

(1) 受託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
全 作 業	ha a	a
耕うん・整地	a	a
は 種	a	a
防 除	a	a
刈取・脱穀	a	a
乾 燥 ・ 調 製	万 千 百 十 . 0	kg

(2) 委託作業別の状況

区 分	数 量	単 位
耕うん・整地	ha a	a
は 種	a	a
防 除	a	a
刈取・脱穀	a	a
乾 燥 ・ 調 製	万 千 百 十 . 0	kg

6 大豆の品種別作付面積

当年産に作付けした大豆の品種名及びその作付面積を記入してください。

区 分	品 種 名	面 積 (a)
品 種 1		ha a
品 種 2		a
品 種 3		a
品 種 4		a
品 種 5		a

注：面積の合計が当年産の大豆作付面積です。

7 制度受取金等の状況

当年産の大豆に係る制度受取金等について記入してください。

区 分	掛 金 (円)	受 取 金 (円)
農 業 共 済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含まれます。

当年産の大豆栽培の特徴

1 作柄概況

2 被害の状況や品質

3 栽培状況の変化

(1) 新たな品種の導入

(2) 新たな設備・機械の導入

(3) その他（新たな栽培技術の導入）

通 信 欄

【2】生産物の販売等の状況

1 大豆の品質・用途別の販売状況等

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

また、1等、2等、3等・規格外及び特定加工用について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分		内容例示	数量 (kg)				金額 (円)			
			万	千	百	十	万	千	百	十
販売用 (予定を含む)	普通大豆	1等 (計)								
		農産物検査において「1等」と判定されたもの								
	普通大豆	2等 (計)								
		農産物検査において「2等」と判定されたもの								
	普通大豆	3等・規格外 (計)								
農産物検査において「3等」又は「規格外」と判定されたもの										
普通大豆	特定加工用 (計)									
	特定加工用大豆として農産物検査において「合格」又は「規格外」と判定されたもの (豆腐・油揚げ・しょう油・きな粉等、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆。)									
	その他	種子用のほか、普通大豆や特定加工用と同等の品質を有するもの								
組織内消費	食用	食用に仕向けた (予定を含む。) もの								
	種子用	種子用に仕向けた (予定を含む。) もの								
	その他	食用、種子用以外に仕向けた (予定を含む。) もの								

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

2 くず大豆等の状況

当年産の大豆生産で発生したくず大豆等（農産物検査で等級がつかなくくず大豆等。）の状況について、記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分	内容例示	数量 (kg)				金額 (円)			
		万	千	百	十	万	千	百	十
販売用	販売した (予定を含む。) もの								
組織内消費	組織内に仕向けた (予定を含む。) もの								

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

自由記入欄

【3】大豆の生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の大豆生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子（購入）

品 種 名 等	数 量	単 位	金 額 (円)			
			万	千	百	十
計		—				

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子（自給）

品 種 名 等	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の大豆生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入

資材名等	数量	単位	金額（円）				大豆負担割合（%）	備考欄
			万	千	百	十		
計		—						
窒素質								
りん酸質								
カリ質								
けい酸質								
(炭酸カルシウム・石灰含む)								※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。
複合肥料								
土壌改良資材								微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥								
その他		—						

2 肥料費（続き）

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合は、作付面積の割合を目安に記入してください。

(2) 自給（組織内で生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	大豆負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
 2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の大豆生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	金額（円）				大豆負担割合（%）	備考欄
	万	千	百	十		
計						
殺虫剤						
殺菌剤						
殺菌殺虫剤						
除草剤						植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など
その他						

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
 2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」）」に記入してください。

【3】大豆の生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産の大豆生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			—		
その他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自給					

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産の大豆生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
購入（計）			—	万 千 百 十	
自給					

・大豆のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・大豆のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の大豆生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	大豆負担割合（%）
計			—	万 千 百 十	
負担金 共同	薬剤散布		—		
	共同施設		—		
	農機具借料		—		
	航空防除賃		a		
	賃耕料		a		
	は種・定植料		a		
	収穫請任せ賃		a		
	乾燥調製料		kg		
	その他		—		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
 注2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】 物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した大豆生産に関する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				大豆 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
固定資産税 (建物)					
固定資産税 (農機具)					
不動産取得税 (土地以外)					
水利地益税					
都市計画税 (土地以外)					
共同施設税					

- 大豆のみの負担分を記入する場合は、100 (%)としてください。
- 大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した大豆生産に関する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)				大豆 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
計					
集落協議会費 (地域集落等の会費)					
農業協同組合費					
農事実行組合費 (大豆作部会等の各種部会費)					
農業共済組合賦課金					

- 大豆のみの負担分を記入する場合は、100 (%)としてください。
- 大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】 土地改良及び水利費

当年産の大豆生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	大豆作付ほ場負担金額 (円)				大豆 負担割合 (%)
	維持負担金		償 還 金		
	万	千	百	十	
ほ場整備事業					
農地開発事業					
かんがい排水事業					
農道整備事業					
その他 (整地、表土 扱いのない事業)					

- 大豆のみの負担分を記入する場合は、100 (%)としてください。
- 大豆以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、大豆の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

2 水利費等

費用名等	大豆作付ほ場 負担金額 (円)				大豆 負担割合 (%)
	万	千	百	十	
水利に係る費用計					

【6】 借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産の大豆生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- 大豆のみの生産に関する金額を記入する場合は、100 (%)としてください。
- 大豆以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	大豆 負担割合 (%)
計			
借 入 金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

- ・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
- ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築	中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	大豆負担割合 （%）	年内異動状況	
							年（西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） 売却金額、取り壊しの金額
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード			
建築物 (1住宅)～(13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック		
構築物 (14稲架)～(31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

大豆生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～
 「大豆負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
 ・バッテリー・補充液
 ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード 新 古 品 中	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金分を 控除した額を記入してくだ さい。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該自動車等 の修繕費を記入してく ださい。</small>	自動車保険料 (円) <small>当年の当該自動 車等の保険料を記 入してください。</small>	自動車・ 軽自動車税 (円) <small>当年の当該自動 車等の自動車税又 は軽自動車税を記 入してください。</small>		当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		大豆 負担 割合 (%)	年内異動状況		
					年 (西暦)	月				自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	異動 コード	売却金額 (円) <small>廃棄（無償譲渡を含む。）し た場合は、「0（ゼロ）」</small>				
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車 (ダンプ式)
3	普通自動車 (ダンプ式以外)
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

大豆生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「大豆負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

・大豆のみに使用した場合は、100（%）としてください。
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	農業経営基盤 強化準備金 （円） （農業機械の購入のために 取り崩した準備金の額を記 入してください。）	修繕費 （円） （当年の当該農業機械 や生産管理機器の修繕 費を記入してください。）	保険料 （円） （当年の当該農業 機械の保険料を記 入してください。）	軽自動車税 （円） （当年の当 該農業機械 の軽自動車 税を記入し てください。）	当年、車検を受けた車両 について記入してください。		大豆 負担 割合 （%）	年内異動状況		
						年 （西暦）	月						自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動 コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。） した場合は、「0（ゼロ）」	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード		
3	歩行用トラクター	21 普通型コンバイン
4	乗用トラクター	23 大豆収穫機
8	たい肥等散布機	29 脱穀機
9	肥料散布機	31 乾燥機
10	総合は種機	54 トレーラー
16	中耕除草機	56 その他の農機具
17	動力噴霧機	57 パソコン
18	動力散粉機	58 その他の生産管理機器
20	自脱型コンバイン	33 ドローン

型式コード		
(4 乗用トラクター)	(20 自脱型コンバイン)	(56 その他の農機具)
1 20馬力未満	1 3条刈以下	1 その他・耐用年数3年
2 20～50馬力未満	2 4～5条刈	2 その他・耐用年数4年
3 50～80馬力未満	3 6条刈以上	3 その他・耐用年数5年
4 80～100馬力未満		4 その他・耐用年数6年
5 100馬力以上		5 その他・耐用年数7年
		上記以外の農機具
		6 その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の大豆生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・大豆のみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・大豆以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名称等	金額（円）				大豆 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
農具・農業被服等の購入費						【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
						【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名称等	金額（円）				大豆 負担割合 （％）	内容例示
	万	千	百	十		
(計)						
生産管理関係の費用						【購入費】 ・コピー用紙、プリンター、トナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
						【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
						【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】 土地の面積及び地代

当年産の大豆の収穫が終わる前の1年間に、
 ・大豆のみ作付した団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
 ・大豆以外の作物も作付した団地（ほ場）においては、大豆とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】 A団地（ほ場）に小麦と大豆を作付けており、過去1年間における作物別の収入が小麦300万円、大豆200万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
大豆200万円 ÷ (小麦300万円 + 大豆200万円) × 100 = 40（％）

1 所有地

(1) 作付地

当年産の大豆生産のために作付した所有地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		大豆負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

2 借入地

(1) 作付地

当年産の大豆生産のために作付した借入地について記入してください。
 なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)		作付実面積 (a)		支払地代 (円)		大豆負担割合 (%)	地目	
		ha	a	ha	a	万	千		百	十
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

当年産の大豆の収穫が終わる前の1年間に、
 ・大豆のみに使用した場合は、100（％）としてください。
 ・大豆以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	大豆負担割合 (%)
		ha	ha	
1				
2				
3				

(2) 建物敷地等

当年産の大豆生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	大豆負担割合 (%)		
		ha	ha	万	千	百	十
1							
2							
3							

【12】 作業別労働時間

当年産の大豆生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。
 作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
 また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
 なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
育苗	育苗用の選種、消毒、土壌消毒、苗床の作業一切、育苗ハウスの設置・解体等											育苗
耕起整地	耕起、整地、砕土、畝立て、融雪剤散布											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
定植	苗取り、植穴掘り、苗運搬、定植、補植											定植
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、心土破碎、ほ場見回り											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈穫	刈取、運搬、にお積みなど天日乾燥に係る作業											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

2 支払賃金

当年産の大豆生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	大豆負担割合（%）								
合計	<table border="1"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	万	千	百	十					
万	千	百	十							

・大豆生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
 ・大豆生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に全力を期します。

農業経営統計調査

〇年 牛乳生産費統計調査票

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 〇年1月1日～〇年12月31日までの1年間について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★〇印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「生乳の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年1月1日～○年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ① 搾乳牛・・・ホルスタイン等の乳用牛の雌（経産牛）
- ② 子牛・・・搾乳牛から生まれた、生後10日齢までの子牛
- ③ 育成牛・・・将来、搾乳牛として育成する乳用牛の雌（後継牛）

→ 調査では、これらの牛を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。

例えば、調査対象畜（酪農）と合わせて肥育牛を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例1を、わからない場合には下の記入例2を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

● 記入例1 調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140 t、7百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140 t、金額に7百万円を記入し、調査対象畜負担割合を100%と記入してください。

区 分	数 量		金額（円）	調査対象畜負担割合
		単位		
配 合 飼 料	140	t	7000000	100

● 記入例2 調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200 t、1千万円の配合飼料を給与した場合、数量に200 t、金額に1千万円を記入し、調査対象畜負担割合には、経営全体に占める調査対象畜の割合を記入してください。

区 分	数 量		金額（円）	調査対象畜負担割合
		単位		
配 合 飼 料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜（酪農）以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、搾乳牛と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

(1) 配合飼料の場合

経営全体の家畜（搾乳牛+肥育牛）の飼養頭数のうち、搾乳牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{搾乳牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち搾乳牛が21頭、肥育牛が9頭の場合の調査対象畜負担割合は70%（21頭÷30頭×100）になります。

(2) 畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜（酪農）に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は80%（240㎡÷300㎡×100）になります。

(3) 農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

(4) 倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は30%（45㎡÷150㎡×100）、「自給牧草負担割合」は50%（75㎡÷150㎡×100）になります。
<倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図>

倉庫全体（150㎡）		
調査対象畜の飼料置き場 (45㎡)	自給牧草生産用の農機具の保管場所 (75㎡)	その他 (30㎡)

調査対象畜負担割合：30% 自給牧草負担割合：50%

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 3 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。	3
【2】 生産物の販売等の状況 4 生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。	4
【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 7 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。	7
【4】 物件税及び公課諸負担 11 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課諸負担を記入してください。	11
【5】 消費税 11 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。	11
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 11 借入金残高、支払利子を記入してください。	11
【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 12 建物・構築物の所有状況を記入してください。	12
【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 13 自動車等の所有状況を記入してください。	13
【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 14 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。	14
【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 15 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、通信費や集会参加費等を記入してください。	15
【11】 搾乳牛等の所有状況 16 搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。	16
【12】 作業別労働時間 16 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。	16
【13】 地代（所有地及び借入地） 17 地代を記入してください。	17
【14】 乳用牛の月齢別の飼育経費 17 搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。	17

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）		借入地（a）	
田	ha	a	ha	a
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用語の説明	男（人）	女（人）
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満を除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
	150日以上		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○ いる	○ いない
------	-------

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）	
---------------------------	--

【2】生産物の販売等の状況

1 生乳

生乳の生産量等を月別に記入してください。

ただし、1年分の生産量等をまとめて記入できる場合には、1月分の記入欄に年間計を記入してください。

乳脂肪生産量 (kg) や無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合には、乳脂肪分率 (%) や無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

また、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料及び集乳経費を記入してください。

1月分 (または年間計)

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出 荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等	/		加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販 売 手 数 料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小 売 り			消費者に小売した生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

3月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
	補給金等	/		
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量			⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %	
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量			⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %	

2月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
	補給金等	/		
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量			⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %	
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量			⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %	

4月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
	補給金等	/		
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量			⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %	
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量			⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。 ■ . ■ ■ %	

【2】生産物の販売等の状況（続き）

5月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	内容
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等	/	/	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %
	自家消費	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
	計	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
乳脂肪生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

7月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
	補給金等	/	/	
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %
	自家消費	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
	計	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
乳脂肪生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

6月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
	補給金等	/	/	
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %
	自家消費	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
	計	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
乳脂肪生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

8月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
	補給金等	/	/	
	販売手数料			
	集乳経費			
	小売り			
	子牛給与	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %
	自家消費	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
	計	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
乳脂肪生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無脂乳固形分生産量		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

9月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)	内容
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等	/	/	加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販売手数料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小売り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与	}	}	子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。
	自家消費			
	計			
乳脂肪生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %	
無脂乳固形分生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %	

小数点以下第2位まで記入してください。

11月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
	補給金等	/	/
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与	}	}
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %
無脂乳固形分生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %

10月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
	補給金等	/	/
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与	}	}
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %
無脂乳固形分生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %

12月分

区分		数量 (kg)	価額 (円)
実搾乳量	出荷 (乳代)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
	補給金等	/	/
	販売手数料		
	集乳経費		
	小売り		
	子牛給与	}	}
	自家消費		
	計		
乳脂肪生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %
無脂乳固形分生産量	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ %

【2】生産物の販売等の状況（続き）

2 子牛

1年間に搾乳牛から生まれた子牛のうち、死産等により「牛トレーサビリティ」（耳標番号）を登録しなかった子牛の頭数を品種別に記入してください。

区 分	乳用種		交雑種（F1）		黒毛和種 （受精卵移植）	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
耳標番号を登録していない子牛の頭数（頭）						

3 きゅう肥の利用状況

1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（%）	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名 （具体的に記入）	数量	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。（自給飼料は、8ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

区 分	数 量	単 位	金 額（円）				調査対象畜負担割合
			万	千	百	十	
穀 類	大 麦						
	そ の 他 の 麦						
	と う も ろ こ し						
	大 豆						
	飼 料 用 米						
	そ の 他 の 穀 類						
ぬ か ・ ふ す ま 類	ふ す ま						
	米 ・ 麦 ぬ か						
	そ の 他 の ぬ か ・ ふ す ま 類						
植 物 性 類	大 豆 油 か す						
	ビ ー ト パ ル プ						
	そ の 他 の 植 物 性 か す 類						
配 合 飼 料							
	T M R （粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）						
牛 乳 脱 脂 乳							
い も 類 及 び 野 菜 類							
わ ら 類	稲 わ ら						
	そ の 他 の わ ら 類 （麦わら等）						
生 牧 草							
乾 牧 草	ヘ イ キ ュ ー ブ						
	そ の 他 の 乾 牧 草						
サイ レ ー ジ	い ね 科 （稲発酵粗飼料を除く）						
	稲 発 酵 粗 飼 料						
	そ の 他 の サ イ レ ー ジ						
上 記 以 外 の 購 入 飼 料							

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分	自給飼料の例示	生牧草 (生の状態で給与するもの)			乾牧草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)			左記の牧草の生産状況			
		数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	作付面積	収穫量	単位	
いね科	デントコーン													
	イタリアンライグラス													
	ソルゴー													
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ												
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草												
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草												
その他の牧草	アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等													
穀類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類													
いも類及び野菜	かんしょ、いもづる等													
野生草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの													
野乾草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの													
放牧時間 (放牧場)	放牧場における放牧時間			時間										

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

- ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
- ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与 など

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

	%
--	---

作物名 (具体的に記入)	数量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- ・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
- ・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

3 種付料

(1) 種付けに支払った料金を記入してください。
(精液代、種付料等)

黒毛和種の種付け（F1）や黒毛和種の受精卵移植（ET）を含みます。

種付料金 (円)																				
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数 (回)																				
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4 敷料費

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区分	金額 (円)	調査対象畜 負担割合	物々交換した場合		
			品目名 (具体的に記入)	数量	単位
計		%			
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名 (具体的に記入)	使用数量	単位	調査対象畜 負担割合
			%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 光熱動力費

(1) 購入

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額 (円)	負担割合 (%)	
		調査対象畜	自給牧草
計			
重油			
軽油			
灯油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名 (具体的に記入)	使用数量	単位	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】 薪、木炭 など

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計		%	
獣 医 師 料			獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾 病 共 済 掛 金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医 薬 品 費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルクカーの洗剤費用等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

7 賃借料及び料金

1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		賃借料及び料金の例示
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
計				
共 同 負 担 金				共同放牧場(育成牛の放牧料は除く。)、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農 機 具 借 料				農機具のリース代
牛 乳 検 査 料		100		義務付けられている検査(結核、布鲁セラ病等)に要した費用
削 蹄 料				
疾 病 の 検 査 料				
乳用牛群検定料		100		建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料
そ の 他				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金 (円)				土地改良事業の負担金 (円)			
草地造成事業		草地整備事業		事業番号 ()		事業番号 ()	
万	千	百	十	万	千	百	十

① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道(牧道)整備事業、⑤ その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

9 その他の資材等

前記1～8以外で、1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
 また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等	数 量	単 位	金 額 (円)	負担割合 (%)	
				調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計					
購 入					
自 給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【調査対象畜に使用した資材例】
 ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙 など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
 牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥(購入・自給) など

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調査対象畜	自給牧草
計			
固定資産税			
建物			
農機具			
都市計画税 (土地以外)			
不動産取得税 (土地以外)			
共同施設税			

注：固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体の使用面積に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体の使用日数に占める調査対象畜、又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		公課諸負担の例示
		調査対象畜	自給牧草	
計				
集落協議会費				地域集落等の会費
農業協同組合費				農業協同組合の組合費、賦課金
酪農組合費				
生乳出荷枠の取得費		100		
農事実行組合費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、酪農組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

○家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【5】消費税

消費税申告書により申告した酪農分の消費税額を記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜負担割合
消費税 (納付額)		

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。

また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借入金種類	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
計				
買掛未払金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜（酪農）の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜（酪農）の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積(m) 又は施設数(基)	新古区分		耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円)	農業経営基盤強化準備金(円)	修繕費(円)	保険料(円)	負担割合(%)		年内異動状況	
					新築	中古		年(西暦)	月					調査対象畜	自給牧草	異動コード	異動に伴う発生金額(円)
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード			
建築物			
1	住宅	5	畜舎・フリーストール
2	事務所	6	畜舎・フリーストール以外
3	納屋・倉庫	7	クーラー室
4	作業場	8	車庫
構築物			
20	牧柵	24	飼料用タンク
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設
23	サイロ	28	脱臭施設
9	たい肥舎・たい肥盤	10	乾牧草収納庫
13	その他の建築物		
29	プラスチックハウス利用乾燥施設	30	その他のふん乾燥施設
31	その他の構築物		

構造コード			
建築物			
(1 住宅) ~ (13 その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック	11	造
構築物			
(20 牧柵) ~ (31 その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- ・バンカーサイロのビニールの張替え費 など

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100 \quad \text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。)</small>	自動車保険料 (円) <small>(当年の当該自動車等の保険料を記入してください。)</small>	自動車・軽自動車税 (円) <small>(当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。)</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		負担割合 (%)		異動コード	年内異動状況 売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)</small>	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠償保険 (円)	調査対象畜	自給牧草			
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	型式コード	
1 貨物自動車	(1 貨物自動車)	
2 その他の自動車	(2 その他の自動車)	
	1 軽自動車	1 軽自動車
	2 普通自動車(ダンプ式)	2 普通自動車
	3 普通自動車(ダンプ式以外)	3 自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。

異動コード
1 売却
2 廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、15ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】
 ・該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円) 購入金額から補助金分を控除した額を記入して	農業経営基盤強化準備金(円) 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費(円) 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料(円) 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税(円) 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。		負担割合(%)		異動コード	年内異動状況		
						年(西暦)	月						自動車重量税(円)	自賠責保険(円)	調査対象畜	自給牧草		売却金額(円) 廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」		
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				

種類コード			
5	農用トラクター	33	モーター
6	ブラウ	34	カッター
7	ハロー	35	ペーラー
8	マニユアスプレッター	36	集草機
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機
16	中耕除草機	38	積込機
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機
40	飼料粉碎機	41	飼料配合機
42	ハンクレーナー	43	ミルカー・バケツ
44	ミルカー・パイプライン	45	搾乳ロボット
46	牛乳冷却器	47	バルククーラー
48	自動給餌機	49	ローダー
50	バキュームカー	51	ふん尿搬出機
52	固液分離機	53	自動給水機
54	トレーラー	55	運搬用機具
56	その他の農機具等	57	パソコン
58	その他の生産管理機器		

型式コード	
(56)	その他の農機具等
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
	上記以外の農機具等
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・パソコン等の修理費用、部品代 など

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示				
		調査対象畜	自給牧草					
(計)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> </table>	万	千	百	十			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
万	千	百	十					
農具								
・								
農業被服等								
の								
購入								
費								

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示				
		調査対象畜	自給牧草					
(計)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> </table>	万	千	百	十			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
万	千	百	十					
生産管理関係の費用								

【13】地代（所有地及び借入地）

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
 なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合(%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地	ha a		
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

2 借入地

ほ場名	実面積	支払地代(円)	負担割合(%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	ha a	万 千 百 十		
運動場				
牧草栽培				
放牧地				
採草地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費

搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛（①生後11日未満の牛、②生後11日～6か月、③6～18か月、④18か月以上）の飼育に要する経費や労力の割合を記入してください。
 なお、記入の仕方がわからない場合には、担当者にご相談ください。

1 飼料等

搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	1 0 0				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する飼料費}} \times 100$$

2 建物

搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	1 0 0				

搾乳牛1頭を飼育するのに要する建物の面積を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を飼育するのに要する建物の面積の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する建物面積}} \times 100$$

3 飼育作業

搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	1 0 0				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

$$\text{各月齢別の後継牛の割合} = \frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間}} \times 100$$

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 子牛生産費統計調査票

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. ○年1月1日～○年12月31日までの1年間について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	1
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「子牛の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年1月1日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ① 繁殖雌牛・・・初回種付け以降の肉専用種の雌
 - ② 子牛・・・自家で飼育している繁殖雌牛から生まれた、地域で一般的に取引される月齢に達するまでの子牛
- 調査では、これらの牛を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。

例えば、調査対象畜以外の牛も飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例1を、わからない場合には下の記入例2を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例1 調査対象畜分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140 t、7百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140 t、金額に7百万円を記入し、調査対象畜負担割合を100%と記入してください。

区 分	数 量		金額 (円)	調査対象畜負担割合
		単位		
配 合 飼 料	140	t	7000000	100

●記入例2 調査対象畜分の給与量・金額を記入できない場合 (調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合)

経営全体で200 t、1千万円の配合飼料を給与した場合、数量に200 t、金額に1千万円を記入し、調査対象畜負担割合には、経営全体に占める調査対象畜の割合を記入してください。

区 分	数 量		金額 (円)	調査対象畜負担割合
		単位		
配 合 飼 料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。(※ここでは、調査対象畜と肥育牛を飼育している事例で説明します。)

(1) 配合飼料の場合

経営全体の家畜（繁殖雌牛+子牛+肥育牛）の飼養頭数のうち、繁殖雌牛と子牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{繁殖雌牛と子牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち繁殖雌牛と子牛が21頭、肥育牛が9頭の場合の調査対象畜負担割合は70% (21頭÷30頭×100) になります。

(2) 畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は80% (240㎡÷300㎡×100) になります。

(3) 農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は40% (60日÷150日×100) になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

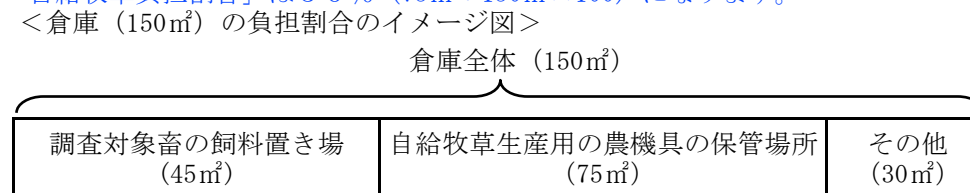
(4) 倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は30% (45㎡÷150㎡×100)、
「自給牧草負担割合」は50% (75㎡÷150㎡×100) になります。



調査対象畜負担割合：30% 自給牧草負担割合：50%

調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。	3
【2】 調査対象畜の取引状況 繁殖雌牛及び子牛の転入・転出状況、繁殖雌牛の初回種付けの月齢、 きゅう肥の利用状況を記入してください。	4
【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、 農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。	5
【4】 物件税及び公課諸負担 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課 諸負担を記入してください。	9
【5】 消費税 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。	9
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 借入金残高、支払利子を記入してください。	9
【7】 出荷に要した経費 出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。	9
【8】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 建物・構築物の所有状況を記入してください。	10
【9】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 自動車等の所有状況を記入してください。	11
【10】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。	12
【11】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、 通信費や集会参加費等を記入してください。	13
【12】 作業別労働時間 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。	14
【13】 地代（所有地及び借入地） 地代を記入してください。	14

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）		借入地（a）	
田	ha	a	ha	a
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用語の説明	男（人）	女（人）
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ 生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単 位となる集団（15歳未満を除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
	150日以上 年間の農業労働日数が150日以上の方		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて 雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○ いる	○ いない
------	-------

通信欄（農業に関することを何でもお書きください。）

【2】調査対象畜の取引状況

1 農家団体コード（牛トレサ関係）

牛トレーサビリティに登録している「農家団体コード」を記入してください。
複数の農家団体コードを登録している場合には、全てを記入してください。

農家団体コード1	農家団体コード2	農家団体コード3

2 調査対象畜の転入・転出状況

1年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、子牛を売却した場合は、売却時生体重を記入してください。

子牛の売却額は、受取金額から市場手数料などを除いた金額を記入してください。

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	名称 (記入は任意)	異動月	異動区分 生産・購入・ 売却・死亡	取引金額(円) (購入額、売却額)				子牛のみ 記入	
				万	千	百	十	売却時 生体重	kg

2 調査対象畜の転入・転出状況（続き）

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	名称 (記入は任意)	異動月	異動区分 生産・購入・ 売却・死亡	取引金額(円) (購入額、売却額)				子牛のみ 記入	
				万	千	百	十	売却時 生体重	kg

【2】調査対象畜の取引状況（続き）

3 初回種付けした繁殖雌牛

1年間に初回の種付けをした繁殖雌牛の個体識別番号、初回種付け月を記入してください。

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	初回種付け月
	月

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	初回種付け月
	月

4 きゅう肥の利用状況

1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合 (%)	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
(販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。)

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額 (円)
万 千 百 十

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位
	万 千 百 十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
(自給飼料は、6ページに記入してください。)

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$

区 分	数 量	単 位	金 額 (円)				調査対象畜負担割合
			万	千	百	十	
穀 類	大 麦						%
	そ の 他 の 麦						
	と う も ろ こ し						
	大 豆						
	飼 料 用 米						
	そ の 他 の 穀 類						
ぬ か ・ ふ す ま 類	ふ す ま						
	米 ・ 麦 ぬ か						
	そ の 他 の ぬ か ・ ふ す ま 類						
植 物 性 類	大 豆 油 か す						
	ビ ー ト パ ル プ						
	そ の 他 の 植 物 性 か す 類						
配 合 飼 料							
T M R (粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)							
牛 乳 脱 脂 乳							
い も 類 及 び 野 菜 類							
わ ら 類	稲 わ ら						
	そ の 他 の わ ら 類 (麦わら等)						
生 牧 草							
乾 牧 草	ヘ イ キ ュ ー ブ						
	そ の 他 の 乾 牧 草						
サイ レ ー ジ	い ね 科 (稲発酵粗飼料を除く。)						
	稲 発 酵 粗 飼 料						
	そ の 他 の サ イ レ ー ジ						
上 記 以 外 の 購 入 飼 料							

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
 - ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。
- $$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分	自給飼料の例示	生牧草 (生の状態で給与するもの)			乾牧草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)			左記の牧草の生産状況							
		数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	作付面積	収穫量	単位					
		万	千	百	十			%	万	千	百	十	ha	万	千	百	十	
いね科	デントコーン																	
	イタリアンライグラス																	
	ソルゴー																	
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ																
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草																
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草																
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草																
その他の牧草	アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等																	
穀類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類																	
いも類及び野菜類	かんしょ、いもづる等																	
野生草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの																	
野乾草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの																	
放牧時間 (放牧場)	放牧場における放牧時間																	

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

- ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
- ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与 など

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

.....	%
-------	---

作物名 (具体的に記入)	数量		調査対象畜負担割合			
	単位					
	万	千	百	十		%

- ・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
- ・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

3 種付料

(1) 種付けに支払った料金を記入してください。
(精液代、種付料等)

種付料金 (円)	万	千	百	十
-------------	---	---	---	---

(2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

延べ種付回数 (回)	万	千	百	十
---------------	---	---	---	---

4 敷料費

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区分	金額 (円)	調査対象畜負担割合	
		金額	割合 (%)
計	万 千 百 十		%
稲わら			
おがくず			
麦わら			
乾牧草			
その他			

物々交換した場合			
品目名 (具体的に記入)	数量		単位
	数量	単位	
	万 千 百 十		

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。

「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名 (具体的に記入)	使用数量		調査対象畜負担割合
	数量	単位	
	万 千 百 十		%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 光熱動力費

(1) 購入

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額 (円)	負担割合 (%)	
		調査対象畜	自給牧草
計	万 千 百 十		
重油			
軽油			
灯油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。

「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名 (具体的に記入)	使用数量		負担割合 (%)	
	数量	単位	調査対象畜	自給牧草
	万 千 百 十			

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】 薪、木炭 など

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示	
				万
計				
獣 医 師 料			獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)	
疾 病 共 済 掛 金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)	
医 薬 品 費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品	
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等	

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

7 賃借料及び料金

1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		賃借料及び料金の例示
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
計	万 千 百 十	%	%	
共同負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料				農機具のリース代
そ の 他				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金 等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金 (円)				土地改良事業の負担金 (円)			
草地造成事業		草地整備事業		事業番号 ()		事業番号 ()	
万	千	百	十	万	千	百	十

① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道(牧道)整備事業、⑤ その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

9 その他の資材等

前記1～8以外で、1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
 また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等	数 量	単 位	金 額 (円)	負担割合 (%)	
				調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計	万 千 百 十				
購 入					
自 給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【調査対象畜に使用した資材例】
 ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙 など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
 牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥(購入・自給) など

【4】 物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対象畜	自給牧草
計	万 千 百 十		
固 定 資産税			
建 物			
農 機 具			
都 市 計 画 税 (土地以外)			
不 動 産 取 得 税 (土地以外)			
共 同 施 設 税			

注： 固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		公課諸負担の例示
		調 査 対象畜	自給牧草	
計	万 千 百 十			
集 落 協 議 会 費				地域集落等の会費
農 業 協 同 組 合 費				農業協同組合の組合費、賦課金
肉 用 牛 組 合 費				
農 事 実 行 組 合 費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

○家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【5】 消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜負担割合
消 費 税 (納付額)	万 千 百 十	%

【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。

また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借 入 金 種 類	調 査 開 始 時 未 償 還 残 高 (円)	支 払 利 子 額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対象畜	自給牧草
計	万 千 百 十	万 千 百 十		
買 掛 未 払 金				

注： 土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【7】 出荷に要した経費

1年間に子牛を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区 分	金 額、時間	出荷に要した経費の例示
材 料 (円)	万 千 百 十	出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金 等
料 金 (円)		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金 等
労働時間 (時間)	時間	子牛を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積(m ²) 又は施設数(基)	新古区分		耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円)	農業経営基盤強化準備金(円)	修繕費(円)	保険料(円)	負担割合(%)		年内異動状況	
					新築	中古		年(西暦)	月					調査対象畜	自給牧草	異動コード	異動に伴う発生金額(円)
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード					
建築物					
1	住宅	4	作業場	9	たい肥舎・たい肥盤
2	事務所	6	畜舎	10	乾牧草収納庫
3	納屋・倉庫	8	車庫	13	その他の建築物

構築物					
20	牧柵	24	飼料用タンク	29	プラスチックハウス利用乾燥施設
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30	その他のふん乾燥施設
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31	その他の構築物
23	サイロ	28	脱臭施設		

構造コード					
建築物					
(1 住宅) ~ (13 その他の建築物)					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨格材の肉厚3~4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック				
構築物					
(20 牧柵) ~ (31 その他の構築物)					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- ・バンカーサイロのビニールの張替え費 など

【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100 \quad \text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。)</small>	自動車保険料 (円) <small>(当年の当該自動車等の保険料を記入してください。)</small>	自動車・軽自動車税 (円) <small>(当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。)</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況		
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠償保険 (円)	調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)</small>	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	型式コード
1 貨物自動車	(1 貨物自動車)
2 その他の自動車	(2 その他の自動車)
	1 軽自動車
	2 普通自動車(ダンプ式)
	3 普通自動車(ダンプ式以外)
	1 軽自動車
	2 普通自動車
	3 自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。

異動コード
1 売却
2 廃棄等

【10】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄へ「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$

自給牧草負担割合 = $\frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>購入金額から補助金を控除した額を記入してください。</small>	農業経営基盤強化準備金 (円) <small>農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。</small>	修繕費 (円) <small>当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。</small>	保険料 (円) <small>当年の当該農業機械の保険料を記入してください。</small>	軽自動車税 (円) <small>当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。</small>	当年、車検を受けた車両について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況 異動コード 売却金額 (円) <small>廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0」</small>	
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査対象畜	自給牧草		
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード			
5	農用トラクター	33	モーター
6	プラウ	34	カッター
7	ハロー	35	ベーター
8	マニースプレッター	36	集草機
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機
16	中耕除草機	38	積込機
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機
40	飼料粉碎機	41	飼料配合機
42	ハンクリナー	48	自動給餌機
49	ローダー	51	ふん尿搬出機

型式コード	
(56)	その他の農機具等
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。
 ・ 農業機械の修繕、整備費用、部品代
 ・ パソコン等の修理費用、部品代 など

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【11】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・ 該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示				
		調査対象畜	自給牧草					
(計)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> </table>	万	千	百	十			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
万	千	百	十					
農具								
・								
農業								
被								
服								
等								
の								
購								
入								
費								

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示				
		調査対象畜	自給牧草					
(計)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> </table>	万	千	百	十			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
万	千	百	十					
生産								
管								
理								
関								
係								
の								
費								
用								

【12】作業別労働時間

1 調査対象畜に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
 ・種付け、分べん関係作業
 ・手入・運動・放牧作業
 ・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
 ・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
				時間	分	時間	分	時間	分
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2 調査対象畜に関する1以外の作業

「作業名」欄の（ ）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。

ここでは、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏名	性別	年齢	家族・雇用	作業名				
				()	()	()	()	()
	(男/女)		家族/雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	(男/女)		家族/雇用					
	(男/女)		家族/雇用					
	(男/女)		家族/雇用					
	(男/女)		家族/雇用					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

3 支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区分	金額（円）	負担割合（%）	
		調査対象畜	自給牧草
男	万 千 百 十		
女			

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。

なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合（%）	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a		
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

2 借入地

ほ場名	実面積	支払地代（円）	負担割合（%）	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	ha a	万 千 百 十		
運動場				
牧草栽培				
放牧地				
採草地				

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 育成牛 ・ 肥育牛生産費統計調査票

[乳用雄育成牛 ・ 交雑種育成牛 ・ 去勢若齢肥育牛 ・ 乳用雄肥育牛 ・ 交雑種肥育牛]

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

1. ○年1月1日～○年12月31日までの1年間について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	1
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「育成牛若しくは肥育牛の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、〇年1月1日～〇年12月31日の間に、次の牛の飼育に
要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

- 乳用雄育成牛・・・肥育用もと牛として育成している乳用種の雄牛
- 交雑種育成牛・・・肥育用もと牛として育成している交雑種の牛
- 去勢若齢肥育牛・・・肉用に販売する目的で肥育している去勢和牛
- 乳用雄肥育牛・・・肉用に販売する目的で肥育している乳用種の雄牛
- 交雑種肥育牛・・・肉用に販売する目的で肥育している交雑種の牛

→ 調査の対象となる牛を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。

例えば、調査対象畜以外の牛も飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例1を、わからない場合には記入例2を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

● 記入例1 調査対象畜分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140 t、7百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140 t、金額に7百万円を記入し、調査対象畜負担割合を100%と記入してください。

区 分	数 量		金額 (円)	調査対象畜負担割合
		単位		
配 合 飼 料	140	t	70000000	100

● 記入例2 調査対象畜分の給与量・金額を記入できない場合 (調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合)

経営全体で200 t、1千万円の配合飼料を給与した場合、数量に200 t、金額に1千万円を記入し、調査対象畜負担割合には、経営全体に占める調査対象畜の割合を記入してください。

区 分	数 量		金額 (円)	調査対象畜負担割合
		単位		
配 合 飼 料	200	t	100000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。(※ここでは、肥育牛と搾乳牛を飼育している事例で説明します。)

(1) 配合飼料の場合

経営全体の家畜(肥育牛+搾乳牛)の飼養頭数のうち、調査対象畜の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち肥育牛が21頭、搾乳牛が9頭の場合の調査対象畜負担割合は70% (21頭÷30頭×100) になります。

(2) 畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜に240㎡、調査対象畜以外に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は80% (240㎡÷300㎡×100) になります。

(3) 農機具(トラクター)の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日使用した場合の調査対象畜負担割合は40% (60日÷150日×100) になります。

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

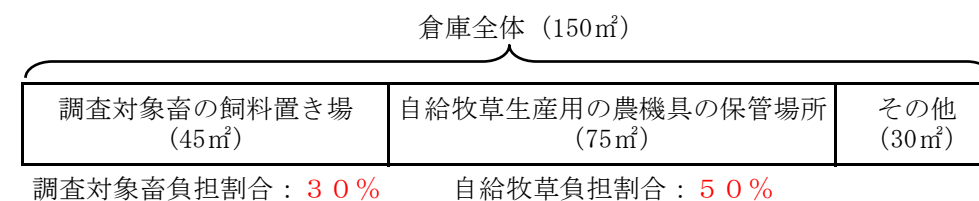
(4) 倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は30% (45㎡÷150㎡×100)、
「自給牧草負担割合」は50% (75㎡÷150㎡×100) になります。
<倉庫(150㎡)の負担割合のイメージ図>



調 査 事 項

	ページ
【1】 経営の概況 経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。	3
【2】 調査対象畜の取引状況 調査対象畜の購入・売却状況等を記入してください。	4
【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、 農機具借料等の賃借料・料金等を記入してください。	5
【4】 物件税及び公課諸負担 固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課 諸負担を記入してください。	9
【5】 消費税 消費税申告書により申告した消費税を記入してください。	9
【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 借入金残高、支払利子を記入してください。	9
【7】 出荷に要した経費 出荷で支払った料金や労働時間を記入してください。	9
【8】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 建物・構築物の所有状況を記入してください。	10
【9】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 自動車等の所有状況を記入してください。	11
【10】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。	12
【11】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、 通信費や集会参加費等を記入してください。	13
【12】 作業別労働時間 家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。	14
【13】 地代（所有地及び借入地） 地代を記入してください。	14

【1】 経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）		借入地（a）	
田	ha	a	ha	a
普通畑				
樹園地				
牧草地				

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用語の説明	男（人）	女（人）
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ 生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単 位となる集団（15歳未満を除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
	150日以上 年間の農業労働日数が150日以上の方		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて 雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

○ いる	○ いない
------	-------

通信欄（農業に関する何を何でもお書きください。）

【2】調査対象畜の取引状況（続き）

3 きゅう肥の利用状況

1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合 (%)	販売用	自家利用	廃棄
100			

きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。
（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額 (円)

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位
	万 千 百 十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。
（自給飼料は、6ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。
調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$

区 分	数 量	単 位	金 額 (円)				調査対象畜負担割合 (%)
			万	千	百	十	
穀 類	大 麦						
	そ の 他 の 麦						
	と う も ろ こ し						
	大 豆						
	飼 料 用 米						
	そ の 他 の 穀 類						
ぬ か ・ 米 ・ 麦 ぬ か 類	ふ す ま						
	米 ・ 麦 ぬ か						
	そ の 他 の ぬ か ・ 米 ・ 麦 ぬ か 類						
植 物 性 類	大 豆 油 か す						
	ビ ー ト パ ル プ						
	そ の 他 の 植 物 性 か す 類						
配 合 飼 料							
T M R (粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)							
牛 乳 脱 脂 乳							
い も 類 及 び 野 菜 類							
わ ら 類	稲 わ ら						
	そ の 他 の わ ら 類 (麦わら等)						
生 牧 草							
乾 牧 草	ヘイキューブ						
	そ の 他 の 乾 牧 草						
サイレージ	い ね 科 (稲発酵粗飼料を除く。)						
	稲 発 酵 粗 飼 料						
	そ の 他 の サイレージ						
上 記 以 外 の 購 入 飼 料							

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
 - ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。
- $$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区分	自給飼料の例示	生牧草 (生の状態で給与するもの)			乾牧草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)			左記の牧草の生産状況							
		数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	数量	単位	調査対象畜負担割合	作付面積	収穫量	単位					
		万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十	ha	万	千	百	十
いね科	デントコーン																	
	イタリアンライグラス																	
	ソルゴー																	
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクロップサイレージ																
	その他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草																
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草																
	その他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草																
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等																
穀類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類																
いも類及び野菜類		かんしょ、いもづる等																
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの																
野乾草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの																
放牧時間(放牧場)						時間												

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

- ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
- ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与 など

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

.....	%
-------	---

作物名 (具体的に記入)	数量		調査対象畜負担割合				
	単位						
		万	千	百	十		%

- ・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
- ・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

3 敷料費

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
 また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

区分	金額（円）				調査対象畜 負担割合
	万	千	百	十	
計					%
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					

物々交換した場合			
品目名 (具体的に記入)	数量	単位	
	万	千	百

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
 「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量			調査対象畜 負担割合
	万	千	百	
				%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

4 光熱動力費

(1) 購入

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区分	金額（円）				負担割合（%）	
	万	千	百	十	調査対象畜	自給牧草
計						
重油						
軽油						
灯油						
ガソリン						
水道料						
電力料						
その他						

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
 「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量			負担割合（%）	
	万	千	百	調査対象畜	自給牧草

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【自給で使用した燃料の例】 薪、木炭 など

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

5 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜負担割合		獣医師料及び医薬品費の例示
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
計	万 千 百 十	%	%	
獣 医 師 料				獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾 病 共 済 掛 金				家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医 薬 品 費				牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
そ の 他 医 療 費 等				上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

6 賃借料及び料金

1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		賃借料及び料金の例示
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
計	万 千 百 十	%	%	
共 同 負 担 金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農 機 具 借 料				農機具のリース代
そ の 他				削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金 等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

7 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金 (円)				土地改良事業の負担金 (円)			
草地造成事業		草地整備事業		事業番号 ()		事業番号 ()	
万	千	百	十	万	千	百	十

- ① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道(牧道)整備事業、⑤ その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

8 その他の資材等

前記1～7以外で、1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用した購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
 また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等	数 量	単 位	金 額 (円)	負担割合 (%)	
				調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計			万 千 百 十		
購 入					
自 給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- 【調査対象畜に使用した資材例】
 ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙 など
- 【自給牧草の生産に使用した資材例】
 牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゆう肥(購入・自給) など

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関する各種税金を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計	万 千 百 十		
固 定 資 産 税			
建 物			
農 機 具			
都 市 計 画 税 (土 地 以 外)			
不 動 産 取 得 税 (土 地 以 外)			
共 同 施 設 税			

注：固定資産税、都市計画税及び不動産取得税は土地に係るものを除いて記入してください。

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

○固定資産税（建物）、都市計画税、不動産取得税の場合は、畜舎等の経営全体への使用面積に占める調査対象畜又は自給牧草への使用面積割合を記入してください。

○固定資産税（農機具）、共同施設税の場合は、農機具等の経営全体への使用日数に占める調査対象畜又は自給牧草への使用日数割合を記入してください。

2 公課諸負担

1年間に負担した調査対象畜又は自給牧草の生産に関する公課諸負担を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		公課諸負担の例示
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
計	万 千 百 十			
集 落 協 議 会 費				地域集落等の会費
農 業 協 同 組 合 費				農業協同組合の組合費、賦課金
肉 用 牛 組 合 費				
農 事 実 行 組 合 費				実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家 畜 共 済 組 合 賦 課 金				

- ・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次の割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を記入してください。

○集落協議会費、農業協同組合費、肉用牛組合費及び農事実行組合費の場合は、農業収入に占める調査対象畜の収入割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

○家畜共済組合賦課金の場合は、飼養する全頭数に占める調査対象畜の頭数割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

【5】消費税

消費税申告書により申告した調査対象畜分の消費税額を記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜負担割合
消 費 税 (納付額)	万 千 百 十	%

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査対象畜又は自給牧草の生産のための借入金について、調査開始時（1月1日）の未償還残高、買掛未払金を、黄色の欄に記入してください。
 また、1年間に支払った該当借入金の利子額を記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

借 入 金 種 類	調 査 開 始 時 未 償 還 残 高 (円)	支 払 利 子 額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計	万 千 百 十	万 千 百 十		
買 掛 未 払 金				

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

- ・「未償還残高」や「支払利子額」に調査対象畜の借入額又は利子額を記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の借入額又は利子額を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、次のとおり農業収入全体に占める調査対象畜の収入割合を目安に「調査対象畜」の負担割合を「調査対象畜負担割合」欄に記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の収入}}{\text{経営全体の農業収入}} \times 100$$

【7】出荷に要した経費

1年間に調査対象畜を出荷するために使用した資材等の金額を記入してください。

区 分	金 額、時間	出荷に要した経費の例示
材 料 (円)	万 千 百 十	出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金 等
料 金 (円)		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金 等
労 働 時 間 (時間)	時間	調査対象畜を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$$

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積(m ²) 又は施設数(基)	新古区分		耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円) <small>(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)</small>	農業経営基盤強化準備金(円) <small>(建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。)</small>	修繕費(円) <small>(当年の当該建物等の修繕費を記入してください。)</small>	保険料(円) <small>(当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。)</small>	負担割合(%)		年内異動状況	
					新築	中古		年(西暦)	月					調査対象畜	自給牧草		異動コード
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード				
建築物				
1	住宅	4	作業場	9
2	事務所	6	畜舎	10
3	納屋・倉庫	8	車庫	13

構築物				
20	牧柵	24	飼料用タンク	29
21	電気牧柵	26	ふん尿貯留槽	30
22	給水配管・パイプ	27	浄化処理施設	31
23	サイロ	28	脱臭施設	

構造コード					
建築物					
(1 住宅) ~ (13 その他の建築物)					
1	木造	6	木造モルタル	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
2	合成樹脂造	7	金属	10	鉄骨格材の肉厚3~4mm
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	造骨格材の肉厚4mm以上
4	コンクリートブロック				
構築物					
(20 牧柵) ~ (31 その他の構築物)					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属	5	合成樹脂
		3	木造	6	塩化ビニール
		4	土管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・ 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- ・ バンカーサイロのビニールの張替え費 など

【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100 \quad \text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円) 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費(円) 当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料(円) 当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税(円) 当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		負担割合(%)		年内異動状況		
						年(西暦)	月					自動車重量税(円)	自賠償保険(円)	調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額(円) 廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード	型式コード
1 貨物自動車	(1 貨物自動車)
2 その他の自動車	(2 その他の自動車)
	1 軽自動車
	2 普通自動車(ダンプ式)
	3 普通自動車(ダンプ式以外)
	1 軽自動車
	2 普通自動車
	3 自動二輪・三輪

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。

異動コード
1 売却
2 廃棄等

【10】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
 なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100 \quad \text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード		耐用年数(年)	取得年月		取得価額(円)	農業経営基盤強化準備金(円)	修繕費(円)	保険料(円)	軽自動車税(円)	当年、車検を受けた車両について記入してください。		負担割合(%)		年内異動状況		
			新品	中古		年(西暦)	月						自動車重量税(円)	自賠責保険(円)	調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額(円)	
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

種類コード			
5	農用トラクター	33	モア
6	プラウ	34	カッター
7	ハロー	35	ベアラ
8	マニユアプレッシャー	36	集草機
11	牧草は種機	37	他の牧草収穫機
16	中耕除草機	38	積込機
17	動力噴霧機	39	搬送・吹上機
40	飼料粉碎機	41	飼料配合機
42	パントリーナー	48	自動給餌機
49	ローダー	50	バキュームカー
51	ふん尿搬出機	52	固液分離機
53	自動給水機	54	トレーラー
55	運搬用機具	56	その他の農機具等
57	パソコン	58	その他の生産管理機器

型式コード	
(56)	その他の農機具等
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
	上記以外の農機具等
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・ パソコン等の修理費用、部品代 など

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【11】 農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・ 該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示				
		調査対象畜	自給牧草					
(計)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> </table>	万	千	百	十			【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
万	千	百	十					
農具								
・								
農業								
被								
服								
等								
の								
購								
入								
費								

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示				
		調査対象畜	自給牧草					
(計)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> </table>	万	千	百	十			【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
万	千	百	十					
生産								
管								
理								
関								
係								
の								
費								
用								

【12】作業別労働時間

1 調査対象畜に関する定型作業

農業従事者ごとに、上段に1日当たりの平均作業時間を記入し、下段に1年間の従事日数を記入してください。

「その他の飼育作業」とは、調査対象畜に関する以下の作業をいいます。
 ・手入・運動・放牧作業
 ・きゅう肥の処理（切り返し、加工）作業
 ・衛生管理（殺虫剤の散布等）

氏名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
				時間	分	時間	分	時間	分
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						
	(男/女)		家族/雇用						

注：雇用者の年齢は記入不要です。

2 調査対象畜に関する1以外の作業

「作業名」欄の（ ）に具体的な作業名を記入した上で、農業従事者ごとに年間の作業時間を記入してください。

ここでは、集会出席・技術習得・簿記記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏名	性別	年齢	家族・雇用	作業名	作業名	作業名	作業名	作業名
				()	()	()	()	()
	(男/女)		家族/雇用	時間	時間	時間	時間	時間
	(男/女)		家族/雇用					
	(男/女)		家族/雇用					
	(男/女)		家族/雇用					
	(男/女)		家族/雇用					

注：雇用者の年齢は記入不要です。

3 支払賃金

雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を男女別に記入してください。

区分	金額（円）	負担割合（%）	
		調査対象畜	自給牧草
男	万 千 百 十		
女			

・「支払賃金」に調査対象畜の飼養のための支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の生産のための支払い分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象畜又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。

なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合（%）	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	ha a		
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

2 借入地

ほ場名	実面積	支払地代（円）	負担割合（%）	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	ha a	万 千 百 十		
運動場				
牧草栽培				
放牧地				
採草地				

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。

農業経営統計調査の集計事項一覧

目 次

I 営農類型別経営統計

1 個人経営体

(1) 水田作経営	1
(2) 畑作経営	1
(3) 野菜作経営	2
(4) 果樹作経営	3
(5) 花き作経営	3
(6) 酪農経営	4
(7) 肉用牛経営	4
(8) 養豚経営	4
(9) 採卵養鶏経営	4
(10) ブロイラー養鶏経営	4

2 個人経営体（主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体）

(1) 水田作経営	4
(2) 畑作経営	4
(3) 野菜作経営	5
(4) 果樹作経営	6
(5) 花き作経営	7
(6) 酪農経営	7
(7) 肉用牛経営	7
(8) 養豚経営	7
(9) 採卵養鶏経営	7
(10) ブロイラー養鶏経営	7

3 法人経営体

(1) 水田作経営	8
(2) 畑作経営	9
(3) 野菜作経営	9
(4) 果樹作経営	9
(5) 花き作経営	9
(6) 酪農経営	10
(7) 肉用牛経営	10
(8) 養豚経営	10
(9) 採卵養鶏経営	10
(10) ブロイラー養鶏経営	10

4 農業経営体

(1) 水田作経営	11
(2) 畑作経営	11
(3) 野菜作経営	12
(4) 果樹作経営	12
(5) 花き作経営	12
(6) 酪農経営	12
(7) 肉用牛経営	12
(8) 養豚経営	12
(9) 採卵養鶏経営	12
(10) ブロイラー養鶏経営	12

II 経営形態別経営統計

1 個人経営体

(1) 全国年次別統計表	13
(2) 全国農業地域別統計表	13
(3) 農業の主副業別統計表	13
(4) 青色申告経営体統計表	13
(5) 農業地域類型別統計表	13
(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支	13

2 法人経営体

(1) 全国年次別統計表	13
(2) 全国農業地域別統計表	13
(3) 法人経営体のうち組織法人経営体	13
(4) 法人経営体のうち個別法人経営体	13

3 農業経営体

(1) 全国年次別統計表	13
(2) 全国農業地域別統計表	13

III 農産物生産費統計

1 個別経営体

(1) 米生産費	14
(2) 小麦生産費	14
(3) 二条大麦生産費	14
(4) 六条大麦生産費	14
(5) はだか麦生産費	14
(6) そば生産費	14
(7) 大豆生産費	15
(8) 原料用かんしょ生産費	15
(9) 原料用ばれいしょ生産費	15
(10) なたね生産費	15
(11) てんさい生産費	15
(12) さとうきび生産費	15

2 組織法人経営体

(1) 米生産費	15
(2) 小麦生産費	15
(3) 大豆生産費	15

IV 畜産物生産費統計（個別経営体）

1	牛乳生産費	16
2	去勢若齢肥育牛生産費	16
3	乳用雄肥育牛生産費	16
4	交雑種肥育牛生産費	16
5	子牛生産費	16
6	乳用雄育成牛生産費	16
7	交雑種育成牛生産費	16
8	肥育豚生産費	16

本文内の記号の意味

◎： 平均値及び階層別を表章

○： 平均値のみを表章

×： 集計しない

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
I 営農類型別経営統計					調査対象経営体のうち、調査期間（５（２）に掲げる期間をいう。以下同じ。）に脱落等により調査不能となった経営体を除く経営体を集計の対象とする。（Ⅱにおいても同様）
1 個人経営体					貸借対照表、投資と資金調達の状況は2において集計
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	◎	○	
イ 水田作主業経営	〃	◎	○	×	
ウ 稲作経営	稲作作付面積	◎	◎	○	
エ 稲作1位経営	〃	◎	◎	○	
オ 稲作単一経営	〃	◎	◎	○	
カ 稲作1位複合経営	〃	◎	◎	○	
キ 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	○※1	○※2	※1 北海道のみ ※2 関東・東山、九州のみ
ク 麦類作1位経営		○	×	×	
ケ 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	○	×	
コ 大豆作1位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	畑作作付延べ面積	○	◎	○	
イ 畑作主業経営	〃	○	◎※1	○※2	※1 都府県は平均値のみ ※2 九州のみ

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
ウ 麦類作経営		×	○*	×	※ 北海道のみ
エ 大豆作経営		×	○*	×	※ //
オ ばれいしょ作経営		×	○*	×	※ //
カ てんさい作経営		×	○*	×	※ //
キ 茶作経営		×	○*	×	※ 都府県のみ
ク さとうきび作経営		×	○*	×	※ //
ケ かんしょ作経営		×	○*	×	※ //
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営					
（ア） 野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ） 野菜作主業経営		○	×	×	
イ 露地野菜作経営					
（ア） 露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ） 露地野菜作主業経営		○	×	×	
（ウ） 露地野菜作単一経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（エ） 露地野菜作1位複合経営	〃	◎	○	○	
ウ 施設野菜作経営					
（ア） 施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	○	○	
（イ） 施設野菜作主業経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
(ウ) 施設野菜作単一経営	施設野菜作付延べ面積	◎	○	○	
(エ) 施設野菜作1位複合経営	〃	◎	○	○	
(4) 果樹作経営					
ア 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
イ 果樹作主業経営		○	×	×	
ウ 果樹作単一経営	果樹植栽面積	◎	○	○	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営					
(ア) 花き作経営	花き作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 花き作主業経営		○	×	×	
イ 露地花き作経営					
(ア) 露地花き作経営	露地花き作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 露地花き作主業経営		○	×	×	
(ウ) 露地花き作単一経営	露地花き作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設花き作経営					
(ア) 施設花き作経営	施設花き作付延べ面積	◎	×	×	
(イ) 施設花き作主業経営		○	×	×	
(ウ) 施設花き作単一経営	施設花き作付延べ面積	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
イ 繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
ウ 肥育牛経営					
(ア) 肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
(イ) 肉専用種が主	〃	◎	×	×	
(ウ) 乳用種が主	〃	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	◎※	○	※ 北海道は平均値のみ
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	
2 個人経営体（主業経営体、準主業経営体及び青色申告の副業的経営体）					単一経営は貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営		○	○	○	
イ 水田作経営青色申告経営体		○	○	○	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営		○	○	○	
イ 畑作経営青色申告経営体		○	○	○	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
ウ ばれいしょ作単一経営		×	○	×	
エ 茶作単一経営		×	○ [※]	×	※ 都府県のみ
オ かんしょ作単一経営		×	○ ^{※1}	○ ^{※2}	※1 都府県のみ ※2 九州のみ
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営		○	○	○	
イ 野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ 露地野菜作経営		○	○	○	
(ア) 露地きゅうり作単一経営		○	×	×	
(イ) 露地大玉トマト作単一経営		○	×	×	
(ウ) 露地なす作単一経営		○	×	×	
(エ) 露地キャベツ作単一経営		○	×	×	
(オ) 露地ほうれんそう作単一経営		○	×	×	
(カ) 露地たまねぎ作単一経営		○	×	×	
(キ) 露地レタス作単一経営		○	×	×	
(ク) 露地はくさい作単一経営		○	×	×	
(ケ) 露地白ねぎ作単一経営		○	×	×	
(コ) 露地だいこん作単一経営		○	×	×	
(サ) 露地にんじん作単一経営		○	×	×	
エ 露地野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
オ 施設野菜作経営		○	○	○	
（ア）施設きゅうり作単一経営		○	×	×	
（イ）施設大玉トマト作単一経営		○	×	×	
（ウ）施設ミニトマト作単一経営		○	×	×	
（エ）施設なす作単一経営		○	×	×	
カ 施設野菜作経営青色申告経営体		○	○	○	
(4) 果樹作経営					
ア 果樹作経営		○	○	○	
イ 果樹作経営青色申告経営体		○	○	○	
ウ りんご作単一経営		○	×	×	
エ 露地温州みかん作単一経営		○	×	×	
オ 露地ぶどう作単一経営		○	×	×	
カ 日本なし作単一経営		○	×	×	
キ もも作単一経営		○	×	×	
ク 施設温州みかん作単一経営		○	×	×	
ケ 施設ぶどう作単一経営		○	×	×	
コ かき作単一経営		○	×	×	
サ うめ作単一経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
シ おうとう作単一経営		○	×	×	
ス キウイフルーツ作単一経営		○	×	×	
セ すもも作単一経営		○	×	×	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営		○	×	×	
イ 露地花き作経営		○	×	×	
ウ 施設花き作経営		○	×	×	
(6) 酪農経営		○	○	○	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営		○	○	○	
イ 繁殖牛経営		○	○	○	
ウ 肥育牛経営		○	○	○	
(8) 養豚経営		○	○	○	
(9) 採卵養鶏経営		○	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
3 法人経営体					
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	
イ 稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○*	※ 東北、北陸のみ
ウ 稲作1位経営	〃	◎	○	○*	※ 〃
エ 稲作単一経営	〃	◎	○	○*	※ 〃
オ 稲作1位複合経営		○	×	×	
カ 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ 麦類作1位経営		○	×	×	
ク 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ 大豆作1位経営		○	×	×	
コ 水田作経営のうち集落営農組織法人					
(ア) 水田作経営のうち集落営農組織法人	水田作作付延べ面積	◎	○*	○	※ 都府県のみ
(イ) 稲作1位経営	稲作作付面積	◎	○* ¹	○* ²	※1 都府県のみ ※2 東北、北陸のみ
(ウ) 稲作単一経営	〃	◎	○* ¹	○* ²	※1 都府県のみ ※2 東北、北陸のみ
(エ) 稲作1位複合経営		○	×	×	
(オ) 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
(カ) 麦類作1位経営		○	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
(キ) 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
(ク) 大豆作1位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ 麦類作経営		×	○*	×	※ 北海道のみ
ウ 大豆作経営		×	○*	×	※ //
エ ばれいしょ作経営		×	○*	×	※ //
オ てんさい作経営		×	○*	×	※ //
カ 茶作経営		×	○*	×	※ 都府県のみ
キ さとうきび作経営		×	○*	×	※ //
ク かんしょ作経営		×	○*	×	※ //
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ 繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ 肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
4 農業経営体					貸借対照表、投資と資金調達の状況を除く
(1) 水田作経営					
ア 水田作経営	水田作作付延べ面積	◎	○	○	
イ 稲作経営	稲作作付面積	◎	○	○*	※ 東北、北陸のみ
ウ 稲作1位経営	〃	◎	○	○*	※ 〃
エ 稲作単一経営	〃	◎	○	○	※ 〃
オ 稲作1位複合経営		○	×	×	
カ 麦類作経営	麦類作作付面積	◎	×	×	
キ 麦類作1位経営		○	×	×	
ク 大豆作経営	大豆作作付面積	◎	×	×	
ケ 大豆作1位経営		○	×	×	
(2) 畑作経営					
ア 畑作経営	畑作作付延べ面積	◎	◎	×	
イ 麦類作経営		×	○*	×	※ 北海道のみ
ウ 大豆作経営		×	○*	×	※ 〃
エ ばれいしょ作経営		×	○*	×	※ 〃
オ てんさい作経営		×	○*	×	※ 〃
カ 茶作経営		×	○*	×	※ 都府県のみ
キ さとうきび作経営		×	○*	×	※ 〃
ク かんしょ作経営		×	○*	×	※ 〃

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
(3) 野菜作経営					
ア 野菜作経営	野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地野菜作経営	露地野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設野菜作経営	施設野菜作作付延べ面積	◎	×	×	
(4) 果樹作経営	果樹植栽面積	◎	×	×	
(5) 花き作経営					
ア 花き作経営	花き作作付延べ面積	◎	×	×	
イ 露地花き作経営	露地花き作作付延べ面積	◎	×	×	
ウ 施設花き作経営	施設花き作作付延べ面積	◎	×	×	
(6) 酪農経営	月平均搾乳牛飼養頭数	◎	◎	×	
(7) 肉用牛経営					
ア 肉用牛経営	月平均肉用牛飼養頭数	◎	×	×	
イ 繁殖牛経営	月平均繁殖雌牛飼養頭数	◎	×	×	
ウ 肥育牛経営	月平均肥育牛飼養頭数	◎	×	×	
(8) 養豚経営	月平均豚飼養頭数	◎	×	×	
(9) 採卵養鶏経営	月平均採卵鶏飼養羽数	◎	×	×	
(10) ブロイラー養鶏経営	年間ブロイラー出荷羽数	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
II 経営形態別経営統計					
1 個人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 農業の主副業別統計表		○	○	○	
(4) 青色申告経営体統計表		○	○	○	
(5) 農業地域類型別統計表		○	×	×	
(6) 認定農業者のいる経営体の経営収支		○	○	×	
2 法人経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	
(3) 法人経営体のうち組織法人経営体 ア 全国年次別統計表		○	×	×	
(4) 法人経営体のうち個別法人経営体 ア 全国年次別統計表		○	×	×	
3 農業経営体					
(1) 全国年次別統計表		○	×	×	
(2) 全国農業地域別統計表		○	○	○	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
Ⅲ 農産物生産費統計					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体、調査対象品目が収穫皆無となった経営体及び10アール以上作付けしなかった経営体（個別経営体のうち米以外の生産費）を除く経営体を集計の対象とし、このうち、調査期間の調査対象品目の生産実績として販売がなかった経営体（個別経営体のうち米生産費については、販売量600kg未満の経営体、個別経営体のうち麦類、そば及びなたね生産費については、販売量が計算単位数量未満の経営体）並びに過去5年間の10アール当たり収量のうち最高及び最低の年を除いた3年間の10アール当たり平均収量（平年作）に対する調査年の10アール当たり収量の増減が基準（米については±20%、米以外の農産物については±70%）以上の経営体を除く経営体を対象とした集計を行う。 更に、全ての集計対象経営体を対象とした集計（全国のみ）も、併せて行う。
1 個別経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	◎	◎	府県別平均値についても表章
(2) 小麦生産費					
ア 田畑計	小麦作付面積	◎	◎	○*	※ 関東・東山及び九州のみ
イ 田畑別	〃	◎	○	×	
(3) 二条大麦生産費		○	×	×	
(4) 六条大麦生産費		○	×	×	
(5) はだか麦生産費		○	×	×	
(6) そば生産費	そば作付面積	◎	○	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・都府県別	農業地域別	
(7) 大豆生産費					
ア 田畑計	大豆作付面積	◎	◎	○*	※ 東北、北陸、関東・東山及び九州のみ
イ 田畑別	〃	◎	×	×	
(8) 原料用かんしょ生産費		○*	×	×	※ 鹿児島のみ
(9) 原料用ばれいしょ生産費	原料用ばれいしょ作付面積	×	◎*	×	※ 北海道のみ
(10) なたね生産費		○	○	×	
(11) てんさい生産費	てんさい作付面積	×	◎*	×	※ 北海道のみ
(12) さとうきび生産費	さとうきび収穫面積	◎	×	×	鹿児島及び沖縄平均値についても表章
2 組織法人経営体					
(1) 米生産費	食用米作付面積	◎	×	×	
(2) 小麦生産費	小麦作付面積	◎	×	×	
(3) 大豆生産費	大豆作付面積	◎	×	×	

区 分	階層の種類	表章地域の範囲			備 考
		全 国	北海道・ 都府県別	農業 地域別	
IV 畜産物生産費統計（個別経営体）					調査対象経営体のうち、調査期間に脱落等により調査不能となった経営体及び調査期間の調査対象畜の飼養実績が別添2の別表第2の分類基準に該当しなかった経営体を除く経営体を集計の対象とする。
1 牛乳生産費	搾乳牛飼養頭数	◎	◎	○	
2 去勢若齢肥育牛生産費	去勢若齢肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ 北海道のみ
3 乳用雄肥育牛生産費	乳用雄肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
4 交雑種肥育牛生産費	交雑種肥育牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
5 子牛生産費	繁殖雌牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
6 乳用雄育成牛生産費	乳用雄育成牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
7 交雑種育成牛生産費	交雑種育成牛飼養頭数	◎	○*	○	※ //
8 肥育豚生産費	肉豚飼養頭数	◎	○*	○	※ //

別添5

農業経営統計調査の公表時期

統 計	公 表 時 期	
	概 要	詳 細
営農類型別経営統計		
個人経営体 法人経営体 農業経営体	翌年10月まで	翌々年3月まで
農畜産物生産費統計（個別経営体）		
米	翌年10月まで	翌々年3月まで
小麦 二条大麦 六条大麦 はだか麦 なたね	翌年6月まで	翌々年3月まで
そば 大豆 原料用かんしょ 原料用ばれいしょ てんさい さとうきび	翌年8月まで	翌々年3月まで
牛乳 去勢若齢肥育牛 乳用雄肥育牛 交雑種肥育牛 子牛 乳用雄育成牛 交雑種育成牛 肥育豚	翌年12月まで	翌々年3月まで
農産物生産費統計（組織法人経営体）		
米	翌年10月まで	翌々年3月まで
小麦	翌年6月まで	翌々年3月まで
大豆	翌年8月まで	翌々年3月まで

農業経営統計調査の必要性等について

1 調査の目的・必要性について

農業経営統計調査は、農産物の販売を目的とする農業経営体の年間の経営及び農畜産物の生産費の実態を明らかにし、農業行政の策定・検証に必要な資料を整備することを目的としている。

調査結果は、農業経営の実態を表す基本指標として、「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月31日閣議決定）の策定、経営所得安定対策における交付金の算定、畜産物の生産者補給金単価の算定等に利用されている。

【政府内において想定される主な利活用】

(1) 営農類型別経営統計

〔区分〕

- 重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
- 基幹統計など重要な統計作成への利用
- 国際機関への提供など国際比較上の利用
- その他

〔具体的な利活用〕

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」と併せて策定された「農業経営の展望」に各営農類型の農業経営収支等が基礎データとして利用。
 - ・ 「食料・農業・農村基本計画」において作成される食料自給力指標の算定に各営農類型の投入労働時間が利用。
 - ・ E B P Mに基づく政策の効果測定、見直し等の基礎データとして利用。
 - ・ 「国民経済計算」、「産業連関表」、「生産農業所得統計」及び「農業・食料関連産業の経済計算」において、農業部門の投入・産出の細目を推計する上で必要な項目について基礎データとして利用。
 - ・ 施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。
- 等

(2) 生産費統計

〔区分〕

- 重要な政策の立案・実施・評価のための基礎資料
- 基幹統計など重要な統計作成への利用
- 国際機関への提供など国際比較上の利用
- その他

〔具体的な利活用〕

- ・ 「成長戦略」において設定された、コメの生産コスト削減に係る「成果目標」（K P I）の進捗の評価に利用。
- ・ 麦、大豆、原料用ばれいしょ、てんさい、そば及びなたねに係る諸外国との生産条

件の格差による不利を補正するための交付金算定に利用（農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に関する法律）。

- ・ 甘味資源作物及び国内産糖並びにでん粉原料用いも及び国内産いもでん粉についての交付金算定に利用（砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律）。
 - ・ 加工原料乳及び子牛の畜産物価格並びに肉用牛及び肉豚の経営安定交付金の算定に利用（畜産経営の安定に関する法律、肉用子牛生産安定等特別措置法）。
 - ・ 「食料・農業・農村基本計画」と併せて策定された「農業経営の展望」に各品目・畜種の生産費等が基礎データとして利用。
 - ・ 「食料・農業・農村基本計画」において作成される食料自給力指標の算定に各品目・畜種の計算単位当たり労働時間が利用。
 - ・ 施策担当部局における各種施策の検討・検証に利用。
- 等

2 他の統計調査との重複

本調査のように農業経営の収支及び生産費の実態を詳細にみる統計は存在しない。

3 行政記録情報等の利活用

「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（平成十五年九月十一日法律第七十二号）に基づき、農林水産省が保有（データベースの管理については（独）家畜改良センターが実施）している「牛個体識別台帳」のデータ（調査客体が飼養している牛個体ごとの性別、品種、出生月、購入月、売却月、死亡月）を活用している。

「牛個体識別台帳」を利用することにより、当該データで把握できる事項については、当省職員において調査票に記入することができ、調査客体への聞き取り又は自計が不要となり、報告者負担の軽減が図られる。

4 事業所母集団データベースを利用した重複是正等

本調査は、次の標本選定期に至るまで5年間調査客体を固定して実施することから、次回、営農類型別経営統計（法人経営体）及び農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については、令和8年12月下旬まで、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については、令和9年8月下旬までに実施し、重複是正措置結果の事業所母集団データベースシステムへの登録については、各調査、調査票配布後1か月後までに実施予定である。

また、履歴登録は、調査結果名簿を、営農類型別経営統計（法人経営体）については、毎年8月下旬までに、農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）については、毎年7月下旬までに、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）については、毎年4月中旬までに提出することを予定している。

（直近の実績：営農類型別経営統計（法人経営体）は令和5年8月28日、農産物生産費統計（組織法人経営体：米及び大豆生産費）は令和5年7月28日、農産物生産費統計（組織法人経営体：小麦生産費）は、令和5年4月18日に登録済み。）